五代伊勢宮VI遺跡
五代 中 原 II遺跡

五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

序

前橋市は、雄大な裾野を広げる赤城山を背に、坂東太郎として名高い利根川や詩情豊かな広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情にあふれた美しい県都です。

前橋市域は古代より豊かな文化があふれる地であり、東日本でも際だった内容を示しています。今から約2万8千年前の旧石器を始めとして、10基を数える国指定の古墳、関東の華とうたわれた前橋城に関するもの等多くの文化財が残されています。

自然環境に恵まれたこの地では、古代からの人々の生活の跡が市内ほぼ全域にわたり残されています。古代の人々が暮らした家の跡や使用した石器や土器などの道具、水田跡なども多く、周辺の埋蔵文化財発掘調査によって多くの新しい知見が集積されています。

前橋市の北東部、赤城山南麓に位置する五代町では、五代南部工業団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査が平成12年度から実施されてきております。五代伊勢宮VI遺跡、五代中原II遺跡はその調査の3年目にあたり、縄文時代から古墳・奈良・平安時代の住居跡、掘立柱建物跡など多くの遺構と遺物を検出し、貴重な資料を得ることができました。

発掘調査にあたり、ご協力いただきました市工業課、前橋工業団地造成組合、地元関係者、酷暑の中調査に従事されました皆様に感謝とお礼を申し上げます。

平成15年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団長　阿部明雄

例　言

1　本報告書は、五代南部工業団地造成にさきがけて実施した五代伊勢宮VI遺跡（ゴダイイセミヤロクイセキ）、五代中原II遺跡（ゴダイナカハラニイセキ）の発掘調査報告書である。

2　遺跡の所在地　五代伊勢宮VI遺跡　群馬県前橋市五代町992-1番地外
　　五代中原II遺跡　群馬県前橋市五代町1038番地外

3　調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 阿部　明雄）の指導のもとに委託者、前橋工業団地造成組合（管理者 萩　原　弥惣治）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永　眞弘）が実施した。
　調査担当者　近藤雅順（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
　　金子正人・荻野博巳・板垣　宏・権田友寿・猪熊正晴（スナガ環境測設株式会社）
　調　査　員　小林健二・山口和宏・岡本敬一（スナガ環境測設株式会社）

4　発掘調査期間　平成14年8月19日～平成15年3月7日
　整理期間　平成14年11月1日～平成15年3月7日

5　調査面積　五代伊勢宮VI遺跡 9,000㎡、五代中原II遺跡 6,000㎡

6　出土遺物は前橋市教育委員会が保管する。

7　測量・調査計画…須永眞弘、調査助言…金子正人、調査担当…荻野博巳・板垣　宏・権田友寿・猪熊正晴、測量調査…小林健二・山口和宏・岡本敬一、安全管理…栗原昭一郎、重機オペレーター…金子正人・都丸保男、作業事務…柴崎信江が担当した。

8　本書は、調査団指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…Iについては近藤雅順（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）、その他は荻野博巳（中原II）・板垣　宏・権田友寿（伊勢宮VI）が担当した。尚、「鍛冶工房跡（H-16号）」の考察は、井上唯雄氏（前橋市教育委員会文化財保護課 文化財整備指導員）に執筆していただいた。編集・校正…須永眞弘・金子正人、実測図の整理他…猪熊正晴・岡本敬一、遺構・遺物のトレース…小林健二・山口和宏、遺物の整理…神津芳夫、遺物実測…戸根浩美・佐々木智恵子・角田朱美・田辺富士子・渡辺克弘・石倉悦子、遺物洗浄・注記・接合…柴崎信江・栗原昭一郎・小暮幸子・渡辺國治・山本良政・山本恵美子・小林益二・清水元美、写真整理・内業事務…須永　豊・柴崎信江が担当した。

9　発掘調査に参加した方々（敬称略）

上村一視	内山恵美子	水石信雄	奈良武利	都丸藤子	田辺富士子	渡辺克弘	貝瀬寿雄
内山　康	下田和子	平林クニ子	佐藤作子	佐藤治吉	入沢定雄	新井國久	小林益二
山本秋芳	清水元美	安斎只男	間船敏樹	高木市太郎	金子正男	剣持靖一	高柳美岐
石綿茂雄	阿部裕一	品川浪江	峰岸　清	坂内二三江	奈良昭二	鈴木　勇	笠原たく江
片桐澄子	伊藤はる江	萩原専一	萩原洋子	名久井正治	梅沢きく江	北爪一郎	
石川サワ子	小暮幸子	渡辺国治	片貝美子	石田みよ子	根井よし子	狩野大男	諸田ケサエ
井上春江	田中日出子	高橋あき	萩原咲枝	中山千枝子	金子一男	織間芳江	横堀弘子
磯田栄二	大島文夫	鹿沼　信					

凡　例

1　遺跡の略称は、五代伊勢宮VI遺跡（14C33）、五代中原II遺跡（14C30）である。

2　遺構名の略称　縄文住居跡…J、古墳～平安住居跡…H、竪穴状遺構…T、掘立柱建物跡…B、溝跡…W、土坑…D、ピット…P、井戸跡…I、道路状遺構…A、風倒木痕…O。実測図中の記号　P…土器、S…石。

3　実測図の縮尺は、次のとおりである。
　伊勢宮VI遺跡…遺跡平面図（1/400）、住居跡（1/80）、鍛冶工房跡（1/40）、土坑・ピット（1/60・1/200）、カマド・炉跡（1/40・1/20）、遺物実測図（1/3、1/6）を原則とし、それ以外はその都度表示した。
　中原II遺跡…遺跡平面図［住居跡・ピット・土坑・掘立柱建物跡・道路状遺構・風倒木痕］（1/400）、炉跡断面（1/40）、カマド（1/40、1/80）、住居跡・炉・ピット・土坑・貯蔵穴（1/80）、遺物実測図（1/1、1/2、1/3、1/5）を使用した。

4　挿入図は、国土地理院発行の2万5千分の1「前橋・大胡・渋川・鼻毛石」を使用した。

5　各遺跡の位置の基準は、国土地理院三角点及び水準点と照合済。
　五代伊勢宮VI遺跡　基準点X75、Y150グリッド地点　第IX系座標値　X 45,600.000m、Y －64,400.000m、水準点 BM.…128.50m、129.00m、130.00m、130.50m、131.00m、等高線20・40cm、グリッド 4m間隔

五代中原II遺跡　基準点X75、Y70グリッド地点　第IX系座標値　X 45,920.000m、Y −64,400.000m、水準点 BM.…138.00m、140.50m、等高線50cm、グリッド 4m間隔

6　土層断面の土色名及び土器類の色調名は『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局 監修 財団法人日本色彩研究所　色票監修）による。

7　須恵器の断面…■　　煤付着…▒を使用。

8　各遺構の面積は平面図をもとに座標面積計算より算出した。

目　次

序……i
例言・凡例……iii・iv
目次・挿図・表・写真図版……iv・v
I　調査に至る経緯……1
II　遺跡の位置と歴史的環境……1
　1．遺跡の立地……1
　2．歴史的環境……1
III　調査の経過……3
　1．調査方針……3
　2．調査経過……3
IV　層　　序……4
V　五代伊勢宮VI遺跡
　1．縄文時代の遺構と遺物……7
　　(1)　竪穴住居跡……7
　　(2)　土坑……10
　　(3)　遺物……13
　2．古墳時代以降の遺構と遺物
　　(1)　竪穴住居跡……30
　　①古墳時代……30
　　②奈良・平安時代……30
　　(2)　鍛冶工房跡……32
　　(3)　竪穴状遺構……33
　　(4)　溝状遺構……33
　　(5)　ピット（柱穴）……33
　　(6)　土坑……36
　　(7)　井戸状遺構……39
　　(8)　道路状遺構……39
　　(9)　掘立柱建物跡……40
　3．ま と め……43
VI　五代中原II遺跡
　1．遺構と遺物……67
　　(1)　竪穴住居跡……67
　　①縄文時代……67
　　②古墳時代……67
　　(2)　掘立柱建物跡……71
　2．ま と め……71

挿　図

第1図　遺跡位置図・グリッド設定図……vi
第2図　周辺遺跡図……2
第3図　伊勢宮VI基本土層断面図……4
第4図　中原II基本土層断面図……4

五代伊勢宮VI遺跡

第5図　J-2・6・9号住居跡平面・断面図……46
第6図　J-10・11・12号住居跡平面・断面図……47
第7図　J-17・19・25号住居跡平面・断面図……48
第8図　縄文土坑平面・断面図（その1）……49
第9図　縄文土坑平面・断面図（その2）……50
第10図　H-11・12号住居跡平面・断面図……51
第11図　H-12・15・18号住居跡平面・断面図……52
第12図　H-3・4・5号住居跡平面・断面図……53
第13図　鍛冶工房跡（H-16号）平面・断面図……54
第14図　ピット群周辺平面図……55・56
第15図　J-2・5・6・9〜12・17・19・20・25遺物実測図……57
第16図　縄文土坑遺物実測図（その1）……58
第17図　縄文土坑遺物実測図（その2）……59
第18図　縄文土坑・グリッド遺物実測図……60
第19図　石器実測図……61
第20図　H-1・2・8・9・11・12号住居跡出土遺物……62
第21図　H-3・12・14・15・17〜21号住居跡、D-634号土坑出土遺物……63
第22図　H-4〜6・10・22号住居跡、鍛冶工房跡（H-16号）出土遺物……64

五代中原II遺跡

第23図　五代中原II遺跡平面図……83・84
第24図　J-1・4号住居跡平面・断面図……85
第25図　H-2・3号住居跡平面・断面図……86
第26図　H-5・11号住居跡平面・断面図……87
第27図　H-12・13号住居跡平面・断面図……88
第28図　H-15・16号住居跡平面・断面図……89
第29図　H-18・19号住居跡平面・断面図……90
第30図　H-21〜23号住居跡平面・断面図……91
第31図　H-23〜25号住居跡平面・断面図……92
第32図　H-25・26・28号住居跡平面・断面図……93
第33図　H-28〜30・33号住居跡平面・断面図……94
第34図　H-33・34・39号住居跡平面・断面図……95

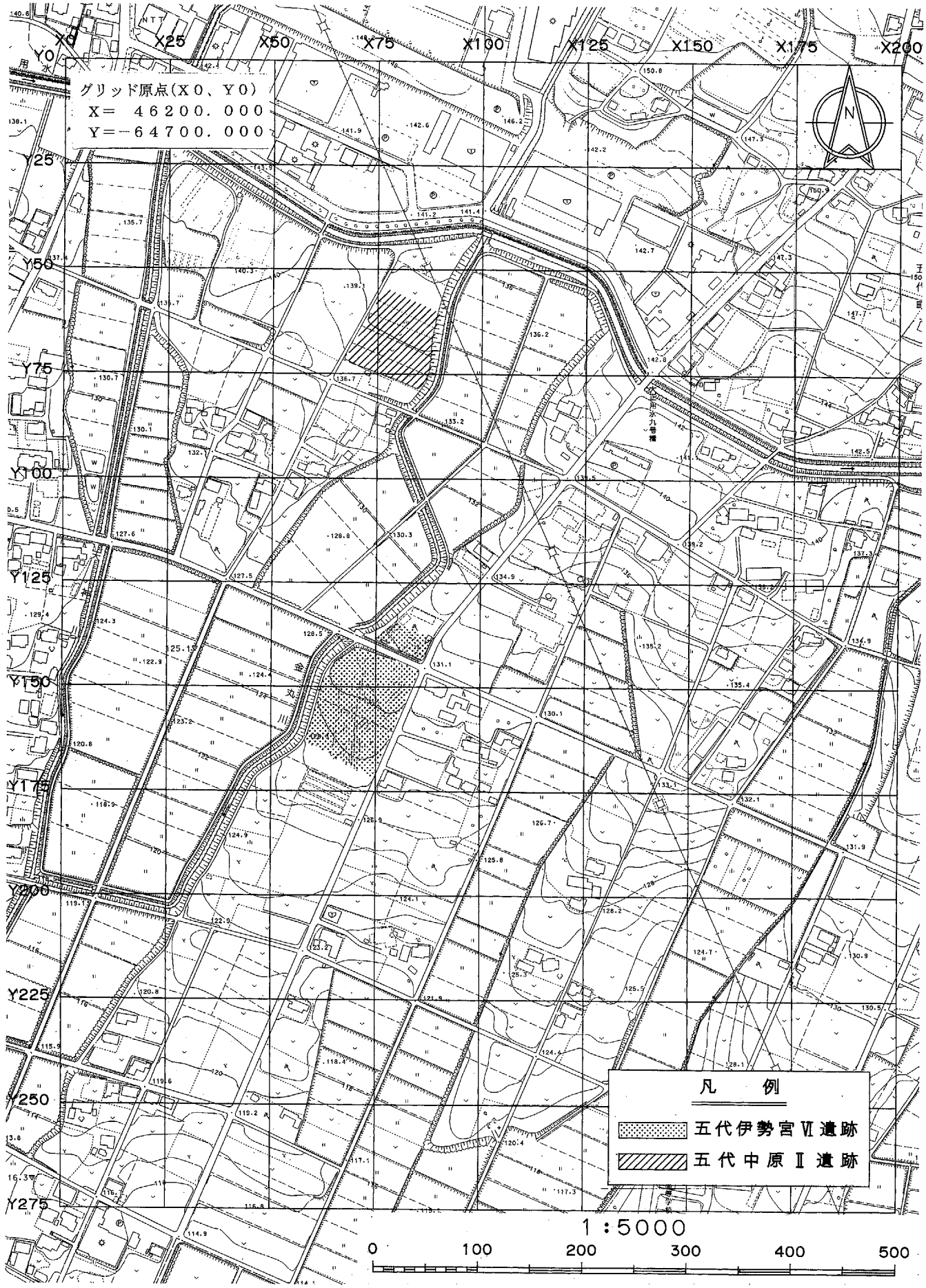
第35図　H-39号住居跡平面・断面図 ……96
第36図　H-2・3号住居跡遺物実測図 ……97
第37図　H-3・5・11号住居跡遺物実測図 ……98
第38図　H-11・13号住居跡遺物実測図 ……99
第39図　H-13・15・16・18号住居跡遺物実測図…100
第40図　H-18・19・21号住居跡遺物実測図……101
第41図　H-21・22号住居跡遺物実測図……102
第42図　H-22・23号住居跡遺物実測図……103
第43図　H-23～29号住居跡遺物実測図……104
第44図　H-30・33・34号住居跡遺物実測図……105
第45図　H-39号住居跡遺物実測図……106
第46図　H-39号住居跡遺物実測図……107
第47図　H-39・J-1～4号住居跡、
グリッド遺物実測図 ……108
付　図　五代伊勢宮Ⅵ遺跡平面図（縄文時代）
付　図　五代伊勢宮Ⅵ遺跡平面図（古墳時代以降）

表

第1表　周辺遺跡概要一覧表……2
五代伊勢宮Ⅵ遺跡
第2表　縄文土坑計測表……14
第3表　縄文土坑別石器出土表……20
第4表　縄文土器観察表……23
第5表　石器観察表……29
第6表　住居跡一覧表（古墳時代以降）……31
第7表　鍛冶工房ピット計測表……33
第8表　溝状遺構計測表……33
第9表　ピット計測表……34
第10表　土坑計測表……37
第11表　井戸状遺構計測表……39
第12表　道路状遺構計測表……39
第13表　掘立柱建物跡計測表……40
第14表　鍛冶工房跡（H-16号）出土土器観察表 …40
第15表　鍛冶工房跡（H-16号）石製品観察表 ……40
第16表　出土土器観察表……41
五代中原Ⅱ遺跡
第17表　住居跡一覧表……73
第18表　土坑計測表……75
第19表　ピット計測表……75
第20表　道路状遺構計測表……75
第21表　風倒木痕計測表……75
第22表　出土土器観察表……76
第23表　縄文土器観察表……82

写真図版

五代伊勢宮Ⅵ遺跡
図版1　調査前、調査区全景、J-2・6・9・10号全景
図版2　J-11・12・17・25号全景、D-819・841・984・1015号土坑全景
図版3　H-1・11・12・17・18・19・21号全景、H-11号遺物出土状況
図版4　鍛冶工房跡（H-16号）全景、作業スペース、石床炉下断面、地床炉、遺物出土状況
図版5　H-3～6・22号全景、B-1号掘立柱建物跡、深掘りセクション、埋め戻し完了全景
図版6　縄文住居跡・土坑出土遺物
図版7　縄文土坑・グリッド出土遺物
図版8　H-1・2・8～11号出土遺物
図版9　H-3・12・14・15・17～21号・D-634号出土遺物
図版10　H-4・5・6・22号、鍛冶工房跡（H-16号）出土遺物
五代中原Ⅱ遺跡
図版11　調査前、調査区全景、J-1～4号全景
図版12　H-1～3・5号全景、H-2号炉跡、H-2・3号遺物出土状況
図版13　H-7～13号全景、H-11・13号遺物出土状況
図版14　H-14～18号全景、H-15・18号遺物出土状況、H-16号炉跡
図版15　H-19～23号全景、H-21・22号遺物出土状況、H-21号炉跡
図版16　H-24～28・35・36・J-2・3号全景、H-23号遺物出土状況、H-24・25号炉跡
図版17　H-28号炉跡、H-29～33号全景、H-30・33号遺物出土状況
図版18　H-33号P4と間仕切り、H-34・39号全景、H-39号カマド全景、H-39号遺物出土状況、B-1号掘立柱建物跡全景
図版19　B-2・3号掘立柱建物跡、ピット、土坑、道路状遺構A-2、遺構確認トレンチ、深掘りセクション、作業風景、埋め戻し完了全景
図版20　H-2・3号出土遺物
図版21　H-5・11・13号出土遺物
図版22　H-13・15・16・18・19・21号出土遺物
図版23　H-21～23号出土遺物
図版24　H-23～30号出土遺物
図版25　H-30・33・34・39号出土遺物
図版26　H-39・J-1～4号、X88、Y60グリッド出土遺物



第1図　遺跡位置図・グリッド設定図

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、五代南部工業団地造成事業実施に伴い行われた。本調査地は、平成12年度の試掘調査結果により遺跡地であることが確認されている。今年度は、その発掘調査地年次計画に基づいて行われた調査の３年目にあたるものである。

平成14年４月25日、前橋工業団地造成組合（管理者　萩　原　弥惣治）より、五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　阿部　明雄（以下「調査団」という。）に対し調査実施を通知した。しかし、既に市内数カ所において調査団直営による発掘調査が実施されており、本発掘調査を直営で行うことは困難と判断し、前橋工業団地造成組合と調査団との間で４月17日付けで締結されている埋蔵文化財発掘調査に関する協定書に基づき、民間調査会社による発掘調査を進める方針を決めた。これを受け、まず、依頼者である前橋工業団地造成組合と調査団との間で８月12日に埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結し、その後、８月19日付けで民間調査会社であるスナガ環境測設株式会社　代表取締役　須永　眞弘と調査団との間で委託契約を締結し、現地調査開始に至る。

なお、遺跡名称「五代伊勢宮Ⅵ遺跡」（遺跡コード：14Ｃ33）、「五代中原Ⅱ遺跡」（遺跡コード：14Ｃ30）の「伊勢宮」「中原」は旧地籍の小字名を採用し、名称中のローマ数字「Ⅵ」「Ⅱ」は、当調査団で過去に調査した遺跡と区別するため付したものである。

Ⅱ　遺跡の位置と歴史的環境

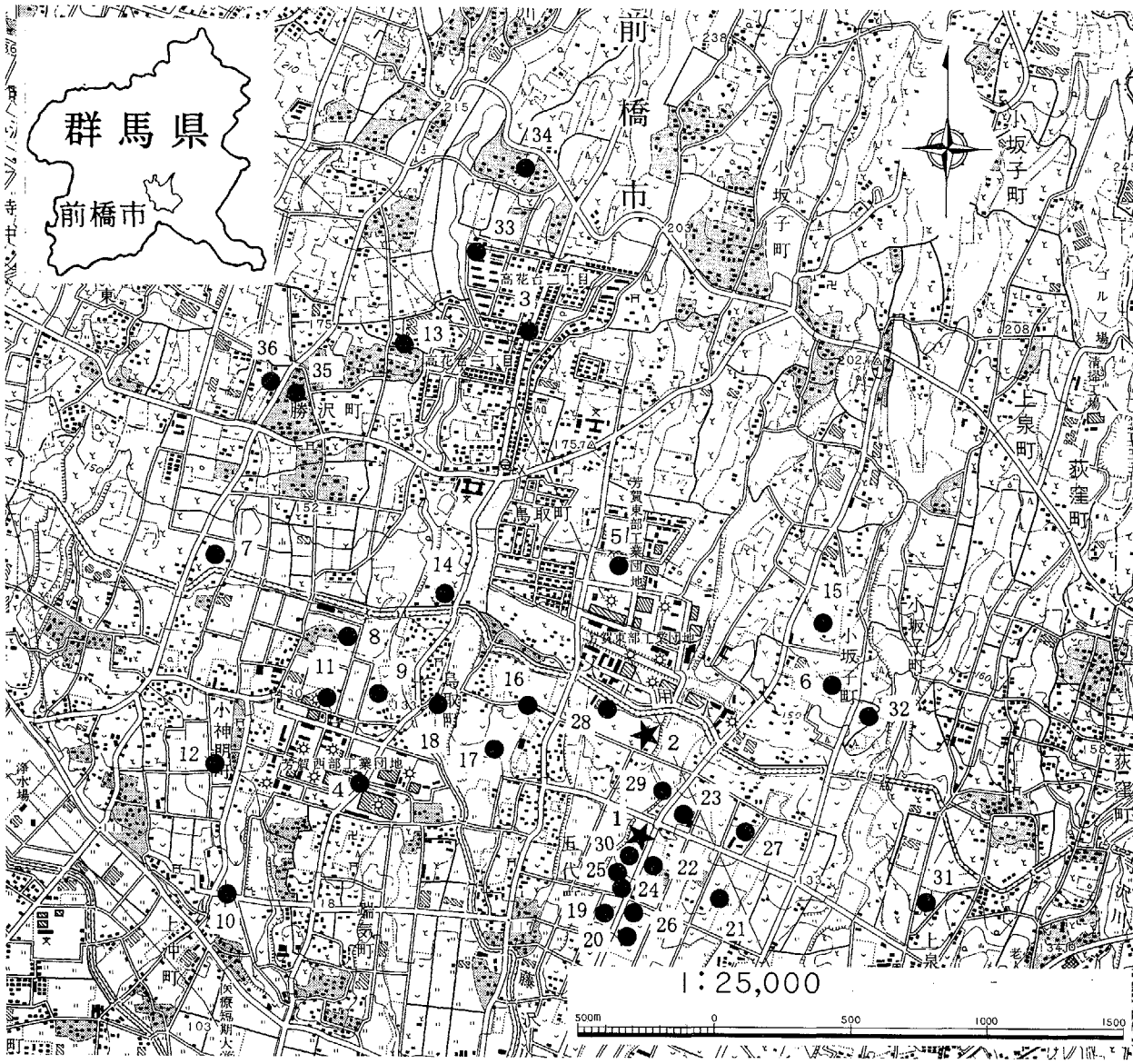
１．遺跡の立地

遺跡の所在する五代町は、前橋市の中心市街地から北東へ約５kmに位置する。遺跡の北には大正用水が西から東へ流れ、芳賀東部工業団地（面積40ha）に隣接し、西に芳賀西部工業団地（面積20ha）がある。前橋市では「豊かですばらしい社会を築く街づくり」を目途に、福祉、教育、文化、環境等の整備拡充を進めている。その施策の一つとして、群馬県と前橋市で組織する前橋工業団地造成組合による工業団地や住宅団地の造成があり、昭和35年以来多くの団地造成を行っている。その一つに、五代南部工業団地（面積42.8ha）がある。団地は、日本百名山の一つ赤城山南麓火山斜面の緩やかで自然豊かな面にある。山麓に源を発する中小の河川が付近を南流し部分的に開析谷を形成し舌状台地と谷地部を作り、谷と谷の間の丘陵性の台地には、住宅団地や畑地が広がり、谷地部は水田が営まれている。この斜面の末端部は、本遺跡から1.6km南へ下った県道前橋赤堀線付近に当たり旧利根川の作った広瀬川低地帯に接し、この付近から関東平野が南に広がっている。

２．歴史的環境

五代伊勢宮Ⅵ遺跡、五代中原Ⅱ遺跡の所在する前橋市五代町は、昭和29年に前橋市に合併している。旧村名「芳賀村」は、和名類聚抄が勢多郡の一郷「芳賀郷」に比定されたことによるが、最近「芳郷」と書かれた墨書土器が前橋市二之宮町で発見されたことから旧村名の根拠は弱くなった。いずれにしても、同村は旧荒砥村、粕川村、旧桂萱村とともに赤城山南麓における古墳の集中域の一つとされている地区である。

近年、この地域では大規模開発などにより数多くの遺跡調査が行われている。中でも本調査区に近接する芳賀団地遺跡群（芳賀北部団地遺跡、芳賀西部団地遺跡、芳賀東部団地遺跡）では、昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて大規模な発掘調査が行われ、縄文時代を始めとし近世までの遺構が数多く検出されている。芳賀北部団地遺跡は昭和48、49年度に調査され縄文時代前期～後期の竪穴住居跡や中期の敷石住居跡、奈良・平安時代の竪穴住居跡237軒や中世の勝沢城跡の一部を検出した。芳賀西部団地遺跡では、昭和50年度の調査で縄文時代前期の竪穴住居跡７軒や配石遺構を検出した。また、昭和10年の上毛古墳総覧によれば芳賀地区で64基の古墳が記載されているが古墳総覧記載漏れの古墳も31基集中して検出されている。芳賀東部団地遺跡は昭和51～55年度に調査され、縄文時代前期の竪穴住居跡や中期末から後期前半の敷石住居跡など66軒が検出された。他に倉本遺跡からは、弥生時代の竪穴住居跡、端気遺跡群Ⅰでは方形周溝墓などが検出されている。また、小神明遺跡群Ⅱ、



第２図　周辺遺跡図

No.	遺　跡　名	概　　要	No.	遺　跡　名	概　　要
1	五代伊勢宮VI遺跡	本遺跡	16	鳥取東原遺跡	古墳住居跡、近世埋葬施設
2	五代中原II遺跡	本遺跡	17	鳥取福蔵寺遺跡	縄文住居跡、古墳～平安時代の住居跡
3	芳賀北部団地遺跡	縄文住居跡、奈良・平安住居跡	18	鳥取福蔵寺II遺跡	旧石器（細石刃文化石器群）、縄文住居跡、古墳住居跡、奈良・平安住居跡
4	芳賀西部団地遺跡	縄文住居跡、古墳			
5	芳賀東部団地遺跡	縄文住居跡、古墳、古墳～奈良・平安住居跡	19	五代江戸屋敷遺跡	古墳～中世の住居跡・掘立柱建物跡・方形周溝墓他
6	檜峯遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡			
7	小神明遺跡群 I	縄文住居跡、奈良・平安住居跡	20	五代木福 I 遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡 奈良・平安掘立柱建物跡、他
8	小神明遺跡群II 九料遺跡	縄文住居跡（敷石）、古墳住居跡 奈良・平安住居跡	21	五代木福II遺跡	縄文配石遺構、古墳～奈良・平安住居跡
9	小神明遺跡群II 西田遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、円墳、帆立貝式古墳	22	五代竹花遺跡	縄文住居跡、古墳～奈良・平安住居跡
			23	五代深堀 I 遺跡	縄文住居跡、平安住居跡
10	端気遺跡群 I・II	縄文住居跡、弥生方形周溝墓、古墳住居跡	24	五代伊勢宮 I 遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡、他
11	倉本遺跡	弥生住居跡	25	五代伊勢宮II遺跡	縄文住居跡、古墳住居跡、奈良住居跡
12	小神明遺跡群II 大明神遺跡	古墳時代の住居跡	26	五代伊勢宮III遺跡	縄文土坑、平安住居跡、他
			27	五代深堀II遺跡	縄文住居跡、古墳～奈良・平安住居跡
13	芳賀北曲輪遺跡	縄文住居跡、古墳	28	五代中原 I 遺跡	縄文住居跡、古墳・平安住居跡
14	芳賀北原遺跡	古墳住居跡、奈良・平安住居跡	29	五代伊勢宮IV遺跡	縄文住居跡・土坑、平安住居跡
15	五代檜峯遺跡跡	古墳住居跡	30	五代伊勢宮 V 遺跡	縄文住居跡・土坑、古墳～奈良・平安住居跡

◎その他の周辺の遺跡　31 新田塚古墳（円墳、７世紀）　32 檜峯古墳（円墳）　33 桂正田稲塚古墳（円墳？）　34 東公田古墳（墳墓）
35 オブ塚古墳（前方後円墳、６世紀後半）　36 オブ塚西古墳（墳丘無）

第１表　周辺遺跡概要一覧表

西田遺跡からは古墳時代後期（６世紀中頃）の円墳や帆立貝式古墳の検出があった。奈良・平安時代では、檜峯遺跡から竪穴住居跡とともに奈良三彩小壺も検出されている。また、近年の調査では、鳥取福蔵寺遺跡で縄文時代の竪穴住居跡や古墳～平安時代の竪穴住居跡、製鉄遺構、鳥取東原遺跡では古墳時代の竪穴住居跡や近世の埋葬施設、芳賀東部団地遺跡（平成９年調査）では平安時代の竪穴住居跡、五代檜峯遺跡からは古墳時代の竪穴住居跡、鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡（平成10年調査）では縄文、古墳、奈良・平安時代の各時代の竪穴住居跡とともに細石刃文化石器群（旧石器）が検出されている。また、本遺跡を含めた五代遺跡の調査は、五代江戸屋敷遺跡、五代木福Ⅰ遺跡、五代木福Ⅱ遺跡、五代竹花遺跡、五代深堀Ⅰ遺跡、五代伊勢宮Ⅰ遺跡(12年度調査)、五代伊勢宮Ⅱ遺跡、五代伊勢宮Ⅲ遺跡、五代深堀Ⅱ遺跡、五代中原Ⅰ遺跡、五代伊勢宮Ⅳ遺跡(13年度調査)、五代伊勢宮Ⅴ遺跡（14年度調査）があり、縄文時代前期・中期の竪穴住居跡や古墳時代の竪穴住居跡・方形周溝墓・周溝状遺構・土坑、奈良・平安時代の竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・ピット・溝・井戸等が検出され、中・近世では地下式土坑・土坑・溝・井戸跡など検出されている。このように芳賀地区は、旧石器の調査を始め、縄文から弥生、古墳、奈良・平安時代、中近世までの遺構が点在し、ほとんどの時代にわたり生活の痕跡が見られる地区である。

Ⅲ　調査の経過

１．調査方針

委託された調査区は五代伊勢宮Ⅵ遺跡9,000m²、五代中原Ⅱ遺跡6,000m²の２ヵ所である。調査実施に際しては、市調査団の設定した五代遺跡全体グリッド、西から東へＸ０～Ｘ200と北から南へＹ０～Ｙ350を基本として（グリッド原点Ｘ０、Ｙ０は、第Ⅸ系座標値Ｘ＝46,200、Ｙ＝－64,700）各調査区にグリッドを設定した。五代伊勢宮Ⅵ遺跡は北西杭Ｘ55、Ｙ130（Ｘ45,680、Ｙ－64,480）を原点としてＸ55～90とＹ130～171まで、同じく五代中原Ⅱ遺跡は北西杭Ｘ67、Ｙ53（Ｘ45,988、Ｙ－64,432）を原点としてＸ67～89とＹ53～78まで４ｍ毎にグリッドを設定した。グリッドは北西杭の名称を使用した。また、水準は公共水準点に基づき調査区内に測設した。

図面作成は原則として、1/10、1/20、1/40、1/100等の縮尺を使用し、平板・遣り方による細部測量で作図を行った。また、遺物は遺構グリッド単位で層位毎に収納し、遺物分布平面図及び遺物台帳に記載し付番処理して取り上げた。また、遺構・遺物等の写真撮影（白黒・リバーサルフィルム）も行った。

２．調査経過

五代伊勢宮Ⅵ遺跡

本遺跡は、道路を挟んで南北に分かれているため北側調査区・南側調査区とした。

平成14年８月19日から北側調査区の草刈り及び調査準備から始まり、平成14年８月20日から重機による表土掘削を開始した。また、ジョレン掛け精査、遺構確認も行い順次、測量、記録作業を進めて行った。平成14年11月６日北側調査区の終了検査を受け第１面の調査を終了した。引き続きサブトレンチを入れ確認調査を行ったところ、縄文時代土坑が確認されたため、第２面調査を行い平成14年11月11日完了した。南側調査区は、平成14年８月22日から重機による表土掘削を開始した。残土置場の都合から全体の2/3まで、ジョレン掛け精査、遺構確認を行い順次、測量、記録作業を進めて行った。北側調査区の終了後、平成14年11月11日から残土を北側調査区に運搬し、残りの1/3の区域も調査を開始した。平成15年２月10日に南側調査区は、市調査団業務監督係員(市教育委員会）の調査終了検査を受け、平成15年２月12日に第１面の調査を完了した。引き続き縄文時代土坑が薄かった所にサブトレンチを入れ確認調査を行ったところ、縄文時代土坑が数多く確認された。また、縄文時代住居も確認されたため、南側調査区全面の、第２面調査を行った。平成15年２月28日に市調査団業務監督係員（市教育委員会）の確認後残土埋め戻しを行い２面調査を完了した。

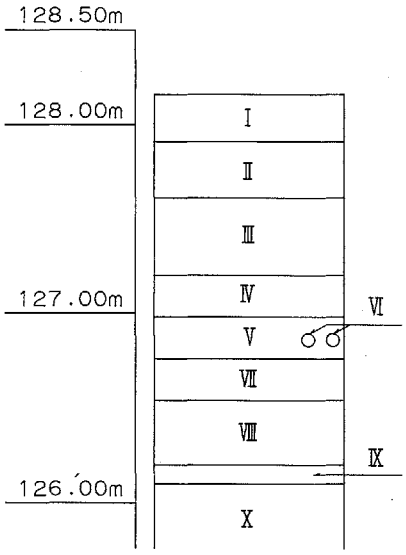
五代中原Ⅱ遺跡

８月19日より調査の準備を進めるとともに調査範囲の確認のため草刈りを行い、範囲出しを行った。また、安全対策の防護ネットを設置して調査を開始した。表土掘削は、重機（バックホウ）と６ｔ・10ｔの不整地運搬車で行った。並行してジョレン掛け、遺構確認作業を行って現耕作土より平均50cm程下げた面で住居跡・土坑・ピッ

ト等を検出した。8月27日に水準を、8月30日グリッドを調査区内に測設し、杭打ちを行った。また、並行して住居跡の発掘に入った。9月2日より平板測量に入り、1/100の全体平面図を作成し遺構検出状況図を作る。遺構写真撮影は、9月5日より始める。9月9日より土坑・ピットの調査に入る。9月12日からは住居跡の調査に入る。10月に入り遺構の検出数量や遺物の出土状況などもほぼ確認でき、住居跡は残りがよく、遺物は完形品の出土が多くあった。測量・記録作業は、掘りあがった遺構より随時行った。11月に入り縄文土器の分布範囲にサブトレンチを入れ、第2面の遺構確認調査を行った。その結果、縄文時代の住居を4軒検出し、調査に入る。12月に入り各遺構の調査も最終段階に入り、遺構の測量・写真撮影等に追われる。12月3日に高所写真撮影を行う。12月16日に第1面で検出した古墳時代住居跡等の調査を終了する。第2面で検出した縄文時代住居跡も12月20日で終了した。12月24日に市調査団業務監督係員の調査終了検査を受けて、残土埋め戻しを行い完了した。

Ⅳ 層　　序

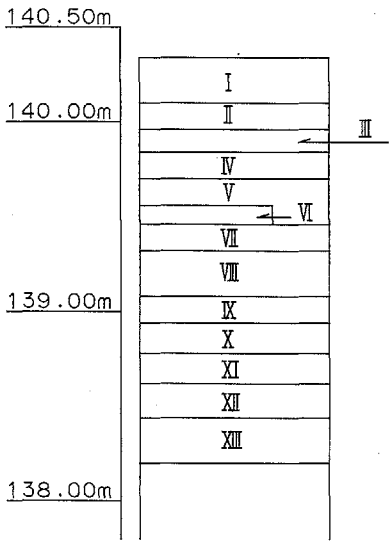
層序は、五代伊勢宮Ⅵ遺跡、五代中原Ⅱ遺跡内にそれぞれ入れた深掘り土層断面をもとに模式的に断面図を作成し、それについての土層説明を下記に掲載した。



第3図　伊勢宮Ⅵ基本土層断面図

五代伊勢宮Ⅵ遺跡

Ⅰ. 暗褐色土層　10YR3/4 粘性、締まりややあり、白色軽石 φ 1～10㎜を多く含み、ローム粒を僅かに含む
Ⅱ. 黄褐色土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、白色軽石 φ 1～3㎜を僅か含み、ハードロームブロックを5％含む
Ⅲ. 明黄褐色土層　10YR6/8 粘性、締まりあり、白色軽石 φ 1～3㎜を僅か含み、明黄褐色土を2％含む
Ⅳ. 明黄褐色土層　10YR6/8 粘性、締まりややあり、白色軽石 φ 1～5㎜を僅か含み、As-BP 粒やや多く含む
Ⅴ. 黄褐色土層　10YR5/8 粘性、締まりややあり、As-BP 粒を多く含み、暗褐色土を7％含む
Ⅵ. As-BP 塊
Ⅶ. 明褐色土層　7.5YR6/8 粘性、締まりややあり、白色軽石 φ 1～3㎜と As-BP を僅か含む
Ⅷ. 鈍い褐色土層　7.5YR5/4 粘性、締まりあり、白色軽石 φ 1～10㎜を多く含む粘質土
Ⅸ. 明黄褐色土層　10YR6/6 粘性、締まりあり、白色軽石 φ 1～5㎜をやや多く含む粘質土
Ⅹ. 明黄褐色土層　10YR6/6 粘性、締まりあり、赤褐色粒 φ 2～5㎜を僅か含む粘質土



第4図　中原Ⅱ基本土層断面図

五代中原Ⅱ遺跡

Ⅰ. 褐灰色土層　7.5YR4/1 粘性、締まりなく、小礫 φ 2～3㎜を1％と軽石粒を含む
Ⅱ. 褐灰色土層　7.5YR4/1 粘性、締まりあり、As-C 軽石を3％含む
Ⅲ. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性ややあり、締まりあり、As-C 軽石 φ 1～3㎜を5％とローム土を所々に含む
Ⅳ. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、As-C 軽石 φ 1～3㎜を1％とロームブロック3％含む
Ⅴ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、ハードロームブロックを含む
Ⅵ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、青灰色軽石粒1％含む
Ⅶ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、黄色軽石粒を1％と青灰色軽石を所々含む
Ⅷ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、青灰色軽石 φ 1～2㎜を2％含む
Ⅸ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、青灰色軽石と明赤褐色軽石粒を所々に含む
Ⅹ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、明赤褐色軽石ブロックを1％含む
Ⅺ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、明赤褐色軽石を層状に含む
Ⅻ. 黄褐色ローム土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、明赤褐色軽石ブロックと青灰色軽石を僅かに含む
XIII. 暗褐色土層　10YR3/3 粘性、締まりあり、青灰色軽石 φ 5～10㎜を1％含む

※本文中に使用した略号　Hr-FP 軽石：6世紀中葉降下榛名山起因の軽石層
As-C 軽石：4世紀降下浅間山起因の軽石層
As-BP：浅間板鼻褐色（1.7～2.1万年前）

V　五代伊勢宮Ⅵ遺跡

D—984—1

D—984—1　展開写真

D—739—2

D—1015—1

D—1077—1

1．縄文時代の遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

J－1号住居跡〔第19図、図版7〕

位置 X77・78、Y137・138グリッド。西約2mにJ－3が隣接する。**形状** 攪乱により形状は判然としないが、楕円形を呈すると思われる。**規模** 現存値で6.60×5.10m、深さ13～20cmを測る。**面積** 現存値で19.1m²。**床面** 平坦でよくしまっている。**柱穴** P1・2は、掘り込みもしっかりしており、主柱穴と考えられる。P10から遺物が多量に出土し、P4・9からも土器片の出土がある。**炉跡** 中央付近に焼土範囲が3ヶ所確認されたが、掘り込みを持たない。焼土1の規模は81×58cmの楕円形、焼土2は77×60cmの不整形、焼土3は85×66cmの楕円形を呈する。焼土3は、P7を囲むように検出された。**遺物** 上層から床面にかけて多くの土器片が出土したが、完形資料となり得る個体は少ない。大型浅鉢片(No.1)や土製円盤は覆土からのものである。石器は、石鏃3点・打製石斧15点・磨製石斧1点・結晶片岩1点・棒状石器片1点が出土した。

J－2号住居跡〔第5・15・19図、図版1・7〕

位置 X83・84、Y136・137グリッド。周辺には土坑が群在する。D-137・138・139と重複し、本住居のほうが古い。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 4.00×3.60m、深さ21～34cmを測る。**面積** 11.5m²。**床面** 平坦でややしまりがある。**柱穴** P1～4は掘り込みもしっかりしており、主柱穴と考えられる。なお、P1はD-137の下から検出されている。 **炉跡** 明確な炉跡は検出されなかったが、P12の底面付近から焼土粒の検出があり炉跡の可能性が高いと考える。**遺物** 覆土中から多くの土器片を出土した。深鉢3個体(No.1・2・3)は1ヵ所からまとまって出土したものである。ほかに深鉢(No.5)を図示した。石器は、磨石が3点出土した。

J－3号住居跡

位置 X76、Y138・139グリッド。**形状** 一部攪乱を受けているが、楕円形を呈する。**規模** 推定で3.60×3.05m、深さ11～23cmを測る。**面積** 現存値で7.8m²。**床面** 堅い床面は検出されず、中央から北側にかけて緩やかに高くなる。**柱穴** P1は掘り込みも深くしっかりしているが、それ以外のものについては規模も小さく掘り込みも浅めである。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。石器は、打製石斧片4点・磨石1点・石皿片1点がある。ほかに台石や石柱状の大型石が床面付近から出土した。

J－4号住居跡

位置 X79・80、Y138・139グリッド。**形状** 攪乱がはなはだしいが、楕円形を呈すると思われる。**規模** 推定で5.50×5.15m、最大深で41cmを測る。**面積** 現存値で13.9m²。**床面** 段を持ち約30cmの高低差がある。P7・8付近に硬化面が見られる。**柱穴** P2・3・4は上段にあり比較的しっかりした掘り込みであった。遺物の出土がP3・4からあった。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器片の多くは覆土中から出土したが、みな小片である。勝坂系のものが多い。土製円盤1点出土。石器は、打製石斧20点・磨石2点・石皿片2点が出土した。

J－5号住居跡〔第15・19図、図版7〕

位置 X79・80、Y133・134グリッド。W-6と重複する。**形状** 西側の大部分が調査区外のため不明である。**規模** 検出値で4.85×1.45m、深さ30～38cmを測る。**面積** 検出値で5.0m²。**床面** 平坦だがしまりはあまりない。**柱穴** 2基検出されたが、いずれも小さく掘り込みの浅いものである。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 覆土中より多くの土器片を出土し、異形土器(No.2)と深鉢(No.4)を図示した。土製円盤1点出土。石器は、石鏃1点・打製石斧19点・磨石2点・くぼみ石2点・棒状石器1点が出土した。

J－6号住居跡〔第5・15・19図、図版1〕

位置 X70・71、Y141グリッド。台地縁辺部にあたる。本住居跡の東から南側にかけて土坑が群在し、D-789と重複する。**形状** やや歪んだ円形を呈する。**規模** 3.90×3.50m、深さ12～32cmを測る。**面積** 10.9m²。**床面** しまりはあまりなく、中央付近から北側にかけて緩やかに低くなる。**柱穴** 11基検出された。P1・5・8・10が主柱穴と

考えられ、またＰ６・７は出入口などの補助穴を想起させる。**炉跡** 中央やや北寄りに位置する。地床炉で、64×53cm、深さ５cmほどの浅い掘り込みを持つ。**遺物** 土器の出土量は少なく、深鉢を１個体(№１)図示した。石器は、打製石斧６点・削器１点・磨石３点・棒状石器片１点等が出土した。

Ｊ－７号住居跡

位置 Ｘ75・76、Ｙ142・143グリッド。周辺には土坑群があり、Ｄ-790・791と重複する。**形状** 北側が調査区外ではあるが、不整形を呈すると思われる。**規模** 検出値で2.80×2.15m、深さ17～20cmを測る。**面積** 検出値で6.1m²。**床面** 平坦だが、しまりはあまりない。**柱穴** Ｐ１・２が主柱穴の可能性が高い。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 勝坂系の土器片が数点出土した。

Ｊ－８号住居跡

位置 Ｘ75、Ｙ146・147グリッド。Ｈ－４、Ａ－１と重複するが、本住居跡はいずれの遺構より古い。**形状** 円形を呈すると思われる。**規模** 2.90×2.85m、深さ37～50cmを測る。**面積** 7.1m²。**床面** 平坦だが、しまりはあまりない。**柱穴** Ｐ１～６が規則性をもって検出されたが、掘り込みは浅い。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。阿玉台系の土器片がある。石器は、石錐１点・石棒１点・板状の結晶片岩１点が出土した。

Ｊ－９号住居跡〔第５・15図、図版１〕

位置 Ｘ81・82、Ｙ145・146グリッド。Ｈ－７、Ｄ-792と重複し、いずれの遺構より本住居跡は古い。**形状** 隅丸長方形を呈する。**規模** 5.10×4.25m、深さ21～32cmを測る。**面積** 18.0m²。**床面** 平坦で、比較的固くしまる。**柱穴** 10基検出した。Ｐ１・４・６・８・10は掘り込みも深いが、規則性が見られない。**炉跡** 中央部から検出。地床炉で、83×74cm、深さ５cm程の掘り込みを持つ。**遺物** 覆土中から多くの土器片を出土し、浅鉢(№１)と深鉢(№２)を図示した。石器は、打製石斧７点・磨石５点・石皿片２点・多孔石１点・石棒片１点・結晶片岩２点が出土した。

Ｊ－10号住居跡〔第６・15図、図版１〕

位置 Ｘ78・79、Ｙ152・153グリッド。Ｗ－１・２、Ｄ-793・794・795と重複し、本住居跡のほうが古い。**形状** Ｗ－１に大きく削られるが、不整形を呈すると思われる。**規模** 現存値で4.70×3.95m、深さ18～32cmを測る。**面積** 現存値で15.2m²。**床面** 平坦で炉跡周辺に硬化面がみられた。**柱穴** 掘り込みのしっかりしたものもあるが、規則性は見えない。**炉跡** 地床炉で、119×76cm、深さ４cmほどの掘り込みがある。**遺物** 覆土中から土器片を出土し、深鉢を１個体(№１)図示した。石器は、石鏃２点・打製石斧12点・磨石２点・石棒２点・結晶片岩２点が出土した。

Ｊ－11号住居跡〔第６・15・19図、図版２・７〕

位置 Ｘ67・68、Ｙ144・145グリッド。本住居は台地縁辺部に立地し古墳時代の住居跡Ｈ－１に大きく削られている。Ｄ-453・796・906・907と重複するが、新旧関係は不明である。**形状** 不整形を呈する。**規模** 検出値で6.00×5.00m、深さ20～25cmを測る。**面積** 現存値で18.7m²。**床面** 北側に向かって緩やかに低くなる。炉跡周辺を中心にやや固くしまっていた。**柱穴** 10基検出した。Ｐ２・３・７・９・10は掘り込みも深くしっかりしているが、規則性が見えない。**炉跡** 埋甕炉を検出。その東側に自然石が配置された状態で出土。**遺物** 土器の出土量は少ない。深鉢を１個体(№１)図示した。炉体土器は脆弱であるため図示しなかった。石器は、石鏃２点・打製石斧13点・磨製石斧１点・石槍１点が出土した。

Ｊ－12号住居跡〔第６・15・19図、図版２・６・７〕

位置 Ｘ64・65、Ｙ147・148グリッド。台地縁辺部に立地し、Ｄ-797・940と重複する。**形状** 不整形を呈する。**規模** 5.10×4.55m、深さ36～51cmを測る。**面積** 18.1m²。**床面** 平坦で比較的よくしまっており中央部が顕著である。**柱穴** Ｐ１～４が主柱穴と考えられる。Ｄ-797は、床面で確認し本住居跡に伴うものと考えるが、用途などは不明である。**炉跡** 中央部に80×43cm、深さ３cmほどの掘り込みを持つ地床炉を検出した。その東側に40×30cmの楕円形を呈する焼土範囲を検出。地床炉脇には石皿片が出土している。**遺物** 上層から床面にかけて土器片を比較的多

く出土し、深鉢を4個体(No.1・2・3・6)図示した。石器は、石鏃片1点・打製石斧17点・磨石1点・石皿片1点・棒状石器3点・結晶片岩3点が出土した。

J-13～16号住居跡　欠番

J-17号住居跡〔第7・15図、図版2・6・7〕
位置 X61・62、Y154・155グリッド。本住居跡の南東約5.5mにJ-18、南西約5.0mにJ-19が隣接し、D-998と重複する。**形状** 円形を呈する。**規模** 5.60×5.35m、深さ41～57cmを測る。**面積** 23.7m²。**床面** 中央部分に硬化面を検出した。**柱穴** 12基検出した。P1・2・4・5・6・12が主柱穴と考えられる。規則性があり、掘り込みもしっかりしている。**炉跡** 20×10cmの焼土範囲を検出した。**遺物** 上層から床面にかけて多くの土器片を出土し、覆土出土の耳栓(No.1)と床面付近から出土の深鉢(No.2)を図示した。石器は、石鏃1点・打製石斧20点・磨石1点が出土した。

J-18号住居跡〔第19図、図版7〕
位置 X63、Y156・157グリッド。本住居跡の北西約5.5mにJ-17、西約9.0mにJ-19があり、A-1、D-687と重複する。**形状** 不整形を呈する。**規模** 2.65×2.60m、深さ41～50cmを測る。**面積** 8.9m²。**床面** ほぼ平坦だがしまりに欠ける。**柱穴** 壁に沿って巡るが、大きさも深さもまちまちで規則性は見えない。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。石器は、打製石斧3点が出土した。

J-19号住居跡〔第7・15図〕
位置 X59・60・61、Y156・157・158グリッド。本住居跡の北東約5mにJ-17、東約9mにJ-18、南東約5.5mにJ-21がある。**形状** 西半分が調査区外であり北側に攪乱があるが、円形を呈すると思われる。**規模** 検出値で6.95×3.90m、深さ27～35cmを測る。**面積** 検出値で23.6m²。**床面** 焼土範囲を囲むようにしっかりした床面を検出した。**柱穴** 10基検出したが、規則性がなく判然としない。P1・6は掘り込みがしっかりしている。**炉跡** 36×35cmの焼土範囲を検出した。**遺物** 覆土中から多くの土器片を出土し、深鉢を1個体(No.1)図示した。石器は、石鏃3点・打製石斧11点・削器1点・磨石2点が出土した。

J-20号住居跡〔第15図〕
位置 X74・75、Y163・164グリッド。本住居の北西約4mにJ-22、西約2mにJ-24が隣接し、W-8、D-801・802に切られる。**形状** 隅丸長方形を呈する。**規模** 5.85×5.30m、深さ13～25cmを測る。**面積** 26.7m²。**床面** 緩やかに南に下がり中央付近に僅か硬化面が確認できた。**柱穴** 主柱穴は特定できないが、P1・2・3・6が掘り込みも深くしっかりしている。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 覆土中から土器片を出土し、深鉢(No.1)を図示した。石器は、打製石斧4点・磨石2点・石皿片4点・球形の石1点が出土した。

J-21号住居跡
位置 X61・62、Y159・160グリッド。本住居の北東約10mにJ-18、北西約5.5mにJ-19、南西約12.5mにJ-23があり、A-1に切られる。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 4.80×4.35m、深さ26～37cmを測る。**面積** 17.0m²。**床面** 平坦で中央部が固くしまっていた。**柱穴** P1・2は深さも規模も良好ではあるが、規則性がない。**炉跡** P5の北に焼土範囲を検出した。規模は24×12cm。**遺物** 土器片は主に上層から出土したが、深鉢(No.1)は床面付近からのものである。石器は、石鏃1点・打製石斧27点・磨石1点・石棒1点が出土した。

J-22号住居跡〔第19図、図版7〕
位置 X73・74、Y161・162グリッド。本住居の南東約4mにJ-20、南約5.5mにJ-24が隣接し、D-721と重複する。**形状** 隅丸方形を呈する。**規模** 3.20×3.05m、深さ23～43cmを測る。**面積** 8.1m²。**床面** 僅か中央部が低いが、ほぼ平坦と言える。**柱穴** 5基検出したが、規則性はない。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。

石器は、石錐１点・打製石斧19点・磨石１点・未加工の翡翠１点・板状の結晶片岩１点が出土した。

Ｊ-23号住居跡

位置 X58･59、Y162･163グリッド。A-１と重複し本住居が切られるが、影響は少ない。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 3.60×3.35m、深さ18～30cmを測る。**面積** 9.3m²。**床面** ほぼ平坦で、中央部は固くしまる。**柱穴** Ｐ１・３・６・９に規則性が見られるが、Ｐ９の掘り込みは浅い。**炉跡** 明確な炉は検出していないが、中央部に凹凸が見られ地床炉の可能性もある。**遺物** 土器の出土は少ない。石器は、打製石斧片２点・磨製石斧片１点・石皿片１点・結晶片岩１点が出土した。

Ｊ-24号住居跡

位置 X72･73･74、Y163･164グリッド。本住居の東約２mにＪ-20、北約5.5mにＪ-22が隣接し、D-814と重複する。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 4.70×4.15m、深さは残りの良いところで11cmを測る。**面積** 15.6m²。**床面** 平坦で中央部がわずかくぼむ。南壁から中央部にかけて固い床面が検出され、出入口を想起させる。**柱穴** Ｐ１～４を主柱穴とする。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。石器は、打製石斧片１点・石槍１点が出土した。

Ｊ-25号住居跡〔第７･15図、図版２〕

位置 X69、Y161･162グリッド。本住居の東約0.2mにＪ-26が隣接する。周辺には土坑が群在し、D-807と重複する。本住居は、D-807に切られる。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 3.20×2.95m、深さ19～28cmを測る。**面積** 7.6m²。**床面** 平坦で、炉周辺が固くしまる。**柱穴** ４基検出。配列も良好な主柱穴と考えられる。**炉跡** 中央部から埋甕炉を検出。**遺物** 土器の出土量は少ない。炉体土器の深鉢(No.１)を図示した。石器は、打製石斧４点･多孔石１点・結晶片岩１点が出土した。

Ｊ-26号住居跡〔第19図、図版７〕

位置 X69･70、Y161･162グリッド。本住居の西約0.2mにＪ-25が隣接し、D-746･765と重複する。**形状** 楕円形を呈する。**規模** 4.00×3.45m、深さは49～35cmを測る。**面積** 10.5m²。**床面** 平坦で中央部がわずかにくぼむ。**柱穴** １基のみ検出。**炉跡** 確認されなかった。**遺物** 土器の出土量は少ない。石器は、石鏃２点･打製石斧15点・棒状石器１点が出土した。

(2) 土　坑〔第８・９図、第２・３表、図版２〕

縄文時代の土坑は753基を検出し、多くの遺物を伴出している。その分布状況は、疎密がはっきり分かれる。平面形は、円形を呈するものが383基、楕円形324基、隅丸長方形１基、不整形45基である。断面形は、袋状を呈するものが179基、直下り142基、台形状262基、皿状147基、不整形23基である。また、その所属時期は、中期中葉に属するものがほとんどである。紙面と時間的な制約から一部の土坑についてのみの記載となるため、各土坑の計測値等を第２・３表にまとめた。

D-43号土坑　X83、Y137グリッド。Ｊ-２の南西約2.5mに位置する。北側には土坑が群在し、浅めのD-44を切る。平面形は円形を呈し、袋状の断面形状をもつ。遺物は、下層から顔料付着の自然石のほか、胴部下半の深鉢(No.２)を横位で、また鉢(No.１)も出土した。石器は、打製石斧・磨石・多孔石等が出土した。

D-61号土坑　X80･81、Y133グリッド。Ｊ-５の東約１mに位置する。W-６と重複し攪乱もみられたが、遺構への影響は浅いため少ない。平面形は隅丸長方形で断面形は直下りを呈し、他の土坑の平面形態とは様相を異にする。遺物はほとんどなく、黒曜石片が底面から出土した。

D-93号土坑　X84、Y136グリッド。Ｊ-２の北約１mに位置する。平面形は不整形を呈し、断面形は掘り込みの深い袋状である。遺物は、中層から倒位で深鉢胴部下半、下層から赤色塗彩された鉢(No.１)を出土。石器は、打製石斧６点・磨石２点が出土した。

D-114号土坑　X87、Y136グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は不整形を呈し、断面形も不整形を呈し浅い。遺物は、潰れた状態で深鉢(No.1)が横位で出土した。石器は、磨石が1点出土した。

D-122号土坑　X87・88、Y137・138グリッド。一部攪乱を受ける。楕円形の平面形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は、覆土下層から自然石とともに深鉢胴部下半(No.1)を横位で出土した。石器はない。

D-135号土坑　X80、Y137グリッド。周辺には土坑が群在しD-31と重複する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。底面は、ややすり鉢状を呈す。深鉢(No.1)は、中層から斜位で出土した。石器は、石鏃が1点・打製石斧2点が出土した。

D-139号土坑　X84、Y137グリッド。J-2と重複する。新旧関係は、本土坑のほうがJ-2より新しい。また周辺には土坑が群在する。平面形はほぼ円形で、断面形は台形状を呈す。鉢(No.1)、深鉢(No.2・3)は、J-2の床面より高い位置から破片で出土している。石器は、打製石斧が1点出土した。

D-142号土坑　X82、Y134グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。底面はすり鉢状。遺物は、深鉢口縁部(No.1)が磨石や角礫と共に下層から破片で出土した。

D-144号土坑　X84・85、Y136グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形はほぼ円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、自然石のほか中層から深鉢(No.1)が正位で出土している。石器は、打製石斧・磨石等が出土した。

D-145号土坑　X85・86、Y138・139グリッド。周辺の土坑はまばらであった。平面形はほぼ円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は少ない。ミニチュア土器(No.1)は、上層から出土した。石器はない。

D-150号土坑　X83、Y139グリッド。一部攪乱を受ける。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、深鉢(No.1)が下層から横位で出土。石器は、打製石斧・磨石・棒状石器等が出土した。

D-151号土坑　X71、Y140・141グリッド。J-6の北側に接するように位置する。周辺に土坑は見あたらない。平面形は楕円形を呈し、南北に長軸を持つ。断面形は台形状を呈す。遺物は、石器類が主体を占め、打製石斧2点・磨石3点・石皿1点(No.1)・棒状石器1点・玦状耳飾片(No.2)等が自然石と共に出土した。

D-152号土坑　X71、Y142グリッド。J-6の南約1.5mに位置する。南側には土坑が群在する。平面形は円形で、断面形は台形状を呈し浅い。遺物は、深鉢上半(No.1)が破片で出土した。石器は、打製石斧2点が出土した。

D-170号土坑　X74、Y142・143グリッド。J-7の西約7mに位置する。平面形は楕円形で、断面形は皿状を呈し浅い。遺物は、深鉢(No.1)が上層から横位で出土した。

D-175号土坑　X74、Y143・144グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。遺物は、上層から破片の状態の深鉢(No.1)、中層から深鉢底部(No.2)を出土。石器は打製石斧・磨石が出土した。

D-191号土坑　X72、Y143グリッド。J-6の南東約6mに位置する。周辺には土坑が群在。平面形は楕円形を呈し、断面形は皿状を呈す。遺物は、完形の深鉢(No.1)が底面付近から出土した。石器は、打製石斧2点・磨石1点が出土した。

D-224号土坑　X76・77、Y144・145グリッド。A-1と重複する。周辺には土坑が散在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、ほぼ完形の深鉢(No.1)が底面付近から横位で出土した。

D-225号土坑　X77、Y145グリッド。D-224の南東約1.5mに位置する。平面形は円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、ほぼ完形の無文の深鉢(No.1)が中層から横位で出土した。石器は、打製石斧2点が出土した。

D-275号土坑　X67、Y145・146グリッド。J-11の南約1mに位置する。周辺には土坑が群在し、D-276と重複する。平面形は楕円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、土製品(No.1)等があるが石器が主体を占め、石鏃・打製石斧等を出土した。礫102個出土。

D-281号土坑　X68・69、Y146グリッド。周辺には土坑が群在しD-458と重複する。平面形は円形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は少ない。深鉢胴部下半(No.1)が横位で出土した。石器は磨石1点が出土した。

D-335・336号土坑　X73、Y151グリッド。周辺の土坑の分布は、散在傾向にある。重複土坑であるが、新旧関係は不明である。D-335の平面形は円形を呈し、断面形は一部袋状を呈す。遺物は、深鉢胴部下半(No.1)が出土した。D-336の平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、ほぼ完形の深鉢(No.1)が出土した。

D-366号土坑　X68、Y146グリッド。周辺には土坑が群在する。D-278・454と重複するが重複状態は判然としない。平面形は円形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は、ほぼ完形の深鉢(No.1)が中層から横位で出土した。

石器はない。

D-465号土坑　X65、Y149グリッド。J-12の南東約4.5mに位置する。重複土坑で、D-464に切られる。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。遺物は少ない。深鉢底部下半(No.1)は、底面から横位で出土した。石器は、打製石斧・棒状石器を出土した。

D-512号土坑　X63、Y155グリッド。J-17の東約3.5mに位置する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、中層から深鉢(No.1・2)が破片で出土した。石器はない。

D-523号土坑　X70、Y143グリッド。J-17の南約5mに位置する。平面形は円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、下層から深鉢胴部下半(No.1)を斜位で出土した。石器はない。

D-554号土坑　X70、Y155・156グリッド。周辺の土坑はまばらである。平面形は不整形を呈し、断面形も不整形を呈す。遺物は、深鉢(No.1・2)を出土した。石器は、打製石斧・磨石等が出土した。礫は186個出土。

D-623号土坑　X65、Y153グリッド。周辺には土坑が群在する。重複土坑でD-627を切るが、D-493との新旧関係は不明である。平面形は円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、中層から浅鉢片(No.1)、下層から深鉢底部(No.2)が出土した。石器は多く、打製石斧5点・磨石1点・棒状石器2点が出土した。

D-628号土坑　X66、Y155・156グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈し浅い。遺物は土器片を多量に出土し、深鉢片(No.1・2)が復元できた。石器はない。

D-635号土坑　X66、Y160グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、中層から深鉢口縁部片(No.2)、下層からほぼ完形の鉢(No.1)が斜位で出土した。石器は、石鏃1点・打製石斧3点が出土した。

D-661号土坑　X68、Y165・166グリッド。他の土坑とやや距離を置く位置にある。平面形は楕円形を呈し、断面形は袋状を呈し径の割には深さがある。遺物は、底面付近から半完形の深鉢2個体(No.1・3)とほぼ完形の浅鉢(No.2)が出土した。

D-678号土坑　X61・62、Y156グリッド。J-17の南東約1mに位置する。平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈す。土器片は少なく、大型の自然石と共に磨石・敲石・多孔石等が出土した。

D-688号土坑　X70、Y160・161グリッド。D-637と重複する。新旧関係は不明。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、土器片が中層から多量に出土し、半完形の深鉢(No.1・2・3・4)が復元できた。石器は、磨石が2点出土した。

D-689号土坑　X63・64、Y157グリッド。周辺には土坑が群在する。D-669・670・711と重複するが新旧関係は不明である。平面形は不整形を呈し、断面形も不整形を呈す。遺物は、石柱状の石と共に土器片を多量に出土し、半完形の深鉢(No.1・2)が復元できた。

D-725号土坑　X65・66、Y164・165グリッド。D-736と重複し、本土坑が切られる。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は、大型の自然石と共に深鉢(No.1)が出土した。

D-739号土坑　X66、Y160グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、下層から焼町系の深鉢(No.2)が潰れた状態で出土し、ほぼ完形に復元できた。また深鉢口縁部片(No.1)も出土。石器は、多孔石が出土した。

D-754号土坑　X62、Y161グリッド。J-21の南東約5.5mに位置し、同形態の土坑が隣接する。平面形は円形を呈し、断面形は一部袋状を呈す。遺物は、舟形状の異形土器(No.1)や打製石斧が出土した。礫は227個を数える。

D-780号土坑　X68、Y162・163グリッド。J-25の南西約4.5mに位置する。平面形は不整形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は、大型の自然石下からほぼ完形の深鉢(No.1)が出土した。石器は、石鏃・打製石斧・削器・棒状石器が出土した。

D-793号土坑　X78、Y152・153グリッド。J-10を切る。平面形は楕円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、深鉢胴部下半(No.1)が出土し、礫221個出土。

D-807号土坑　X69、Y162グリッド。J-25を切る。平面形は円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、下層からほぼ完形の小型深鉢(No.1)が斜位で出土した。石器は、打製石斧が4点出土した。

D-809号土坑　X69、Y163グリッド。J-25の南約3.5mに位置する。周辺には土坑が散在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、北壁に寄りかかるように勝坂系の深鉢(No.1)が出土した。石器は、

石皿片が出土した。

D-812号土坑　X65、Y160・161グリッド。D-749と重複し、周辺には土坑が散在する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、南壁際下層からほぼ完形の浅鉢(No.1)と半完形の深鉢(No.2)を出土した。石器は磨石を1点出土し、礫も90個出土した。

D-819号土坑　X64・65、Y159グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形状を呈す。遺物は、完形の深鉢(No.1)が斜位で出土した。石器は、削器が出土した。

D-841号土坑　X71、Y156・157グリッド。D-842と僅かに重複する。周辺には土坑が少ない。平面形は楕円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、深鉢2個体(No.2・3)と大型浅鉢片(No.1)が共伴している。

D-930号土坑　X66、Y147グリッド。周辺には土坑が群在する。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。遺物は、深鉢胴部(No.1)と浅鉢片(No.2)が出土した。

D-931号土坑　X66、Y146グリッド。J-11と12の中間に位置する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、こぶし大の円礫・角礫の直下から半完形深鉢(No.1)を出土した。石器は、円礫・角礫と共に磨石が3点・石皿片1点が出土した。

D-950号土坑　X67、Y149グリッド。J-12の南東約9mに位置する。平面形は円形を呈し、断面形は皿状を呈す。遺物は、ほぼ完形の深鉢(No.1)が潰れた状態で出土した。

D-979号土坑　X64・65、Y151グリッド。周辺には土坑が群在。平面形は円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、大型浅鉢(No.1)が底面付近から破片で出土した。

D-984号土坑　X64・65、Y150グリッド。J-12の南約8.5mに位置する。周辺には土坑が群在する。平面形は円形を呈し、断面形は袋状を呈す。遺物は、北陸系の大型深鉢(No.1)が底面付近から大きな破片で出土し、完形に復元できた。石器は、打製石斧5点・磨石1点が出土した。

D-1015号土坑　X65、Y156・157グリッド。J-18の東約5.5mに位置し、周辺には土坑が群在している。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。遺物は、突起部を欠損しているがほぼ完形の深鉢(No.1)が斜位で出土した。石器はない。

D-1072号土坑　X65、Y160グリッド。H-14カマドの真下から検出されたものである。平面形は楕円形を呈し、断面形は台形を呈す。遺物は、半完形の深鉢(No.1)を横位で出土した。石器は磨石が1点出土した。

D-1077号土坑　X78、Y155グリッド。J-10の南約8.5mに位置する。平面形は楕円形を呈し、断面形は直下りを呈す。遺物は、半完形の深鉢(No.1)を斜位で出土した。石器は、打製石斧等が出土した。

(3) 遺　物

土　器〔第15～18図、第4表、図版6・7〕

当遺跡からは、多量の土器が出土している。その所属時期は前期から中期にわたるが、大半は中期中葉に属するものである。これらの土器をIII群に大別した。(II群は、概ね房谷戸遺跡Iに準拠して分類した。)

I群　前期に属する土器。

II群　中期中葉に属する土器。

a：南関東系の土器。(1：勝坂系　2：阿玉台系)

b：在地系の深鉢土器。(1：三原田式　2：焼町系　3：1・2以外のもの)

c：北陸地方及び東北地方南部の影響を受けたと思われる土器。(1：火焔系　2：大木系)

d：無文及び縄文のみ施文される深鉢形土器。(1：無文　2：縄文施文)

e：深鉢以外の器形の土器。(1：中型以下の浅鉢　2：大型の浅鉢　3：鉢)

III群　中期後半に属する土器。(加曽利E式)

石　器〔第19図、第5表、図版7〕

出土した石器類は多量であるが紙面の制約から、石鏃12点・石錐3点・石匙2点・打製石斧13点・磨製石斧4点・削器1点・磨石7点・石皿8点・多孔石1点・棒状石器6点・石槍3点・その他5点の計65点を観察表に掲載した。なお、磨石のうち凹石兼用のものが3点、石皿のうち多孔石兼用のものが5点ある。

第２表　縄文土坑計測表

平面形状は円形・楕円形・隅丸長方形・不整形に分類し、断面形状は袋状・直下り・台形状・皿状・不整形に分類した。規模の（　）は推定値、［　］は実測値を表す。遺物の■は、観察表に記載されている土器で、数値は個体数を表す。★は、土器片が出土したことを、多量は100点以上出土したことを表す。●は自然石等の大型の石が出土したことを表し、数値は個数を表す。▼は石器が出土したことを表し、数値はその個数で第３表縄文土坑別石器出土表と一致する。◆は礫が20個以上出土したことを示す。

土坑番号	遺構位置（グリッド）	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
1	X82, Y133	(円　形)	袋　状	115	(115)	68		★		▼1	◆190	D-55と重複
2	X83, Y133・134	楕円形	台　形	81	68	27					2	
3	X83, Y134	円　形	台　形	50	48	18						
4	X83, Y134・135	円　形	台　形	108	105	28			●1		1	
5	X83, Y135	楕円形	台　形	70	60	24		★				
6	X83, Y135	円　形	袋　状	105	105	54		★				
7	X82, Y135	円　形	皿　状	126	126	21						
8	X82, Y135・136	(楕円形)	(台形)	(105)	78	29						D-9と重複
9	X82, Y135	楕円形	台　形	151	136	20		★			4	D-8・62と重複
10	X82, Y135	(円　形)	台　形	58	(56)	20		★			2	D-62と重複
11	X82, Y134	楕円形	台　形	98	84	16						
12	X82, Y134・135	(楕円形)	台　形	105	(96)	11						D-13と重複
13	X81・82, Y134	(楕円形)	(台形)	(116)	110	25						D-12・14と重複
14	X81, Y134	(楕円形)	(台形)	(122)	(88)	64				▼1		D-13と重複
15	X79, Y137	(楕円形)	(台形)	［185］	［118］	18		★多量		▼1	◆49	D-91と重複
16	X81, Y134	楕円形	台　形	60	47	56						
17	X81, Y134	楕円形	台　形	230	181	33		★		▼4	8	D-18と重複
18	X81, Y134	円　形	台　形	134	131	17						D-17と重複
19	X81・82, Y135	円　形	台　形	156	150	14～39						
20	X79, Y135	ほぼ円形	皿　状	78	74	11						底面２段
21	X78, Y136	ほぼ円形	袋　状	125	124	95		★		▼2	◆35	
22	X79, Y136	楕円形	皿　状	115	103	60						
23	X79, Y136	楕円形	台　形	94	82	26						
24	X80, Y136	ほぼ円形	台　形	65	61	17						
25	X80, Y136	楕円形	皿　状	77	69	22～43						底面２段
26	X80, Y136	楕円形	台　形	85	75	34～63						底面２段
27	X81, Y136	楕円形	皿　状	135	110	14～39			●1			一部攪乱
28	X80・81, Y137	楕円形	皿　状	138	114	42		★	●1	▼4		一部攪乱
29	X80, Y137	楕円形	台　形	102	89	16						
30	X80, Y137	楕円形	(皿状)	70	64	15		★				D-31・135と重複
31	X80, Y137	楕円形	台　形	112	(106)	24	■1	★				D-30・32・135と重複
32	X80, Y137	楕円形	直下り	(122)	108	58		★	●1	▼1	◆47	D-31と重複
33	X79・80, Y136	ほぼ円形	台　形	89	84	24		★				
34	X78, Y136・137	楕円形	袋　状	127	113	87		★多量	●1	▼6	◆59	
35	X79, Y137	楕円形	台　形	61	48	16						
36	X78, Y137	円　形	袋　状	116	116	66		★	●1	▼3	◆45	
37	X76, Y138	円　形	台　形	43	40	23						J-3と重複
38	X77, Y139	楕円形	台　形	105	96	34	■1	★	●1	▼3		
39	X77, Y139	(楕円形)	台　形	［180］	［64］	22		★				一部調査区外
40	X78, Y140	(楕円形)	台　形	［80］	［42］	20		★				一部調査区外
41	X78, Y139・140	ほぼ円形	台　形	101	91	33		★		▼1	◆37	
42	X79・80, Y140	楕円形	台　形	120	96	17		★		▼1	19	一部攪乱
43	X83, Y137	円　形	袋　状	92	25	67	■2	★	●1	▼5		D-44と重複
44	X83, Y137	(円　形)	袋　状	(60)	59	16						D-43と重複
45	X82, Y136	楕円形	袋　状	98	92	52		★		▼2	◆39	
46	X83, Y136	円　形	袋　状	117	116	49		★		▼5	◆57	一部攪乱
47	X83, Y136	円　形	袋　状	103	102	49		★		▼1	◆53	
48	X83, Y135・136	円　形	袋　状	100	98	35		★		▼1	◆25	D-49と重複
49	X83, Y135・136	円　形	袋　状	98	(98)	58		★		▼2	◆249	D-48と重複
50	X83, Y135	楕円形	台　形	84	76	16						
51	X83, Y135	楕円形	台　形	48	40	15						
52	X84, Y135	楕円形	台　形	(47)	(38)	15						
53	X84, Y135	不整形	台　形	(30)	(25)	29						
54	X83・84, Y135・136	楕円形	皿　状	102	85	15						
55	X82, Y133	(楕円形)	(台形)	(100)	(90)	(42)		★				D-1と重複
57	X81, Y133	円　形	台　形	68	63	12						
58	X81, Y133	楕円形	台　形	72	65	20						
59	X81, Y133	ほぼ円形	台　形	63	58	27						
60	X81, Y133	円　形	台　形	67	66	23						
61	X80・81, Y133	隅丸長方形	直下り	150	108	70		★			◆23	W-6と重複
62	X82, Y135	楕円形	台　形	75	45	36						D-9・10と重複
63	X80, Y134	楕円形	台　形	59	45	17						
64	X79, Y134・135	楕円形	皿　状	73	60	11						
65	X79, Y135	楕円形	台　形	32	28	15						
66	X79, Y135	ほぼ円形	台　形	41	39	23						
67	X79, Y135	楕円形	皿　状	41	35	14				▼1		
71	X78, Y135	(円　形)	皿　状	63	(63)	13						一部調査区外
72	X78, Y136	ほぼ円形	台　形	53	49	21						
73	X77, Y136	不整形	台　形	38	36	15		★				D-74と重複
74	X77, Y136	楕円形	台　形	78	53	3～14						D-73と重複
75	X77, Y137	ほぼ円形	直下り	52	49	11～24						底面２段
76	X76・77, Y137	ほぼ円形	皿　状	53	50	10						
77	X76, Y137	楕円形	皿　状	48	40	6						
78	X76・77, Y137	円　形	直下り	60	60	12					2	
79	X76, Y137	楕円形	皿　状	75	57	10						
80	X76, Y137	ほぼ円形	皿　状	40	38	10						
81	X76, Y137	ほぼ円形	皿　状	52	48	8						
85	X82, Y137	楕円形	台　形	102	88	36	■1	★		▼1	18	
86	X84, Y139	楕円形	台　形	93	81	42		★		▼1		
87	X85, Y136	円　形	袋　状	95	93	50		★		▼4		W-2と重複
88	X85, Y136	楕円形	袋　状	93	78	40～55		★		▼1		W-2と重複
89	X85, Y135・136	楕円形	袋　状	91	80	79		★	●1	▼6	◆30	
90	X85・86, Y135	ほぼ円形	袋　状	101	96	84		★		▼1	◆39	
91	X79, Y137	不整形	台　形	155	146	79		★			◆23	D-15と重複
92	X85, Y135・136	ほぼ円形	台　形	93	88	22～50			●1			
93	X84, Y136	不整形	袋　状	128	107	92	■1	★	●1	▼8	◆32	
94	X84, Y136	円　形	台　形	(118)	113	27		★		▼1	11	D-140と重複
95	X87, Y135	円　形	台　形	94	94	26						
96	X86, Y135・136	不整形	袋　状	133	95	52		★		▼2	◆236	
97	X86, Y136	楕円形	台　形	125	93	41						D-98と重複
98	X86, Y136	楕円形	台　形	140	124	57		★		▼9	◆20	D-97と重複
99	X85・86, Y136	(楕円形)	(台形)	106	［50］	61		★		▼1	◆71	D-100と重複
100	X85・86, Y136・137	(楕円形)	(台形)	125	(105)	67		★				D-99と重複
101	X86, Y137	円　形	袋　状	114	114	83		★			8	W-1と重複
102	X86, Y136	ほぼ円形	台　形	103	98	37		★			7	
103	X86, Y136	ほぼ円形	台　形	91	83	31				▼1		
104	X86, Y136	楕円形	袋　状	113	101	68		★	●1	▼1		D-105と重複
105	X86・87, Y136	(楕円形)	(台形)	(100)	85	18						D-104・106・118と重複
106	X86・87, Y135・136	(楕円形)	不整形	(120)	98	59		★		▼1		D-105・118と重複
107	X87, Y135・136	円　形	台　形	115	110	18						
108	X87, Y135・136	楕円形	皿　状	46	39	11						ピット状
109	X87, Y136	ほぼ円形	直下り	38	32	25						ピット状
110	X87, Y136	不整形	不整形	89	62	24～51			●1			ピット状
111	X85, Y137	円　形	袋　状	112	104	74		★			2	W-2と重複
112	X87, Y136	円　形	台　形	106	101	34		★		▼1	5	
113	X86, Y136	楕円形	台　形	83	71	25				▼1		
114	X87, Y136	不整形	不整形	128	63	15～45	■1	★	●1	▼1		
115	X87・88, Y136	(楕円形)	皿　状	［47］	(60)	(11)						一部攪乱
116	X88, Y136	ほぼ円形	台　形	75	63	32						
117	X88, Y137	ほぼ円形	台　形	93	87	28				▼1	◆30	
118	X86・87, Y136	(楕円形)	(台形)	［50］	［34］	55						D-105・106と重複
119	X87, Y137	(楕円形)	台　形	93	(80)	24		★			8	一部攪乱
120	X86, Y137	楕円形	袋　状	103	(85)	71						一部攪乱
121	X86・87, Y137・138	楕円形	台　形	133	(108)	69						一部攪乱
122	X87・88, Y137・138	楕円形	台　形	112	(103)	71	■1	★	●1		◆24	一部攪乱
125	X87, Y138	ほぼ円形	台　形	91	82	32		★		▼2	2	
126	X86・87, Y138	(楕円形)	直下り	110	104	48					1	D-136と重複
127	X85・86, Y138	円　形	台　形	103	99	63		★	●1	▼1	6	

土坑番号	遺構位置（グリッド）	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
128	X85・86, Y139	ほぼ円形	袋状	132	125	92	■1	★	●1	▼8	◆167	W-4と重複
130	X84, Y142	(不整形)	不整形	178	(135)	72		★	●1	▼2	◆34	D-129と重複
131	X84・85, Y142	不整形	台形	(161)	97	64		★		▼1		D-132と重複
133	X84, Y142・143	(楕円形)	台形	[60]	83	27						一部調査区外
134	X83, Y137	楕円形	袋状	128	110	82		★		▼1	◆83	W-5と重複
135	X80, Y137	円形	袋状	100	(95)	74	■1	★		▼3	◆36	D-31と重複
136	X86, Y138	(楕円形)	直下り	[160]	127	72		★			4	W-4・D-126と重複
137	X84, Y136	円形	台形	96	95	18		★	●1	▼1	9	J-2と重複
138	X84, Y136・137	楕円形	直下り	(127)	110	75		★	●1	▼3		J-2と重複
139	X84, Y137	(ほぼ円形)	台形	(113)	(103)	59	■3	★	●1	▼1	18	J-2と重複
140	X84, Y136	楕円形	台形	116	(94)	36					19	D-94と重複
141	X82, Y134	楕円形	台形	100	90	32					6	
142	X82, Y134	楕円形	台形	103	96	38	■1		●1	▼1		
143	X81・82, Y137	楕円形	台形	91	70	31～62		★	●1	▼1		
144	X84・85, Y136	ほぼ円形	袋状	115	107	40	■1	★	●1	▼3	17	W-3と重複
145	X85・86, Y138・139	ほぼ円形	直下り	78	70	34	■1	★	●1			
146	X86, Y139	ほぼ円形	直下り	71	68	32		★			4	
147	X86, Y139・140	楕円形	直下り	91	76	58		★		▼1		
148	X83, Y138	楕円形	直下り	77	55	62		★			8	ピット状
149	X82, Y136	楕円形	台形	41	36	37					1	ピット状
150	X83, Y139	円形	袋状	110	107	82	■1	★		▼7	◆125	一部攪乱
151	X71, Y140・141	楕円形	台形	145	115	41		★		▼6		
152	X71, Y142	円形	台形	130	124	33	■1	★		▼2		
154	X71, Y142	楕円形	袋状	118	94	58		★		▼3	5	
155	X71, Y142・143	円形	直下り	95	82	72		★	●2		3	
156	X71, Y143	円形	袋状	123	(115)	93		★		▼4	◆26	D-213・896と重複 小穴2
157	X71・72, Y142・143	楕円形	台形	196	140	76		★	●2		5	
158	X72, Y141・142	楕円形	袋状	118	101	46～71						
159	X72・73, Y141	円形	袋状	96	91	56						
160	X72, Y142	円形	袋状	100	93	70		★		▼1	◆60	
162	X72, Y142	楕円形	直下り	83	(72)	31		★				D-163と重複
163	X72, Y142	楕円形	直下り	159	110	37～44		★	●2	▼6	◆28	D-162と重複 小穴2
164	X73・74, Y141・142	楕円形	直下り	107	84	89		★		▼2		
165	X73, Y142	楕円形	台形	115	100	50				▼1		
166	X73, Y142	円形	袋状	97	96	85		★	●1			
167	X73, Y143	円形	袋状	108	107	41		★				D-890と重複
168	X73, Y143	楕円形	袋状	159	127	44		★		▼3	10	
169	X73・74, Y142・143	円形	直下り	114	110	60		★		▼2	◆70	
170	X74, Y142・143	楕円形	皿状	117	102	48	■1	★			3	焼土あり
171	X74, Y143	不整形	台形	77	64	27～42		★				D-172と重複
172	X74, Y143	円形	皿状	56	49	23～35		★				D-171と重複
173	X74, Y143	不整形	直下り	95	94	57		★		▼1		
174	X75, Y143・144	円形	台形	124	115	52		★		▼2	13	焼石片2 一部袋状
175	X74, Y143・144	楕円形	台形	168	115	43	■2	★		▼4	5	焼石片3 一部袋状
176	X74, Y144	円形	台形	97	94	41～55		★		▼1	15	
177	X75・76, Y143	楕円形	直下り	135	113	57		★		▼1		
180	X75・76, Y143・144	楕円形	台形	149	121	72		★		▼1		
182	X75, Y144・145	楕円形	一部袋状	144	125	61		★多量		▼5	◆28	P-24と重複
183	X74, Y144・145	楕円形	袋状	112	90	59					3	P-23と重複
184	X74, Y144	楕円形	皿状	142	124	30		★		▼2	9	D-885と重複
186	X74, Y145	円形	台形	120	110	39		★			5	
188	X73, Y144	楕円形	袋状	193	175	70		★		▼4	◆38	D-880・882と重複
191	X72, Y143	楕円形	皿状	129	110	55	■1	★		▼3	1	
192	X72, Y143	楕円形	皿状	132	86	25		★			◆35	焼石8
194	X72, Y144	円形	一部袋状	141	131	64		★		▼1	9	
195	X72, Y145	楕円形	台形	165	140	10～62		★		▼2	◆24	D-877と重複
196	X71・72, Y144・145	楕円形	一部袋状	220	181	31～75		★多量		▼2	11	
198	X71, Y145	円形	台形	100	94	38	■1	★			5	D-197と重複
199	X70, Y144・145	円形	袋状	(132)	130	74		★			7	焼石4 D-233と重複
201	X69, Y142	円形	台形	130	126	21		★	●2	▼1	3	集石土坑
205	X76, Y145	楕円形	直下り	127	110	46		★			6	A-1と重複
212	X78, Y143・144	円形	袋状	131	130	59					8	
213	X71・72, Y143	(楕円形)	台形	(143)	(90)	49						D-156と重複
214	X78・79, Y143・144	円形	台形	110	104	31～100		★				

土坑番号	遺構位置（グリッド）	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
216	X79, Y144	円形	袋状	107	101	78		★		▼2	1	
217	X80, Y144	楕円形	台形	(150)	84	31		★		▼1	◆31	一部調査区外
222	X78・79, Y145・146	不整形	台形	271	207	36		★		▼1	◆28	
224	X76・77, Y144・145	楕円形	直下り	107	90	42	■1					
225	X77, Y145	円形	直下り	105	104	46	■1	★多量		▼2	◆41	
231	X78, Y146・147	ほぼ円形	台形	153	143	38				▼1	11	焼石1
232	X82, Y147	円形	一部袋状	67	67	53						
237	X83, Y147	円形	直下り	100	95	47		★				
238	X82, Y150	円形	一部袋状	112	(110)	84		★多量			◆27	一部調査区外
240	X82・83, Y147・148	楕円形	台形	136	124	44		★				D-1039と重複
245	X81, Y147	楕円形	台形	124	94	72						
246	X79, Y147	楕円形	台形	87	75	50						W-1・2と重複
250	X79, Y148	円形	直下り	120	106	59		★		▼1		W-1・2と重複
257	X79・80, Y150	不整形	直下り	114	99	46		★		▼1	7	
262	X79, Y150・151	楕円形	台形	132	106	58		★				W-1・2と重複
265	X81, Y152	(楕円形)	皿状	248	(185)	28～51		★		▼1		一部調査区外
266	X81, Y152	楕円形	台形	158	121	55						
270	X79, Y152	(円形)	台形	109	[101]	31		★				D-243と重複
274	X67・68, Y145	(円形)	皿状	129	(125)	34		★		▼1	3	D-453と重複
275	X67, Y145・146	楕円形	袋状	149	127	79	■1	★	●1	▼6	◆102	D-276と重複
276	X67, Y145・146	円形	皿状	(185)	(174)	29		★		▼1	1	D-275と重複 小穴多
277	X67・68, Y145・146	楕円形	一部袋状	166	145	40～67	■1	★		▼1	7	D-454と重複
279	X68, Y145	(楕円形)	皿状	(167)	(107)	32		★		▼1	1	D-455・456と重複
280	X68, Y145・146	(楕円形)	皿状	(112)	(55)	22		★		▼2		D-456・457と重複
281	X68・69, Y146	円形	台形	135	134	40	■1	★		▼1	◆29	D-458と重複
282	X68, Y146	不整形	皿状	159	145	29		★		▼3		D-452と重複
283	X67・68, Y146・147	不整形	台形	183	113	60		★			13	D-284・915と重複
284	X67・68, Y146・147	不整形	一部袋状	(148)	120	52		★	●2			D-283と重複
285	X67・68, Y147	円形	袋状	(122)	(108)	70		★		▼3		D-451と重複
286	X67・68, Y147	不整形	台形	(143)	118	65		★			8	D-451・927と重複
288	X68, Y147	円形	直下り	(113)	105	112		★		▼4	10	D-460と重複
289	X69, Y146	円形	台形	99	93	45		★			8	
290	X69・70, Y146	楕円形	皿状	101	93	34						D-902と重複
291	X69, Y146・147	楕円形	皿状	133	95	35		★				
295	X69, Y147・148	不整形	台形	(131)	(129)	30					9	D-294・459・916と重複
297	X68・69, Y145	不整形	台形	120	105	39		★		▼1	◆36	T-1, D-904・905と重複
298	X68・69, Y144	円形	袋状	(95)	(78)	65		★		▼1	11	D-461と重複
299	X69, Y145	楕円形	直下り	112	101	49				▼1		
300	X69・70, Y144・145	楕円形	一部袋状	136	117	82		★		▼2	◆31	
301	X70, Y144・145	円形	一部袋状	113	104	60		★		▼2	◆26	
305	X70・71, Y145・146	ほぼ円形	皿状	156	126	27		★				D-304と重複
306	X71, Y146	楕円形	台形	92	58	31						
308	X72, Y147	円形	台形	172	167	82					3	
311	X71, Y148	楕円形	台形	52	46	29		★				ピット状
313	X70, Y148	楕円形	皿状	156	119	29			●1	▼1		
314	X70, Y149	楕円形	皿状	102	70	17						
329	X77・78, Y149	楕円形	一部袋状	168	133	96		★	●4		◆62	
334	X73, Y150・151	円形	直下り	111	109	31					2	
335	X73, Y151	円形	一部袋状	104	99	57	■1	★				D-336と重複
336	X73, Y151	楕円形	直下り	130	116	45	■1	★	●2			D-335と重複
337	X73, Y151	楕円形	台形	90	80	28		★			◆31	礫の内焼石18個
338	X73, Y151	楕円形	皿状	122	105	21～30		★		▼1		
348	X75, Y151	楕円形	台形	110	96	48		★				
349	X77, Y150	円形	袋状	96	94	73		★	●1			
350	X77, Y150	楕円形	直下り	149	135	66		★			◆25	
353	X75・76, Y153	円形	直下り	117	117	44		★				
360	X65, Y146	不整形	一部袋状	158	117	83		★		▼2	18	W-7と重複
365	X66, Y148	不整形	直下り	105	96	92		★			18	
366	X68, Y146	円形	台形	(103)	(82)	29	■1	★			◆43	D-278・454と重複
368	X74・75, Y145	円形	袋状	106	102	67						
369	X76, Y145・146	円形	台形	120	117	31		★		▼2	10	A-1と重複
370	X75・76, Y146	楕円形	直下り	118	107	31		★			5	
372	X76, Y146	楕円形	袋状	111	107	57		★				
381	X66・67, Y146	楕円形	直下り	139	122	55		★		▼3	17	D-380と重複

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
382	X66, Y147	(円形)	台形	112	(110)	45		★		▼3	4	D-504と重複
383	X66, Y148	不整形	一部袋状	(98)	(95)	82		★	●1	▼2	12	
384	X67, Y148	不整形	袋状	174	115	89		★	●1	▼15	◆39	
385	X68, Y148	円形	一部袋状	122	111	80					16	
401	X70, Y147・148	楕円形	皿状	141	116	23		★		▼2		
402	X69, Y148・149	不整形	不整形	221	130	86		★		▼1	6	
404	X69, Y149	円形	台形	116	115	37		★				
406	X68, Y150	楕円形	直下り	120	112	48		★		▼1	2	
409	X68, Y151	楕円形	台形	127	117	39		★			2	
411	X68, Y151・152	ほぼ円形	台形	92	85	41		★				
412	X67, Y147	円形	袋状	(130)	(122)	65		★		▼6	8	D-927と重複
417	X71, Y151・152	楕円形	台形	145	120	43		★	●2	▼1	◆54	D-420と重複
421	X77, Y151	楕円形	一部袋状	112	71	68					14	W-8と重複
422	X77, Y153	円形	台形	143	134	49		★			18	W-1・2内
425	X78, Y154	楕円形	台形	135	108	22				▼1		
426	X79, Y154	楕円形	台形	101	83	35		★		▼2	◆98	
431	X79, Y155	円形	台形	125	120	78		★			9	
432	X79, Y155	楕円形	一部袋状	160	138	73					◆35	焼石3
433	X80, Y155	(円形)	(台形)	(160)	148	47						一部調査区外
436	X79, Y157	楕円形	皿状	174	132	45		★			5	
438	X78, Y156	円形	台形	108	106	62		★		▼3		
439	X78, Y156	楕円形	袋状	132	107	53		★		▼1	11	
440	X78, Y157	円形	直下り	95	85	29		★		▼1		
441	X78, Y157	楕円形	台形	100	85	33		★			3	
444	X78, Y158	円形	直下り	98	97	70						P-179と重複
445	X79, Y158	円形	直下り	(110)	(107)	71		★		▼4	16	D-744と重複
448	X78, Y159・160	(楕円形)	皿状	(121)	(90)	26		★				P-196と重複
449	X78, Y160・161	(円形)	袋状	(115)	(113)	69		★		▼2	◆25	一部調査区外
450	X77, Y161	円形	直下り	108	102	45		★		▼1	3	
451	X68, Y147	(楕円形)	(台形)	(120)	(95)	51		★			17	D-285・286と重複
452	X68, Y146	楕円形	台形	105	93	50		★			19	D-282と重複 小穴1
453	X67・68, Y145	円形	袋状	104	101	86		★		▼3		J-11, D-274・907と重複
454	X68, Y146	不整形	台形	(120)	(92)	41～75				▼1		D-277・278・366と重複
456	X68, Y145・146	(円形)	一部袋状	(116)	(103)	70		★			4	D-279・455・457と重複
457	X68, Y146	(楕円形)	台形	(127)	(107)	50					4	D-280・456と重複
458	X69, Y146	ほぼ円形	一部袋状	75	(68)	68						D-281と重複
460	X68・69, Y147	楕円形	台形	(122)	70	41		★				D-288と重複
461	X69, Y144	不整形	直下り	[65]	[40]	[50]						D-298・528と重複
465	X65, Y149	楕円形	台形	175	(105)	35	■1	★		▼3	17	D-464と重複
466	X65, Y149	楕円形	皿状	130	102	26		★			11	
467	X65・66, Y149	楕円形	皿状	145	91	19		★				焼土検出
468	X66, Y149	円形	皿状	80	79	28		★				
472	X65・66, Y150	楕円形	皿状	119	115	33		★		▼1	1	
474	X66・67, Y150	円形	袋状	109	105	93		★		▼3	11	D-952と重複
476	X68, Y150・151	円形	台形	107	99	52		★	●1	▼4	7	
477	X67, Y152	円形	袋状	135	125	103		★	●1	▼6		D-960と接する
479	X66・67, Y152	楕円形	一部袋状	109	(95)	70		★			15	D-626と重複
483	X65, Y152・153	不整形	直下り	139	123	95		★	●1	▼4	◆33	
484	X65, Y152・153	不整形	一部袋状	135	124	79		★	●1	▼3	◆64	
486	X64, Y151	不整形	一部袋状	127	114	53		★	●1	▼5	◆47	
488	X63, Y152	円形	台形	122	(118)	60		★		▼1	3	D-622と重複
489	X61・62, Y152・153	円形	台形	115	110	45		★			◆32	
490	X61, Y153	楕円形	袋状	117	102	76					7	
493	X64・65, Y153	円形	直下り	130	125	79		★	●1	▼1		D-623と重複
494	X65・66, Y153	円形	袋状	116	114	43		★				D-495・695と重複
495	X65・66Y153	円形	直下り	100	(97)	55		★			6	D-494・496・630と重複
496	X65, Y153	不整形	直下り	140	(110)	75		★			5	D-497・630と重複
497	X65, Y153	楕円形	一部袋状	(100)	88	61		★				D-495・496と重複
498	X65, Y153・154	楕円形	直下り	89	85	71		★		▼1	◆45	
499	X65, Y154・155	円形	直下り	[85]	[85]	59		★		▼7	◆96	D-500と重複
500	X65, Y154・155	楕円形	皿状	105	90	33				▼2		D-499と重複
501	X66, Y154・155	円形	袋状	100	(99)	84		★			3	
506	X65・66, Y148	楕円形	台形	(143)	120	46		★				D-507と重複
508	X67・68, Y143・144	円形	袋状	97	86	99		★多量		▼12	◆56	H-1・P-83と重複

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
509	X64, Y154	円形	袋状	100	[95]	94		★				D-510と重複
510	X64, Y154	円形	直下り	118	(115)	54		★	●1	▼2	6	D-509・632と重複
512	X63, Y155	円形	袋状	85	85	100	■2	★			◆62	
514	X62・63, Y155・156	楕円形	台形	116	105	25～55						底面一定でなく2段
515	X62, Y155・156	楕円形	袋状	138	118	107		★		▼3	8	
516	X62, Y157	円形	袋状	120	111	107		★	●2		◆40	
517	X62, Y157	円形	直下り	100	99	45					12	
518	X64・65, Y155・156	円形	袋状	122	115	87		★		▼1	4	A-1と重複
519	X64・65, Y156	円形	直下り	98	94	56		★	●1	▼8	1	A-1と重複
521	X64, Y157	楕円形	台形	123	103	56～78		★		▼1	3	底面一定でない
523	X70, Y143	円形	直下り	127	110	72	■1	★	●1		9	
525	X70・71, Y143	楕円形	皿状	162	126	(31)				▼5	◆43	
526	X71, Y143	円形	台形	(108)	(89)	(27)		★		▼3		集石土坑
527	X70・71, Y143・144	楕円形	台形	138	122	25		★		▼1	1	D-873と重複
528	X69, Y144	(楕円形)	台形	129	(126)	53		★		▼2	◆21	D-461と重複
529	X70, Y145	円形	台形	91	90	57		★		▼1	8	D-303・530と重複
530	X70, Y145	円形	直下り	101	96	78		★			19	D-303・529と重複
531	X72, Y145	楕円形	袋状	108	86	80		★			1	D-392と重複
535	X68, Y153・154	円形	袋状	125	123	61		★	●1	▼3	◆37	
536	X68, Y154	円形	袋状	169	168	38～87	■1	★		▼6	◆232	底面2段
537	X67・68, Y154	円形	台形	144	142	34		★			7	D-538と重複
539	X67・68, Y154・155	(楕円形)	皿状	(198)	102	29		★			5	D-538・540と重複
542	X68, Y154・155	円形	皿状	136	130	23		★		▼3		
543	X68・69, Y155	円形	直下り	96	93	44					◆36	
546	X70・71, Y153・154	楕円形	一部袋状	104	90	84		★				
550	X69・70, Y155	楕円形	台形	(110)	100	51	■1	★		▼3		
551	X69, Y155・156	楕円形	不整形	120	(110)	88		★				
554	X70, Y155・156	不整形	不整形	200	(125)	75	■2	★		▼4	◆186	D-553と重複
555	X70・71, Y155	楕円形	台形	100	89	50		★		▼3	◆88	D-556と重複
558	X71・72, Y155	円形	袋状	110	110	95		★		▼7	◆54	
559	X72, Y155	楕円形	袋状	120	87	77		★		▼2	9	
560	X71, Y155・156	円形	一部袋状	(108)	100	69		★			◆34	D-561と重複
561	X71, Y156	楕円形	袋状	129	100	86		★			◆61	D-560と重複
564	X75, Y155	楕円形	皿状	131	110	37		★		▼2	6	
567	X74, Y156	楕円形	台形	119	106	45				▼1	1	
568	X74, Y157・158	楕円形	台形	131	115	70		★		▼1		
569	X76, Y159	楕円形	袋状	122	113	57		★			3	W-1・2と重複
573	X74・75, Y159	円形	台形	108	105	39		★			7	
575	X77, Y159	円形	直下り	122	116	54						P-197から変更
576	X75, Y160	楕円形	袋状	125	116	72		★		▼1		
577	X74, Y158	楕円形	台形	130	115	25～46		★			3	底面2段
578	X74・75, Y160・161	ほぼ円形	皿状	141	132	28				▼1	◆26	集石土坑 小穴あり
581	X73, Y160・161	円形	不整形	137	131	41～69		★		▼2	14	底面2段
582	X72, Y159	円形	台形	120	(117)	51		★		▼1		H-12と重複
584	X71, Y163	楕円形	不整形	60	50	52		★				ピット状
589	X69, Y158	円形	台形	130	126	54		★		▼1	12	
597	X68, Y158	円形	台形	132	120	32		★			3	
598	X68, Y159	(円形)	台形	(125)	(124)	36					19	D-745・788と重複
599	X67, Y158	円形	直下り	118	107	95		★	●1	▼2		D-1022と重複
600	X67, Y157	楕円形	台形	147	132	48		★		▼1	◆46	
602	X67, Y157	円形	袋状	107	106	105		★	●1	▼2	3	
605	X67, Y156	円形	一部袋状	115	112	80		★			8	D-604と重複
607	X68, Y156	円形	袋状	115	108	92	■1	★		▼1	◆79	
609	X68, Y155・156	楕円形	台形	117	95	38		★			9	
611	X67, Y155	楕円形	袋状	98	81	57		★		▼1	1	
612	X66, Y157	楕円形	台形	178	116	37～56		★		▼1	11	底面2段
613	X66, Y158・159	円形	台形	95	(95)	46					◆117	
614	X66・67, Y159	楕円形	台形	87	(72)	33						D-615と重複
616	X65・66, Y147・148	楕円形	直下り	171	141	68					12	
619	X68, Y151	楕円形	台形	94	84	45		★			12	D-620と重複
621	X64・65, Y151・152	円形	直下り	110	103	45		★		▼3	◆123	焼土検出
622	X63・64, Y152	楕円形	直下り	150	131	80		★			8	D-488と重複 炭化栗
623	X65, Y153	円形	直下り	155	[122]	83	■2	★		▼8	7	D-493・627と重複
624	X66, Y152	円形	一部袋状	100	90	75		★		▼2	◆73	D-481・625と重複

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
625	X66,Y151・152	不整形	直下り	135	(108)	76	■1		●1	▼2	3	D-481・624・631と重複
626	X67・68,Y152	円形	直下り	(120)	[73]	46	■1	★	●1	▼5	◆54	D-479・480・674と重複
627	X65,Y153	円形	直下り	(160)	125	86		★			1	D-623と重複
628	X66,Y155・156	楕円形	直下り	107	98	50	■2	★				
629	X65,Y155・156	楕円形	直下り	120	109	77		★			6	
630	X65・66,Y153	円形	直下り	(80)	(76)	72						D-495・496と重複
631	X66,Y152	円形	直下り	96	(92)	72			●1	▼1		D-625と重複
633	X66,Y159	楕円形	直下り	113	103	79		★		▼1	10	
635	X66,Y160	楕円形	袋状	125	113	93	■2	★		▼4	◆21	
637	X70,Y160・161	(円形)	袋状	118	(118)	79		★		▼3		D-688と重複
638	X70,Y160・161	楕円形	袋状	105	91	70		★			1	
642	X70・71,Y161	(楕円形)	(皿状)	[100]	[80]	[32]				▼1	◆143	D-643と重複
643	X70・71,Y161	(楕円形)	直下り	(140)	110	75		★		▼1	◆57	D-642・644と重複
644	X71,Y161	(円形)	袋状	98	(97)	78						D-643・677と重複
645	X72・73,Y159	楕円形	袋状	129	117	61		★			12	
646	X73,Y159	(楕円形)	皿状	(110)	86	25						
647	X72,Y161	円形	台形	133	(130)	61		★		▼9	6	D-648と重複
648	X72,Y161	楕円形	袋状	150	(130)	90		★	●1		◆48	D-647と重複
651	X75・76,Y163	円形	台形	111	106	35						W-1・2と重複
652	X76,Y163	円形	台形	94	89	44		★		▼1		
653	X76,Y163	楕円形	一部袋状	106	95	48		★				
654	X73・74,Y163	楕円形	皿状	140	116	35～72		★		▼2	14	小穴あり
656	X72,Y167	円形	皿状	86	85	24						
661	X68,Y165・166	楕円形	袋状	112	93	113	■3	★		▼1		
662	X68,Y152	円形	直下り	73	68	38～50		★				底面2段
666	X65,Y157	楕円形	一部袋状	(150)	135	100		★		▼3	◆42	D-665と重複
667	X64,Y157	不整形	不整形	(63)	(58)	77				▼1		D-668と重複
668	X64・65,Y157	楕円形	不整形	125	(110)	55～86		★		▼1	5	D-667と重複 底面2段
669	X63・64,Y157	不整形	不整形	(300)	220	103		★		▼7	◆44	D-670・689・711と重複
670	X63,Y157	楕円形	皿状	99	77	35						A-1,D-669と重複
671	X62,Y161	楕円形	台形	130	120	60		★	●1	▼2	◆35	
673	X63,Y161	円形	不整形	(110)	108	31	■1	★	●1		◆26	D-672と重複
674	X66,Y152・153	円形	直下り	116	[104]	81		★	●1		4	D-480・626と重複
675	X63,Y157・158	楕円形	台形	90	65	35～61		★				A-1と重複 底面2段
676	X61,Y161	楕円形	直下り	108	103	54		★			◆309	
677	X71,Y161	(円形)	袋状	112	(110)	77	■1	★多量		▼6	◆51	D-644と重複
678	X61・62,Y156	楕円形	直下り	127	107	56		★	●1	▼4	16	
680	X59・60,Y158・159	楕円形	皿状	150	(130)	38		★		▼2		D-679・681と重複
681	X60,Y158・159	楕円形	皿状	150	(120)	43						D-679・680・682と重複
682	X60,Y158・159	不整形	直下り	133	92	53						D-681と重複
683	X63,Y159	円形	皿状	126	115	8		★		▼1		集石土坑
684	X60,Y160	楕円形	皿状	104	100	25						A-1と重複
687	X63,Y156	円形	直下り	93	92	73						J-18と重複
688	X70,Y161	(円形)	袋状	87	(86)	76	■4	★多量		▼2	8	D-637と重複
689	X63・64,Y157・158	(不整形)	(不整形)	(160)	(145)	33	■2	★多量	●2			D-669・670・711と重複
690	X72,Y167	円形	台形	103	103	35				▼5		
696	X68・69,Y167	楕円形	皿状	156	139	30		★	●1	▼3		集石土坑
697	X69,Y163	円形	皿状	192	184	23		★多量	●1		◆59	D-806と重複 集石土坑
698	X68・69,Y163	円形	皿状	150	147	29		★	●1	▼2	◆44	D-810と重複 集石土坑
699	X68・69,Y164・165	楕円形	皿状	200	164	33		★多量	●1		19	集石土坑
700	X68,Y164・165	円形	皿状	142	140	31		★	●1	▼3		集石土坑
702	X67,Y164	円形	皿状	130	128	28		★	●1		10	集石土坑
703	X66,Y166	(楕円形)	台形	(115)	(100)	61						D-742と重複
704	X65・66,Y165	楕円形	台形	207	(181)	31	■1				11	D-736と重複
706	X64,Y163	楕円形	袋状	110	76	94		★			◆87	
707	X64,Y163	楕円形	台形	90	82	45	■1					D-708と重複
708	X64,Y163	(円形)	不整形	75	(75)	30～70		★	●1	▼1		D-707と重複
709	X64,Y163・164	(円形)	台形	(85)	(80)	73		★		▼1		
710	X62,Y164	(円形)	台形	(110)	(110)	67						D-782と重複
711	X63・64,Y157・158	円形	直下り	110	(100)	54		★			◆27	D-689と重複
712	X62,Y160	楕円形	直下り	55	40	38～50		★			2	ピット状 底面2穴
713	X61,Y160	(楕円形)	台形	(55)	40	22						ピット状
714	X61,Y160	円形	台形	43	41	32		★			3	ピット状
715	X60,Y161	楕円形	台形	44	35	15		★		▼1	1	ピット状

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
716	X60・61,Y161	円形	台形	29	25	39						ピット状
717	X60・61,Y161	円形	台形	39	36	47		★				ピット状
718	X61,Y161	円形	台形	46	41	67						ピット状
719	X61,Y161	円形	不整形	34	34	67		★		▼1		ピット状
720	X68,Y163・164	楕円形	台形	93	(85)	49		★	●1	▼1	3	
721	X74,Y161	楕円形	袋状	104	91	52				▼1		J-22と重複
722	X67,Y163	円形	皿状	158	155	24			●2	▼1	6	
723	X65,Y164	楕円形	袋状	90	79	53		★			◆72	
724	X65,Y164	楕円形	袋状	113	93	71		★		▼2	◆87	
725	X65・66,Y164・165	楕円形	台形	115	(105)	54	■1	★	●1	▼1		D-736と重複
726	X65,Y165	(楕円形)	(不整形)	(106)	(85)	26～45						D-727・728と重複
727	X65,Y165	(楕円形)	(台形)	(120)	(110)	51						D-726・728と重複
728	X65,Y165	(楕円形)	不整形	(110)	(100)	40				▼1		D-726・727と重複
736	X65・66,Y165	楕円形	台形	(120)	103	100						D-725・704と重複
737	X64・65,Y163	楕円形	台形	136	105	28		★			◆26	
739	X65・66,Y160	円形	袋状	(84)	83	70	■2	★	●1	▼1		
741	X65,Y160	不整形	直下り	145	102	63		★		▼1		H-14と重複
742	X66,Y166	不整形	皿状	137	(90)	31		★			1	D-703と重複
744	X79,Y158	不整形	一部袋状	[85]	[80]	88						D-445と重複
745	X68,Y159	円形	袋状	85	80	76		★		▼1	◆50	D-598と重複
746	X69・70,Y161	楕円形	一部袋状	110	92	78		★	●1		1	J-26と重複
752	X65,Y160	円形	一部袋状	94	93	61		★		▼4	◆77	
754	X62,Y161	円形	一部袋状	93	84	44	■1	★		▼1	◆227	異形土器出土
755	X62,Y161	円形	直下り	85	80	58		★		▼3	16	
756	X62,Y161	円形	直下り	112	108	70	■1	★		▼1	9	
765	X70,Y161	楕円形	台形	78	56	17			●2	▼1		J-26と重複
780	X68,Y162・163	不整形	台形	145	115	53	■1	★	●1	▼5	◆29	
781	X66,Y161	楕円形	直下り	120	104	79		★			8	
785	X69,Y160・161	(楕円形)	(台形)	(89)	(67)	82		★				D-786・639と重複
786	X69,Y160	(楕円形)	(台形)	(110)	(68)	75						D-785・787と重複
787	X69,Y160	(楕円形)	(台形)	(86)	(58)	(65)						D-786と重複
788	X68,Y159	(円形)	台形	(80)	80	49		★			◆47	D-598と重複
789	X71,Y141	円形	台形	87	80	36						J-6と重複
790	X76,Y142	楕円形	皿状	110	91	12						J-7と重複
791	X76,Y142	楕円形	直下り	51	36	52						J-7と重複 ピット状
792	X82,Y145・146	ほぼ円形	台形	113	101	24						J-9と重複
793	X78,Y152・153	楕円形	袋状	148	130	56	■1				◆221	J-10と重複
794	X78,Y153	不整形	直下り	52	41	57					◆24	J-10と重複 ピット状
795	X79,Y152・153	円形	台形	95	90	95						J-10と重複
796	X67,Y144	楕円形	台形	(78)	(67)	59						J-11と重複
797	X65,Y147	楕円形	直下り	56	35	39						J-12と重複
799	X63・64,Y156	円形	皿状	84	82	20						
800	X64,Y156	楕円形	皿状	65	47	12						
801	X75,Y164	楕円形	不整形	75	67	69						J-20と重複
802	X74,Y163	楕円形	不整形	57	40	72					◆155	J-20と重複
803	X75・76,Y157	楕円形	袋状	103	93	69	■1	★	●1	▼1	14	H-9と重複 自然石多
804	X71,Y164	円形	直下り	83	75	36		★			7	
805	X70,Y163	円形	台形	82	81	35					1	
806	X69・70,Y163	円形	皿状	104	101	24		★		▼1	2	
807	X69,Y162	円形	直下り	94	81	62	■1	★		▼5	8	J-25と重複
808	X68,Y161	楕円形	直下り	55	40	47		★				ピット状
809	X69,Y163	楕円形	直下り	123	107	57	■1	★		▼1	4	
810	X68,Y163	円形	一部袋状	114	104	57		★		▼6	◆30	D-698と重複
811	X66・67,Y164	楕円形	一部袋状	120	106	64		★	●1	▼1		巨大自然石
812	X65,Y160・161	円形	袋状	113	112	67	■2	★		▼1	◆90	D-749と重複
813	X63・64,Y163・164	楕円形	皿状	218	197	33		★			◆137	
814	X73・74,Y164	楕円形	皿状	66	64	18						J-24と重複
815	X67・68,Y162	円形	台形	85	(85)	34			●1	▼3	1	H-15と重複
816	X65・66,Y161・162	円形	袋状	106	101	61		★		▼4	◆36	
817	X65,Y161・162	楕円形	台形	129	58	35		★			1	
818	X63・64,Y160	円形	袋状	85	78	61		★		▼1	11	
819	X64・65,Y159	楕円形	台形	124	107	45	■1			▼1	19	底面に穴
820	X65,Y158	ほぼ円形	直下り	98	93	36		★	●1			D-821と重複
821	X65,Y158	楕円形	皿状	(58)	53	16						D-820と重複

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
822	X64,Y158・159	円	形 直下り	86	82	36～60					8	小穴1
823	X64,Y157	楕円形	直下り	94	73	33		★		▼1	14	
824	X64,Y158	楕円形	袋状	104	95	57	■1	★		▼1	◆110	
825	X63・64,Y158	円	形 台形	78	77	38		★				
826	X61・62,Y163	楕円形	不整形	167	146	82						
827	X64・65,Y159・160	円	形 台形	83	(83)	45		★			8	H-14と重複
828	X67・68,Y165	円	形 直下り	120	114	42		★		▼2		
829	X65・66,Y166・167	円	形 台形	110	(110)	57		★				H-19と重複
830	X62・63,Y157・158	楕円形	皿状	92	81	19		★			2	A-1と重複
831	X64・65,Y155	円	形 皿状	110	109	17		★			5	H-8と重複
832	X66,Y160・161	楕円形	袋状	120	102	67		★		▼2	◆47	D-833と重複
833	X66,Y160・161	楕円形	直下り	(80)	69	34						D-832と重複
834	X68,Y159・160	楕円形	直下り	134	118	54		★		▼1		
835	X68,Y160	不整形	不整形	138	98	31		★		▼1		
836	X68,Y160・161	(円	形) 台形	(150)	(142)	61		★	●1	▼6	7	D-837・860と重複
837	X68,Y160・161	円	形 台形	125	(125)	51					11	D-836と重複
838	X69,Y160・161	円	形 袋状	95	95	37	■1	★		▼2	12	
839	X71・72,Y161	円	形 直下り	(107)	103	60		★	●1		1	D-840と重複
840	X71・72,Y161	円	形 直下り	(150)	140	52		★				D-839と重複
841	X71,Y156・157	楕円形	袋状	110	100	47	■3	★		▼1	◆25	D-842と重複
842	X71,Y156	円	形 袋状	100	99	72	■1	★		▼1	◆74	D-841と重複
843	X72,Y155	円	形 袋状	88	87	51				▼1	2	
844	X79,Y146	楕円形	皿状	133	94	17						W-8と重複
845	X78・79,Y147	円	形 台形	114	110	31	■1	★			1	W-8と重複
846	X78,Y147	円	形 台形	112	112	40		★			1	W-8と重複
847	X77,Y147	円	形 直下り	98	96	48		★				
848	X77・78,Y148	円	形 皿状	122	120	30						
849	X78,Y148	円	形 直下り	89	(88)	41		★			2	D-850,W-8と重複
850	X78,Y148	円	形 一部袋状	105	105	68		★		▼5	9	D-849,W-1・2と重複
851	X77,Y149	円	形 袋状	106	97	54		★	●1		15	
852	X77,Y149	円	形 皿状	87	81	16	■1	★			1	
853	X78,Y149	円	形 皿状	117	115	29		★				W-8と重複
854	X78,Y149・150	円	形 袋状	117	117	54		★		▼1	1	W-1・2・8と重複
855	X78,Y150	円	形 袋状	100	(96)	47						D-901,W-1・2・8と重複
856	X75,Y149	円	形 皿状	108	108	24	■1					
857	X76,Y151	円	形 皿状	115	115	25						
858	X76,Y153・154	円	形 袋状	94	88	55		★			12	
859	X75,Y153・154	楕円形	皿状	98	70	11	■1					
860	X68,Y160・161	楕円形	台形	(115)	(100)	45～53						D-836と重複 小穴有
861	X76,Y145	円	形 袋状	112	104	43		★		▼1		
862	X73・74,Y150	円	形 皿状	148	136	21		★				
863	X73,Y149	円	形 皿状	95	93	12						
864	X74,Y148・149	楕円形	皿状	78	66	12	■1	★				
865	X72・73,Y148	円	形 皿状	135	128	11						
866	X71,Y148・149	円	形 皿状	105	97	28		★				
867	X70,Y147	楕円形	皿状	76	65	12						D-399・400と重複
868	X71・72,Y146	円	形 直下り	116	115	66		★			1	P-151と重複
869	X70,Y146	楕円形	直下り	107	94	34		★				
870	X69・70,Y145	円	形 直下り	109	105	49		★		▼3	6	
871	X70・71,Y144・145	円	形 袋状	121	119	57		★		▼1	5	
872	X70,Y144	楕円形	袋状	126	116	55		★	●1			
873	X70・71,Y143・144	円	形 袋状	126	125	46		★	●1	▼3	3	D-527と重複
874	X71,Y144	楕円形	直下り	134	127	50		★		▼2	◆29	
875	X71,Y144	楕円形	直下り	103	100	49		★		▼2	◆45	
876	X71,Y144	円	形 台形	100	99	26		★		▼1	◆40	D-206と重複
877	X72,Y144・145	楕円形	直下り	126	99	32		★		▼2	7	D-195と重複
878	X72・73,Y145	不整形	皿状	111	96	18		★				
879	X72・73,Y144・145	円	形 直下り	97	91	31		★			1	
880	X73,Y144	円	形 皿状	(120)	(120)	17						D-188・189・881と重複
881	X73,Y143・144	円	形 台形	100	(95)	31						D-880と重複
882	X73,Y144	円	形 台形	(102)	(100)	41						D-188・883と重複
883	X73・74,Y144	(楕円形)	台形	(125)	(110)	43						D-882と重複
884	X73・74,Y143・144	円	形 直下り	114	112	32		★		▼1	2	
885	X74,Y144・145	円	形 皿状	(107)	99	18						D-184・185と重複

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
886	X74・75,Y144	円	形 皿状	101	93	11						P-22と重複
887	X75,Y145	楕円形	台形	115	105	42						
888	X74・75,Y142	楕円形	直下り	115	104	36						
889	X74,Y142	円	形 直下り	115	106	26		★	●1			
890	X73,Y142・143	楕円形	一部袋状	135	125	38					3	D-167と重複
891	X72,Y143・144	楕円形	皿状	89	73	15～24						
892	X72,Y143・144	円	形 直下り	118	113	30						D-193と重複
893	X72,Y143	円	形 直下り	84	78	26						
894	X71・72,Y143	楕円形	台形	86	82	20				▼1		
896	X71,Y143	楕円形	直下り	99	86	23		★				D-156と重複
897	X69・70,Y144	楕円形	直下り	122	103	50		★			◆39	
898	X69,Y144	円	形 皿状	84	78	18						
899	X69,Y145	楕円形	袋状	117	106	52		★		▼1	18	
900	X69,Y145	円	形 皿状	94	87	19						T-1と重複
901	X78,Y150	円	形 皿状	(104)	95	11						D-855,W-1・2と重複
902	X69,Y146	円	形 直下り	81	73	32						D-290と重複
903	X69,Y146	円	形 直下り	106	104	35		★	●2		5	
904	X68・69,Y145	円	形 台形	126	119	35		★			1	D-297,T-1と重複
905	X68,Y145	円	形 皿状	99	94	25		★				D-297と重複
906	X68,Y145	円	形 台形	95	91	39		★	●1		5	J-11,D-279と重複
907	X67,Y145	楕円形	皿状	113	96	10						J-11,D-453と重複
908	X70,Y143	楕円形	台形	81	70	17						
909	X68,Y143	楕円形	台形	139	118	31～56						
910	X66,Y143	楕円形	台形	[139]	[80]	51		★				D-911・912と重複
911	X66,Y143	楕円形	台形	[93]	[38]	40		★			4	D-910・912と重複
912	X66,Y143	不整形	台形	[146]	[134]	60～90		★	●1		1	D-910・911・913と重複
913	X66,Y143・144	楕円形	台形	[140]	[111]	52		★			2	D-273・912と重複
914	X66・67,Y145	楕円形	袋状	106	97	80		★	●1	▼5	◆184	
915	X67・68,Y146	円	形 皿状	123	119	27		★				D-283と重複
916	X69,Y147	楕円形	皿状	61	30	12						
918	X69,Y148	楕円形	台形	64	46	27						ピット状
919	X74,Y146・147	円	形 台形	120	(103)	(48)						D-920と重複
920	X74,Y147	円	形 台形	(130)	(120)	(46)						H-3,D-919と重複
921	X68・69,Y148	楕円形	不整形	116	80	20～44						炭化物多 底面2段
922	X68,Y147	円	形 袋状	102	100	41	■1	★			10	
923	X67・68,Y147・148	円	形 皿状	83	79	16						
924	X67・68,Y148	円	形 袋状	111	(100)	66		★			3	D-925と重複
925	X67・68,Y148	円	形 直下り	116	(114)	48		★		▼1		D-924・926と重複
926	X67・68,Y148	円	形 袋状	95	(91)	43	■1	★		▼1	2	D-925と重複
927	X67,Y147	円	形 袋状	87	(84)	60		★	●1		1	D-286・412と重複
928	X67,Y147・148	円	形 直下り	89	87	30	■1	★				
929	X67,Y148	円	形 袋状	118	104	74	■1	★	●1	▼1	◆50	
930	X66,Y147	楕円形	台形	102	95	32	■2	★	●1	▼1	3	
931	X66,Y146	円	形 袋状	108	107	67	■1	★	●1	▼5	◆28	
932	X66,Y145・146	円	形 袋状	87	87	54		★	●1	▼1	8	
933	X65,Y144	円	形 台形	55	52	18						D-934と重複
934	X65,Y144・145	楕円形	台形	55	48	16						D-933・935と重複
935	X65,Y144・145	楕円形	皿状	54	41	14						D-934と重複
936	X64・65,Y144	円	形 皿状	98	85	17						D-355と重複
937	X65,Y145	楕円形	皿状	[90]	[82]	[30]						D-938と重複
938	X65,Y145・146	不整形	台形	[116]	[64]	[33]					4	D-937と重複
939	X65,Y147	円	形 台形	80	74	28						
940	X65,Y147	円	形 台形	110	107	24						J-12,D-363と重複
941	X65,Y148	円	形 袋状	115	111	53			●1			
942	X65,Y148	円	形 台形	98	97	34						
943	X64・65,Y148・149	円	形 台形	104	98	53						
944	X64・65,Y149	楕円形	台形	110	88	30		★		▼2	5	
945	X65,Y150	円	形 台形	52	48	48		★				
946	X66,Y150	円	形 袋状	80	79	44						
947	X66,Y150	円	形 皿状	74	73	20				▼1		
948	X66,Y150	楕円形	直下り	117	90	52		★				
949	X66,Y149	楕円形	皿状	75	60	23						
950	X67,Y149	円	形 皿状	100	93	28	■1	★		▼1	5	
951	X67,Y150	円	形 直下り	108	100	44		★			◆39	

土坑番号	遺構位置(グリッド)	形状 平面	形状 断面	規模(cm) 長径	規模(cm) 短径	規模(cm) 深さ	遺物 土器	遺物 土器片	遺物 大型石	遺物 石器	遺物 礫	備考
952	X67, Y150	円形	直下り	99	94	31		★			12	D-474と重複
953	X66, Y150・151	円形	皿状	86	85	21		★			11	D-954と重複
954	X66・67, Y151	円形	直下り	100	94	31		★				D-953・956と重複
955	X66, Y151	円形	皿状	113	109	26						
956	X66・67, Y151	円形	直下り	93	92	61		★		▼1		D-954と重複
957	X68, Y149	円形	袋状	88	80	57			●1	▼1		
958	X68, Y150・151	楕円形	台形	94	86	28						
959	X67, Y151	円形	袋状	104	100	53		★				
960	X67, Y152	円形	袋状	118	105	77		★		▼5	9	
961	X68, Y153	楕円形	袋状	103	80	41		★		▼2	14	
962	X68, Y152・153	円形	台形	98	91	30		★			3	D-663と重複
963	X69, Y152	円形	直下り	121	118	45		★	●1	▼1	◆57	A-1と重複
964	X71・72, Y150・151	楕円形	皿状	148	126	11						D-416と重複
965	X74, Y150・151	円形	台形	80	77	22						
966	X71, Y152	楕円形	皿状	87	70	17						
967	X72・73, Y152・153	円形	台形	165	160	33						
968	X72, Y153・154	円形	皿状	116	102	24					2	
969	X72, Y154・155	楕円形	直下り	113	81	43						I-1と重複
970	X72, Y154	円形	袋状	80	80	60		★			6	
971	X71, Y155	楕円形	袋状	112	72	78		★			◆30	焼土粒・炭化物あり
972	X72, Y153	円形	台形	76	74	28						
973	X70・71, Y153	円形	台形	93	90	25						
974	X69, Y153	円形	皿状	60	53	10						
975	X69, Y154	円形	台形	100	92	35		★				
977	X67, Y153	円形	皿状	106	98	27						
979	X64・65, Y151	円形	直下り	112	111	35	■1	★		▼2	6	
980	X63・64, Y150	楕円形	袋状	110	96	72						
981	X64, Y149	楕円形	直下り	120	104	44		★				
982	X63, Y149	円形	袋状	114	109	66		★	●1		11	
983	X64・65, Y150	円形	袋状	125	107	75		★	●1	▼6	◆46	
984	X64・65, Y150	円形	一部袋状	138	136	61	■1	★		▼6	◆62	
985	X64, Y150	楕円形	台形	[74]	70	32						D-986と重複
986	X64, Y150・151	楕円形	袋状	[103]	80	65		★		▼1		D-985・987と重複
987	X64, Y151	円形	台形	30	30	22						D-986と重複
988	X64, Y151	円形	皿状	119	119	32						
989	X64, Y152	円形	直下り	94	86	43						D-487と重複
990	X65, Y152	円形	皿状	63	54	21						
991	X65, Y152	円形	直下り	39	36	54						ピット状
992	X65, Y153	円形	台形	80	74	38				▼1		
993	X64, Y153	円形	台形	82	78	56						
994	X63, Y153	円形	皿状	88	76	37					3	
995	X61, Y153	円形	皿状	80	(80)	23					1	D-996と重複
996	X61, Y153・154	楕円形	皿状	104	(94)	21						D-995と重複
997	X62, Y154	円形	直下り	112	109	34		★		▼1	3	
998	X62, Y154・155	楕円形	台形	102	95	34		★		▼1	4	J-17と重複
999	X63, Y154	楕円形	皿状	109	101	26				▼1	1	
1000	X64, Y154	円形	台形	50	50	24						
1001	X64, Y154	楕円形	皿状	69	65	19						
1002	X64・65, Y154	円形	皿状	74	73	16						H-8と重複
1003	X65, Y154	円形	袋状	110	106	53		★多量		▼5	17	
1004	X65, Y154・155	円形	袋状	92	90	53				▼1		H-8と重複
1005	X65・66, Y154	楕円形	直下り	93	80	46				▼1		
1006	X67, Y154	円形	袋状	94	89	91		★		▼1	5	D-1007, A-1と重複
1007	X67, Y154	円形	台形	108	105	40	■1			▼9	◆253	D-1006, A-1と重複
1008	X66・67, Y154	円形	袋状	104	99	50						D-1009, A-1と重複
1009	X66・67, Y154	円形	皿状	105	95	21						D-1008, A-1と重複
1010	X65, Y155	楕円形	台形	129	115	46		★				D-1011, A-1と重複
1011	X65, Y155	楕円形	直下り	(96)	84	47						D-1010と重複
1012	X65, Y155	楕円形	皿状	100	80	25						A-1と重複
1013	X65, Y156	円形	袋状	89	87	63		★	●1	▼1	4	A-1と重複
1014	X64, Y156・157	円形	台形	67	65	25					8	A-1と重複
1015	X65, Y156・157	楕円形	台形	99	93	51	■1	★				
1016	X65, Y156	円形	直下り	109	109	40						
1017	X65・66, Y157	円形	台形	80	76	28		★			7	
1018	X65, Y157	円形	袋状	98	96	81		★	●4		1	
1019	X66, Y157・158	円形	皿状	78	76	21					2	
1020	X65, Y158	円形	袋状	106	100	52				▼1		
1021	X66, Y158	円形	台形	105	102	34		★				
1022	X67, Y158	円形	一部袋状	116	110	82	■1	★		▼2	◆342	D-599と重複
1023	X67, Y159	楕円形	直下り	101	92	50		★	●1	▼2	◆21	
1024	X67, Y159	円形	袋状	75	70	49		★		▼1	13	
1025	X68, Y158	円形	台形	96	90	31				▼2	2	
1026	X68, Y158	円形	台形	72	65	31					7	
1027	X69, Y159	円形	直下り	105	95	30				▼1	1	D-1028と重複
1028	X69, Y159	円形	直下り	92	83	46		★				D-1027と重複
1029	X69, Y158	円形	皿状	107	100	29		★				
1030	X70, Y159	円形	袋状	110	105	70		★	●1	▼4	1	
1031	X69, Y155	円形	台形	60	55	23						ピット状
1032	X69, Y154	円形	直下り	86	85	30						D-544と重複
1033	X83, Y146・147	円形	皿状	94	82	19						
1034	X82・83, Y146	円形	台形	86	80	52						
1035	X82, Y147	円形	直下り	90	83	48		★				
1036	X81, Y146・147	円形	直下り	108	104	53					1	
1037	X81, Y147・148	円形	皿状	84	82	20				▼1		
1038	X82, Y148	円形	袋状	100	87	55		★			14	
1039	X82・83, Y148	円形	袋状	(122)	(112)	(59)		★		▼1	13	D-240・241・1040重複
1040	X83, Y148	円形	直下り	(109)	(92)	(46)		★				D-1039と重複
1041	X82・83, Y148	円形	皿状	120	120	30					◆30	D-241と重複
1042	X81, Y150・151	円形	皿状	83	80	14				▼1		P-71・72と重複
1043	X80, Y150	円形	直下り	74	71	23		★		▼1	1	
1044	X80, Y151	円形	台形	47	46	58		★				
1045	X81, Y152	円形	皿状	74	70	22						
1046	X79, Y151	楕円形	皿状	83	70	16						W-1・2と重複
1047	X79, Y152	円形	皿状	77	75	21						
1048	X80, Y154	楕円形	台形	58	42	24						ピット状
1049	X79・80, Y155	円形	皿状	94	(92)	15					1	D-1050と重複
1050	X80, Y155	楕円形	皿状	(94)	76	12						D-1049と重複
1051	X78, Y153	ほぼ円形	台形	96	95	33						
1052	X78, Y155・156	楕円形	皿状	95	83	17				▼1		
1053	X78, Y156	円形	皿状	110	[92]	29						D-1054と重複
1054	X78, Y156	楕円形	台形	125	[72]	42						D-1053・1055と重複
1055	X78・79, Y156	円形	皿状	97	[70]	26						D-1054と重複
1056	X77・78, Y157	円形	袋状	92	89	52		★		▼2	11	
1057	X78, Y157	円形	皿状	70	66	15						P-175と重複
1058	X79, Y158	楕円形	台形	96	72	28						P-178と重複
1059	X78・79, Y158	楕円形	皿状	90	76	25						
1060	X78, Y158	円形	皿状	90	87	18						
1061	X78, Y158	円形	直下り	104	103	29		★			◆46	
1062	X76・77, Y159	円形	皿状	136	100	41						W-1・2と重複
1063	X76・77, Y161	円形	袋状	84	82	68		★		▼1	1	
1064	X77, Y161・162	円形	皿状	84	82	22				▼1	2	
1065	X77, Y162	楕円形	皿状	84	78	10						
1066	X76, Y162	円形	直下り	80	74	28				▼2		
1067	X65, Y158・159	楕円形	皿状	116	104	22						
1068	X65, Y159	円形	台形	60	60	30						
1069	X65, Y159	楕円形	皿状	100	82	20						
1070	X65・66, Y159	円形	直下り	86	84	46						H-14と重複
1071	X66, Y159	楕円形	直下り	94	80	72		★				
1072	X65, Y160	楕円形	台形	107	90	42	■1			▼1	14	H-14と重複
1073	X72, Y165	楕円形	皿状	108	(62)	28						D-1074と重複
1074	X72, Y165	円形	皿状	[50]	(50)	33						D-1073・1075と重複
1075	X72, Y165	楕円形	台形	105	80	36						D-1074と重複
1077	X78, Y155	楕円形	直下り	101	90	53	■1	★		▼3		

D-235・434・470・505・641・686・743・798・895・917・976・978・1076は欠番。

第3表　縄文土坑別石器出土表

磨石のうち凹石や敲石を兼ねるものがあり、数量は磨石に加えたが、凹石・敲石の欄の（　）内に数値を記入した。
石皿のうち多孔石を兼ねるものがあり、数量は石皿に加えたが、多孔石の欄の（　）内に数値を記入した。

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-1														1	1
D-14						1									1
D-15				1											1
D-17				3			1								4
D-21				1								1			2
D-28				1										3	4
D-32						1									1
D-34				5							1				6
D-36				3											3
D-38				2										1	3
D-41				1											1
D-42				1											1
D-43				3			1	(1)	(1)		1				5
D-45							2								2
D-46			1	2			1			1					5
D-47							1								1
D-48							1								1
D-49				2											2
D-67				1											1
D-85							1	(1)							1
D-86				1											1
D-87				3										1	4
D-88										1					1
D-89				2			4	(1)							6
D-90				1											1
D-93				6			2	(1)							8
D-94				1											1
D-96				2											2
D-98				7			1					1			9
D-99												1			1
D-103				1											1
D-104				1											1
D-106						1									1
D-112				1											1
D-113												1			1
D-114							1								1
D-117		1													1
D-125							1							1	2
D-127										1					1
D-128				4			3			1	(1)				8
D-130				1								1			2
D-131				1											1
D-134				1											1
D-135	1			2											3
D-137				1											1
D-138				1		1					1				3
D-139				1											1
D-142							1								1
D-143														1	1

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-144				2			1								3
D-147	1														1
D-150				2			3	(1)				1		1	7
D-151				1						1				4	6
D-152				2											2
D-154	1			2											3
D-156				2			1	(1)						1	4
D-160				1											1
D-163		1		3			1	(1)						1	6
D-164				1			1	(1)							2
D-165				1											1
D-168				3											3
D-169				2											2
D-173				1											1
D-174				2											2
D-175				1			3								4
D-176				1											1
D-177														1	1
D-180							1								1
D-182				2			1							2	5
D-184				1			1								2
D-188				2						2	(1)				4
D-191				2			1								3
D-194				1											1
D-195	1			1											2
D-196				2											2
D-201							1								1
D-216				2											2
D-217				1											1
D-222				1											1
D-225				2											2
D-231	1														1
D-250							1								1
D-257														1	1
D-265				1											1
D-274				1											1
D-275	1			2								1		2	6
D-276				1											1
D-277				1											1
D-279				1											1
D-280	1			1											2
D-281							1								1
D-282				3											3
D-285				1			1							1	3
D-288	2			2											4
D-297				1											1
D-298														1	1
D-299												1			1
D-300				1								1			2

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-301				2											2
D-313				1											1
D-338				1											1
D-360	1			1											2
D-369							2								2
D-381	1						1					1			3
D-382				3											3
D-383	1			1											2
D-384				10			3	(2)				1		1	15
D-401				2											2
D-402							1	(1)							1
D-406	1														1
D-412	1			4			1	(1)							6
D-417				1											1
D-425							1		(1)						1
D-426				2											2
D-438				1								2			3
D-439				1											1
D-440				1											1
D-445				1			1					1		1	4
D-449				2											2
D-450				1											1
D-453				2			1								3
D-454												1			1
D-465				2								1			3
D-472				1											1
D-474				2			1								3
D-476				3							1				4
D-477				4			1							1	6
D-483				3		1									4
D-484				1			1			1					3
D-486				4						1	(1)				5
D-488							1								1
D-493														1	1
D-498				1											1
D-499				2			3					1		1	7
D-500							1			1	(1)				2
D-508				8	1		1	(1)						2	12
D-510				1			1								2
D-515				1			2	(1)							3
D-518				1											1
D-519		1		2			4					1			8
D-521												1			1
D-525				5											5
D-526							1			1				1	3
D-527							1								1
D-528				2											2
D-529												1			1
D-535	1			2											3
D-536				5			1	(1)							6
D-542		1		2											3
D-550				3											3

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-554				2			1	(1)						1	4
D-555				2										1	3
D-558				5			2								7
D-559				2											2
D-564	1			1											2
D-567												1			1
D-568												1			1
D-576							1								1
D-578							1	(1)							1
D-581	1			1											2
D-582				1											1
D-589		1													1
D-599				2											2
D-600				1											1
D-602				2											2
D-607	1														1
D-611				1											1
D-612				1											1
D-621				2										1	3
D-623				5			1					2			8
D-624				2											2
D-625				2											2
D-626	2			2			1	(1)							5
D-631										1	(1)				1
D-633				1											1
D-635	1			3											4
D-637				2								1			3
D-642										1	(1)				1
D-643														1	1
D-647	1			5			2			1	(1)				9
D-652				1											1
D-654				2											2
D-661														1	1
D-666				2			1								3
D-667				1											1
D-668														1	1
D-669				3			1			1	(1)			2	7
D-671							1							1	2
D-677				4		1						1			6
D-678							1		1		1			1	4
D-680				1										1	2
D-683							1								1
D-688							2								2
D-690				1			2							2	5
D-696							2	(2)		1					3
D-698							2								2
D-700				1			1			1					3
D-708														1	1
D-709				1											1
D-715				1											1
D-719												1			1
D-720				1											1

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-721	1														1
D-722				1											1
D-724				2											2
D-725														1	1
D-728						1									1
D-739											1				1
D-741				1											1
D-745				1											1
D-752				3					1						4
D-754				1											1
D-755							3								3
D-756				1											1
D-765														1	1
D-780	1			2		1						1			5
D-803										1					1
D-806				1											1
D-807				4										1	5
D-809										1					1
D-810				4				1				1			6
D-811														1	1
D-812							1	(1)							1
D-815				2								1			3
D-816				3								1			4
D-818				1											1
D-819						1									1
D-823						1									1
D-824				1											1
D-828		1										1			2
D-832				2											2
D-834							1								1
D-835										1	(1)				1
D-836				2			2			1	(1)	1			6
D-838														2	2
D-841				1											1
D-842				1											1
D-843				1											1
D-850				4			1								5
D-854	1														1
D-861				1											1
D-870	1						2								3
D-871				1											1
D-873				1			1							1	3
D-874				2											2
D-875				2											2
D-876				1											1
D-877				2											2
D-884							1								1
D-894				1											1

番号	石鏃	石錐	石匙	打石斧	磨石斧	削器	磨石	凹石	敲石	石皿	多孔石	棒状	石槍	その他	合計
D-899												1			1
D-914				4										1	5
D-925				1											1
D-926		1													1
D-929				1											1
D-930														1	1
D-931							3	(1)		1				1	5
D-932							1								1
D-944				1			1								2
D-947							1								1
D-950							1								1
D-956												1			1
D-957				1											1
D-960	1			4											5
D-961				1			1								2
D-963				1											1
D-979				1										1	2
D-983				5	1										6
D-984				5			1	(1)							6
D-986				1											1
D-992				1											1
D-997		1													1
D-998				1											1
D-999													1		1
D-1003				4		1									5
D-1004												1			1
D-1005							1	(1)							1
D-1006				1											1
D-1007				8								1			9
D-1013											1				1
D-1020				1											1
D-1022				2											2
D-1023				1			1								2
D-1024							1								1
D-1025				1			1								2
D-1027				1											1
D-1030				3								1			4
D-1037												1			1
D-1039				1											1
D-1042							1								1
D-1043				1											1
D-1052							1	(1)							1
D-1056				2											2
D-1063				1											1
D-1064						1									1
D-1066				1		1									2
D-1072							1	(1)							1
D-1077				2										1	3
合計	27	8	1	388	2	13	120	1	2	22	7	39	1	57	688

第４表　縄文土器観察表

胎土は細粒（0.9mm以下）中粒（1.0～1.9mm）粗粒（2.0mm以上）とした。焼成は、極良・良好・やや不良の三段階とした。
観察表の遺構番号は報告書の付番、台帳番号は調査時の付番を表す。（　）は推定値、［　］は現存値を表す。

出土位置 No.-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存 ⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
J-1-1	J-1 No.1	浅鉢 大型	①粗粒②やや不良③7.5YR6/6橙 ④口縁～体部片⑤—×[34.0]×—	口縁は内湾する。無文。Ⅱｅ２
J-2-1	J-2 No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④口縁～頸部片・胴部～底部 ⑤(57.2)×(34.4)×13.6	口唇上に孔のある突起を付しそこから把手が続く。口縁は無文。口縁・頸部境に１条の隆帯が巡り隆線による渦巻文や上下に互いちがいの押奈による波状文を施す。胴部は隆線のクランク文を底部まで５単位置く。地文に縄文RL。口縁部と胴部との接合部は認められないが、観察の結果同一個体と考える。Ⅱｂ１
J-2-2	J-2 No.30・34	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/4暗赤褐 ④口縁～底部 ⑤(59.5)×(38.0)×12.6	波状口縁。口縁に沿って中空状突起を巡らす。口縁から頸部は無文。頸・胴部境には隆帯が１周する。胴部上位は、横位Ｓ字状隆線を６単位配すと思われる。下位は２条１組の隆線を４単位と１条の隆線を垂下する。地文に縄文RL。
J-2-3	J-2 No.35・84	深鉢 壺形	①中粒②良好③5YR4/4鈍い赤褐 ④口縁～胴部 ⑤[17.2]×12.8×—	器形は頸部は直立状で、膨らみの強い胴部上半と筒形と思われる胴部下半からなる壺形状である。口縁部に幅広の角押文が２条めぐり、頸部は無文。胴部上半は幅広の角押文を２条施し、その下に幅広で浅めの沈線で弧状及び変形した楕円状文を施文する。地文に縄文RL縦位。Ⅱａ１
J-2-4	J-2 No.79	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐 ④胴部片⑤[20.3]×—×—	環状突起を曲隆線で繋ぎ、太めの沈線が沿う。その間を沈線による鋸歯状・「く」の字状文や印刻三叉文等で埋める。Ⅱｂ３
J-2-5	J-2 No.81	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/4暗赤褐 ④口縁～胴部3/5残 ⑤[22.6]×(23.0)×—	環状・双環状突起を曲隆線で繋ぎ、太めの沈線が沿う。間を沈線文で埋め、印刻三叉文や刻み目列等が施される。地文に縄文RL。Ⅱｂ３
J-5-1	J-5 No.51・67	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③5YR6/6橙④口縁～胴部 ⑤[35.1]×26.3×—	隆帯により口縁部、頸部、胴部を３分割する。双波状の突起を付す。口縁部は楕円区画を４単位配し中に波状沈線を施す。頸部には波状平行沈線を施す。胴部は、刻み入り隆線を垂下し、平行沈線を波状または横位に施す。Ⅱａ２
J-5-2	J-5 一括	異形土器	①中粒・雲母含む②良好 ③2.5YR6/6橙④口縁～底部2/3残 ⑤6.5×[11.0]×[5.5]	肥厚する口縁の長軸側は双波状を呈する。文様はなく、内面を丁寧に研磨。D-754からも形状の似ている異形土器のほぼ完形品が出土している。
J-5-3	J-5 一括	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐 ④口縁～底部 ⑤49.3×(32.0)×(12.5)	口唇上の突起は隆線によるが、横位Ｓ字状か。また、隆線に沿ってペン先状刺突文を施す。頸部は無文。頸・胴部境と胴部には隆帯が巡り、３分割される。上位は環状突起に連結した曲隆線が主体で、幅広の沈線、鋸歯状沈線やペン先状刺突文を充填。中位も隆線が主体で、連続する三角枠を形成し、枠内には沈線やペン先状刺突文を充填する。下位は無文。Ⅱａ１
J-5-4	J-5 一括	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③2.5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁～胴部⑤[16.5]×19.3×—	頸部から口縁に向かいラッパ状に開き、平口縁を呈す。施文は縄文LR。Ⅱｄ２
J-6-1	J-6 No.9	深鉢	①細粒・雲母僅か含む②良好 ③2.5YR4/6赤褐④胴部～底部 ⑤[15.5]×—×(12.0)	胴部上位に刻みのある隆帯で横位楕円区画文を４単位配し、隆線で連結させる。区画内は爪形文を施文し、中央部に長めの沈線を横走させるものも見える。胴部下半は無文。Ⅱａ１
J-9-1	J-9 No.6・50・60・144	浅鉢 大型	①中粒②良好③5YR4/8赤褐 ④口縁～底部2/5残 ⑤13.0×(38.0)×12.0	平口縁を呈し、口唇部は僅かに外反する。口縁部は内湾し、無文で内外面とも丁寧な磨き。Ⅱｅ２
J-9-2	J-9 No.99・126	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④口縁～底部1/4残 ⑤16.9×(13.3)×7.7	胴部下位に膨らみを持つ。口唇に沿って幅広の沈線が１条巡る。縄文R横位か。Ⅱａ１
J-9-3	J-9 No.38・39・113・114	深鉢	①中粒②やや不良③5YR4/6赤褐 ④胴部⑤[17.5]×—×—	縄文RLを施文。Ⅱｄ２
J-10-1	J-10 No.12・24・29・31・70・74・77・80	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐 ④胴部～底部⑤[14.7]×—×(12.5)	縦位隆線を５単位配すと思われる。その間は縦位の半隆起線を充填し、中心付近には沈線による意匠文を置く。Ⅱｂ３
J-11-1	J-11 No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～胴部片 ⑤[38.0]×(40.0)×—	平口縁に中空状突起を付す。文様は爪形文入りの隆帯で３分割される。口縁は相対する連弧文の隆線を施す。頸部は刻み入りの隆線で鋸歯状文を施し把手を付す。胴部は隆線が垂下する。地文は縄文RL。Ⅱｃ１
J-11-2	J-11炉 No.1	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR5/6明赤褐④口縁～頸部片 ⑤—×(26.0)×—	炉体土器。平口縁。口唇上に突起を付すが残存が良くない。口縁に沿って指頭圧痕の隆帯が巡るものと思われる。頸部は、隆線による相対する連弧文を施す。地文に縄文R横位。Ⅱｃ１
J-12-1	J-12 No.6・10	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④胴部～底部⑤[21.0]×—×8.5	筒状の胴部を呈す。施文は縄文L縦位か。Ⅱｄ１
J-12-2	J-12 No.7・8・11・12・28・一括	深鉢	①中粒・角閃石・石英・長石僅か含む ②良好③5YR5/6明赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤28.2×22.9×11.3	口縁部の屈曲部には隆線により横位Ｓ字状文を６単位付し、孔を設けた隆線で連結する。横位Ｓ字状隆線上には、１条の沈線を施す。頸部にはしっかりした隆帯を巡らす。地文に縄文LR横位を施文し、横位Ｓ字状隆線や頸部隆帯にも施文。Ⅱｂ１
J-12-3	J-12 No.16・30	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/4暗赤褐 ④胴部⑤[20.0]×—×—	頸・胴部境には指頭圧痕を施す隆帯が巡ると思われる。地文は縄文RL。Ⅱａ１
J-12-4	J-12 No.19	深鉢	①中粒②良好③5YR5/4鈍い赤褐 ④胴部片⑤[31.0]×—×—	甕状を呈する深鉢であろう。縄文の入る隆帯により区画される。隆線による渦巻文等が施され、間を半隆起線で充填し、円形内に刺突文を施すところもある。地文は縄文RL縦位。Ⅱａ１
J-12-5	J-12 No.27	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐 ④口縁部片⑤[18.6]×—×—	波状を呈する口縁上に突起を付し、突起には半隆線を施す。口縁部は指頭圧痕を施す太めの隆線とＳ字状を呈する細めの隆線からなり中空状突起が付すと思われる。地文は縄文RL。Ⅱｃ１
J-12-6	J-12 No.34	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR4/6赤褐④口縁～頸部片 ⑤[19.0]×—×—	口縁は波状か。主突起の下位には橋状把手が付き、指頭圧痕のつく弧状の隆線と連結される。また、幅が狭小で断面三角形の隆線を施文する。地文に縄文RL横位。Ⅱｃ１

出土位置 No.-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存 ⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
J-17-1	J-17No.1	土製品	①細粒②良好③7.5YR6/6橙 ④完形⑤高さ1.6×径1.6	耳栓。身部は括れる。中心部に孔が貫通。
J-17-2	J-17No.3・5・7・一括	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐 ④口縁～頸部⑤[31.0]×20.0×—	口唇上に主突起と副突起を各々4単位配す。大型の主突起は山形状を呈し、下位に双環状突起、コイル状隆帯、橋状把手の存在が想定されるが欠損している。副突起は双環状、コイル状を呈す。口縁から頸部は双環状突起を曲隆線で連結し、間を半隆起線、印刻の三叉文等を充塡。IIb2
J-17-3	J-17No.19・一括	深鉢	①細粒②良好③2.5YR4/4鈍い赤褐 ④口縁部片⑤—×—×—	環状突起を隆線でつなぎ、頸部の隆帯に把手を連結するものと思われる。沈線は見えない。内面は丁寧な磨き。
J-19-1	J-19No.16	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤(38.0)×(18.0)×9.0	口唇上には中空状突起を付す。また、口唇に沿って刻み入りの2条の隆帯を巡らせ、下位の隆帯には指頭圧痕を施す。胴部は指頭圧痕の隆線を4単位垂下し区画する。地文は縄文RL縦位。IIb1
J-20-1	J-20No.1	深鉢	①中粒・輝石含む②やや不良 ③5YR4/6赤褐④胴部下半 ⑤[12.7]×—×13.0	2条の微隆線で4単位に縦位区画する。区画内は沈線を施し縄文を充塡する。垂下する隆線上に縄文RL縦位を施し、太めの沈線が沿う。内面煤付着。
J-21-1	J-21No.4	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④胴部片⑤—×—×—	3本1単位の半截竹管による沈線を縦位に施す。IIa1
J-25-1	J-25炉No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁部⑤[11.0]×31.7×—	炉体土器。幅広の隆線により横位楕円区画を5単位に置く。区画内は、上位中央付近の隆線による円形文や半截竹管による幅広で浅めの平行沈線文・円形押奈文を配す。IIa1
D-31-1	D-31No.2	ミニチュア	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～底部2/5残⑤3.4×4.6×—	ミニチュア土器。口縁に補修孔ではない小穴2つ。
D-38-1	D-38No.1・2・10・一括	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐④胴部 ⑤[12.7]×—×—	刻み入り隆帯が1周し、その上位に隆線、沈線が施されるが詳細は不明。下半は無文。IIa1
D-43-1	D-43No.12・14	鉢	①細粒②良好③2.5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁～底部2/5残 ⑤[11.2]×23.0×(10.0)	無文。内外面丁寧な磨き。IIe3
D-43-2	D-43No.15	深鉢	①中粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④底部⑤[10.5]×—×12.5	胴部に縄文RL施文。底部付近は無文。IId2
D-85-1	D-85No.1	深鉢	①中粒②やや不良③5YR4/8赤褐 ④口縁～底部2/5残 ⑤23.0×14.0×10.5	口縁に沿って施される2条の沈線は、4単位貼付されると思われる縦位の短めの隆線の際を縁取る。また、その下に波状の平行沈線が1条巡る。頸部から胴部にかけて平行沈線による波状懸垂文を施文する。地文は複節縄文(RLRか)を施す。IIa1
D-93-1	D-93No.2	鉢	①細粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④2/5残⑤11.5×(20.2)×(9.0)	口唇部は内傾し、口縁部は内湾する。口唇上には弱い沈線を巡らせ、口縁部には沈線による渦巻文を施した突起を付す。内外面は丁寧な磨きで、口唇上から外面に赤色塗彩。IIe3
D-114-1	D-114No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④ほぼ完形⑤33.7×22.7×11.0	波状口縁。波頂部には尖鋭な小突起を付し、突起間を弧状隆線で連結する。また隆線下には隆帯が巡り、その接合部には半円状小突起を付す。IIa1
D-122-1	D-122No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④胴部～底部⑤[12.5]×—×9.0	筒状の胴部に、沈線による曲線文と鋸歯状文を施し、曲線文に沿って刺突文を置く。内面煤付着。IIa1
D-128-1	D-128No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR3/4暗赤褐 ④口縁部片⑤—×—×—	口縁は波状を呈し、その両脇に小突起を付すと思われる。口縁と小突起下に付された円環文は、双環状の大きめの突起を曲隆線で繋ぎ、下方へと続く。また、口縁下には楕円形を呈する隆線文を置くが、中に施文はない。曲隆線間には半隆起線で施文され円形文、玉抱き三叉文等が充塡される。IIb3
D-135-1	D-135No.6	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④胴部～底部⑤[19.2]×—×10.4	爪形文を配した把手が付く。頸・胴部境には爪形文が入る隆帯が巡る。頸部の残された部分には縦位の平行沈線が見える。胴部は縄文RL縦位を施す。 IIa1
D-139-1	D-139No.1・2・3・6・7・10	鉢	①細粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④3/5残⑤13.2×24.4×11.2	口縁部は内湾する。基本は半截竹管による平行沈線で、口縁に沿って4条施し、胴部には渦巻文・波状文を施文する。その空間には三叉文・刺突文を置く。内面は丁寧な磨き。IIe3
D-139-2	D-139No.1・4	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR5/6明赤褐④胴部 ⑤[14.2]×—×—	無文。器面荒れ。IId1
D-139-3	J-2内D-139No.59	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～胴部2/3残 ⑤[12.5]×12.0×—	胴部は筒状で口縁に向かって緩く開く。無文で外面は縦位の磨き。内面は荒い。IId1
D-142-1	D-142No.3	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④口縁～頸部⑤[20.5]×15.0×—	口唇上に中空状の大型突起と環状の小型突起を相対して配す。その突起には爪形文や半截竹管によるC字状文を施し、その下の把手へ続いて施文する。口縁から頸部にかけては平行沈線による相対する連弧文を置く。地文は縄文RL縦位。IIa1
D-144-1	D-144No.1	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR5/8明赤褐 ④口縁～胴部3/5残 ⑤[24.0]×17.7×—	双環状を呈する中空状突起を口唇上に付し、そこから垂下する2条の隆線は頸・胴部境の2条の隆帯まで達する。口縁に沿って巡る2条の沈線下には、波状平行沈線文や渦巻状沈線を施す。胴部は、爪形文入り隆線で渦巻文等を施文し、その間を曲線的な沈線で渦巻文等を充塡する。地文に縄文RL。 IIa1
D-145-1	D-145No.1	ミニチュア	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④ほぼ完形(口縁欠損) ⑤5.6×(6.4)×6.0	ミニチュア土器。内外面丁寧な磨き。無文。
D-150-1	D-150No.1	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR5/6明赤褐 ④胴部～底部⑤[20.2]×—×8.8	筒状を呈する胴部には平行沈線によるクランク文を6単位配す。地文は縄文RL縦位。内面煤付着。IIb1

出土位置No.-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
D-152-1	D-152No.1	深鉢	①細粒②良好③5YR5/6明赤褐④口縁～胴部⑤[25.0]×18.3×—	口唇上に渦巻状隆線の突起を付すが、相対する位置にも突起を付けたと思われ、口唇に隆起の名残りが見える。口縁から頸部にかけて、偏平な弧状隆線を突起と対角する位置に貼付し、その中央部下端には把手を対で設ける。頸・胴部境には隆帯が巡る。胴部は「ト」の字をモチーフとした縁取りの隆線を4単位貼付する。またすべての隆線・隆帯にはペン先状の刺突が付く。Ⅱｂ3
D-170-1	D-170No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐④口縁～胴部上半⑤[24.0]×20.6×—	口唇に沿って半截竹管による3条の横位沈線を施し、その下に2条沈線入りの横位S字状隆線を4単位配す。S字状文間は中を空洞化している3条沈線入り隆線で橋状に繋いでいる。頸・胴部境には幅広の隆帯が巡りその上下には1条の平行沈線が沿う。地文は縄文RL縦位。Ⅱｂ1
D-175-1	D-175No.4・10	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐④口縁～胴部1/2残⑤[17.0]×(32.0)×—	刻み隆帯で口縁部・頸部・胴部を区画する。口唇上には刻み目のつく環状・動物の耳状突起を付す。口縁は、刻み隆線を渦巻状等に施し、間を半隆起線文・蓮華文・印刻の三叉文等で埋める。頸部は無文。胴部の残存は良くないが、刻み隆線を波状またはラグビーボール状に施し突起を付す。この空間は平行沈線・蓮華文・刻み目列を充填している。胴部下半は無文。Ⅱａ1
D-175-2	D-175No.9	深鉢	①中粒②良好③5YR5/6明赤褐④胴部～底部⑤[8.0]×—×9.5	垂下する4単位の隆線間に半截竹管による平行沈線や爪形文を配する。内面煤付着。Ⅱａ1
D-191-1	D-191No.1・5	深鉢	①中粒②良好③7.5YR7/4鈍い橙④完形⑤25.9×16.6×7.5	4単位の横位S字状隆線を口縁に配し、隆線で連結する。頸部には2条の隆帯を巡らす。隆帯上に縄文有り。地文に縄文RL施文。Ⅱｂ1
D-198-1	D-198No.1～4	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐④胴部～底部⑤[14.3]×—×12.0	垂下する2条1単位の隆線を2単位設け、その間に平行沈線を魚鱗状・T字状に施文する。地文に縄文LR横位を施す。Ⅱｃ2
D-224-1	D-224No.1	深鉢	①中粒②良好③7.5YR6/6橙④ほぼ完形(底部一部欠損)⑤25.3×16.8×9.1	口縁部は膨らみを持ち、胴部は筒状を呈す。文様帯は3条の沈線が巡り分帯される。口縁部文様帯は、沈線による重弧文を6単位配し、ペン先状刺突による線も見うけられる。胴部文様帯は垂下する沈線によって12区画に分けられ、区画内には沈線が鋸歯状に垂下する。Ⅱａ1
D-225-1	D-225No.9	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐④ほぼ完形(底部一部欠損)⑤21.7×14.5×(8.0)	口縁部は膨らみを持ち、胴部は筒状を呈す。無文で、丁寧な磨き。Ⅱｄ1
D-275-1	D-275No.1	土製品	①中粒②良好③2.5YR6/8橙④完形⑤3.7×3.1(外)1.4(内)×—	ほぼ球体で、指先であけたと見られる孔1つ。指押さえ痕あり。
D-277-1	D-277No.2	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR6/6橙④胴部～底部⑤[19.0]×—×12.0	縄文RL縦位を施文する。内面荒れ。Ⅱｄ2
D-281-1	D-281No.2	深鉢	①細粒②良好③5YR4/4鈍い赤褐④胴部⑤[17.2]×—×—	胴部上位は、隆線に刻みを施し、その間に平行沈線を縦位に配す。胴部下位は、隆線により横位楕円区画文が施される。区画内は半截竹管による短沈線を充填し、中央に爪形文を横位に施文するものと施文しないものがある。Ⅱａ1
D-335-1	D-335No.2	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐④胴部～底部⑤[18.3]×—×10.2	2条の隆線を相対して垂下させ、その中間には1条の隆線を縦位に配し、4区画とする。沈線は隆線を縁取る様に施される。地文は縄文RL縦位。Ⅱｂ1
D-336-1	D-336No.1	深鉢	①細粒②良好③5YR4/4鈍い赤褐④ほぼ完形⑤15.5×11.2×7.1	無文。内外面磨き。Ⅱｄ1
D-366-1	D-366No.3	深鉢	①中粒②良好③5YR4/4鈍い赤褐④ほぼ完形⑤31.1×15.6×9.2	口唇上には円環文付きの突起を付し、口唇に沿って2条の沈線と大柄な蓮華文状沈線を施す。頸・胴部境には刻み入り隆帯が巡る。地文は縄文RL縦位。Ⅱｃ2
D-465-1	D-465No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐④胴部～底部⑤[15.3]×—×6.6	1条の沈線を巡らせ、その下に縦位の長楕円文を並列し1周する。長楕円文は、半截竹管を使用して平行沈線とC字文の組み合わせより形作る。地文に縄文を施すが不鮮明。
D-512-1	D-512No.1・5	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/4鈍い赤褐④口縁部片⑤[9.3]×(18.0)×—	横位S字状隆帯に中空状突起が繋がるものと思われる。地文は縄文RLを施す。Ⅱｂ1
D-512-2	D-512No.2・3・一括	深鉢甕形	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐④口縁～底部4/5残⑤21.4×16.0×(9.4)	平行沈線を脇に添えた縄文施文の隆帯と指頭圧痕付の隆帯により大きく3分割され、把手を付ける。口縁部は、幅の狭い無文部分下に縄文を施す。胴部上半は、縦位隆線により2区画に分けられ、1区画内には沈線の2重楕円文が2単位配される。地文の縄文はRL。Ⅱａ1
D-523-1	D-523No.1	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR5/8明赤褐④胴部～底部⑤[14.5]×—×7.2	縄文RL縦位を施す。内面煤付着。Ⅱｄ2
D-536-1	D-536No.3	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐④口縁～胴部片⑤[14.5]×(18.0)×—	縄文RL横位を施文。Ⅱｄ2
D-550-1	D-550No.1・一括	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/4暗赤褐④胴部⑤[13.0]×—×(10.0)	3条1単位の沈線を縦横に施し6単位の長方形区画を行う。また、横位沈線の上位には爪形文が見られる。Ⅱａ1
D-554-1	D-554No.6	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/4鈍い赤褐④口縁～底部2/5残⑤31.4×(24.1)×13.3	口縁から頸部は無文で丁寧な磨きを施す。胴部は、刻みの入る隆線を主体として蛇行懸垂文及び楕円形文と縦位隆線との組み合わせをそれぞれ対に配す。間を半截竹管による爪形文・蓮華文・平行沈線文やペン先状の刺突文、キャタピラ文、印刻三叉文等で充填する。Ⅱａ1
D-554-2	D-554一括	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐④口縁～底部3/5残⑤24.5×16.3×(9.0)	口縁部は狭小の平行沈線を縦位に施す。頸部から胴部にかけて3条の沈線で渦巻文を3単位配し、刻み目列が外側に沿う。その間には平行沈線・刻み目列・ペン先状刺突による鋸歯状文が縦位に施され、短沈線を充填している。無文の胴部下半は、若干の膨らみを持つ。Ⅱａ1
D-607-1	D-607No.1・3・4・7・8	浅鉢大型	①細粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐④口縁～底部2/5残⑤13.5×(28.0)×(11.0)	口縁部に隆線を貼付し、曲線的な文様を施す。内外面丁寧な磨き。口唇上に赤色塗彩。Ⅱｅ2
D-623-1	D-623No.1・2・5・8	浅鉢大型	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐④口縁～体部⑤[16.0]×(36.0)×—	口縁は屈曲して立ち上がる。無文。内外面丁寧な磨き。赤色塗彩。Ⅱｅ3

出土位置 No-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存 ⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
D-623-2	D-623No.14	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐 ④胴部～底部⑤[9.9]×－×8.5	縄文 RL 縦位に施文。内面煤付着。Ⅱｄ２
D-625-1	D-625No.1・2	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR4/8赤褐 ④胴部～底部⑤[13.4]×－×7.8	器形は筒状を呈す。胴下部に２条１単位の幅広の沈線を横走させ、その上位には４単位斜位に施す。地文に縄文があるがはっきりしない。
D-626-1	D-626No.5 D-535No.2 D-536No.2 D-542一括	浅鉢 大型	①粗粒・雲母含む②良好 ③7.5YR5/4鈍い褐 ④口縁～底部1/4残 ⑤22.0×(45.0)×(12.0)	口縁は双波状を呈する。無文。内外面磨き。Ⅱｅ２
D-628-1	D-628No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④胴部～底部⑤[43.5]×－×15.5	双環状突起を曲隆線でつなぎ突起上に大型の把手が付く。文様は曲隆線を円形に配しコイル状文を付すものがある。また半隆起線による円形文の中に縦位の隆起線や列点の刺突、印刻三叉文を置く。他の空間も半隆起線や印刻三叉文で充塡する。胴部下半は無文。Ⅱｂ３
D-628-2	D-628No.3・6	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④ほぼ完形⑤(34.3)×27.2×10.5	口唇上に突起を付すと思われる。その突起下には交互刺突の施された隆線が僅かに残る。口縁は無文。頸部下位には指頭圧痕を施す隆帯を付す。また頸・胴部境に隆帯を付し、上下を区画する。膨らみを持つ胴部は、中位に横位沈線を施し上下をはっきり区画する。上位は隆線を主体とし、渦巻状または楕円状の施文をし、間を沈線で埋める。下位は撚糸文のみ施す。内面黒色。 Ⅱａ１
D-635-1	D-635No.4	鉢	①細粒②良好③5YR5/4鈍い赤褐 ④ほぼ完形(口縁一部欠損) ⑤13.4×17.0×8.4	口唇部は僅かに外傾し、口縁部は膨らみ口唇部は僅かに外傾する。二段の隆帯で文様構成される。上段は横位に施され、下段は一部波状に施されるが、上下を連結させる。内外面は丁寧な磨き。赤色塗彩。Ⅱｅ３
D-635-2	D-635No.6	深鉢	①中粒・輝石含む②良好 ③5YR3/6暗赤褐④口縁部片 ⑤ [6.5]×－×－	平口縁。口唇上に突起を付す。細かな刻み入り隆線を連弧状に貼付し、上位２ヶ所を突起状にする。下端には双環状突起や楕円形隆線を付す。弧内には半隆起線を重ね他も半隆起線で充塡する。Ⅱａ１
D-661-1	D-661No.1	深鉢	①粗粒・雲母・石英・長石含む②良好 ③7.5YR5/6明褐④口縁～胴部下半 ⑤[22.0]×19.0×－	器形は、直線的に開く形態を呈す。隆帯で口縁部、頸部、胴部に３分割される。口縁部には「冂」字状突起を１対、それと直交して柱状の突起を１対付す。頸胴部境の隆帯状にも口縁部同様の「冂」字状突起と柱状突起をそれぞれ対に付している。これらの突起から胴部に隆線の蛇行や直線的懸垂文を付す。隆線上には刻目を付したものもある。また器面に爪形状文や単列の結節沈線が見える。Ⅱａ２
D-661-2	D-661No.2	浅鉢 大型	①中粒②良好③5YR4/8赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤17.1×38.5×11.0	口唇上に円環状小突起を対に付す。無文で内外面磨きを施す。補修孔が２ヶ所に見られる。Ⅱｅ２
D-661-3	D-661No.3	深鉢	①中粒・雲母含む②良好③10R4/8赤 ④胴部～底部2/5残か ⑤[14.3]×－×9.6	頸・胴部境の隆線下に逆U字状に隆線を垂下し、その連結部には小突起を付し、隆線の縁取りに結節沈線を１条施す。内面煤付着。Ⅱａ２
D-673-1	D-673No.1・2・4	深鉢	①中粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④口縁～底部2/3残 ⑤49.6×20.6×(14.0)	口唇に沿って隆線による渦巻文の主突起と副突起を各々対に配す。副突起は２個で１単位。主突起下位には、中空で半球体の突起を付し、一方は刺突を施し、もう一方はキャタピラ文を渦巻状に施す。また、副突起下位には隆線で円形文や半円形文を配しキャタピラ文を充塡する。文様構成は３本１組の隆帯により４分割される。上位は、キャタピラ文と３条ないし４条の結節沈線で縁取り、印刻による三叉文等を充塡する。中位・下位は、縦位隆線により方形区画を６単位配すと思われ、キャタピラ文と３条の結節沈線で縁取る。最下位は無文。Ⅱａ１
D-677-1	D-677No.1・2	深鉢	①中粒②やや不良③10R3/6暗赤 ④口縁～底部1/2残 ⑤22.5×(14.0)×(9.5)	口縁に横位Ｓ字状隆線を４単位配すものと思われ、その隆線下に１条の平行沈線を施す。また、隆線間は半隆起線でつなぐと思われる。頸・胴部境には指頭圧痕の隆帯を１周させ、その上に１条の平行沈線を沿う。地文に縄文 RL 横位を施す。Ⅱｂ１
D-688-1	D-688No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁部下半～底部 ⑤[21.2]×－×8.5	双環状やコイル突起を曲隆線で繋ぎ間を半隆起線、鋸歯状沈線、円形状沈線等で充塡する。Ⅱｂ２
D-688-2	D-688No.2・3・7～9	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～頸部⑤[26.8]×30.8×－	口唇上に大小の突起を対に置く。また、突起の施文は刻みの入る隆線が主体で、表裏同一である。大型突起は人体意匠文で、両脇に円環文を付す。その中心には２重の円形文を配し中の円形文は縦位隆線が入る。直下には双環状突起が付き２条の隆線が垂下する。小型の突起は変形した三角形を呈し、端に円環文を１つ付ける。Ⅱａ１
D-688-3	D-688No.6・10	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～胴部⑤[26.2]×16.0×－	口唇に沿って２条の沈線を施す。口縁には横位Ｓ字状隆線文を５単位配し、その連結には菱形状隆線文等を置く。また縁取りの沈線や平行沈線を施す。頸・胴部境には１条の隆帯を巡らせ上下を区画する。胴部は隆線または沈線によるクランク文等を施すが、欠損部が多いため全様は不明である。地文は縄文R。Ⅱｂ１
D-688-4	D-688No.4・5	深鉢	①粗粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤42.2×29.4×13.5	口縁部・頸部は磨き。胴部に縄文 RL を施す。Ⅱｄ１
D-689-1	D-689No.1～3	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④口縁～底部2/5残 ⑤37.2×(27.5)×(12.5)	口唇に沿って隆線を貼付し、その下位に幅広で浅めの沈線を置き交互刺突を施す。胴部は、刻み入り隆帯で３分割する。上位は、刻み入り隆線を蛇行させる。中位は刻み入り隆線により楕円区画され縦位の沈線を充塡する。下位は縄文 LR を施す。Ⅱａ１
D-689-2	D-689No.4・5・6	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁～底部 ⑤39.8×[34.8]×(13.3)	波状口縁。口縁に沿って中空状突起を付すと思われる。地文は縄文で、口縁から頸部は細めの RL 斜位、胴部はやや太めの LR 縦位を施す。
D-704-1	D-704No.2・3・4	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③7.5YR5/6明褐 ④口縁～胴部上半片・底部 ⑤－×(34.0)×13.0	口唇上は小波状を呈し、突起を付す。口縁は、細隆線による横位楕円文を配すが単位は不明。また、内側に１条の結節沈線が沿う。頸部は渦巻状に結節沈線を施し、そこから枝分かれした沈線が垂下する。頸・胴部境には４条の結節沈線と１条の鋸歯状沈線を横位に施し、上下を区画。底部に網代痕。 Ⅱａ２

出土位置No-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
D-707-1	D-707No.1	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③5YR5/4鈍い赤褐 ④口縁～胴部片⑤—×—×—	波状を呈する口縁で口唇上に刻みを施す。IIａ2
D-725-1	D-725No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④ほぼ完形⑤28.8×20.7×9.6	2条の刻み入り隆帯で3区画される。口唇上には孔付きの小突起を1つ付け、口縁部は渦巻状隆線を貼付し、それに沿ってキャタピラ文・ペン先状刺突文を施す。頸部は隆帯に沿ってキャタピラ文のみ施文。胴部は環状突起付きの隆線を貼付し、それに沿ってキャタピラ文・ペン先状刺突文を施す。また三叉文も見える。IIａ1
D-739-1	D-739No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④口縁部片⑤—×—×—	大型の中空状突起を口唇部に配し、半截竹管の背による押引文をS字状や潰れたU字状に内外面に施文する。また内面縁には細い粘土紐を波状に貼付。口縁は半截竹管による3条1単位の沈線で区画し渦巻状の施文をする。地文に縄文RLを施す。
D-739-2	D-739No.2	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR6/6橙 ④ほぼ完形⑤32.0×20.4×11.5	主突起4、副突起4単位と考えられるが、双環状を呈する形状にはあまり差が見られない。各突起下から派生する曲隆線は、中位にある瘤状突起と連結した後に分岐し、他から分岐した隆線とつながり底部付近の無文部との境となる。曲隆線の間には、半隆起線を施し沈刻の三叉文・列点刺突文・短沈線文・円形文で埋める。IIｂ2
D-754-1	D-754No.1	異形土器	①粗粒・雲母・長石・石英含む ②やや不良③2.5YR6/8橙 ④ほぼ完形⑤8.1×20.0×11.2	口縁及び、底部を上・下から観察したときの形状は、楕円形を基本としている。口縁部は、長軸側では双波状を呈し、その下に玉抱き三叉文つきの小突起を付す。また、短軸側にも同様の小突起を付す。J-5からも形状の似ている異形土器が出土している。
D-756-1	D-756一括	有孔鍔付土器	①中粒・雲母含む②良好 ③2.5YR5/8明赤褐④口縁部片 ⑤—×(14.0)×—	口縁部は無文。穿孔の下に隆帯を2条巡らす。孔6つ。
D-780-1	D-780No.1	深鉢	①細粒②良好③2.5YR6/6橙 ④ほぼ完形⑤28.8×19.5×10.4	口縁及び、頸部隆帯上位に幅広の平行沈線を2条配し、その間を沈線で5区画し横位渦巻状文等を施す。地文に撚糸文施文。IIａ1
D-793-1	J-10内D-1No.1	深鉢	①細粒②良好③5YR4/4鈍い赤褐 ④胴部～底部⑤[24.8]×—×13.8	1条の隆帯で上下を区画する。上位は、コイル状突起を曲隆線で連続し、間を半隆起線、鋸歯状沈線、印刻三叉文等で充填する。下位は無文。IIｂ3
D-803-1	D-803No.2	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④胴部下半～底部 ⑤[10.3]×—×9.7	平行沈線を1周させて上部と下部とに分ける。上部には平行沈線を曲線的に配したり、鋸歯状沈線を縦位に施文する。地文に縄文LR縦位を施す。IIａ1
D-807-1	D-807No.5	深鉢 小型	①細粒②良好③5YR3/6暗赤褐 ④ほぼ完形⑤13.7×10.5×8.0	緩やかに開く器形で、底面は僅かに上げ底状。口唇部は僅か波状を呈し、内面には磨きを施す。地文に縄文LR施文。IIｄ2
D-809-1	D-809No.2	深鉢	①粗粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④ほぼ完形⑤(23.2)×14.5×(8.6)	口縁部は無文。双環状の把手を1つ付し、口縁下の刻みを有する円環文に曲隆線を連結させる。口縁下には平行沈線による連弧文が巡る。地文に縄文RL施文。IIａ1
D-812-1	D-812No.2	浅鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④ほぼ完形⑤9.8×19.5×7.8	無文。外面は丁寧な磨き。IIｅ1
D-812-2	D-812No.4	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR6/6橙 ④口縁～底部1/2残 ⑤20.5×(14.0)×7.2	胴部は筒状で口縁に向かって緩やかに開く。無文。外面丁寧な磨き。内面煤付着。IIｄ1
D-819-1	D-819No.1	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③2.5YR5/6明赤褐④完形 ⑤34.1×24.5×10.8	口唇上には4単位の摘み状小突起を付す。口唇部、胴部には1条の結節沈線を横位に施す。IIａ2
D-824-1	D-824No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④胴部～底部⑤[24.8]×—×13.3	平行沈線が沿う2条1単位の隆線を垂下させ4単位設ける。区画内の施文は半截竹管による3条1単位の沈線が基本で、横走する沈線で小区画化し中をU字状文・蓮華文・縦位平行沈線を充填するもの、L字状文を4単位配するものがある。地文に縄文RLを施すが隆線上にも見える。IIｂ1
D-838-1	D-838No.1・2	深鉢 甕形	①粗粒・片岩・石英含む②やや不良 ③2.5YR4/4鈍い赤褐④口縁部片 ⑤[9.5]×(36.0)×—	甕形を呈する深鉢と思われる。文様は見えず器面の整形も荒い。IIｄ1
D-841-1	D-841No.1	浅鉢	①細粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～体部2/5残 ⑤—×—×—	口縁部は内折する。隆線を貼付して潰れた三角形文等を付す。内外面丁寧な磨き。補修孔あり。赤色塗彩。IIｅ1
D-841-2	D-841No.2	台付鉢	①細粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐 ④口縁～底部5/6残 ⑤26.8×(13.8)×15.9	口唇上に環状突起を付す。口縁は無文で、丁寧な磨きを施す。胴部は刻みの入る楕円状突起を置き刻み入り隆線で縁取る。また刻み入り隆線による渦巻文を配し、沈線や印刻三叉文等を充填する。台部は丁寧な磨きを施し、三角形と円形の透しを対に配す。IIａ1
D-841-3	D-841No.3	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/6明赤褐 ④口縁～底部⑤18.0×(16.5)×9.5	口唇に沿って隆帯を1周させる。その下位には曲隆線による渦巻文と弧状文をそれぞれ対に2単位置き、間を半隆起線、円形刺突文、印刻三叉文で充填する。胴部下半は無文。IIｂ2
D-842-1	D-842No.1	深鉢	①中粒②やや不良③5YR4/8赤褐 ④頸部～底部⑤[22.0]×—×12.5	頸部は曲隆線と半隆起線により渦巻文・円形文等を施文し、隙間に印刻の三叉文を充填する。胴・頸部境に隆帯を貼付して区画する。胴部は無文で縦位の磨き。IIｂ2
D-845-1	D-845No.1	ミニチュア	①細粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④口縁～底部1/2残 ⑤2.5×(1.8)×1.2	ミニチュア土器。外面丁寧な磨き。
D-852-1	D-852No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④胴部～底部⑤[15.6]×—×11.0	3単位の垂下する隆線に沿って爪形文、平行沈線文を施し、間に爪形文、沈線による鋸歯状文、刺突文等を充填する。IIａ1
D-856-1	D-856No.1	台付鉢	①中粒②良好③5YR6/6橙 ④台部⑤[9.2]×—×11.0	内部底面煤付着。縄文R施文。台部底面窪みあり。

出土位置 No-	台帳番号	器種	①胎土②焼成③色調④残存 ⑤器高×口径×底径(cm)	器形の特徴・文様要素・文様構成
D-859-1	D-859No.1	深鉢	①中粒②やや不良 ③2.5YR3/4暗赤褐 ④口縁～頸部・胴部～底部 ⑤—×(18.0)×(8.7)	口縁から頸部は無文で、把手を付す。頸・胴部境には隆帯を巡らせ区画する。胴部には縄文 RL を施す。IIａ1
D-864-1	D-864No.1・一括	鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④口縁～体部⑤(15.5)×(32.0)×—	口縁は内傾する。内外面丁寧な磨き。赤色塗彩。IIｅ3
D-922-1	D-922一括	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④口縁～胴部片⑤[10.7]×—×—	口縁には刻み入り隆線を波状に施す。頸部は無文。頸・胴部境には刻み入りの隆帯が巡る。胴部は刻み入り隆線を縦位に施し方形に区画し、区画内を縦横の沈線で充填する。IIａ1
D-926-1	D-926No.1・3・一括	深鉢	①中粒・雲母含む②良好 ③7.5YR4/4褐④突起片 ⑤—×—×—	4単位の波状口縁を呈する深鉢であろう。口縁には隆線を貼付し、その上から刻みを施す。地文に縄文L施文。IIａ2
D-928-1	D-928No.1	深鉢	①中粒②やや不良③5YR5/4鈍い赤褐④胴部⑤[14.5]×—×(7.5)	縄文 RL 縦位に施文。内面煤付着。IIｄ2
D-929-1	D-929No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④頸部～底部⑤[20.3]×—×8.0	縄文 RL 縦位に施文。内面煤付着。IIｄ2
D-930-1	D-930No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR3/6暗赤褐 ④胴部⑤[9.6]×—×7.0	指頭圧痕の隆帯が1条巡る。IIａ1
D-930-2	D-930No.2	浅鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④口縁～底部片 ⑤10.3×(24.0)×(10.0)	渦巻状隆線を付す。内外面丁寧な磨きを施す。IIｅ1
D-931-1	D-931No.5	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④口縁～底部3/5残 ⑤27.4×(22.0)×(10.7)	口縁に沿って数条の沈線が巡ると思われる。口縁部は半截竹管による楕円形文や縦位沈線が見られる。頸・胴部境と胴部下半はそれぞれ2条の隆帯が巡り、刻みを施すところと施さないところがある。隆帯内には刻み入り隆線の連弧文を相対して貼付し、隆線に沿って浅めの平行沈線を施す。IIａ1
D-950-1	D-950No.1	深鉢	①細粒②良好③5YR5/6明赤褐 ④ほぼ完形⑤25.8×18.5×8.7	口唇上にコイル状または楕円状の主突起を4単位付し、その間の口唇下に双環状副突起を置く。文様は、主・副突起から垂下する隆線と曲隆線をコイル状突起で連結し、間を渦巻状沈線文、結節沈線文、印刻三叉文、円形押奈文等で埋める。IIｂ3
D-979-1	D-979No.1	浅鉢 大型	①中粒②良好③2.5YR3/4暗赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤20.5×54.0×14.3	双波状口縁。内外面丁寧な磨き。IIｅ2
D-984-1	D-984No.1・2	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/9明赤褐 ④ほぼ完形⑤69.0×41.5×17.0	口縁部は4単位の鶏頭冠状突起下に眼鏡状突起を付す。頸部は隆線による相対する連弧文を施す。胴部は沈線によるクランク文が主体である。地文に縄文施文。IIｃ1
D-1007-1	D-1007No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR4/6赤褐 ④胴～底部⑤[11.7]×—×10.0	2条の隆帯で上下を区画する。隆帯下は半隆起線を垂下させる。内面煤付着。IIａ1
D-1015-1	D-1015No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR5/8明赤褐 ④ほぼ完形⑤45.0×26.5×10.0	突起を2対配す。1対は大型で孔を有し、もう1対は小型である。文様は3条の刻み入り隆帯で4分割される。口縁部は刻み入り隆線で楕円区画文や渦巻文を施し間に短沈線や印刻三叉文等を充填する。胴部上位は縄文のみ施文する。中位は刻み入り隆線で楕円状に区画し間に短沈線を充填する。下位は無文。IIａ1
D-1022-1	D-1022No.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/6赤褐 ④胴部～底部⑤[27.8]×—×13.1	頸・胴部境に刻み入り隆帯を巡らすものと思われる。胴部は隆線が主体で沈線を沿わせる。地文は縄文 LR か。IIａ1
D-1072-1	D-1072No.1・一括	深鉢	①中粒②やや不良③2.5YR6/6橙 ④口縁～胴部下半 ⑤[35.0]×21.5×—	口唇上に刻み隆線の突起を置き、両側に小さな環状突起も配す。口縁から頸部は無文。頸・胴部境に1条の隆帯を巡らせて区画とする。その直下には双環状突起を4単位配し、隆線が垂下する。隆線間には縦位の半隆起線や半肉彫手法による円形文等を施す。胴部のみ地文に縄文 LR を施す。IIａ1
D-1077-1	D-1077No.1	深鉢	①中粒②良好③5YR3/4暗赤褐 ④4/5残底部欠損 ⑤[39.3]×33.0×—	口唇上には刻みが施され「冂」状の突起を4単位付す。隆線により口縁部、頸部、胴部と3分割される。口縁部は、突起下は2条1単位の結節沈線と波状沈線が施され、突起間は結節沈線1条で縁取り4条1単位として充填する。頸部は、刻み目列、波状沈線等を施す。胴部は波状に垂下する2条1組の隆線を4単位配し、波状沈線、刻み目列を添える。IIａ2
X79 Y148グ	X79Y148グNo.103	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/4鈍い赤褐 ④口縁～胴部1/2残 ⑤(24.1)×37.0×—	口唇上に大きめの双環状突起を4単位、その下部と中間に小ぶりのコイル状突起を置くと考えられる。施文は、曲隆線で小突起を連結し下の隆帯まで続く。間は半隆起線を施し、玉抱き三叉文等を置く。胴部下半は無文。IIｂ2
X81 Y152グ	X81Y152グNo.1	深鉢	①中粒②良好③2.5YR4/8赤褐 ④口縁～底部4/5残 ⑤23.4×12.8×8.5	形状は筒状を呈する。口縁部は無文。胴部は4本1単位の平行沈線を縦横に施して方形状に区画し、中を渦巻状や短い平行沈線で埋める。IIａ1

第５表　石器観察表

観察表の遺構番号は報告書の付番、台帳番号は調査時の付番を表す。[　] は現存値を表す。

出土位置No.	台帳番号	器 種	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石 材	備　　考
J-1-2	J-1 No.12	石鏃	[1.9]	1.2	5.1	[0.48]	チャート	凹基無茎鏃　基部欠損
J-1-3	J-1 No.21	磨製石斧	[11.8]	3.3	1.5	[117.8]	頁岩	基端部・刃部欠損
J-2-6	J-2 No.68	磨石・凹石	11.7	9.6	5.6	870.0	安山岩	４面使用　凹表２裏２
J-5-5	J-5 No.39	石鏃	2.9	1.2	0.4	1.1	黒色頁岩	凹基無茎鏃　先端欠損
J-5-6	J-5 No.49	棒状石器	13.6	4.3	3.0	320.0	頁岩	
J-6-2	J-6 No.5	石皿・多孔石	27.8	26.0	4.5	4200.0	安山岩	
J-11-3	J-11No.7	磨製石斧	[10.9]	[5.1]	[3.9]	[200.0]	頁岩	刃部欠損
J-11-4	J-11一括	石槍	9.1	3.9	1.0	35.7	黒色頁岩	
J-12-7	J-12No.39	棒状石器	13.1	4.1	1.8	117.1	結晶片岩	
J-18-1	J-18一括	削器	5.4	4.3	0.6	11.9	黒色頁岩	
J-19-2	J-19No.39	磨石	15.2	8.6	3.9	870.0	安山岩	４面使用
J-22-1	J-22No.4	磨石・凹石	10.5	8.6	4.1	540.0	安山岩	側面に紐掛け溝あり　凹表２裏２
J-22-2	J-22一括	石錐	4.8	3.3	0.7	5.6	黒色頁岩	
J-26-1	D-641一括	打製石斧	7.1	2.3	1.2	25.7	黒色頁岩	短冊形　調査当初の土坑から住居に変更
D-17-1	D-17No.4	打製石斧	8.5	3.8	1.4	67.5	黒色頁岩	短冊形
D-17-2	D-17一括	打製石斧	8.7	5.3	1.0	58.0	黒色頁岩	撥形
D-34-1	D-34No.9	打製石斧	12.2	4.9	1.6	170.0	黒色頁岩	短冊形
D-46-1	D-46No.4	石皿	[13.5]	[6.6]	[4.8]	[460.0]	安山岩	縁に線刻　煤付着
D-46-2	D-46No.14	石匙	3.8	5.3	1.1	12.3	チャート	
D-96-1	D-96一括	打製石斧	7.3	4.1	1.1	41.9	黒色頁岩	撥形
D-117-1	D-117一括	石錐	[4.8]	3.3	0.7	[8.8]	黒色頁岩	先端部欠損
D-135-2	D-135No.1	石鏃	2.6	1.9	0.4	1.61	頁岩	凹基無茎鏃
D-151-1	D-151一括	石皿	[13.8]	[9.8]	[5.8]	[880.0]	安山岩	1/2残
D-151-2	D-151一括	玦状耳飾	[6.0]	[5.3]	[0.6]	[7.4]	蛇紋岩	1/6残
D-191-2	D-191No.7	磨石	11.7	8.5	4.4	720.0	安山岩	４面使用　煤付着
D-231-1	D-231一括	石鏃	2.0	1.5	0.3	0.83	安山岩	凹基無茎鏃
D-381-1	D-381No.3	棒状石器	16.5	3.7	1.4	160.0	結晶片岩	
D-384-1	D-384No.4	剝片石器	13.8	4.4	1.2	68.3	黒色頁岩	ブーメラン形
D-384-2	D-384No.6	打製石斧	12.5	5.6	2.4	190.0	黒色頁岩	撥形
D-417-1	D-417No.1	打製石斧	15.3	10.0	2.6	480.0	黒色頁岩	分銅形
D-453-1	D-453No.7	打製石斧	11.2	4.2	1.4	90.4	黒色頁岩	短冊形
D-454-1	D-454No.1	棒状石器	13.2	3.1	1.5	96.3	結晶片岩	
D-474-1	D-474No.1	球形石	9.2	8.9	7.6	700.0	安山岩	
D-478-1	D-478一括	石錐	4.2	2.5	0.6	4.1	黒色頁岩	
D-480-1	D-480一括	石鏃	2.6	1.4	0.4	1.42	チャート	凹基無茎鏃
D-484-1	D-484No.1	石皿	[23.0]	[14.8]	[5.2]	[2690.0]	安山岩	未完成1/2残
D-486-1	D-486No.2	石皿・多孔石	[32.1]	[31.4]	[9.3]	[6800.0]	安山岩	2/3残
D-500-1	D-500No.2	石皿・多孔石	25.6	29.0	4.7	[3800.0]	安山岩	完形
D-508-1	D-508一括	磨製石斧	[8.8]	[4.9]	[3.4]	[200.0]	頁岩	刃部欠損　煤付着
D-547-1	D-547No.9	石鏃	2.5	1.4	0.3	0.74	黒曜石	凹基無茎鏃
D-555-1	D-555No.1	打製石斧	15.5	6.2	1.4	190.0	黒色頁岩	撥形
D-576-1	D-576No.2	磨石・凹石	12.4	9.2	4.2	710.0	安山岩	４側面に紐掛溝　４面使用　凹表２裏２
D-581-1	D-581一括	石鏃	2.9	1.6	0.3	1.84	チャート	凹基無茎鏃
D-607-2	D-607No.11	石鏃	2.5	2.0	0.4	1.32	安山岩	凹基無茎鏃
D-639-1	D-639一括	石鏃	2.3	1.3	0.3	0.58	頁岩	凹基無茎鏃
D-642-1	D-642No.1	石皿・多孔石	[19.0]	[20.9]	[10.9]	[3200.0]	安山岩	縁に線刻
D-647-1	D-647一括	磨石	12.3	7.6	3.6	570.0	安山岩	４面使用
D-671-1	D-671一括	石槍	10.5	2.9	1.0	32.1	黒色頁岩	煤付着
D-678-1	D-678No.3	多孔石	28.0	18.1	7.7	3800.0	安山岩	
D-721-1	D-721一括	石鏃	2.4	1.7	0.4	1.38	頁岩	凹基無茎鏃
D-722-1	D-722No.1	打製石斧	20.6	10.7	3.3	790.0	黒色頁岩	短冊形　大型
D-810-1	D-810No.1	棒状石器	13.0	3.6	2.1	16.0	結晶片岩	
D-810-2	D-810一括	打製石斧	12.9	5.2	1.9	170.0	黒色頁岩	短冊形
D-812-3	D-812一括	磨石・凹石	11.8	7.3	4.3	530.0	安山岩	４面使用　凹表１裏２
D-816-1	D-816一括	棒状石器	[12.0]	[3.0]	[1.5]	[75.4]	結晶片岩	3/4残
D-999-1	D-999一括	石槍	5.5	3.2	0.7	14.1	黒色頁岩	
D-1030-1	D-1030No.4	打製石斧	19.3	7.3	3.6	800.0	黒色頁岩	短冊形　大型
D-1030-2	D-1030No.5	棒状石器	14.5	4.5	2.0	210.0	結晶片岩	
W-1-1	W-1・2 No.101	磨製石斧	11.3	5.1	2.8	300.0	結晶片岩	
X68Y141グ	X68Y141グ一括	石鏃	4.2	1.8	0.7	4.47	頁岩	凹基無茎鏃
X68Y142グ	J-13No.1	石匙	3.4	3.7	0.9	9.2	黒色頁岩	
X69Y166グ	X69Y166グNo.5	翡翠	5.3	2.2	1.7	35.0	翡翠	未製品
X74Y143グ	X74Y143グ SNo.1	石鏃	3.5	1.5	0.4	2.11	頁岩	平基無茎鏃
X76Y155グ	X76Y155グ S 1	大珠	6.8	3.5	2.8	98.4	翡翠	
14C33一括	表採	石皿・多孔石	41.8	26.3	9.7	9800.0	安山岩	

2．古墳時代以降の遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

古墳時代の竪穴住居跡が13軒(H－1・2・8・9・11・12・14・15・17～21)、南側調査区の南半分に集中して検出された。奈良・平安時代の竪穴住居跡は9軒(H－3・4・5・6・7・10・13・22・23)、南側調査区の北半分に集中して検出された。

①古墳時代

H－1号住居跡〔図版3〕

位置 X68、Y143・144グリッド。**形状** 正方形を呈す。**重複** J－11号住居跡を切っている。**規模** 長軸4.22m、短軸4.18m、確認面から床面までの壁高55～65cm。**面積** 17.20m² **長軸方向** N－25°－W、**床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は北東隅の一部を除き巡っている。**柱穴** 4基検出。P1南西隅、長径72cm、短径62cm、深さ49cmの楕円形。P2南東隅、長径64cm、短径57cm、深さ50cmの楕円形。P3北東隅、長径65cm、短径55cm、深さ63cmの楕円形。P4北西隅、長径66cm、短径65cm、深さ56cmの円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径86cm、短径58cm、深さ56cmの長方形。**カマド** 東壁の中央からやや南寄りに位置する。主軸方向 N－65°－Eで、全長83cm、最大幅92cm、焚口部幅35cm。住居内に入り込んでいる袖の部分はカマド構築の時、袖の形に地山ロームを残して掘削し、その上に粘土を貼り付けている。**遺物** 図示した遺物は、土師器の坏1点・小形甕1点の2点。

H－11号住居跡〔第10図、図版3〕

位置 X73・74、Y159・160グリッド。**形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸4.00m、短軸3.80m、確認面から床面までの壁高46～54cm。**面積** 14.57m² **長軸方向** N－26°－W、**床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は全週する。**柱穴** 4基検出した。P1北東隅、長径44cm、短径34cm、深さ68cmの楕円形。P2北西隅、長径52cm、短径42cm、深さ56cmの楕円形。P3南西隅、長径68cm、短径54cm、深さ70cmの楕円形。P4南東隅、長径62cm、短径55cm、深さ83cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央に位置する。主軸方向 N－69°－Eで、全長91cm、最大幅82cm、焚口部幅41cm。カマド中央に支脚石があり、右袖先端に石、左袖先端には口縁を下にした長甕を出土した。**遺物** 南東隅に胴部の1/4から口縁に至る部分を、口縁を上にして床面から2cmほど埋まった状態で土師器の甕を出土した。なお、胴部の1/4から下の部分はH－12から出土している。図示した遺物は、土師器の坏2点・甕2点・壺1点・小形壺2点・甑1点など8点。

②奈良・平安時代

H－3号住居跡〔第12図、図版5〕

位置 X74・75、Y147グリッド。**形状** 長方形を呈す。**重複** A－1号道路状遺構に切られている。**規模** 長軸3.97m、短軸3.30m、確認面から床面までの壁高19～26cm。**面積** 12.18m²、**長軸方向** N－17°－E、**床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は東壁から北壁及び西壁際を一部欠除し巡っている。**柱穴** 検出されなかった。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径62cm、短径56cm、深さ31cmの楕円形。**カマド** 東壁の南寄りに位置する。主軸方向 N－112°－Eで、全長63cm、最大幅103cm、焚口部幅37cm。**遺物** 鉄製品を出土し、図示した遺物は、須恵器の墨書埦など4点。

H－4号住居跡〔第12図、図版5〕

位置 X75・76、Y146・147グリッド。**形状** 長方形を呈す。北壁はカクランされていたが、床から20cmほどの高さまで壁は残存していた。**規模** 長軸4.43m、短軸3.13m、確認面から床面までの壁高35～40cm。**面積** 13.29m²、**長軸方向** N－19°－E、**床面** 平坦で堅緻な床面。壁周溝は東壁際の一部分、北、西壁際を巡っている。**柱穴** 検出されなかった。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径70cm、短径53cm、深さ25cmの楕円形。**カマド** 東壁のやや南寄りに位置する。主軸方向 N－110°－Eで、全長112cm、最大幅97cm、焚口部幅51cm。**遺物** 鉄製品を出土し、図示した遺物は、須恵器の墨書埦など6点。

本文掲載以外の各遺構については、計測表にまとめて報告する。

第6表　住居跡一覧表（古墳時代以降）

（ ）は推定値［ ］は検出値

△縄文土器　□石器・石類　○鉄製品

住居番号(H-)	検出位置	平面形	長軸方向	規模(cm)	壁高(cm)	面積(m²)	柱穴数・最大最小寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	貯蔵穴・最大最小寸法(cm) 形状	長径	短径	深さ	カマド炉	重複	備考	出土遺物の種類 土師器	須恵器	その他	時期
1	X68 Y143・144	正方形	N-25°-W	422 418	65 55	17.20	4	72 64	65 55	49 50	長方形	86	58	56	東壁南寄 N-65°-E	J-11	周溝は北西隅の一部を除き巡る。	坏、小型甕、甕	――	△ □	6世紀後～7世紀前
2	X72・73 Y145・146	長方形	N-96°-E	400 385	62 53	16.12	不明				正方形	60	60	36	東壁中央 N-97°-E		周溝は一部を除き巡る カマド作り替えあり。	坏、甕、甑、手捏土器	――	△ □	6世紀後～7世紀前
3	X74・75 Y147	長方形	N-17°-E	397 330	26 19	12.18	不明				楕円	62	56	31	東壁南寄 N-112°-E	A-1	周溝は西壁と東壁際を巡る。鉄製品を出土。	埦、甕	埦(墨書)、甕	○	9世紀後～10世紀前
4	X75・76 Y146・147	長方形	N-19°-E	443 313	40 35	13.29	不明				楕円	70	53	25	東壁南寄 N-110°-E		周溝は北・西・南壁際を巡る。鉄製品を出土。	坏、埦、甕	坏(墨書)、埦(墨書)、灰釉陶器	○ □	9世紀後
5	X73・74 Y148・149	長方形	N-25°-E	295 250	15 8	7.35	不明				楕円	54	42	15	東壁南寄 N-115°-E			坏、甕	坏(墨書)、埦、甕	△	9世紀中～9世紀後
6	X76 Y149	長方形	N-0°-E	337 313	45 39	10.44	不明				楕円	40	29	8	東壁南寄 N-105°-E		周溝は北壁と西壁際に巡る。	坏、甕	坏、埦	△	9世紀後
7	X81 Y145	長方形	N-16°-W	358 [280]	30 23	[10.79]	不明				楕円	65	56	28	東壁南寄 N-80°-E	J-9 W-1,2	周溝は壁際に巡る。	壺	坏、甕	△ □	9世紀中～9世紀後
8	X64・65 Y154・155	長方形	N-13°-W	364 350	58 54	12.17	1	40	39	55	不明				東壁南寄 N-76°-E			坏、甕、長甕	――	△ □	7世紀前
9	X75 Y157・158	長方形	N-24°-W	430 290	18 15	11.90	不明				不明				東壁南寄 N-72°-E	試掘トレンチ	周溝は壁際に全周する。	坏、甕	坏	△	6世紀後～7世紀前
10	X80・81 Y152・153	長方形	[N-85°-E]	[406] 380	35 29	[12.05]	不明				不明				不明		東側は調査区域外。周溝は壁際に巡る。	坏	甕	△ □	8世紀後
11	X73・74 Y159・160	長方形	N-26°-W	400 380	54 46	14.57	4	68 44	55 34	83 56	楕円	78	68	34	東壁中央 N-69°-E		周溝は壁際に巡る。遺物はH-12と遺構間接合。	坏、埦、甕、甑	――	△ □	6世紀後～7世紀前
12	X71・72 Y159～161	長方形	N-34°-W	610 580	70 55	33.88	7	94 60	80 48	104 28	不明				東壁南寄 N-56°-E	I-2	周溝は北東隅の一部を除き巡る。遺物はH-11と接合。	坏、甕、壺	坏	△ □	6世紀後～7世紀前
13	X79・80 Y145・146	長方形	N-24°-W	[390] 318	19 16	[9.51]	不明				不明				不明	W-1,2,8	周溝は壁際に巡る。	甕	坏	○ △ □	9世紀前～9世紀中
14	X65 Y159・160	正方形	N-10°-E	335 330	50 47	10.18	4	40 30	39 28	47 12	楕円	50	44	74	東壁南寄 N-95°-E		カマド中央に支脚石出土。	坏、甕、長甕	――	△ □	6世紀後～7世紀前
15	X67・68 Y161・162	長方形	N-62°-E	475 454	45 36	20.20	1	32	32	16	楕円	67	60	76	東壁南寄 N-66°-E			坏、甕、小型甕	――	△	7世紀前
16	鍛冶工房跡参照																				
17	X62・63 Y162・163	長方形	N-86°-E	352 281	47 40	10.67	4	45 30	30 27	33 12	円形	60	60	66	東壁南寄 N-84°-E		覆土上層に椀形鉄滓出土。	坏、甕、長甕	――	△ □	6世紀後～7世紀前
18	X62・63 Y165	長方形	N-61°-E	414 309	63 57	11.99	不明				楕円	56	47	68	東壁中央 N-60°-E		周溝は西半分壁際に巡る。 北東隅の貯蔵穴に土手あり。	坏、甕、甑	――	△ □	7世紀前～7世紀中
19	X64・65 Y166・167	長方形	N-60°-E	406 360	55 30	13.57	1	40	40	36	楕円	72	56	63	東壁南寄 N-66°-E		カマド中央に支脚石、両袖先端に石。	坏	――	△ □	7世紀前
20	X67・68 Y167	長方形	N-47°-E	445 425	52 39	18.15	5	53 22	40 22	67 21	円形	63	63	90	東壁南寄 N-46°-E		周溝は壁際に巡る。	坏、甕、長甕	――	△ □	7世紀前
21	X73 Y168	長方形	N-21°-W	375 372	35 10	[13.43]	3	68 44	48 36	74 56	円形	68	68	80	東壁南寄 N-83°-E	H-22	周溝は壁際に巡る。	坏、台付き甕	――	△ □	7世紀中
22	X74 Y168・169	長方形	N-7°-W	438 367	20 9	[15.34]	不明				楕円	60	48	39	東壁南寄 N-88°-E	H-21	周溝壁際に部分的。カマド中央支脚石、両袖先端に石。	甕	埦、甕、灰釉陶器	○ △ □	9世紀後～10世紀前
23	X87 Y138・139	(長方形)	[N-22°-W]	[380] [76]	100 88	[2.68]	不明				不明				調査区域外		周溝は西壁際にわずか巡る。 北側調査区(H-51)。	甕(胴部小片1点)	――	□	9世紀中～9世紀後

(2) **鍛冶工房跡(H-16号)**〔第13図、図版4〕

位置 X71・72、Y162・163グリッド。**形状** 東西方向に長く、東壁の隅は直角だが西壁隅は蒲鉾状に丸みを持つ不整形を呈している。**規模** 壁周溝の状態からみて拡張の痕跡が明瞭である。当初の規模は、長軸4.12m、短軸3.50m、東壁長3.52mで面積は13.30m²。拡張後は長軸4.64m、短軸4.22m、東壁長3.72mで面積は18.20m²。全体的には、東壁側は固定され、西壁を80cmほど外側に拡張した形である。壁高は確認面から21～50cmである。**長軸方向** N-122°-E。**床面** 鍛冶関連の操業中心部の2m四方は低く、その周辺部はやや高く拡張部分は一段と高くなり床面は固くない。**カマド** 東壁中央からやや南寄りに壁外に作り出す粘土カマドで、全長97cm、焚口部幅33cmを測る。**柱穴** 東壁寄りの2主柱穴を除いて拡張前、拡張後とも壁に近く設けられている。上屋の状況は、壁際の立ち上がりを高くした屋根の高い変則的な形状を呈していたものと見られるがこれも高温の火気への対応を考慮したものとみられる。

工房関連遺構　地床炉 操業中心部の西北部に、2基の南北に重複した地床炉を検出した。南側に位置する炉では、35×38cmの焼土が円形に認められ、中央が深さ12cmほど椀底状に窪んでいる。中央部の径25cmの範囲は粘土が青灰色に還元するまで焼けている。炉の周囲は13cmの幅で焼けた粘土が存在する。北側の炉は46×43cmの円形で、中央部は深さ10cmほど椀底状に窪んでいる。中央部は径26cmの範囲が還元するまで焼けて青灰色を呈している。炉の周囲は12cmの幅で焼けた粘土が全周する。両者の壁の残存状況から見て、南側の炉が先行することが確認された。なお、炉床を断ち割った状況からは炉床下の防湿装置は施されていない。この2基の炉の西に接して30×50cmの平坦な部分Ⓐが検出され、工作に拘わるものとみられた。**石床炉** 中央部南東隅に52.0×45.5cm、厚さ6.7～18.0cm、重さ58.0kgで中央が椀底状に掘り窪められた安山岩の強力に焼けた不正方形な大石を確認した。後述するピット(P1)の埋め土の上に、下部に石を詰めて固定していることや、そのすぐ北に鉄床石とみられる摩滅痕のある長めの円礫が出土したことなどから、これを埋め込んで周りに粘土をまわして炉としたものと想定した。この北に接して70×60cmの方形の平坦な部分Ⓑが炭置場など工作に拘わる部分とみられた。**ピット** 石床炉の下部(P1)及びその西側に重複する隅丸方形ピット(P2)2基を確認した。東側のP1は石床炉の下部に確認されたもので、1辺100cmのほぼ方形を呈し、深さ60cmほどである。この下層には、灰や鉄滓片、剝がれ落ちた鍛造皮膜などが積もって踏み固められた黒色硬化面が2層に渡って確認された。これを埋めて西側に軸線を南に移して65×70cmの方形で、深さ55cmほどのP2が窄たれている。埋め土の状況で判断すると、先行する東側のP1を埋め戻し、その上に石床炉と鉄床石を据え、その西に接してP2を拡張して設置したものとみられ、炉と関連を持つピットで工作に関連していると想定される。また、中央の低地部西南にも35×24cm、深さ65cmほどのP3が長方形気味にあく。この穴の南に接して鉄床石様の川原石が据えられた状況で確認され、その周辺に鍛造剝片や炭などが散乱している部分があり、その東にP4が帯状に延び長さ140cm、幅45cm、深さ20cmほどで鉄滓、鍛造剝片、炭などが埋められており、このP4の周辺にも地床炉があったとも推定される。**出土遺物　土器** カマドの中及び周辺部を中心に土師器、須恵器などの日常雑器が出土している。中でも土師器の坏は、体部の浅いことや、口縁部の形状から9世紀前半の坏とみられる。また、甕片も出土しているが器壁を篦で鋭く、薄く削り込んだ技法がみられる。特に、頸部の形状でみると「コ」の字形の前段階とみられる「く」の字形とみられる。また、P1の埋め土中下部から須恵器の高盤が出土した。体部は皿の内面中ほどの断面が三角形状の凸帯が1条低く巡っていたり、接合部の幅の広い1段の透かしが4条ある特徴的なものである。

工房関連遺物 羽口はほぼ完形のものも含めて個体として認識できるものが11点と、他に88点に及ぶ羽口片が出土している。これらの多くは、遺構の周縁部に散乱する状態で出土したが、とりわけ東側カマド前部と西側拡張部に多く認められた。鉄滓は総量で30kgほど出土したが、典型的な椀状滓9点を含んで遺構の性格を示している。また、表面が磨耗した鉄床石とみられるものが、中央の低い方形部分の西北部(地床炉付近)、東中央部(石床炉付近)、西南部(P4付近)の3ヶ所から出土している。この周辺には、鉄滓や鍛造剝片も多量に認められる。この他、比較的大型で面がきめ細かい石で砥石として利用されたかとみられる川原石も数点検出されている。また、鉄製品としては、鎌や帯の辻金具、止め金具様のものなどが出土している。

以上の遺構の状態や出土遺物からみて鍛冶工房としての性格をもつものであることは疑いを入れない。

第７表　鍛冶工房跡ピット計測表

（　）は推定値を示す

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	用途
Ｐ１	石床炉下部	102	100	60	ほぼ方形	作業穴
Ｐ２	石床炉西側	70	65	55	ほぼ方形	作業穴
Ｐ３	中央やや西南	35	24	65	長方形	作業穴
Ｐ４	南壁際	140	45	20	長楕円形	作業穴
Ｐ５	北東隅	63	56	51	楕円形	柱穴
Ｐ６	北西壁際	40	20	22	不整形	壁柱穴
Ｐ７	西壁北寄り	35	29	13	楕円形	壁柱穴
Ｐ８	西壁中央	28	23	18	楕円形	壁柱穴
Ｐ９	西壁南寄り	20	15	11	楕円形	壁柱穴
Ｐ10	南西隅	25	23	14	円形	壁柱穴
Ｐ11	南壁際西寄り	(47)	(47)	51	(円形)	壁柱穴
Ｐ12	鉄床石直下	71	40	32	楕円形	元柱穴
Ｐ13	南東隅	(52)	(52)	47	(円形)	柱穴
Ｐ14	中央やや北	28	27	43	円形	不明
Ｐ15	中央やや北	30	29	23	円形	不明
Ｐ16	南西隅	43	35	30	楕円形	不明
貯蔵穴	南東隅	(54)	(54)	38	(円形)	貯蔵穴

(3)　竪穴状遺構（Ｔ－１）

竪穴状遺構は１棟検出された。**位置**　X69、Y145グリッド。**形状**　長方形を呈す。**重複**　北西隅を新しいピットに切られていたり、縄文時代の土坑を切っている。**規模**　長軸2.25m、短軸1.86m、確認面から床面までの壁高25～30cm。**面積**　4.26m²　**長軸方向**　N-30°-W。**床面**　平坦で堅緻な床面。柱穴、貯蔵穴、カマドは検出されなかった。**遺物**　流れ込んだと思われるものや、重複している土坑の縄文土器片や石斧を出土した。時期不明である。

(4)　溝状遺構

W-１～W-８の８条検出した。各遺構については、計測表にまとめて報告する。

第８表　溝状遺構計測表

（　）は推定値、［　］は検出値、N-S-W-Eは方向を示す

溝番号	溝の位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅 下幅(cm)	流水方向	備考
W-1 北側調査区	X86, Y137 ～ X82, Y142	(24.2)	10～53	NE131.18 SW130.27	3.8	62～176 10～40	NE→SW	明治29年、元陸軍の迅速測図による五代村周辺の地図に騎小径とあり、馬車も利用した道路である。土地改良の時、道路を整備した際、この道路は埋め立てられ現在の直線道路となった。また、断面形状を見ると数次にわたり作り替えられた痕跡が見られる。覆土からは石器、縄文土器片、土師・須恵器片、陶器、等多く出土した。
W-2 北側調査区	X86, Y135 ～ X82, Y142	(31.4)	12～50	NE131.22 SW130.34	2.8	113～192 7～52	NE→SW	
W-1 W-2 南側調査区	X81, Y144 ～ X75, Y167	90.1	30～61	NE129.94 SW127.40	2.8	182～383 10～53	NE→SW	
W-3	X85, Y136	4.1	2～10	NE131.34 SW131.25	2.2	13～50 6～35	NE→SW	土地改良の時表面を削り取られたため、わずか検出した。最上流から2.4mまで幅が狭く下流は幅が広い。新しい溝である。
W-4 右回	X86, Y138 ～ X86, Y139	(7.7)	5～12	SE131.12 NW130.99	1.7	30～48 9～21	NE→SW	南側がカクランされている。楕円形の周溝の様相を呈している。北東側が一番高く馬の背で流水方向が変わっている。W-1，2に切られている。新しい溝である。
W-4 左回	X86, Y138 ～ X83, Y139	(18.3)	7～29	SE131.12 NW130.94	1.0	35～95 10～24	NE→SW	
W-5	X79, Y134 ～ X84, Y137	24.1	7～63	SE131.24 NW130.29	3.9	54～114 22～66	SE→NW	カクランとW-6に切られている。W-4から分岐し分岐点から下流へ2mほどは底が削られている。新しい溝である。
W-6	X80, Y133 ～ X78, Y135	11.2	4～6	NE131.00 SW130.79	1.9	24～50 14～30	NE→SW	J-5とW-5を切っている。新しい溝である。
W-7	X68, Y142 ～ X62, Y147	31.3	2～32	NE130.10 SW128.63	4.7	60～150 10～142	NE→SW	土地改良の時表面を削り取られたため、上流部分は検出できない。下流は調査区域外まで延びている。覆土から新しい溝である。
W-8	X80, Y144 ～ X74, Y168	99.7	2～32	NE130.24 SW127.78	2.5	44～138 10～60	NE→SW	W-1，2と同様に道路として利用されていたと思われる。W-1，2と平行に走行するが、途中W-1，2に合流し、また分岐し平行に走行する。

(5)　ピット（柱穴）〔第14図〕

調査区全体で336基のピットを検出した。検出状況は、南側調査区で北端中央付近（X74～77、Y143～149グリッド）、中央付近（X68～72、Y153～159グリッド）と中央東端（X77～79、Y157～160グリッド）で３ヶ所のピット群をなしている状況がみられた。北端中央付近のピット群では、掘立柱建物跡を１棟（B-１）組むことができた。中央付近では２棟（B-2.-３）、中央東端では柱穴以外の要素（木の根や耕作痕）が考えられるものが多く、組めなかった。

なお、各柱穴の計測値は表にまとめて報告する。

第9表　ピット計測表

（　）は推定値を示す

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X81, Y134	45	37	72	楕円形	
P-2	X78, Y136	79	33	40	楕円形	
P-3	X78, Y136	46	32	16	楕円形	
P-4	X77, Y137	38	33	13	不整形	
P-5	X77, Y137	39	30	13	楕円形	
P-6	X77, Y137	35	29	13	楕円形	
P-7	X77, Y137	32	32	21	円形	
P-8	X82, Y135	41	28	31	楕円形	
P-9	X83, Y135	47	36	18	楕円形	
P-10	X87, Y138	50	42	16	楕円形	
P-11	X85, Y139	40	35	22	楕円形	
P-12	X85, Y139	54	40	18	楕円形	
P-13	X85, Y139	65	51	40	楕円形	
P-14	X84, Y142	76	65	34	楕円形	
P-15	X84, Y142	64	47	16	楕円形	
P-16	X84, Y143	72	69	25	円形	
P-17	(欠番)					
P-18	(欠番)					
P-19	(欠番)					
P-20	(欠番)					
P-21	X75, Y144	41	40	20	円形	掘立柱建物跡(B-1)
P-22	X74, Y144	30	29	10	正方形	
P-23	X74, Y145	(45)	(40)	28	(楕円形)	掘立柱建物跡(B-1)
P-24	X75, Y145	(36)	(31)	20	(楕円形)	掘立柱建物跡(B-1)
P-25	X75, Y144	73	61	41	楕円形	
P-26	X75, Y144	69	54	52	楕円形	
P-27	X75, Y144	32	32	19	円形	掘立柱建物跡(B-1)
P-28	X76, Y144	34	33	7	円形	掘立柱建物跡(B-1)
P-29	X75, Y144	35	32	32	不整形	
P-30	X75, Y144	39	36	24	楕円形	
P-31	X75, Y145	73	53	9	楕円形	
P-32	X75, Y145	47	41	24	円形	掘立柱建物跡(B-1)
P-33	X76, Y145	52	43	27	不整形	
P-34	X76, Y145	65	34	5	楕円形	
P-35	X76, Y144	58	47	27	楕円形	
P-36	X77, Y144	87	56	45	楕円形	
P-37	X76, Y143	136	100	57	不整形	
P-38	X77, Y143	55	45	16	楕円形	
P-39	X77, Y148	25	24	10	円形	
P-40	X73, Y146	(欠番)				H-2 旧竈煙道部分
P-41	X74, Y146	46	45	24	円形	
P-42	X74, Y146	48	48	28	円形	
P-43	X74, Y146	38	35	30	円形	
P-44	X74, Y146	31	29	23	円形	
P-45	X77, Y144	75	59	41	楕円形	
P-46	X78, Y144	90	58	39	楕円形	
P-47	X78, Y143	44	33	33	楕円形	
P-48	X78, Y144	64	62	36	円形	
P-49	X79, Y144	39	23	26	楕円形	
P-50	X79, Y144	51	25	29	不整形	
P-51	X78, Y146	23	20	47	長方形	
P-52	X77, Y146	19	19	20	正方形	
P-53	X77, Y146	35	32	13	不整形	
P-54	X78, Y146	81	68	31	楕円形	
P-55	X82, Y145	44	43	19	円形	
P-56	X82, Y145	44	41	32	楕円形	
P-57	X82, Y145	48	36	37	楕円形	
P-58	X82, Y149	46	40	15	楕円形	
P-59	X82, Y149	24	18	6	楕円形	
P-60	X82, Y149	40	38	19	円形	
P-61	X81, Y149	46	40	35	楕円形	
P-62	X81, Y149	54	50	42	不整形	
P-63	X80, Y149	47	45	34	円形	
P-64	X80, Y148	97	59	37	楕円形	
P-65	X80, Y149	52	31	54	楕円形	
P-66	X80, Y149	52	46	42	楕円形	
P-67	X80, Y149	30	24	19	楕円形	
P-68	X80, Y149	68	60	42	不整形	
P-69	X81, Y150	61	(43)	15	(楕円形)	
P-70	X81, Y150	(46)	44	45	(円形)	
P-71	X81, Y150	35	30	13	楕円形	
P-72	X81, Y150	(68)	67	33	(円形)	
P-73	X81, Y150	(62)	(40)	39	(不整形)	
P-74	X82, Y150	51	36	58	楕円形	
P-75	X82, Y150	41	33	22	不整形	
P-76	X82, Y151	33	20	20	楕円形	
P-77	X82, Y150	(65)	56	66	(楕円形)	
P-78	X82, Y151	106	(44)	62	(楕円形)	
P-79	X81, Y151	(85)	68	36	(楕円形)	
P-80	X81, Y151	83	(74)	23	(楕円形)	
P-81	X81, Y152	69	66	49	円形	
P-82	X80, Y153	44	43	18	円形	
P-83	X67, Y144	52	52	33	円形	
P-84	X66, Y144	43	42	39	円形	
P-85	X68, Y146	58	45	25	楕円形	
P-86	X70, Y147	50	38	33	楕円形	
P-87	X69, Y144	41	40	16	円形	
P-88	X71, Y146	42	42	32	円形	
P-89	X75, Y147	52	37	28	楕円形	
P-90	X76, Y147	39	26	25	楕円形	
P-91	X76, Y147	45	31	28	楕円形	
P-92	X76, Y147	34	25	16	楕円形	
P-93	X76, Y147	37	26	11	楕円形	
P-94	X77, Y147	31	23	38	楕円形	
P-95	X77, Y147	47	33	31	楕円形	
P-96	X77, Y147	46	36	23	楕円形	
P-97	X77, Y147	(57)	43	45	(楕円形)	
P-98	X77, Y147	(49)	45	72	(円形)	
P-99	X77, Y147	(48)	21	18	(楕円形)	
P-100	X77, Y147	(41)	(27)	50	(楕円形)	
P-101	X77, Y147	(32)	25	37	(楕円形)	
P-102	X77, Y147	58	47	69	楕円形	
P-103	X77, Y147	22	20	14	円形	
P-104	X77, Y147	20	20	10	円形	
P-105	X77, Y147	37	36	45	円形	
P-106	X77, Y148	27	26	23	円形	
P-107	X77, Y147	24	18	20	楕円形	
P-108	X77, Y148	20	20	15	円形	
P-109	X77, Y148	28	28	35	円形	
P-110	X78, Y148	23	17	19	楕円形	
P-111	X78, Y148	35	33	26	円形	
P-112	(欠番)					
P-113	X73, Y149	69	54	27	楕円形	
P-114	X73, Y150	110	87	17	楕円形	
P-115	X73, Y150	97	68	18	不整形	
P-116	X72, Y150	65	50	35	楕円形	
P-117	X72, Y150	44	34	24	楕円形	
P-118	X72, Y151	55	51	15	円形	
P-119	X73, Y151	79	69	66	不整形	
P-120	X74, Y150	62	41	16	楕円形	
P-121	X75, Y152	73	61	30	楕円形	
P-122	X75, Y152	47	41	22	楕円形	
P-123	X75, Y150	95	75	23	楕円形	
P-124	X74, Y150	(38)	27	8	(楕円形)	

( )は推定値を示す

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-125	X76, Y152	62	39	18	楕円形	
P-126	X64, Y146	102	90	25	楕円形	
P-127	X65, Y146	43	36	10	楕円形	
P-128	(欠番)					D-503に変更
P-129	(欠番)					D-505に変更
P-130	X74, Y145	62	43	19	楕円形	
P-131	X75, Y146	32	27	15	楕円形	
P-132	X80, Y147	47	43	19	円形	
P-133	X80, Y147	40	38	25	円形	
P-134	X80, Y147	46	38	21	楕円形	
P-135	X80, Y147	25	21	5	楕円形	
P-136	X81, Y148	41	35	24	楕円形	
P-137	X80, Y148	36	36	25	円形	
P-138	X81, Y149	44	26	9	不整形	
P-139	X79, Y149	46	45	35	円形	
P-140	(欠番)					
P-141	(欠番)					
P-142	X78, Y152	24	20	29	楕円形	
P-143	X78, Y152	25	25	23	円形	
P-144	(欠番)					D-504に変更
P-145	(欠番)					D-506, D-507に変更
P-146	X70, Y146	61	48	33	楕円形	
P-147	X70, Y146	56	47	10	楕円形	
P-148	X70, Y146	62	45	19	楕円形	
P-149	X70, Y146	55	48	16	楕円形	
P-150	X72, Y146	72	55	18	楕円形	
P-151	X71, Y146	98	73	28	楕円形	
P-152	X69, Y148	64	43	16	楕円形	
P-153	X70, Y149	77	60	23	楕円形	
P-154	X69, Y150	97	81	81	不整形	
P-155	X74, Y145	65	58	21	楕円形	
P-156	X74, Y145	81	68	25	楕円形	
P-157	(欠番)					
P-158	X74, Y146	98	87	11	楕円形	
P-159	X74, Y146	66	63	12	円形	
P-160	X73, Y146	68	67	7	円形	
P-161	X74, Y146	85	56	20	楕円形	
P-162	X74, Y146	66	63	14	円形	
P-163	X74, Y146	51	46	6	楕円形	
P-164	X72, Y151	64	63	24	円形	
P-165	X79, Y155	46	40	28	楕円形	
P-166	X78, Y156	55	42	49	楕円形	
P-167	X78, Y157	55	53	27	円形	
P-168	X78, Y157	28	27	12	円形	
P-169	X78, Y157	38	38	37	円形	
P-170	X78, Y157	35	33	42	円形	
P-171	X78, Y157	68	38	17	楕円形	
P-172	X78, Y157	27	25	17	円形	
P-173	X78, Y158	23	21	28	円形	
P-174	X78, Y157	24	21	17	円形	
P-175	X78, Y157	32	27	30	楕円形	
P-176	X78, Y158	24	21	36	円形	
P-177	X79, Y158	20	16	20	楕円形	
P-178	X79, Y158	32	31	21	円形	
P-179	X78, Y158	(106)	76	22	(楕円形)	
P-180	X77, Y157	41	38	65	楕円形	
P-181	X77, Y157	42	42	56	円形	
P-182	X77, Y158	38	27	80	楕円形	
P-183	X77, Y158	32	23	44	楕円形	
P-184	X77, Y158	39	34	55	楕円形	
P-185	X77, Y158	60	52	64	楕円形	
P-186	X77, Y158	40	25	38	楕円形	
P-187	X77, Y158	34	31	18	円形	
P-188	X77, Y158	80	(54)	76	(楕円形)	
P-189	X77, Y158	(45)	37	51	(楕円形)	
P-190	X77, Y158	(49)	47	33	(円形)	
P-191	X77, Y158	(58)	52	47	(楕円形)	
P-192	X77, Y158	35	30	20	不整形	
P-193	X77, Y159	32	32	30	円形	
P-194	X77, Y159	46	33	30	楕円形	
P-195	X78, Y158	77	36	32	楕円形	
P-196	X78, Y159	(49)	(49)	58	(円形)	
P-197	(欠番)					D-575に変更
P-198	X77, Y159	81	64	20	楕円形	
P-199	X77, Y160	50	41	18	楕円形	
P-200	X77, Y160	55	55	50	円形	
P-201	X77, Y160	28	25	19	円形	
P-202	X77, Y161	59	55	17	円形	
P-203	X77, Y161	51	51	42	円形	
P-204	(欠番)					
P-205	(欠番)					
P-206	(欠番)					
P-207	(欠番)					
P-208	(欠番)					
P-209	(欠番)					
P-210	(欠番)					
P-211	(欠番)					
P-212	(欠番)					
P-213	(欠番)					
P-214	(欠番)					
P-215	(欠番)					
P-216	(欠番)					
P-217	(欠番)					
P-218	(欠番)					
P-219	(欠番)					
P-220	(欠番)					
P-221	X69, Y153	32	28	21	円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-222	X69, Y154	34	28	26	円形	
P-223	X69, Y154	28	26	24	円形	
P-224	X69, Y154	42	36	47	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-225	X70, Y154	42	28	24	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-226	X70, Y154	40	28	28	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-227	X71, Y154	34	34	33	円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-228	X71, Y154	38	24	28	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-229	X71, Y154	36	30	23	楕円形	
P-230	X71, Y153	30	26	15	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-231	X70, Y153	40	36	27	円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-232	X69, Y154	48	32	45	楕円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-233	X69, Y155	28	26	15	円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-234	X69, Y155	56	34	45	楕円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-235	X70, Y155	34	(34)	26	(円形)	掘立柱建物跡(B-3)
P-236	X70, Y155	36	(36)	31	(円形)	
P-237	X71, Y155	40	36	32	円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-238	X70, Y154	32	32	34	円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-239	X69, Y154	58	22	19	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-240	X69, Y154	44	32	30	楕円形	掘立柱建物跡(B-2)
P-241	X69, Y154	32	20	11	楕円形	
P-242	X70, Y153	54	54	15	円形	
P-243	X70, Y154	30	22	21	楕円形	
P-244	X70, Y154	44	34	45	楕円形	
P-245	X70, Y154	36	36	11	円形	
P-246	X69, Y154	28	26	28	円形	
P-247	X70, Y155	32	30	16	円形	
P-248	X70, Y155	30	28	26	円形	掘立柱建物跡(B-3)
P-249	X69, Y153	36	24	26	楕円形	
P-250	X68, Y153	36	28	21	楕円形	

( )は推定値を示す

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-251	X69, Y154	30	26	21	楕円形	
P-252	X69, Y154	32	30	15	円形	
P-253	X69, Y154	30	30	17	円形	
P-254	X68, Y154	38	30	31	楕円形	
P-255	X69, Y154	24	16	32	楕円形	
P-256	X69, Y154	40	30	34	楕円形	
P-257	X68, Y154	28	20	16	楕円形	
P-258	X68, Y154	34	26	15	楕円形	
P-259	X68, Y154	22	22	21	正方形	
P-260	X68, Y154	48	38	36	楕円形	
P-261	X68, Y154	(60)	46	13	(楕円形)	
P-262	X68, Y154	28	26	17	円形	
P-263	X68, Y154	22	20	38	円形	
P-264	X68, Y154	20	14	33	長方形	
P-265	X68, Y154	20	18	6	円形	
P-266	X67, Y154	60	(58)	30	(円形)	
P-267	X67, Y155	38	(38)	31	(円形)	
P-268	X67, Y155	(40)	30	44	(楕円形)	
P-269	X68, Y155	20	20	11	円形	
P-270	X68, Y154	26	26	17	円形	
P-271	X68, Y154	22	20	13	円形	
P-272	X68, Y154	26	26	23	円形	
P-273	X69, Y154	28	28	21	円形	
P-274	X69, Y154	40	30	39	楕円形	
P-275	X68, Y155	32	32	19	円形	
P-276	X68, Y155	28	28	14	円形	
P-277	X67, Y155	24	22	16	円形	
P-278	X68, Y155	28	28	20	円形	
P-279	X68, Y155	30	30	39	円形	
P-280	X68, Y155	30	22	22	楕円形	
P-281	X68, Y155	22	18	25	楕円形	
P-282	X68, Y155	48	30	44	楕円形	
P-283	X68, Y155	36	36	25	円形	
P-284	X68, Y155	36	28	14	楕円形	
P-285	X69, Y155	40	36	44	楕円形	
P-286	X69, Y155	30	22	19	楕円形	
P-287	X69, Y155	24	22	7	円形	
P-288	X69, Y155	38	28	36	楕円形	
P-289	X69, Y155	50	44	21	楕円形	
P-290	X69, Y155	32	26	27	楕円形	
P-291	X69, Y155	22	22	8	円形	
P-292	X69, Y155	34	28	7	楕円形	
P-293	X69, Y155	30	28	19	円形	
P-294	X69, Y155	28	28	20	円形	
P-295	X70, Y155	30	30	22	円形	
P-296	X70, Y155	20	20	11	正方形	
P-297	X69, Y155	28	(28)	12	(円形)	
P-298	X70, Y156	44	34	18	楕円形	
P-299	X71, Y154	24	24	16	円形	
P-300	X71, Y154	30	24	11	楕円形	
P-301	X71, Y154	28	20	11	楕円形	
P-302	X71, Y155	34	34	26	円形	
P-303	X71, Y155	28	22	32	楕円形	
P-304	X71, Y155	18	18	18	正方形	
P-305	X71, Y155	24	18	11	楕円形	
P-306	X71, Y155	18	18	33	正方形	
P-307	X71, Y155	16	16	27	正方形	
P-308	X71, Y155	28	20	11	楕円形	
P-309	X70, Y156	18	18	21	円形	
P-310	X70, Y156	26	26	16	円形	
P-311	X70, Y156	24	22	14	円形	
P-312	X70, Y156	22	12	9	長方形	
P-313	X70, Y156	20	20	13	円形	
P-314	X67, Y155	30	24	11	楕円形	
P-315	X67, Y155	34	26	41	楕円形	
P-316	X67, Y155	30	24	40	楕円形	
P-317	X67, Y155	62	40	31	楕円形	
P-318	X67, Y156	46	32	28	楕円形	
P-319	X67, Y156	26	24	19	円形	
P-320	X67, Y156	32	26	15	楕円形	
P-321	X67, Y156	36	22	12	長方形	
P-322	X67, Y156	28	26	35	円形	
P-323	X68, Y156	30	28	37	円形	
P-324	X68, Y156	30	26	15	楕円形	
P-325	X68, Y156	26	22	22	楕円形	
P-326	X68, Y156	36	28	19	楕円形	
P-327	X68, Y156	24	24	12	円形	
P-328	X68, Y156	26	24	12	円形	
P-329	X68, Y156	40	24	21	楕円形	
P-330	X67, Y156	32	32	40	円形	
P-331	X67, Y156	34	32	30	円形	
P-332	X67, Y156	80	60	23	楕円形	
P-333	X67, Y156	28	28	19	円形	
P-334	X67, Y156	30	26	18	楕円形	
P-335	X67, Y156	36	28	24	楕円形	
P-336	X67, Y156	32	32	32	円形	
P-337	X68, Y156	28	22	8	楕円形	
P-338	X67, Y156	34	(34)	16	(円形)	
P-339	X67, Y156	(36)	30	11	(楕円形)	
P-340	X67, Y156	26	24	17	円形	
P-341	X66, Y156	28	26	25	円形	
P-342	X66, Y156	28	28	27	円形	
P-343	X66, Y156	26	22	18	楕円形	
P-344	X66, Y156	28	22	33	楕円形	
P-345	X67, Y157	28	28	16	円形	
P-346	X66, Y157	30	30	27	円形	
P-347	X66, Y157	32	26	15	楕円形	
P-348	X66, Y157	24	22	16	長方形	
P-349	X66, Y157	28	24	10	円形	
P-350	X66, Y158	38	38	20	円形	
P-351	X66, Y157	38	28	16	楕円形	
P-352	X67, Y157	34	34	19	円形	
P-353	X67, Y157	62	32	42	不整形	
P-354	X67, Y157	(36)	24	18	(楕円形)	
P-355	X67, Y157	36	34	27	円形	
P-356	X69, Y158	20	18	12	円形	
P-357	X69, Y158	22	22	11	円形	
P-358	X69, Y158	18	18	12	正方形	
P-359	X69, Y158	20	20	12	円形	
P-360	X69, Y158	28	24	3	楕円形	
P-361	X69, Y158	30	24	10	楕円形	
P-362	X69, Y158	22	18	14	楕円形	
P-363	X70, Y158	20	20	19	正方形	
P-364	X70, Y158	32	22	10	楕円形	
P-365	X69, Y158	40	38	28	円形	
P-366	X69, Y158	22	14	13	楕円形	
P-367	X70, Y158	24	22	26	円形	

(6) 土 坑

縄文時代以外の土坑は、調査区全体で311基検出した。時期を特定できるものは数基で、大多数は時期不明であっ

た。その他に木の根や耕作痕と思われるものもあった。また、規則性などは確認できなかった。縄文時代の土器片や礫などが出土している土坑も検出したが、覆土の質が縄文土坑とは明らかに違い、柔らかく、白色軽石粒やローム粒が多く含まれていて、後世に穴を掘った時、縄文土器などを埋めたか、埋まってしまったのであろう。また、縄文土坑と重複する土坑もあった。なお、各土坑の計測値は第10表にまとめた。

第10表　土坑計測表

（　）は推定値、★は縄文土器片出土を示す

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-56	X82, Y135	90	63	29	楕円形	
D-68	X78, Y135	116	53	13	楕円形	★
D-69	X78, Y135	77	64	15	楕円形	★
D-70	X78, Y135	93	(65)	6	(楕円形)	カクランに切られる
D-82	X80, Y136	84	33	22	楕円形	木根跡
D-83	X81, Y136	87	52	18	楕円形	
D-84	X82, Y137	65	60	11	楕円形	
D-123	X88, Y138	72	45	20	楕円形	
D-124	X88, Y138	65	41	25	楕円形	
D-129	X84, Y142	132	122	44	円形	D-130と重複 ★
D-132	X85, Y142	(121)	120	42	(円形)	D-131と重複
D-153	X71, Y142	103	99	46	円形	★
D-161	X72, Y142	50	49	65	円形	
D-178	X76, Y143	93	85	33	円形	★
D-179	X76, Y143	132	129	21	円形	
D-181	X75, Y144	149	105	14	楕円形	
D-185	X74, Y144	125	98	33	楕円形	★
D-187	X73, Y145	78	72	39	楕円形	★多く出土
D-189	X72, Y143	114	90	41	楕円形	D-880と重複
D-190	X72, Y143	104	82	21	楕円形	
D-193	X72, Y143	105	100	20	円形	D-892と重複
D-197	X71, Y145	118	87	30	楕円形	D-198と重複
D-200	X69, Y142	141	109	19	楕円形	★
D-202	X76, Y143	70	46	26	不整形	
D-203	X76, Y144	69	45	12	楕円形	★
D-204	X77, Y144	74	72	32	楕円形	
D-206	X71, Y144	52	47	30	円形	D-876と重複 ★
D-207	X72, Y144	57	53	27	円形	★
D-208	X77, Y143	84	84	14	円形	
D-209	X77, Y144	91	71	16	楕円形	
D-210	X77, Y143	151	144	36	円形	
D-211	X78, Y143	70	54	12	楕円形	
D-215	X78, Y144	41	34	11	不整形	
D-218	X82, Y147	62	62	33	円形	
D-219	X79, Y144	56	51	6	楕円形	
D-220	X79, Y145	46	34	13	楕円形	
D-221	X78, Y145	72	66	20	楕円形	
D-223	X78, Y146	181	132	45	不整形	★
D-226	X76, Y146	209	163	37	楕円形	
D-227	X77, Y146	154	129	42	楕円形	P-53と重複
D-228	X77, Y146	153	138	36	不整形	
D-229	X77, Y146	56	52	22	楕円形	
D-230	X77, Y146	150	95	25	楕円形	
D-233	X71, Y144	70	68	76	不整形	D-199と重複
D-234	X84, Y146	55	45	18	楕円形	
D-236	X82, Y147	117	82	21	楕円形	★
D-239	X83, Y147	(100)	(100)	(20)	(円形)	一部調査区域外
D-241	X82, Y148	149	140	25	楕円形	D-1039, 1041と重複★
D-242	X80, Y147	241	179	24	不整形	★
D-243	X79, Y152	(150)	123	19	楕円形	D-270と重複
D-244	X81, Y147	49	46	26	円形	
D-247	X82, Y148	164	144	30	不整形	★
D-248	X82, Y149	117	70	31	楕円形	
D-249	X82, Y149	(131)	(108)	(36)	(楕円形)	一部調査区域外
D-251	X80, Y150	67	48	66	楕円形	
D-252	X81, Y149	125	70	75	楕円形	
D-253	X81, Y149	211	186	35	楕円形	重複 ★
D-254	X81, Y150	(131)	(126)	(32)	(円形)	★多く出土
D-255	X82, Y150	(92)	(92)	(30)	(円形)	一部調査区域外
D-256	X80, Y150	55	41	38	不整形	★
D-258	X80, Y150	117	59	13	楕円形	
D-259	X81, Y150	103	99	83	円形	★
D-260	X81, Y151	93	69	59	楕円形	
D-261	X80, Y151	152	134	27	楕円形	
D-263	X80, Y151	81	70	18	楕円形	
D-264	X81, Y151	80	72	24	楕円形	
D-267	X80, Y152	96	90	38	円形	
D-268	X80, Y153	112	93	32	楕円形	
D-269	X79, Y153	174	119	29	楕円形	
D-271	X67, Y143	75	73	21	円形	W-7に切られる
D-272	X66, Y143	105	103	39	円形	木根跡 ★
D-273	X66, Y143	77	74	45	円形	★
D-278	X68, Y146	(129)	(129)	36	(円形)	D-336, 454と重複★
D-287	X68, Y146	221	220	38	円形	★
D-292	X69, Y147	137	104	29	楕円形	★
D-293	X69, Y147	132	130	30	円形	★
D-294	X69, Y147	192	133	45	不整形	D-295, 459と重複
D-296	X69, Y148	138	118	30	楕円形	★
D-302	X70, Y145	115	93	45	楕円形	
D-303	X70, Y145	178	(178)	40	(円形)	D-529, 530と重複★
D-304	X71, Y145	200	184	31	楕円形	★
D-307	X70, Y146	79	63	23	楕円形	
D-309	X71, Y147	230	201	28	楕円形	
D-310	X71, Y148	224	135	43	楕円形	
D-312	X71, Y148	130	98	34	楕円形	★
D-315	X70, Y149	176	98	17	楕円形	
D-316	X70, Y149	183	150	35	楕円形	
D-317	X74, Y148	87	76	21	楕円形	
D-318	X75, Y148	88	61	20	楕円形	★
D-319	X75, Y148	75	63	52	楕円形	
D-320	X75, Y148	80	43	18	楕円形	
D-321	X74, Y148	65	40	23	楕円形	★
D-322	X74, Y149	121	115	46	楕円形	
D-323	X74, Y149	115	100	35	楕円形	
D-324	X74, Y150	100	97	37	円形	
D-325	X75, Y150	126	120	34	円形	
D-326	X75, Y148	87	61	22	楕円形	
D-327	X76, Y148	67	52	34	楕円形	
D-328	X77, Y148	153	123	50	楕円形	
D-330	X77, Y150	135	110	36	楕円形	
D-331	X73, Y150	72	69	48	円形	
D-332	X73, Y150	(110)	(108)	20	(円形)	D-333と重複
D-333	X73, Y150	(125)	(125)	51	(円形)	D-332と重複
D-339	X74, Y151	144	112	21	楕円形	★多く出土
D-340	X74, Y150	90	68	42	楕円形	
D-341	X74, Y151	80	77	34	円形	
D-342	X74, Y151	77	63	31	楕円形	
D-343	X75, Y151	104	64	24	楕円形	
D-344	X74, Y150	76	66	34	楕円形	
D-345	X76, Y150	93	86	29	円形	

( )は推定値、★は縄文土器片出土を示す

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-346	X75, Y150	94	83	20	楕円形	
D-347	X75, Y150	82	54	28	楕円形	
D-351	X76, Y151	89	88	29	円形	
D-352	X76, Y152	112	97	27	楕円形	
D-354	X76, Y153	85	82	18	円形	
D-355	X64, Y144	124	123	69	円形	D-936と重複 ★
D-356	X64, Y144	118	111	47	円形	★
D-357	X64, Y145	138	123	52	楕円形	
D-358	X65, Y145	128	95	37	楕円形	W-7に切られる★
D-359	X65, Y145	133	116	28	楕円形	木根跡 ★
D-361	X64, Y146	(180)	(180)	36	(円形)	W-7に切られる★
D-362	X63, Y145	(200)	200	38	(円形)	一部調査区域外★
D-363	X65, Y146	185	155	29	楕円形	D-940と重複 ★
D-364	X65, Y146	201	124	20	楕円形	★
D-367	X74, Y145	108	106	18	楕円形	★
D-371	X76, Y146	106	103	25	楕円形	
D-373	X80, Y148	66	57	14	楕円形	
D-374	X80, Y148	87	73	22	楕円形	
D-375	X81, Y148	270	180	26	不整形	
D-376	X80, Y148	55	53	36	円形	
D-377	X81, Y148	167	94	42	不整形	★
D-378	X81, Y149	82	63	14	楕円形	
D-379	X81, Y149	77	64	27	楕円形	
D-380	X66, Y145	(120)	(100)	40	(楕円形)	D-381と重複 ★
D-386	X68, Y148	222	82	44	不整形	D-389と重複 ★
D-387	X69, Y148	109	98	32	楕円形	
D-388	X68, Y148	121	102	32	楕円形	
D-389	X68, Y148	95	80	26	楕円形	D-386と重複 ★
D-390	X69, Y146	103	87	23	楕円形	
D-391	X71, Y145	174	158	18	楕円形	
D-392	X72, Y145	(133)	(117)	(55)	(楕円形)	D-531と重複 ★
D-393	X72, Y146	135	123	44	円形	
D-394	X72, Y147	103	67	10	楕円形	
D-395	X71, Y146	(88)	62	18	(楕円形)	D-396と重複
D-396	X71, Y146	(92)	60	10	(楕円形)	D-395, 397と重複
D-397	X71, Y146	153	10	16	楕円形	D-396と重複
D-398	X71, Y147	135	97	28	楕円形	
D-399	X70, Y147	137	116	26	楕円形	D-867と重複
D-400	X70, Y147	84	84	15	円形	D-867と重複
D-403	X68, Y149	110	105	51	円形	
D-405	X69, Y149	149	127	27	楕円形	
D-407	X69, Y150	104	93	20	円形	
D-408	X69, Y150	123	116	31	円形	
D-410	X69, Y151	86	84	18	円形	
D-413	X74, Y146	108	81	18	楕円形	
D-414	X74, Y146	144	64	17	楕円形	
D-415	X72, Y150	98	77	30	楕円形	
D-416	X72, Y151	153	135	30	楕円形	
D-418	X72, Y152	198	78	21	不整形	★
D-419	X72, Y152	117	112	16	円形	
D-420	X72, Y151	110	70	43	楕円形	
D-423	X77, Y154	84	73	29	楕円形	W-1, 2内
D-424	X79, Y153	107	98	28	楕円形	
D-427	X79, Y155	141	130	40	楕円形	
D-428	X78, Y155	95	95	29	円形	
D-429	X78, Y155	122	116	59	不整形	
D-430	X79, Y155	150	140	32	円形	
D-435	X79, Y156	171	166	27	円形	
D-437	X79, Y157	167	126	25	楕円形	
D-442	X77, Y157	89	72	23	楕円形	須恵器(平安時代)
D-443	X77, Y158	165	96	30	楕円形	
D-446	X78, Y159	122	117	35	楕円形	P-195と重複 ★
D-447	X78, Y159	182	157	20	楕円形	P-196と重複 ★

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-455	X68, Y145	(156)	(127)	45	楕円形	D-279, 280と重複
D-459	X69, Y147	123	(120)	43	(円形)	D-294, 295と重複
D-462	X63, Y149	137	108	25	楕円形	★
D-463	X63, Y149	96	95	17	円形	★
D-464	X65, Y149	(124)	(116)	21	(楕円形)	D-465と重複 ★
D-469	X63, Y150	137	132	26	円形	新しい土坑
D-471	X65, Y150	107	103	28	円形	新しい土坑 ★
D-473	X65, Y150	129	95	19	楕円形	★多く出土
D-475	X67, Y150	98	88	26	楕円形	★
D-478	X67, Y152	118	113	60	円形	
D-480	X66, Y152	(166)	135	24	(楕円形)	D-626, 674と重複★
D-481	X66, Y152	(236)	(231)	18	(円形)	D-624, 625, 631と重複
D-482	X67, Y153	80	76	15	円形	★
D-485	X65, Y151	128	103	27	楕円形	★
D-487	X64, Y152	169	144	25	楕円形	D-989と重複, 新しい★
D-491	X62, Y153	118	118	27	円形	新しい土坑
D-492	X63, Y153	159	158	22	円形	
D-502	X66, Y154	121	99	16	楕円形	A-1に切られる
D-503	X66, Y147	99	98	17	円形	
D-504	X66, Y147	163	100	38	楕円形	D-382と重複 ★
D-507	X66, Y148	56	36	13	不整形	D-506と重複★多い
D-511	X63, Y154	114	107	22	円形	
D-513	X63, Y155	120	115	28	円形	
D-520	X64, Y156	98	83	23	楕円形	★
D-522	X64, Y154	131	108	41	楕円形	
D-524	X70, Y143	47	45	11	円形	
D-532	X69, Y153	127	63	26	不整形	
D-533	X69, Y154	127	97	43	不整形	
D-534	X68, Y154	117	107	29	円形	
D-538	X67, Y154	(90)	(73)	32	(不整形)	D-537, 539と重複★
D-540	X68, Y155	(47)	43	37	(不整形)	D-539と重複
D-541	X68, Y155	94	78	17	楕円形	
D-544	X69, Y155	122	102	34	楕円形	D-1032と重複 ★
D-545	X69, Y155	87	87	42	円形	
D-547	X70, Y154	105	102	42	円形	★多く出土
D-548	X70, Y155	54	42	31	楕円形	
D-549	X70, Y155	71	60	25	楕円形	
D-552	X70, Y155	83	81	21	円形	★
D-553	X70, Y155	141	(140)	29	(円形)	D-554と重複★多い
D-556	X71, Y155	102	(100)	39	(円形)	D-555と重複 ★
D-557	X74, Y153	88	78	19	楕円形	★
D-562	X71, Y156	96	94	20	円形	
D-563	X75, Y154	72	68	25	円形	
D-565	X75, Y156	178	103	46	楕円形	
D-566	X74, Y155	88	84	24	円形	
D-570	X75, Y159	(128)	105	21	(楕円形)	┐D-571と重複
D-571	X75, Y159	128	115	36	楕円形	┘D-570と重複
D-572	X75, Y159	115	101	27	楕円形	
D-574	X75, Y159	136	127	46	楕円形	
D-579	X75, Y161	130	117	25	楕円形	
D-580	X73, Y160	104	104	17	円形	
D-583	X71, Y159	92	81	21	楕円形	
D-585	X70, Y158	81	65	28	楕円形	
D-586	X70, Y159	89	76	26	楕円形	
D-587	X69, Y159	88	85	21	円形	
D-588	X69, Y159	86	85	19	円形	
D-590	X69, Y157	98	94	15	円形	
D-591	X69, Y156	150	135	18	楕円形	
D-592	X70, Y156	134	82	21	楕円形	
D-593	X69, Y156	100	87	46	楕円形	
D-594	X69, Y157	95	91	15	円形	
D-595	X68, Y157	77	69	33	楕円形	
D-596	X68, Y157	94	80	39	楕円形	

（　）は推定値、★は縄文土器片出土を示す

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-601	X68, Y157	115	102	49	楕円形	
D-603	X67, Y156	130	98	18	楕円形	
D-604	X67, Y156	(108)	87	45	不整形	D-605と重複 ★
D-606	X68, Y156	124	98	34	楕円形	★
D-608	X68, Y155	85	61	56	楕円形	
D-610	X68, Y155	132	66	29	不整形	
D-615	X66, Y159	138	110	64	楕円形	D-614と重複
D-617	X67, Y149	96	83	32	楕円形	カクランあり
D-618	X67, Y149	113	104	27	楕円形	新しい土坑
D-620	X68, Y151	105	(104)	34	(円形)	D-619と重複,新しい★
D-632	X64, Y154	(130)	97	125	(楕円形)	D-510と重複,獣穴 ★
D-634	X67, Y159	246	222	25	楕円形	長甕出土(7世紀後半)
D-636	X69, Y160	117	115	57	円形	
D-639	X69, Y161	100	(98)	57	(円形)	D-785と重複
D-640	X70, Y161	109	91	32	不整形	
D-649	X72, Y161	73	58	50	不整形	
D-650	X72, Y161	99	94	55	円形	
D-655	X74, Y165	133	120	29	楕円形	
D-657	X72, Y165	132	120	42	楕円形	
D-658	X71, Y164	125	112	26	楕円形	
D-659	X72, Y165	145	131	30	楕円形	★
D-660	X70, Y164	141	89	44	楕円形	★
D-663	X68, Y152	64	59	33	円形	D-962と重複
D-664	X64, Y157	110	107	15	円形	★
D-665	X65, Y157	(150)	(125)	47	(楕円形)	D-666と重複
D-672	X63, Y161	(114)	114	44	(円形)	D-673と重複
D-679	X60, Y158	(98)	(98)	22	(円形)	D-680,681と重複
D-685	X59, Y160	62	58	17	円形	
D-691	X71, Y167	98	90	20	楕円形	
D-692	X70, Y167	146	(142)	20	(円形)	
D-693	X70, Y167	150	136	19	楕円形	
D-694	X69, Y168	(210)	139	33	(楕円形)	★
D-695	X69, Y167	120	98	28	楕円形	★
D-701	X68, Y163	131	115	26	楕円形	
D-705	X65, Y161	42	38	29	円形	
D-729	X66, Y165	203	191	34	円形	
D-730	X65, Y166	131	124	30	円形	
D-731	X62, Y150	108100	50	楕円形		
D-732	X62, Y150	67	65	26	円形	
D-733	X62, Y150	54	51	35	円形	
D-734	X62, Y151	82	78	30	円形	
D-735	X61, Y151	137	132	45	円形	
D-738	X64, Y159	115	89	30	楕円形	
D-740	X66, Y163	147	120	26	楕円形	★
D-747	X66, Y161	59	59	23	円形	
D-748	X65, Y162	72	61	22	楕円形	
D-749	X65, Y160	145	88	25	楕円形	★
D-750	X64, Y161	73	72	18	円形	
D-751	X64, Y161	61	60	15	円形	
D-753	X63, Y160	73	53	38	楕円形	
D-757	X62, Y162	77	64	14	楕円形	★
D-758	X61, Y162	117	95	42	楕円形	★
D-759	X61, Y162	79	34	43	不整形	★
D-760	X60, Y162	(44)	44	15	(円形)	┐D-761と重複
D-761	X60, Y162	(53)	43	16	(楕円形)	┘D-760と重複 ★
D-762	X60, Y162	41	37	22	円形	
D-763	X60, Y163	75	57	26	楕円形	★
D-764	X60, Y163	88	81	19	楕円形	
D-766	X71, Y168	199	195	15	円形	
D-767	X71, Y169	179	120	22	不整形	
D-768	X71, Y168	132	121	23	円形	
D-769	X71, Y168	150	120	54	不整形	
D-770	X71, Y167	97	72	30	楕円形	D-772と重複
D-771	X70, Y168	237	193	16	楕円形	
D-772	X71, Y168	185	176	55	円形	D-770と重複
D-773	X73, Y162	152	127	29	不整形	
D-774	X73, Y162	122	88	30	楕円形	
D-775	X72, Y163	(100)	83	27	(楕円形)	D-777と重複
D-776	X73, Y163	(215)	124	28	(楕円形)	D-777と重複 ★
D-777	X72, Y163	(203)	90	42	(楕円形)	D-775,776と重複
D-778	X70, Y163	122	116	25	円形	★
D-779	X70, Y163	115	97	31	楕円形	★
D-782	X62, Y164	(146)	146	24	(円形)	D-710と重複
D-783	X62, Y164	100	95	22	円形	
D-784	X62, Y165	112	92	22	楕円形	★

(7) 井戸状遺構〔第14図〕

2基の井戸状遺構を検出した。2基とも遺物は検出せず、時期不明である。

第11表　井戸状遺構計測表

（　）は推定値、［　］は検出値を示す

井戸番号	遺構位置		長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
I-1	X-72, Y-154	汲口	364	240	(80)	不整形	確認面から80cmの深さまで不整形でその下は円形。
		井穴	130	125	[276]	円形	
		P1	(100)	(65)	50	楕円形	柱穴を3基検出。
		P2	(68)	[56]	37	楕円形	
		P3	[48]	[34]	57	楕円形	
I-2	X-71・72, Y-160		173	163	[154]	円形	H-12と重複し床を掘り込んでいる。

(8) 道路状遺構〔第14図〕

明治29年、元陸軍の迅速測図や昭和43年の都市計画図に道路として記載されており、最近まで使用していた道路である。

第12表　道路状遺構計測表

N-S-W-Eは方向を示す

遺構番号	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(%)	上幅 下幅(cm)	傾斜方向	備考
A-1	X77, Y143 ～ X58, Y163	109.8	3～24	NE130.47 SW127.42	2.8	114～215 21～70	NE→SW	覆土は、砂が多くガラス片が混入し、最下層に砂鉄が堆積していた。断面形状は皿状で、底部には流水痕が見られる。また、20.0×15.0cm、深さ10.0～15.0cmの長方形の穴が道路東側縁に50cmピッチで延長40mにわたり検出した。道路と敷地との境柵跡と思われる。

(9) 掘立柱建物跡〔第14図、図版５〕

ピット群１・２の中から、３棟の掘立柱建物跡を検出した。各遺構については、第13表 計測表にまとめた。

第13表　掘立柱建物跡計測表

（　）は推定値、N-S-W-Eは方向を示す

番号	遺構位置	形状(m)	長軸方向(cm)	推定面積(m²)	柱間寸法(m)	柱穴(cm) 平・断面形状	長径	短径	深さ	備考
B-1	X74・75 Y114・115 ピット群１	東西２間 南北１間 長方形	N-100°-E	(16.83)	東西 4.18(2.13+2.05) 4.02(1.90+2.12) 南北 4.14 4.08	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	34 〜 47	(31) 〜 41	7 〜 28	P-21, 23, 24, 27, 28, 32の柱穴。 P-21から土師器の坏片、一片が出土。古墳時代以降のものと思われる。
B-2	X69〜71 Y153・154 ピット群２	東西２間・４間 南北２間 長方形	N-105°-E	(25.31)	東西 5.80(2.00+3.80) 6.30(0.63+1.60+2.42+1.65) 南北 4.33(2.73+1.60) 4.00(3.07+0.93)	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	28 〜 42	24 〜 36	15 〜 47	P-221, 239, 240, 224, 225, 226, 227, 228, 230, 231の柱穴。 B-２とB-３は時期不明であるが作り替えされたと推測される。
B-3	X69〜71 Y154・155 ピット群２	東西２間 南北１間・２間 長方形	N-104°-E	(16.48)	東西 5.04(3.14+1.90) 5.07(1.55+3.52) 南北 3.45 3.42(2.63+0.79)	平面形状 円形・楕円形 断面形状 U字形・鍋底形	28 〜 56	26 〜 36	15 〜 45	P-232, 233, 234, 235, 248, 237, 238の柱穴。

注）推定面積は、柱穴を囲んだ面積。

第14表　鍛冶工房跡（H-16号）出土土器観察表

法量は①口径 ②底径 ③高台径 ④器高 ⑤長さ ⑥幅 ⑦穿孔径 ⑧厚さを表す。

番号-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土 ②焼成 ③色 ④残存	成・整形方法 口縁・胴部(体部)	底部	備考	実測図	図版
H-16-1	一括	土師坏	①14.3 ④3.4	①細粒②良好(酸化)③内外面橙色5YR6/6 ④底部から口縁3/4	浅めの底部から体部に稜を持ち、口縁外反し横撫で。	丸底 篦削り		22	10
H-16-2	カNo.3	土師坏	①13.3 ④3.7	①細粒②良好(酸化)③内外面橙色5YR6/6 ④底部から口縁3/4	浅い底部から丸みを持ち外傾。篦削り。口縁直立し横撫で。	丸底 篦削り		22	10
H-16-3	カNo.2	土師坏	①12.8 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③内面橙色5YR6/6外面橙色7.5YR6/6④1/2	浅い底部から丸みをもち外傾。篦削り。直立し口縁に至る。横撫で。	丸底 篦削り		22	10
H-16-4	No.34	須恵高盤	③(8.5) ④(8.5)	①細粒②良好(還元) ③内外面褐灰色10YR6/1④2/3	ロクロ成形。脚部に４穴の長方形スリットあり。皿内面に断面三角形状凸帯１状	盤底部回転糸切り		22	10
H-16-5	No.22	羽口	⑤15.5⑥7.8 ⑦1.7〜3.0 ⑧2.5〜3.4	①中粒②良好(酸化〜還元) ③褐灰色10YR6/1〜明黄褐色10YR7/6④4/5	先端部鉄滓付着し小気泡散在。溶けた様子がうかがえる。指押さえ。撫で。		挿入角度8°	22	10
H-16-6	No.15	羽口	⑤13.8⑥8.1 ⑦2.2〜3.5 ⑧2.3〜3.2	①中粒②良好(酸化〜還元) ③灰白10YR8/1〜浅黄橙色10YR8/3④９/10	先端部鉄滓付着し小気泡散在。溶けた様子がうかがえる。指押さえ。撫で。		挿入角度11°	22	10
H-16-7	No.33	羽口	⑤10.0⑥7.8 ⑦1.9〜3.0 ⑧2.1〜3.2	①中粒②良好(酸化〜還元) ③褐灰10YR6/1〜明黄褐色10YR7/6④完形	先端部鉄滓付着し小気泡散在。溶けた様子がうかがえる。指押さえ。撫で。		挿入角度9°	22	10

注）出土土器観察表の記載基準は以下の基準で行った。
①胎土は、細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0〜1.9mm)、粗粒(2.0mm以上)とした。②焼成は、極良、良好、不良の３段階。
③法量の単位はcm、（ ）は現存値を記載した。観察表の番号-No.は各遺構ごとの番号を表す。

第15表　鍛冶工房跡（H-16号）石製品観察表

番号-No.	台帳番号	器種	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	重さ(kg)	材質	特徴	実測図	図版
H-16-8	No.35	石床炉	52.0	45.5	6.7〜18.0	58.0	安山岩	側面に平らで滑らかな部分あり。上半分が赤みを帯び、炉内部は窪みを作るため、少しずつ割っていった加工痕と、高温のためか炉底が薄く剝がれ、全体にひび割れあり。	22	10
H-16-9	No.37	鉄床石	35.0	31.0	10.0〜18.0	27.0	安山岩	表面は平らで滑らか。半分は割れたままで凸凹している。使用痕２面あり。鉄滓付着。	—	10
H-16-10	No.36	鉄床石	40.0	18.0	25.0	25.5	安山岩	石棒の様な形状。表面がボロボロしている。表面が平らで滑らかな使用痕２ケ所あり。	—	10
H-16-11	一括	砥石	26.5	14.0	22.0	2.81	安山岩	表面は平らで滑らか。６面中５面使用痕あり。	—	10

第16表　出土土器観察表

法量は①口径 ②底径 ③高台径 ④器高 ⑤長さ ⑥幅 ⑦穿孔径 ⑧厚さ ⑨胴部最大径を表す。

番号-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土 ②焼成 ③色 ④残存	成・整形方法		備考	実測図	図版
					口縁・胴部(体部)	底部			
H-1-1	No.14	土師坏	①(11.8) ④5.2	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色7.5YR7/8 ④底部から口縁1/2	口縁ゆるく外傾。口唇は内傾する横撫で。体部に稜を持つ。篦削り。	丸底 篦削り		20	8
H-1-2	No.2，3	土師甕	①12.6 ④15.7⑨13.8	①細粒②良好(酸化)③内外面橙色5YR6/8 ④口縁から底部4/5	胴部丸味を持ち頸部でゆるく外傾し口縁に至る。肩、胴部篦調整。輪積み痕。	丸底 篦削り	小型甕	20	8
H-2-1	一括	土師甑	①(15.4) ②7.6④12.0 ⑦1.8	①中粒②良好(酸化) ③両面にぶい黄橙色10YR7/4 ④口縁から底部1/2	胴部は丸みを持って外傾し口縁に至る。篦削り。輪積み痕。	わずかに丸みある平底	底部1孔	20	8
H-2-2	No.4	土師坏	①11.4 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色10YR7/8④底部から口縁1/2	口縁の立ち上がり短く直立し横撫で。体部に稜を持つ。扁平。	丸底 篦削り	模倣坏	20	8
H-2-3	No.3	土師坏	①12.7 ④4.5	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色10YR7/8④口縁から底部3/4	底部から丸みをもち外傾。体部2段の稜を持ち口縁に至。横撫で。	平底 篦削り		20	8
H-2-4	No.14	土師手捏	②4.2 ④4.5	①中粒②不良(酸化) ③内外面黄褐色10YR5/6④口縁から底部2/3	手捏。指頭調整。指摘み跡あり。	平底		20	8
H-2-5	No.15	土師手捏	①6.8②6.0 ④4.5	①中粒②不良(酸化) ③内外面にぶい黄橙色10YR6/4④ほぼ完形	手捏。指頭調整。指摘み跡あり。	平底		20	8
H-2-6	No.1，3，5～8，13,22	土師甕	①20.0②4.0 ④36.0	①中粒②良好(酸化) ③内面橙色5YR6/8外面橙色7.5YR6/6 ④9/10	口縁「く」の字外反。横撫で。胴部上半に膨らみ。尻すぼみ底部に至る。篦削り。	平底 篦削り	長胴甕	20	8
H-3-1	カNo.1	須恵塊	①(14.0) ②(6.0)④5.0	①細粒②良好(還元)③内面明黄褐色10YR7/6外面褐灰色10YR5/1④1/3	体部外傾。口縁外反。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台		21	9
H-3-2	No.4	須恵塊	①(14.2) ②6.2④5.0	①細粒②良好(還元) ③にぶい黄橙10YR7/4④口縁から底部3/4	体部は直線的に外傾し口縁で外反。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台		21	9
H-3-3	No.5，6	須恵塊	①14.6②7.2 ④5.1	①細粒②良好(還元) ③内外面灰白色10YR7/1④口縁から底部3/4	体部やや丸みを持ち外傾。口縁で外反。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台	外面に墨書	21	9
H-3-4	一括	須恵塊	②(6.6) ④(3.7)	①細粒②良好(還元)③内外面にぶい黄褐色10YR7/4④口縁部欠損1/6	体部やや丸みを持ち外傾。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台	内面に墨書	21	9
H-4-1	No.3，9	須恵塊	①(15.0) ②6.3④5.0	①細粒②良好(還元) ③内外面灰白色10YR7/1④口縁から底部1/2	体部丸みを持ち外傾。口縁で外反。内外面ロクロ成形	回転糸切り後付高台		22	10
H-4-2	P1 No.1	須恵塊	①15.0②6.5 ④6.0	①細粒②良好(還元)③内面橙色5YR7/8 外面鈍い黄橙色10YR7/4④3/4	体部わずか丸みを持ち外傾。口縁でやや外反。内外面ロクロ成形	回転糸切り後付高台		22	10
H-4-3	No.1	須恵坏	①14.7②7.8 ④4.0	①細粒②良好(還元)③内外面橙色5YR7/6 ④口縁から底部2/3	体部外傾。口縁で外反。 内外面ロクロ成形	回転糸切り 平底、未調整	外面に墨書	22	10
H-4-4	貯No.4	須恵塊	①(14.4) ②7.4④5.5	①細粒②良好(還元)③内外面橙色5YR6/6 ④口縁から底部3/4	体部丸みを持ち外傾。口縁で外反。内外面ロクロ成形	回転糸切り後付高台		22	10
H-4-5	貯No.7	須恵塊	①(14.0) ②5.0④5.2	①細粒②良好(還元)③内外面褐灰色10YR6/1④口縁から底部1/4	体部やや丸みを持ち外傾。口縁でやや外反。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台		22	10
H-4-6	一括	須恵塊	①(13.8) ④(3.9)	①細粒②良好(還元)③内外面褐灰色10YR6/1④口縁から体部破片	体部丸みを持ち外傾。口縁で外反。内外面ロクロ成形。	底部欠損	外面に墨書	22	10
H-5-1	カNo.1，6	須恵坏	①13.0②5.7 ④4.0	①細粒②良好(還元)③両面にぶい黄橙色10YR7/3④口縁から体部破片	体部は丸みを持ち外傾し口縁に至る。内外面ロクロ成形。全体歪みあり。	回転糸切り 平底、未調整	外面に墨書	22	10
H-5-2	カNo.4 貯No.1	須恵塊	①(18.0) ②(7.7)④7.2	①細粒②良好(酸化) ③内外面橙色7.5YR7/6④口縁から底部2/5	体部丸みを持ち外傾。口縁で外反。内外面ロクロ成形。	回転糸切り後付高台		22	10
H-6-1	No.1	須恵坏	①(12.5) ②6.4④3.3	①細粒②良好(還元) ③内外面黄灰色2.5Y6/1④口縁から底部2/5	体部は丸みを持ち外傾し口縁に至る。内外面ロクロ成形。	回転糸切り 平底、未調整		22	10
H-8-1	No.1	土師甕	①20.6②4.6 ④39.5	①中粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6 ④底部から口縁9/10	外反する「く」の字口縁で横撫で。胴部上半に膨らみを持ち尻すぼみ。篦削り。	平底 篦削り	長胴甕	20	8
H-8-2	カNo.1，2，5	土師甕	①21.0②4.0 ④36.2	①中粒②良好(酸化)③内外面明黄褐色10YR6/6④口縁から底部9/10	「く」の字口縁。横撫で。胴部上半に膨らみを持ち尻すぼみ。篦削り。	平底、葉脈痕	長胴甕	20	8
H-9-1	No.1，2	土師坏	①11.1 ④4.0	①細粒②良好(酸化)③内外面橙色5YR6/8 ④ほぼ完形	体部に稜を持ち、口縁外傾し横撫で。	丸底 篦削り		20	8
H-10-1	No.2，3，5，7，13	土師坏	①13.3 ④3.6	①細粒②良好(酸化)③内外面明赤褐色5YR5/8④底部から口縁9/10	口径大きく外傾し、口縁横撫で。体部は丸みを持ち。扁平。	丸底 篦削り		22	8
H-11-1	No.18	土師坏	①13.4 ④5.1	①細粒②良好(酸化)③内面黒色10YR2/1 外面橙色2.5YR7/6④2/3	底部から丸みをもち外傾。体部に鋭さがない稜を持ち口縁に至り横撫で。	丸底 篦削り		20	8
H-11-2	No.34	土師坏	①11.6 ④4.1	①細粒②良好(酸化)③内面黄橙色7.5YR7/8 外面橙色5YR7/8④完形	体部に2段の稜を持ち外傾。口縁に至る横撫で。	丸底 篦削り		20	8
H-11-3	No.32	土師甑	①17.6②4.0 ④13.5⑦6.0	①細粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6④完形	胴部下半分から急にすぼまる。篦削り。頸部に弱いくびれ。口縁外反する。	平底	底部6孔	20	8
H-11-4	No.33	土師壺	①10.7 ④13.8⑨14.7	①細粒②良好(酸化) ③両面橙色5YR6/8④口縁から底部4/5	球形の胴部篦削り。口縁は外反し長く、肩との接合部に稜をわずかに持つ。	丸底	小型壺	20	8
H-11-5	カNo.3	土師甕	①14.3 ④20.2⑨18.0	①細粒②良好(酸化) ③両面にぶい黄橙色10YR7/4④完形	やや縦長の球形の胴部。篦削り。口縁は緩く外反。横撫で。	丸底 篦削り		20	8

番号-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土 ②焼成 ③色 ④残存	成・整形方法		備考	実測図	図版
					口縁・胴部(体部)	底部			
H-11-6	No.30	土師甕	①21.5②4.8 ④36.2	①中粒②良好(酸化) ③明黄褐色10YR7/6④口縁から底部9/10	「く」の字頸部。横撫で。胴部上半に膨らみを持ち尻すぼみ。篦削り。	平底	長胴甕	20	8
H-11-7	カNo.1	土師甕	①20.3②3.8 ④36.4	①中粒②良好(酸化) ③両面明黄褐色10YR6/6 ④口縁から底部9/10	「く」の字頸部。横撫で。胴部上半に膨らみを持ち尻すぼみ。篦削り。	平底	長胴甕	20	8
H-11-8	H-11 No.1,29 H-12 No.22～24	土師甕	①20.6②10.0 ④33.7	①中粒②良好(酸化) ③内面明黄褐色10YR6/6外面橙色5YR6/6 ④4/5	縦長の球形。篦削り。肩に張りがなく直立した後外反し口縁に至る。横撫で。	平底 篦削り	H-12の遺物と接合	20	8
H-12-1	No.30	土師坏	①11.7 ④5.0	①細粒②良好(酸化)③内外面橙色5YR6/6 ④口縁から底部3/4	深めの底部から体部に稜を持ち篦削り。口縁は内傾し、横撫で。	丸底 篦削り	模倣坏	20	9
H-12-2	No.25	土師坏	①12.0 ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色7.5YR7/8④完形	浅めの底部から体部に稜を持つ篦削り。口縁は外反し、横撫で。	丸底 篦削り		20	9
H-12-3	No.10,40	土師坏	①12.4 ④4.0	①細粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6 ④口縁から底部1/2	浅めの底部から体部に稜を持つ篦削り。口縁は外反し、横撫で。	丸底 篦削り		20	9
H-12-4	No.6	土師壺	①9.3⑨11.1 ④(8.5)	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色7.5YR7/8 ④口縁から底部1/2	球形の胴部。篦削り。口縁はやや外反。横撫で。	丸底 篦削り	小形壺	20	9
H-12-5	カNo.2,5	土師甕	①21.3 ④(29.7)	①中粒②良好(酸化)③両面橙色7.5YR7/6 ④口縁から底部2/3	外反する「く」の字口縁。横撫で。胴部上半に膨らみを持ち尻すぼみ。篦削り。	底部欠損	長胴甕	21	9
H-14-1	No.3～8,10	土師甕	①13.8⑨21.4 ④(16.7)	①細粒②良好(酸化) ③両面にぶい黄橙色10YR7/4 ④口縁から胴部1/3	外反する「く」の字口縁。横撫で。肩に張りがなく丸みのある胴部。篦削り。	底部欠損		21	9
H-15-1	No.4,7	土師坏	①(13.0) ④3.6	①細粒②良好(酸化)③内面褐灰色10YR4/1 外面黒褐色10YR3/1④1/4	浅めの底部から体部に2段の稜を持つ。横撫で。口縁は外傾し、横撫で。	丸底 篦削り		21	9
H-15-2	No.6,8, 11,19	土師甕	①20.7 ④(15.0)	①中粒②良好(酸化)③内外面橙色7.5YR7/6 ④口縁から胴部1/3	胴部に膨らみはなく篦削り。頸部にわずか稜あり急激に外反横撫で。	底部欠損	長胴甕	21	9
H-17-1	No.24	土師坏	①12.2 ④4.3⑦2.5	①細粒②良好(酸化) ③内面橙7.5YR6/6外面鈍い橙色7.5YR7/4 ④完形	やや浅い底部。篦削り。体部に稜を持ち口縁が外反。横撫で。底部に孔あり。	丸底 篦削り	底部1孔甑転用か	21	9
H-17-2	No.14,15	土師坏	①12.8 ④5.7	①細粒②良好(酸化) ③両面橙色7.5YR6/8④ほぼ完形	深めの底部から体部に稜を持つ篦削り。口縁は外反し、横撫で。	丸底 篦削り		21	9
H-18-1	カNo.1	土師坏	①13.1 ④4.6	①中粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6④完形	深めの底部から体部に緩やかな稜を持つ。篦削り。口縁は外反し、横撫で。底～体部肥厚	丸底 篦削り		21	9
H-18-2	No.12	土師甕	①10.0②5.4 ④11.9	①細粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6④完形	底部から丸みを持ち胴部篦削り。頸部に稜を持ち口縁は外反し、横撫で。肥厚	平底 篦削り		21	9
H-18-3	No.2	土師甕	①13.6②11.8 ④18.2	①細粒②良好(酸化) ③内外面黄橙色7.5YR7/8④口縁から脚4/5	「く」の字口縁。横撫で。胴部上半膨らみを持ち篦削り。歪みあり。	篦削り、撫で	小型台付甕	21	9
H-18-4	No.1	土師甑	①16.2②5.2 ④12.9⑦1.9	①中粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6④完形	底部から口縁にかけてやや丸みを持ち外傾。篦削り。輪積み痕あり。粗雑	平底 篦削り	底部1孔	21	9
H-18-5	貯No.1,2, No.13,14	土師甕	①(20.0) ②8.5④35.0	①中粒②良好(酸化) ③内外面鈍い黄橙色10YR7/4 ④口縁から底部9/10	「く」の字口縁。横撫で。肩の張りなく縦長の胴部中央に膨らみを持ち、篦削り。	平底 篦削り		21	9
H-19-1	No.4	土師坏	①14.0 ④4.5	①細粒②良好(酸化) ③内外面橙色7.5YR7/6④口縁から底部1/2	浅い底部。体部に稜を持つ。稜から口縁は長く外傾。横撫で。	丸底 篦削り		21	9
H-20-1	貯No.5, 一括	土師甕	①18.7 ④(7.7)	①細粒②良好(酸化) ③内外面明黄褐色10YR7/6④口縁から頸部	「く」の字口縁。横撫で。肩に稜を持つ。	底部欠損		21	9
H-21-1	No.9	土師坏	①12.1 ④4.1	①細粒②良好(酸化) ③内外面橙色5YR7/6④口縁から底部3/4	深めの底部。体部に穏やかな稜を持つ。稜から口縁は長く外傾。横撫で。	丸底 篦削り		21	9
H-21-2	No.10	土師甕	④(7.6)	①細粒②良好(酸化)③内面鈍い黄橙 10YR7/4外面橙色7.5YR7/6④1/8	底部に脚部貼付の跡あり。胴部球形。篦削り。	口縁、脚部欠損	小型台付甕	21	9
H-22-1	一括	須恵埦	①13.8②5.3 ④4.7	①細粒②良好(還元)③内外面灰白色2.5Y7/1 ④口縁から底部1/2	体部やや丸みを持ち外傾し口縁で外反内外面ロクロ成形。	回転糸切り 平底未調整		22	10
H-22-2	No.6	須恵壺	②13.0 ④(2.8)	①細粒②良好(還元)③内面灰白色10YR7/1 外面褐灰色10YR4/1④底部	体部外傾。ロクロ成形。	平底、回転篦削り、篦撫で	削り出し高台	22	10
D-634-1	No.2	土師甕	①21.3②4.0 ④39.4	①中粒②良好(酸化) ③内面灰赤色2.5YR4/2 外面鈍い褐7.5YR5/4④4/5	肩に張りなく口縁外反する。横撫で。胴部上位でやや膨らみ尻すぼみ。篦削り	平底 篦削り	長胴甕	21	9

3．まとめ

縄文時代の遺構と遺物について

本遺跡は、東西を沖積谷に挟まれた台地上の中央部から西側縁辺部に当たる。標高は、縄文時代の確認面で約128.00～131.20mを測る。今回の調査では、住居跡22軒と土坑753基を検出し、遺物も大量に出土している。検出遺構を時期別に分けると、前期のものはD-5のみであり、その他の遺構はすべて中期中葉に属するものと考えられる。住居跡の配置は、全体としてはほぼ環状を呈するように見える。しかし重複住居はないもののかなり接近して営まれている住居跡があり、そのすべてが同時に存在したわけではなく、作り替えが考えられ、同時期には数軒の住居跡群と考えられる。土坑は、環状を呈する住居跡群の内側から検出されるものが多く、特に台地縁辺部に密集する。それに対して台地中央部は散在傾向が認められ、空間の使用に規則性があることを想起させる。また、いわゆる集石土坑(D-201・526・578・683・696・697・698・699・700・702)は10基検出され、南端中央部に偏在する傾向が見られる。焼土を検出した土坑(D-170・467・621・971)も4基認められた。

遺物は、土器を観察した結果、その所属時期を前期、中期中葉、中期後葉に大きく分けることができる。出土量の割合を時期毎に分けると、前期の土器は繊維土器片と諸磯式の土器片が数十点、中期後葉の土器は加曽利E式の土器片が数点見られる程度であり、ほとんどが中期中葉に属するものである。個別の土器では、完形・半完形の深鉢や浅鉢を多量に出土しているが、特に土坑から出土のものが多い。特殊な遺物は次のものがある。土器：台付鉢4点(D-841・856・X65,Y153グリッド・X72,Y143グリッド)・異形土器2点(J-5・D-754)・有孔鍔付土器の口縁部片1点(D-756)・ミニチュア土器3点(D-31・145・845)等があげられる。石器：硬玉製大珠1点(X76、Y155グリッド)・翡翠の未製品1点(X69、Y166グリッド)・玦状耳飾片1点(D-151)が出土している。土製品：耳栓1点(J-17)・土製円盤22点(J-1・2・4・5・D-150・197・238・383・483・536・647・666・723・752・832・841)・指跡が明瞭な粘土塊1点(J-12)・孔を付す球形土製品1点(D-275)・土版と思われるもの(W-7)が出土。木の実：胡桃(J-21)・栗(D-622)の炭化物が出土した。

本遺跡は、前年度調査の五代伊勢宮Ⅳ遺跡の南側にあり両者一体の遺跡と考えられるため、縄文時代の周辺遺跡を含めた分布傾向を見てみたい(付図参照)。前期の住居跡は、五代伊勢宮Ⅱ遺跡1軒、伊勢宮Ⅴ遺跡4軒、五代木福Ⅰ遺跡1軒、五代中原Ⅰ遺跡3軒、中原Ⅱ遺跡4軒の合計13軒が検出されている。その分布傾向は散在的であり、群馬県における前期集落の一般的な様相を示していると言えよう。中期中葉の住居跡は、五代伊勢宮Ⅳ遺跡3軒、本遺跡22軒の合計25軒が検出され、分布に集中化がはっきりと読みとれる。中期後葉の住居跡は、五代伊勢宮Ⅱ遺跡6軒、伊勢宮Ⅴ遺跡6軒、五代竹花遺跡2軒、五代深堀Ⅰ遺跡1軒、深堀Ⅱ遺跡1軒の合計16軒が検出されていて、集中化と拡大化の傾向が見られる。

古墳時代以降の遺構について

本遺跡の調査において、古墳時代の住居跡は13軒検出されている。おおむね6世紀後葉から7世紀前葉の集落跡で、五代木福Ⅱ遺跡に見られる古墳時代住居跡は61軒中2/3が6世紀後葉から7世紀前葉の住居であり、主軸方向や規模が似かよっているものが多く、地域の拠点集落的な要素を持ち奈良・平安時代に引き継がれたと思われる。奈良・平安時代の住居跡は、9軒検出され8世紀後葉から10世紀前葉のものと推定される。中でも他に例を見ない石床炉が出土し、8世紀後葉から9世紀前葉にかけて操業していたと想定される鍛冶工房跡が検出され、鉄製品が出土した住居跡が検出されている。本遺構は、赤城山南麓の鉄文化の発達において、非常に貴重な資料となるであろう。

参考文献

『房谷戸遺跡Ⅰ』1989 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『縄文土器大観』1989 小林達夫編集
『三原田遺跡第2巻』1990 群馬県企業局
『研究紀要7』1990 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『研究紀要9』1992 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『研究紀要20』2002 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『鼻毛石中山遺跡 発掘調査概報』1996 宮城村教育委員会
『沼南遺跡』1989 群馬県埋蔵文化財調査事業団
『縄文土器論集』1999 縄文セミナー10周年記念論文集
『群馬考古学手帳10』2000 群馬土器観会
『道訓前遺跡』2001 北橋村教育委員会
『芳賀東部団地遺跡Ⅰ』1984 前橋市教育委員会
『芳賀東部団地遺跡Ⅱ』1988 前橋市教育委員会
『芳賀北部団地遺跡Ⅰ』1994 前橋市教育委員会
『五代江戸屋敷遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代竹花・木福Ⅰ・伊勢宮Ⅰ遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代木福Ⅱ・深堀Ⅰ遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅱ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅲ・深堀Ⅱ・中原Ⅰ・伊勢宮Ⅳ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

五代伊勢宮Ⅵ遺跡と鍛冶工房

井上唯雄（前橋市教育委員会文化財保護課 文化財整備指導員）

(1) 五代伊勢宮遺跡と周辺の遺跡

五代伊勢宮遺跡の周辺は前橋市工業団地造成組合が開発に着手したことによって、2000年以降急速に埋蔵文化財の調査が進展し、その内容が明らかになりつつある。その範囲は両側を開析谷で画された1km四方に及んでいる。それらの中から想定される状況を整理すると次のようである。

①奈良時代以降の集落の範囲と中心の集落

調査された住居跡170軒中、奈良時代以降のものが83軒とほぼ半数を占めるがその中心は、木福遺跡で全体の70%近くが集中する。この遺跡は古墳時代から引き続き地域の拠点集落として機能してきた遺跡である。特に奈良・平安時代には郷(藤沢郷か)の支群の中の中心として盛んな地域であった。特に木福Ⅱ遺跡中のH-104号住居跡などは、銅製巡方や和同開珎を出土したり、多くの鉄製品を出土して、郷の有力者の存在を裏付けている。

この遺跡と鍛冶工房は200～300mの至近距離にある。おそらく同一の行政区画に組み込まれたとみられる範囲で、鍛冶工房の検出された部分は郷の西端に当たる部分である。しかも、同一時期で考えると、隣家からもかけ離れた西北端部にあり、強力な火を使用することからくる火災に対する配慮をうかがい知ることができる。

この遺跡中における鉄器及びそれと関連する砥石を出土した遺構をみると28軒ほどが摘出できるが、8世紀に属するものは30%弱で、9世紀以降のものが70%を越えて急速に鉄器が普及したことをうかがい知ることができる。検出された鉄器は刀子が最も多く、鎌、斧、鋸などがあり小型のものが多い。しかし、砥石の中には大型の据え砥が比較的多く発見されたことから考えると、大型の鉄器の存在も想定される。また、鉄滓が竹花遺跡、木福Ⅰ遺跡などからも出土しており集落の一部でも小規模な操業があったことも想定されるが、工房跡の検出には至っていない。

②伊勢宮Ⅵ遺跡の鍛冶工房跡

今回検出した鍛冶工房跡は遺構の状態や出土遺物との関連などから、いくつかの問題点が指摘される。

ア．竪穴平面の形状と上屋構造

竪穴の掘りかたでは、カマドの付設される東壁は直線的であるが、対辺は円形を呈し全体的に蒲鉾状をなす。また、柱穴も東壁部分は一般の竪穴住居と同様に掘られているが、他の部分は壁際に寄せて掘られている。西からの卓越した季節風の影響を軽減するための配慮であろうか。また、柱を壁際に直立させていることからすると、壁を直立させると共に屋根部分も一般の竪穴住居より高くなり、特異な形状を呈することが想定される。これは、鍛冶の強力な火力に伴うことへの対応であることは容易に想像される。また、ある時点で工房の拡張が行われている。本来の遺構も一般の竪穴住居の規模からみると大型に属するが、13.30m²から18.20m²へと40%ほど拡張している。鉄器需要の増大に伴って鍛冶操業能力を増強するための配慮とみられる。この拡張についても東壁側は当初のままで、他の三辺部分を最大で80cmほど拡張している。また、南壁の周溝のとぎれ部分が入口部分であろうか。

イ．中央部での操業にみる炉の変化と付属施設

遺構中央部は周辺より30cmほど低く、およそ2m四方に炉やピットが集中している。この部分には地床炉2基、移動式とみられる石床炉が検出され、さらに、加熱した鉄素材を鍛える鉄床石とみられるものも発見され、この部分が中心的な作業スペースであったことがわかる。

まず、設置されたのは地床炉であろう。拡張前の範囲でみればほぼ中央部に当たり、重複する形で作り替えられている。規模、構造とも県内の例にみられる一般的なものである。炉の西背後に平坦な部分Ⓐが付設され、作業との関連がうかがえるが、遺物等は出土していない。この地床炉の東側には70×60cmの平坦な方形部分Ⓑがあり、後述するが、作業との関連を持つのは地床炉の場合と同様である。その南には、明らかに2回に渡って作り替えられたP1(およそ1m四方)、P2(65×70cmの方形)で深さ55～60cmのピットが窄たれている。特に東側の大型ピット(P1)の底には灰や鉄滓の他、鍛造皮膜が2層にわたり固く踏み固められていた。このことは操業時、この穴はあいており人が降り立てる状況にあったと考えられる。炉脇のこの穴に立ち鉄素材の鍛造にあたったものと考える。近世以降の鍛冶場でも火床に向って親方が立つ場所を「横座」と称し、腰掛けのようなものに座って作業する場合と、穴を掘りそこに入って立ち作業をする場合があるという。こうみると北側の平坦部Ⓑは「砥舟」と呼ばれるような部分であると考えられる。調査した時点では、東側のP1を埋めて石床炉と鉄床石とみられる

ものが据えられていた。とすれば、西側に掘られたＰ２も同様な機能をもつものと考えられ、石床炉の可動性を生かして、炉を移動する形がとられたものとみられる。中央低地部の東側の床面には炉が設置された形跡がないことからすると石床炉は最初反対側のＰ２の部分にあったと考えられる。この類例は鳥取福蔵寺遺跡でもみられる。この考えに立つと中央部西南ピット（Ｐ３）も小型ながら同様の機能を持つものと考えられ、その南側に鍛造皮膜の飛散、炭、鉄滓などの堆積層があることからすると、この部分にも炉が置かれた可能性がある。鉄床石らしき川原石の存在がその考えを補強する。いずれにしても、最も古い地床炉の段階では操業のためのピットはみられないことから座して鍛造を行ない、後から採用した石床炉の段階ではピットと一体化した作業が想定される。操業期間も比較的長かったとみられる。

ウ．操業の時期

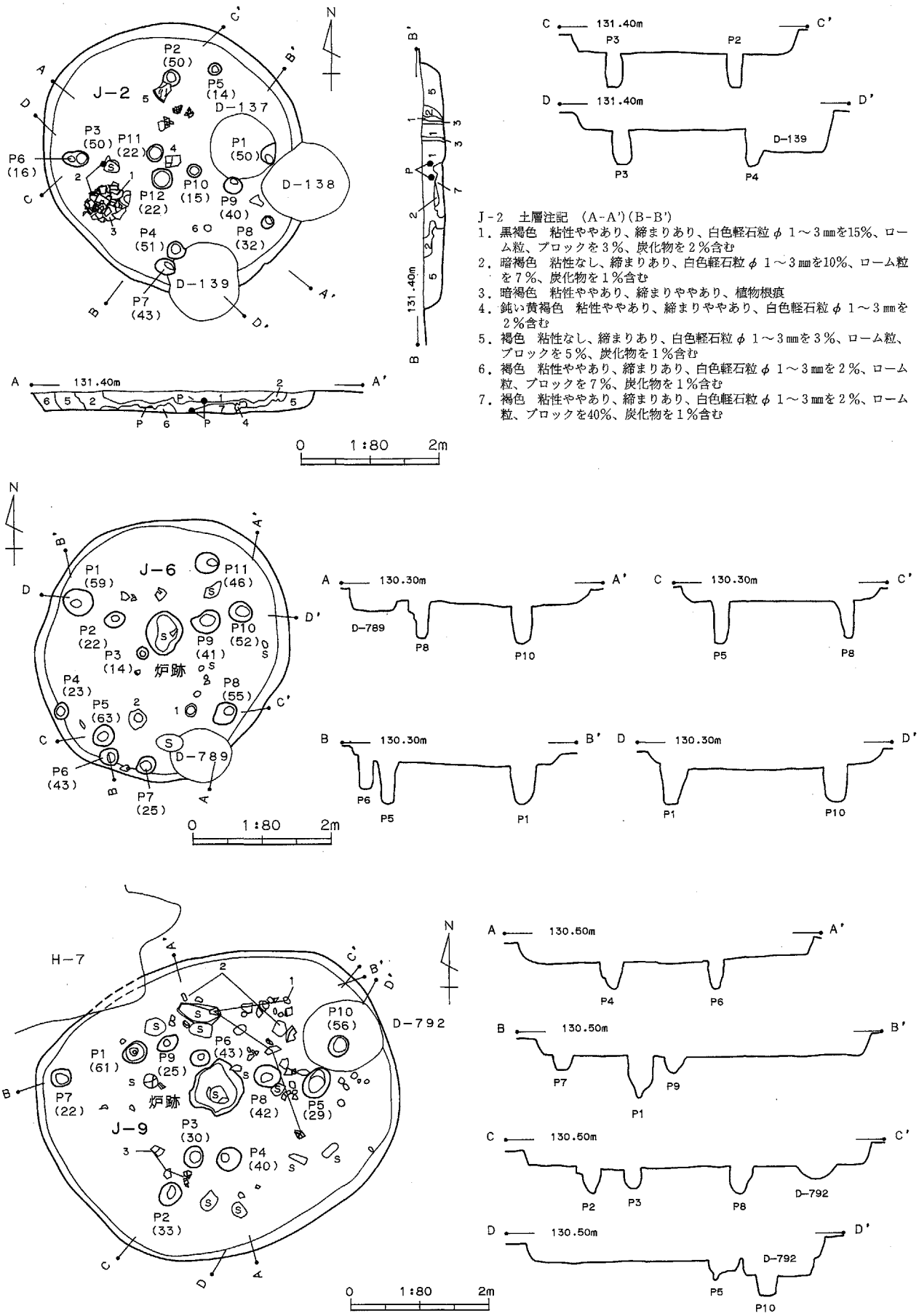
この工房跡は幸いなことに遺物に時期を示す土器が伴うことから操業の時期を想定することが可能である。まず、カマドの中から日常雑器の土師器の坏を出土した。比較的体部が浅く、口唇部が丸味を持ちながら内湾する形でみると、８世紀終末期の様相としてとらえることができる。また、煮沸のための甕の破片では器肉の削りは盛行するものの、口縁部の形状では「コ」の字状口縁の出現はみていない。これらの土器より古い様相のものは見あたらないので、操業開始の時期は８世紀末葉の時期を考えておきたい。また、前述の石床炉を据えた埋め土の下層から須恵器の高盤が出土している。この土器は、伊勢宮Ⅱ遺跡Ｈ－７号住居跡にも皿部中ほどに断面三角形の凸帯を一条低く巡らしている。この土器は黒笹90号窯式併行期に集中して見られることを考慮すると９世紀前半のものと、とらえられよう。地床炉から石床炉へ移行する時期に、需要の急増に応えるために遺構の拡張や、より効率的な操業への転換が図られた可能性を指摘しておきたい。

③まとめ

伊勢宮Ⅵ遺跡の鍛冶工房跡は、８世紀末から９世紀前半にかけてかなり盛んな操業を行ってきたことが想定されることは前に述べた。これを改めて周辺の遺跡の状況に照らしてみると、五代竹花遺跡のＨ-12号住居跡や木福Ⅰ遺跡Ｈ-44号住居跡など８世紀後半段階で鉄製品の出土が見られ９世紀になると爆発的とも言える出土量の増大をみせる。鉄製品出土の住居跡数でみても８世紀後半段階のものが７軒に対し、９世紀段階のものは17軒と倍増する状況がその動向を裏付けていると言える。木福遺跡の郷長クラスの有力者層による律令支配の一つの根幹をなすものとして、鍛冶工房の持つ意味は大きいと言えよう。さらに、ここでの鍛造の鉄素材を生産する精錬炉は現在までのところ、１km北の芳賀東部団地の調査で検出されているが、こうした、より専門的技術を要求される「たたら操業」は鍛冶工房における作業ほど簡単ではない。おそらく行政的な単位を中心として鉄素材を取り出し、それを関係する郷の支群に分け与える形で、それぞれの拠点集落を中心に鍛冶工房の運営が成されるような形がとられて、自給自足的に機能を果たしていくものと考える。その一例として本遺跡の発見は大きな意義を有すると言えよう。

〈鍛冶工房参考文献〉

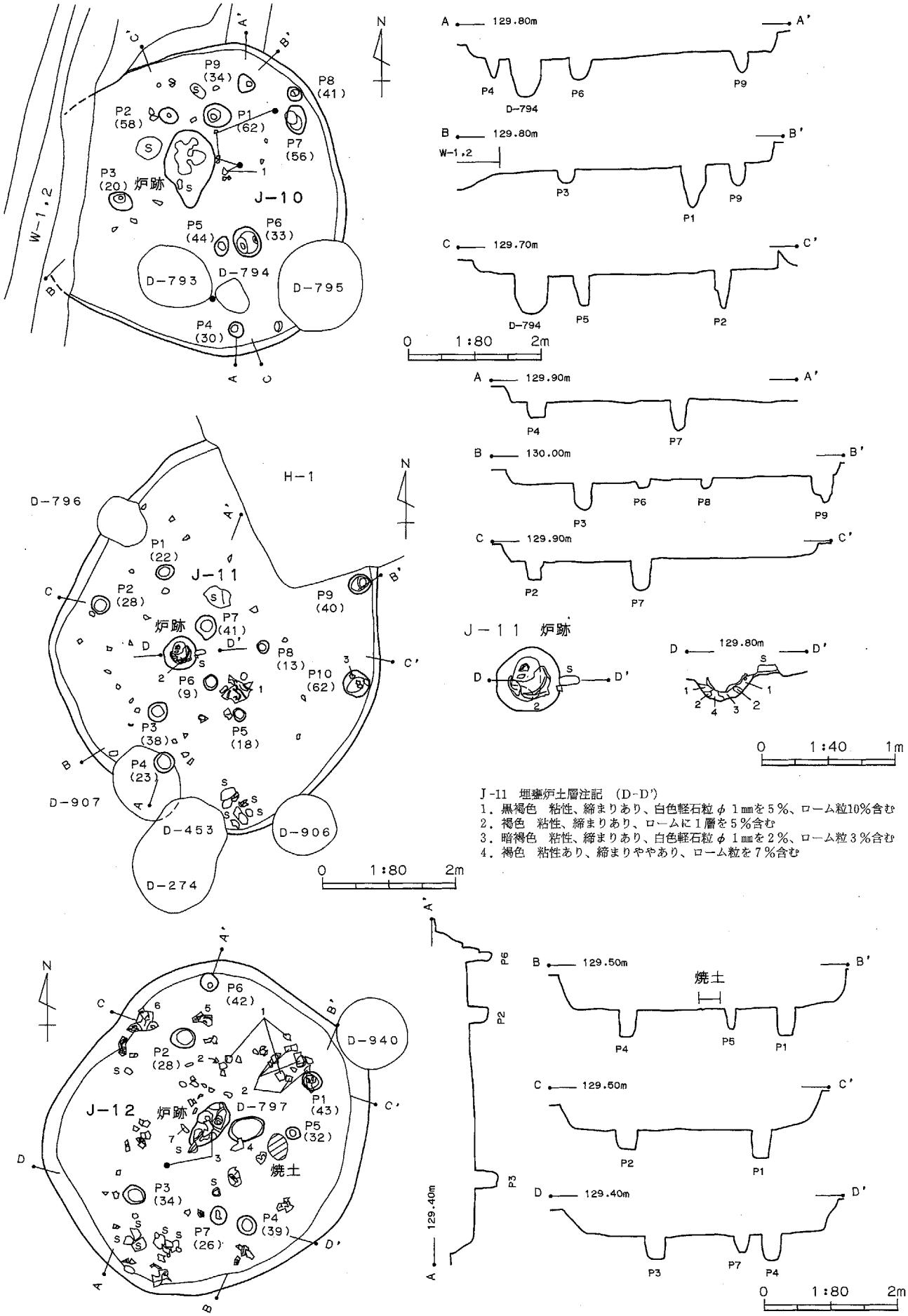
前橋市埋蔵文化財発掘調査団発行
五代木福Ⅱ・深堀Ⅰ遺跡 2000
五代竹花・木福Ⅰ・伊勢宮Ⅰ遺跡 2000
五代伊勢宮Ⅲ・深堀Ⅱ・中原Ⅰ・伊勢宮Ⅳ遺跡 2001
五代伊勢宮Ⅴ遺跡 2001
鍛冶の教え かくまつとむ 小学館文庫 1998



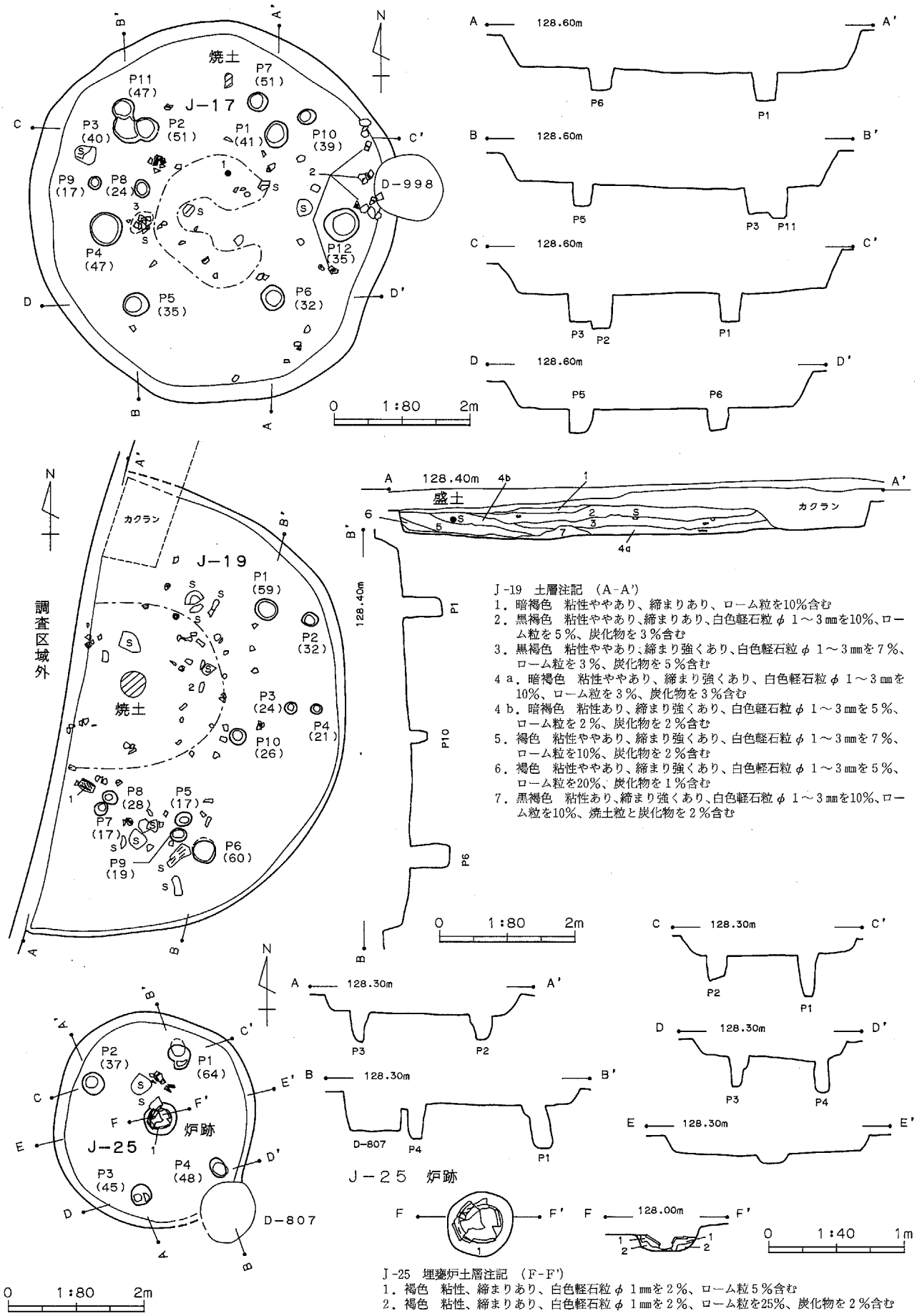
J−2　土層注記　(A-A')(B-B')

1. 黒褐色　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を15%、ローム粒、ブロックを3%、炭化物を2%含む
2. 暗褐色　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を10%、ローム粒を7%、炭化物を1%含む
3. 暗褐色　粘性ややあり、締まりややあり、植物根痕
4. 鈍い黄褐色　粘性ややあり、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を2%含む
5. 褐色　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を3%、ローム粒、ブロックを5%、炭化物を1%含む
6. 褐色　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を2%、ローム粒、ブロックを7%、炭化物を1%含む
7. 褐色　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を2%、ローム粒、ブロックを40%、炭化物を1%含む

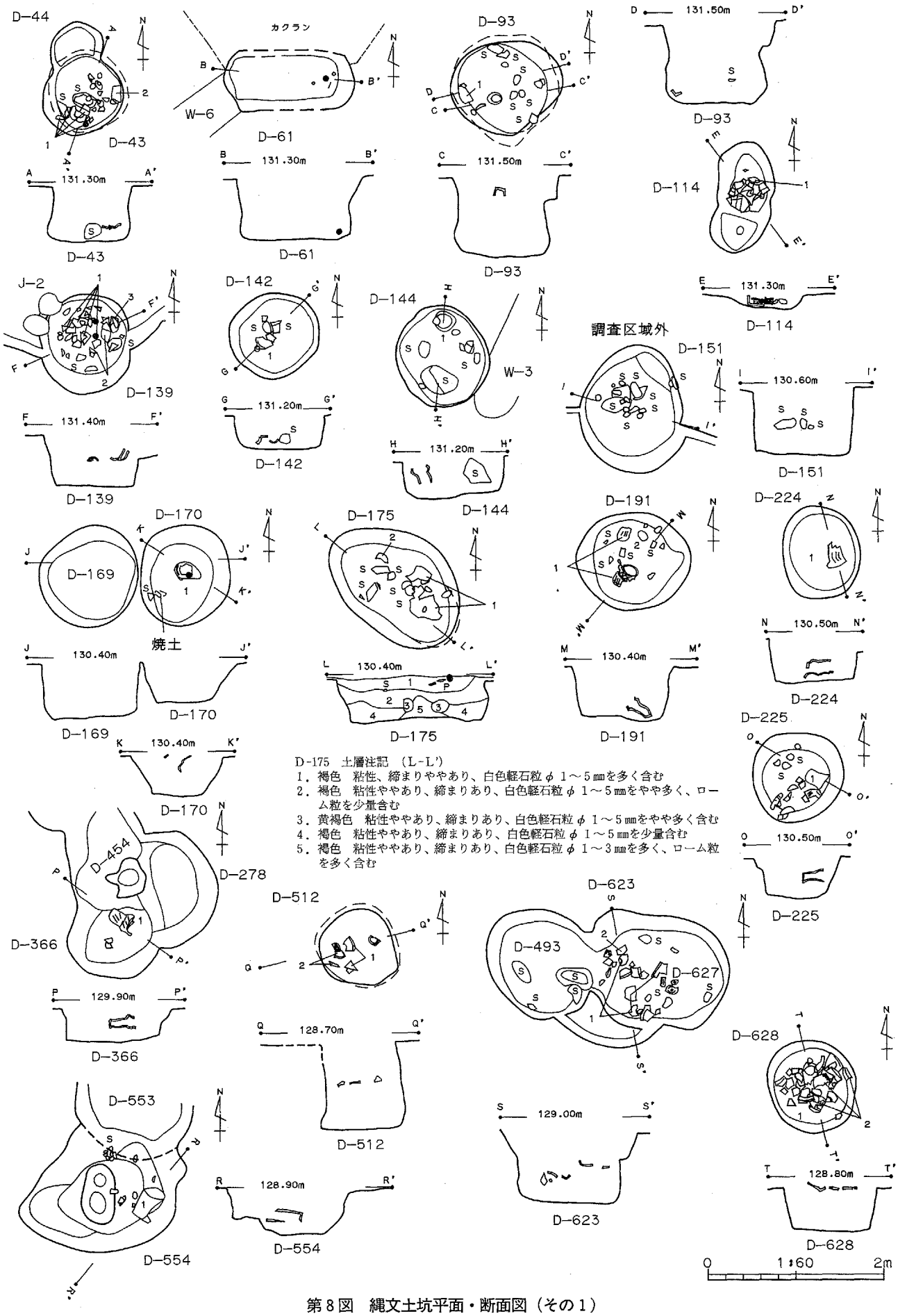
第5図　J−2・6・9号住居跡平面・断面図



第6図　J-10・11・12号住居跡平面・断面図



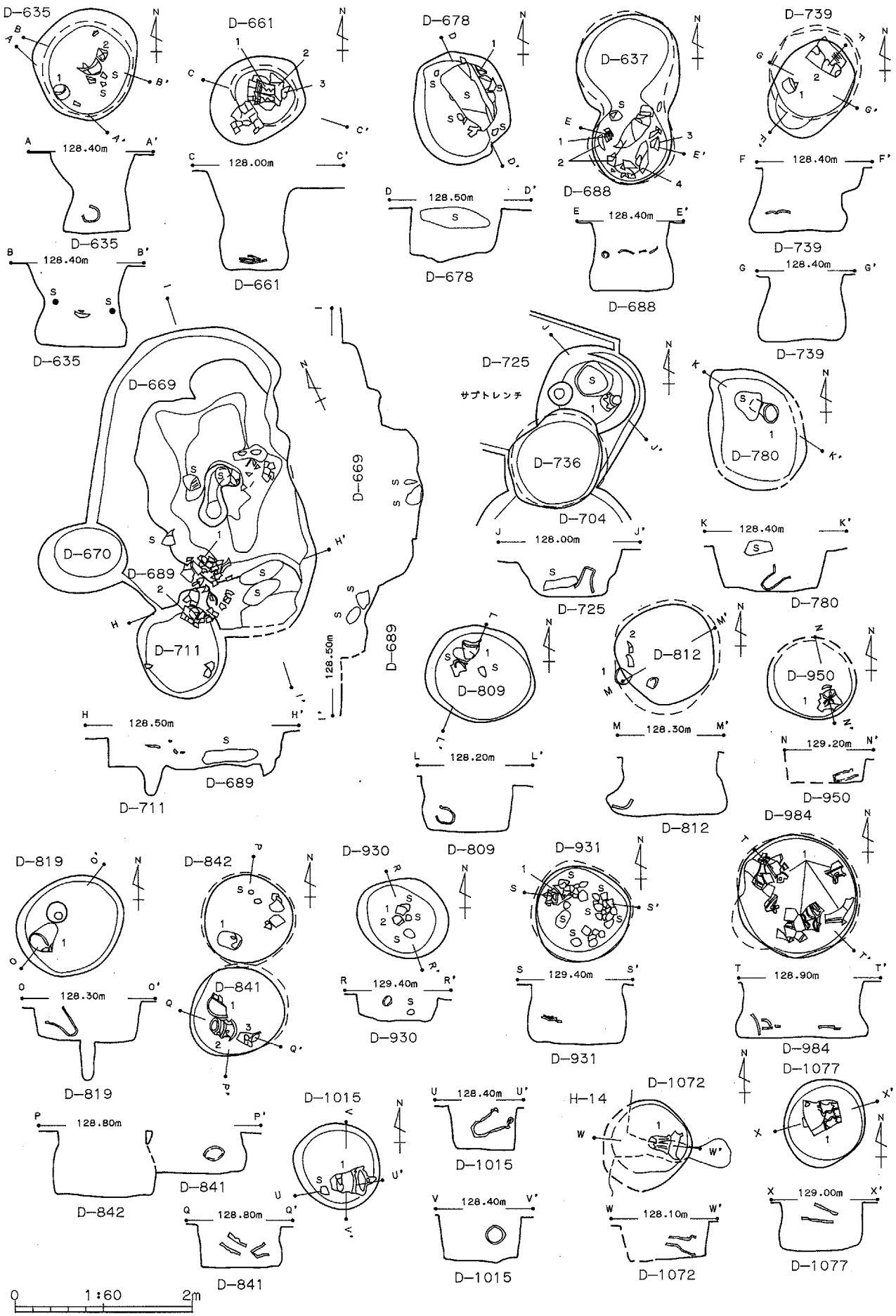
第7図 J-17・19・25号住居跡平面・断面図



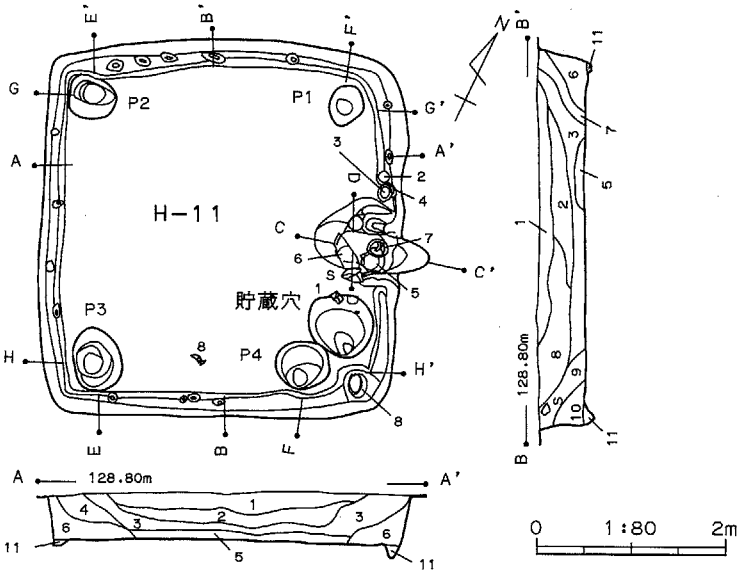
D-175 土層注記 (L-L')

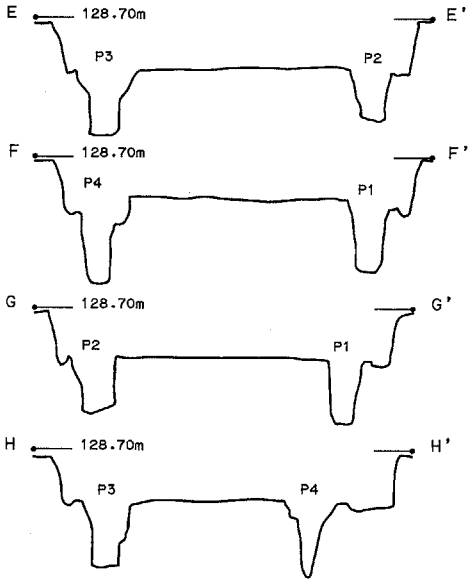
1. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を多く含む
2. 褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
3. 黄褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜をやや多く含む
4. 褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を少量含む
5. 褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を多く、ローム粒を多く含む

第8図 縄文土坑平面・断面図（その1）

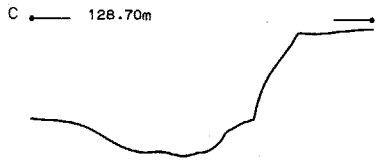


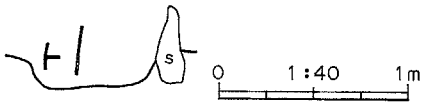
第９図　縄文土坑平面・断面図（その２）





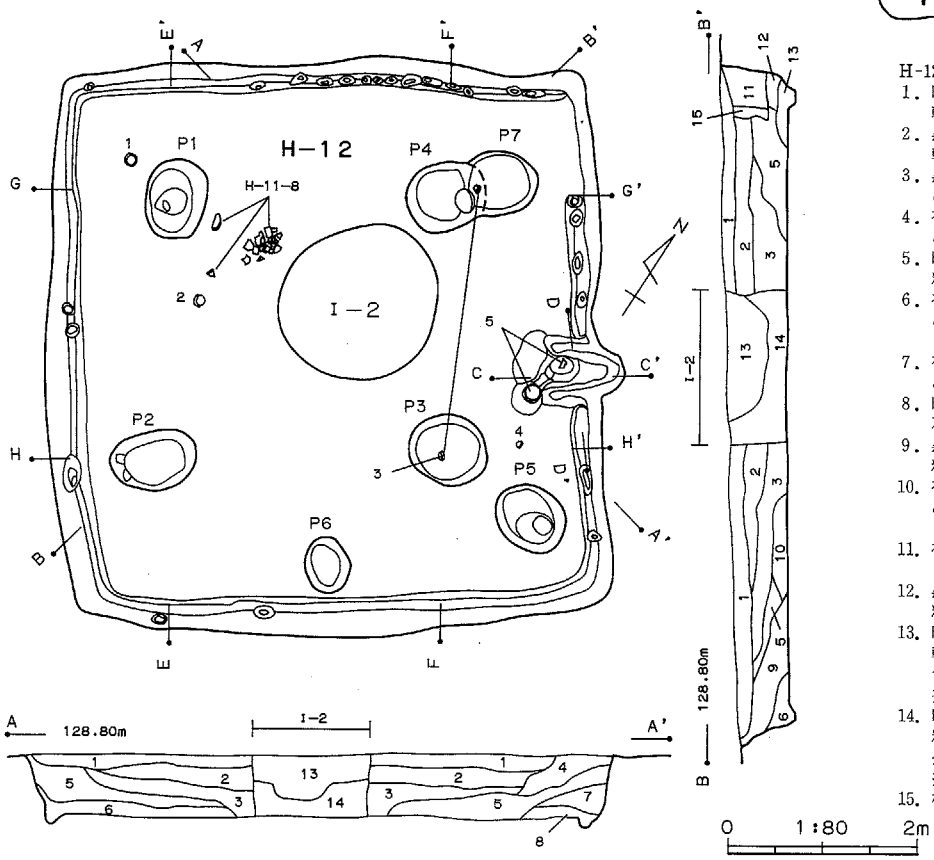
H−11 カマド





H-11 土層注記 (A-A')(B-B')

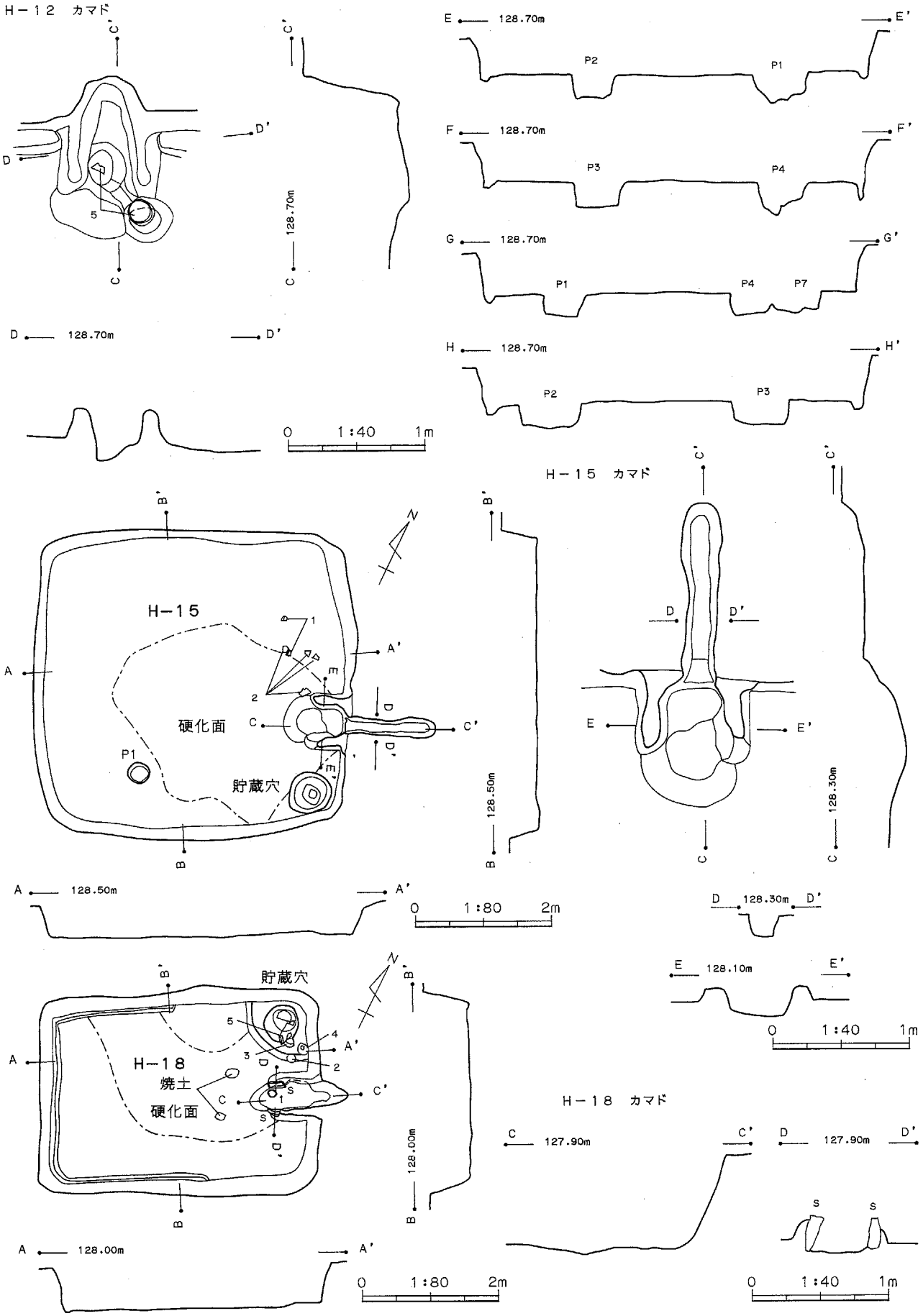
1. 暗褐色 粘性あり、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜10mm多く、焼土粒を微量含む
2. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mm多く、ローム粒を微量含む
3. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmと、ローム粒をやや多く含む
4. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmを少量、ローム粒を微量含む
5. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmを多くローム粒をやや多く含む
6. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmを少量ローム粒を少量含む
7. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmと、黒褐色土、ローム粒少量含む
8. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜15mmを多く、ローム粒を微量含む
9. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmをやや多く、ローム粒少量含む
10. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmを少量、ローム粒を少量含む
11. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmを微量、ローム粒を少量含む



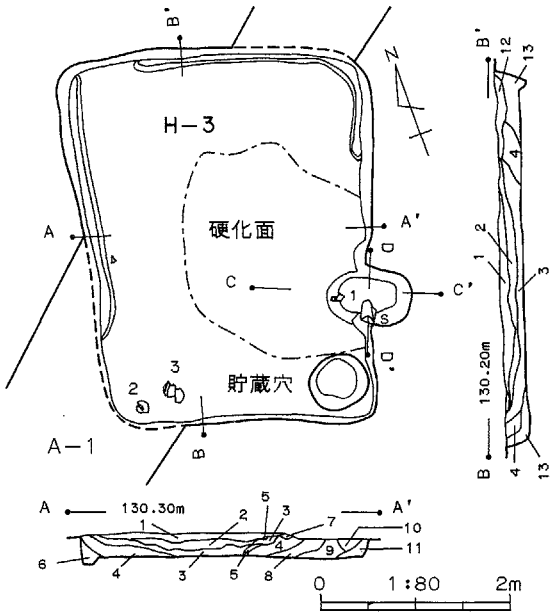
H-12 土層注記 (A-A')(B-B')

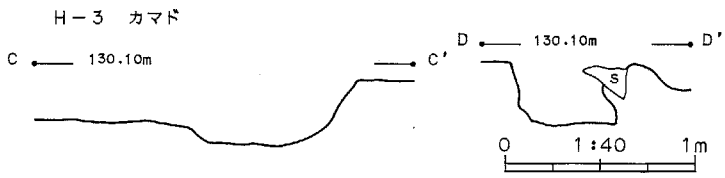
1. 暗褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1〜10mmを多く含む
2. 黒褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1〜10mmを多く含む
3. 黒色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜15mmを多く含む
4. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmを多く含む
5. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜10mmを多く、ローム粒を少量含む
6. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmをやや多く、ローム粒をやや多く含む
7. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmを少量、礫を少量含む
8. 暗赤褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmを微量、焼土粒を多く含む
9. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜10mmを多く、ローム粒を微量含む
10. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜10mmとローム粒、ブロックをやや多く含む
11. 褐色と暗褐色の混土 粘性、締まりややあり、根によるカクラン
12. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmを少量、ローム粒を少量含む
13. 暗褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1〜5mmとローム粒をやや多く含む
井戸状遺構(I-2)
14. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1〜3mmとローム粒をやや多く、砂を少量含む
井戸状遺構(I-2)
15. 根によるカクラン

第10図 H-11・12号住居跡平面・断面図

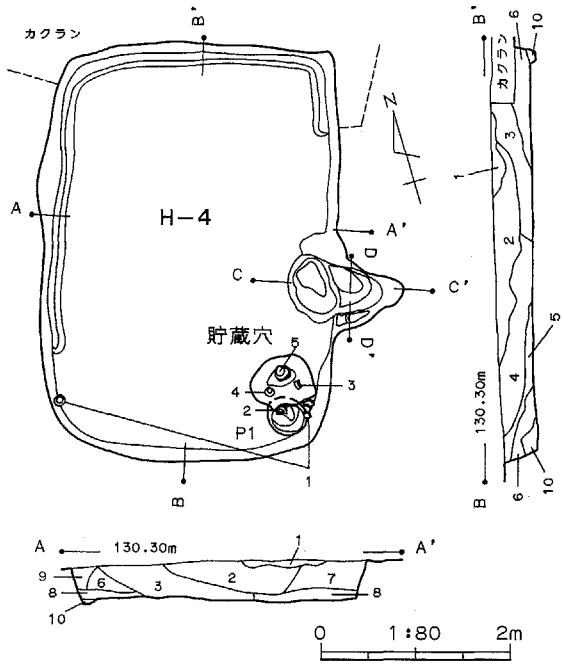


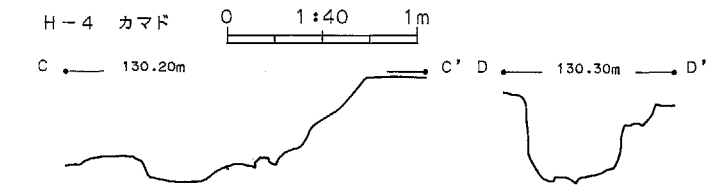
第11図　H-12・15・18号住居跡平面・断面図



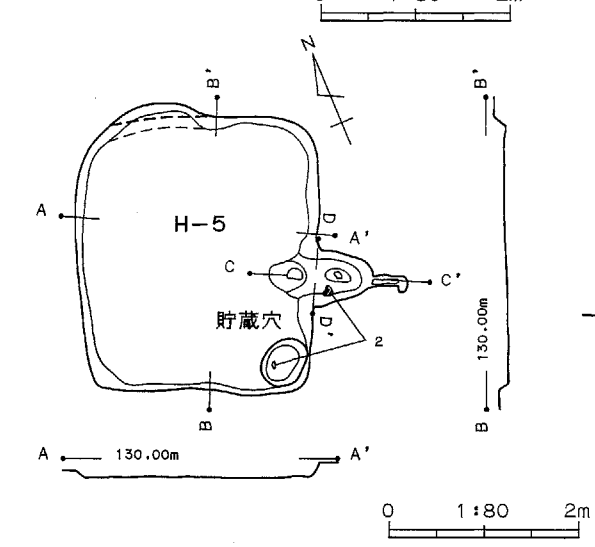


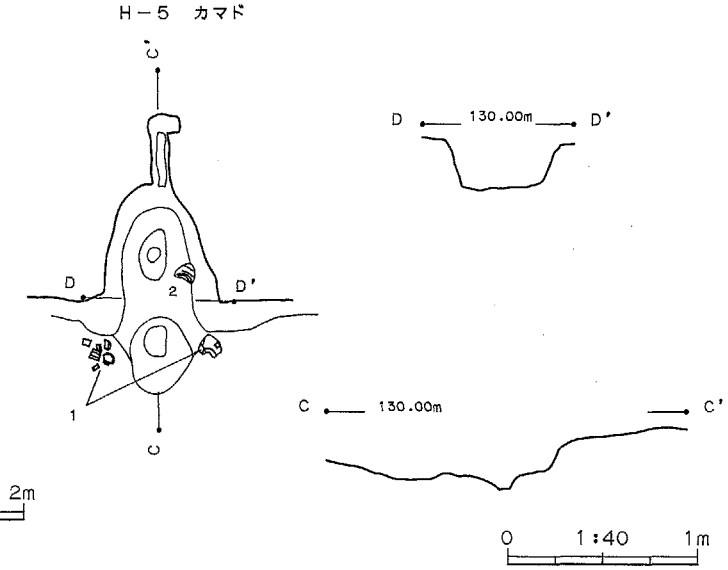
H-3 土層注記 (A-A')(B-B')
1. オリーブ黒色 粘性なし、締まり強くあり、砂質土層
2. 黒色砂と褐色砂質層がラミナ状 粘性なし、締まり強くあり
3. 褐色 粘性あり、締まり強くあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を多く含む
4. 暗褐色 粘性、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜をやや多く、ローム粒を少量含む
5. ローム粒と砂の混土層 粘性なし、締まりややあり
6. 褐色 粘性、締まりややあり、ローム粒を多く含む
7. 褐色 粘性、締まりあり、ローム粒を少量含む
8. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～20㎜を少量、ローム粒を少量含む
9. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量、ローム粒を微量含む
10. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～10㎜を少量含む
11. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量、ロームブロック多く含む
12. 暗褐色 粘性ややあり、締まり強く、白色軽石粒 φ 1～5㎜を多く、ローム粒微量含む
13. 褐色 粘性ややあり、締まりあり、白色粒 φ 1～5㎜をやや多く、ローム粒微量含む



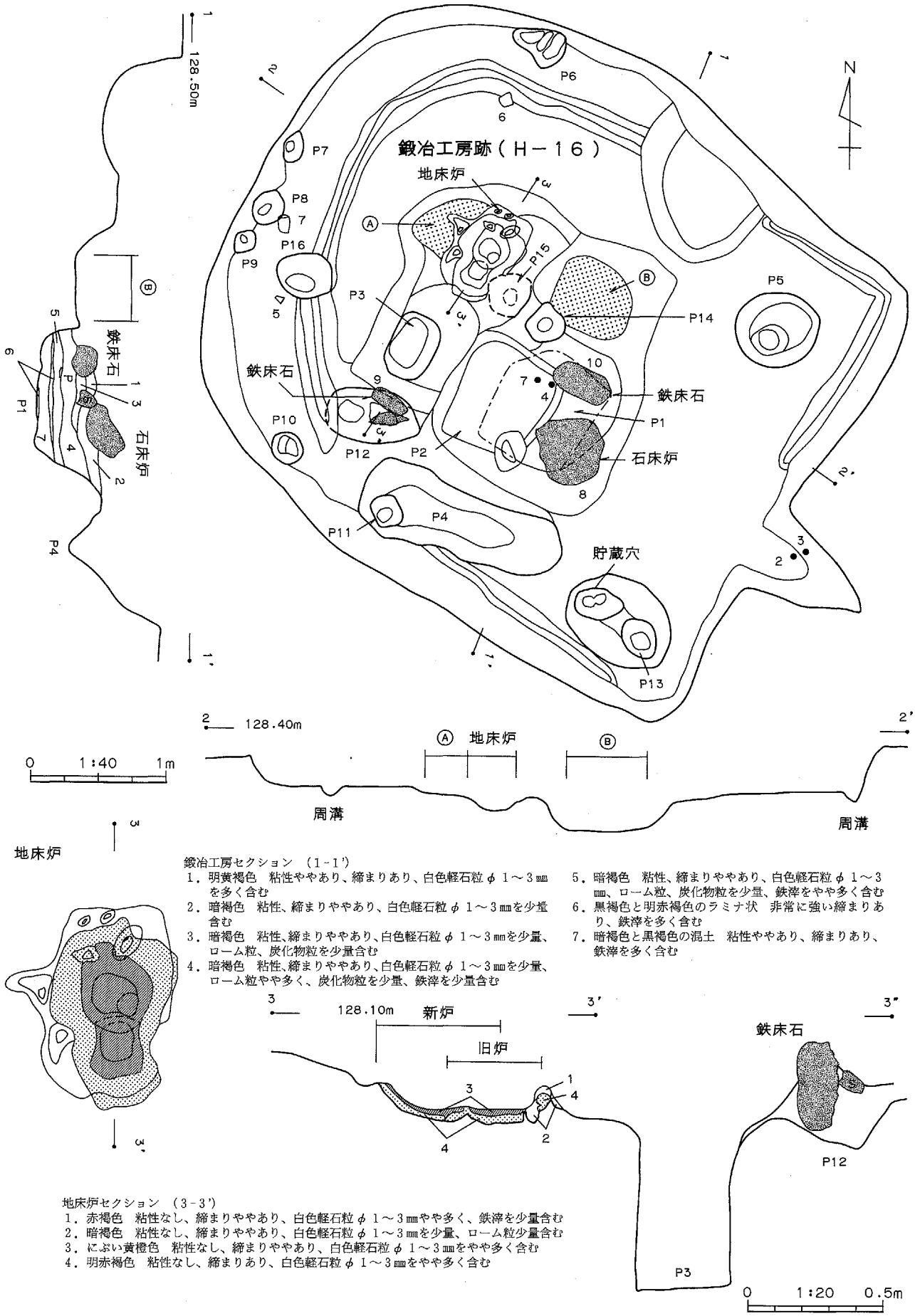


H-4 土層注記 (A-A')(B-B')
1. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を多く含む
2. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜とローム粒、ブロック微量含む
3. 褐色 粘性あり、締まり強くあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜とローム粒を微量含む
4. 褐色 粘性あり、締まり強くあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を微量、ローム粒、ブロックを多く含む
5. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜とローム粒、ブロック少量含む
6. 黒褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を少量、ローム粒を微量含む
7. 6にロームブロックを少量含む
8. 暗褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を微量含む
9. 褐色 粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～5㎜を微量含む
10. 9にローム粒を多く含む





第12図 H-3・4・5号住居跡平面・断面図

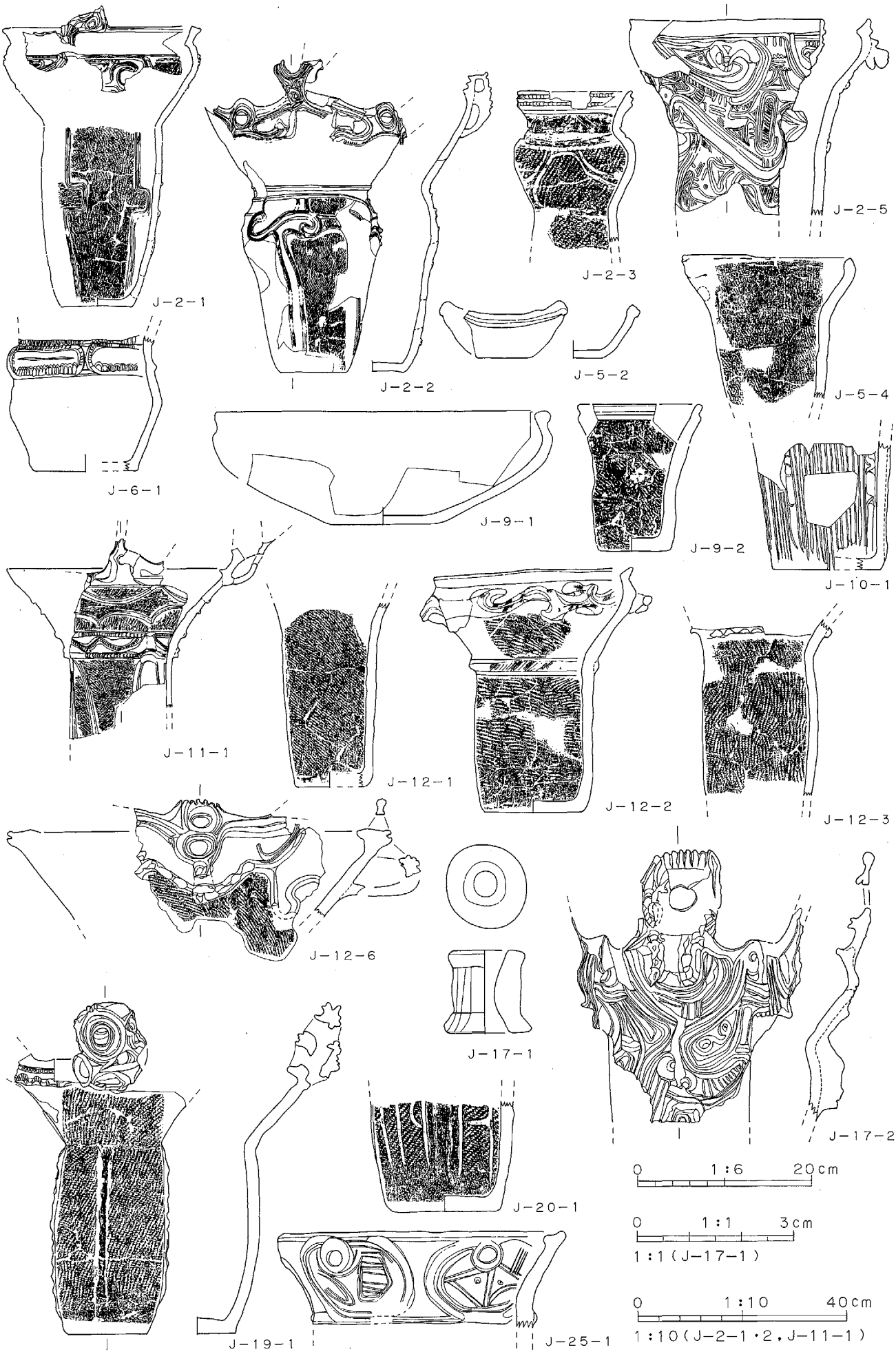


鍛冶工房セクション （1-1'）
1．明黄褐色　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を多く含む
2．暗褐色　粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量含む
3．暗褐色　粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量、ローム粒、炭化物粒を少量含む
4．暗褐色　粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量、ローム粒やや多く、炭化物粒を少量、鉄滓を少量含む
5．暗褐色　粘性、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜、ローム粒、炭化物粒を少量、鉄滓をやや多く含む
6．黒褐色と明赤褐色のラミナ状　非常に強い締まりあり、鉄滓を多く含む
7．暗褐色と黒褐色の混土　粘性ややあり、締まりあり、鉄滓を多く含む

地床炉セクション （3-3'）
1．赤褐色　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜やや多く、鉄滓を少量含む
2．暗褐色　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜を少量、ローム粒少量含む
3．にぶい黄橙色　粘性なし、締まりややあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜をやや多く含む
4．明赤褐色　粘性なし、締まりあり、白色軽石粒 φ 1～3㎜をやや多く含む

第13図　鍛冶工房跡（H-16号）平面・断面図

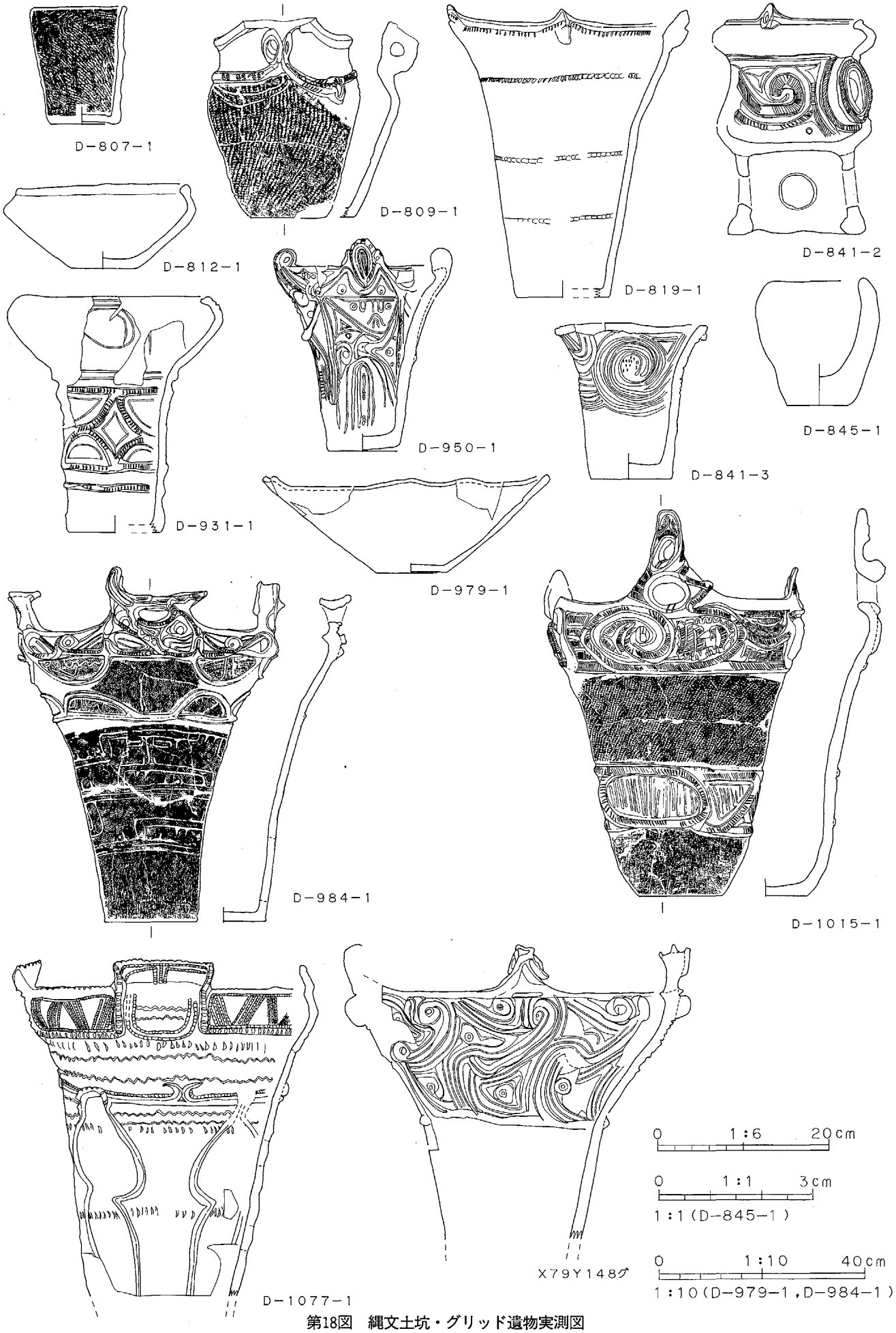
第14図 ピット群周辺平面図



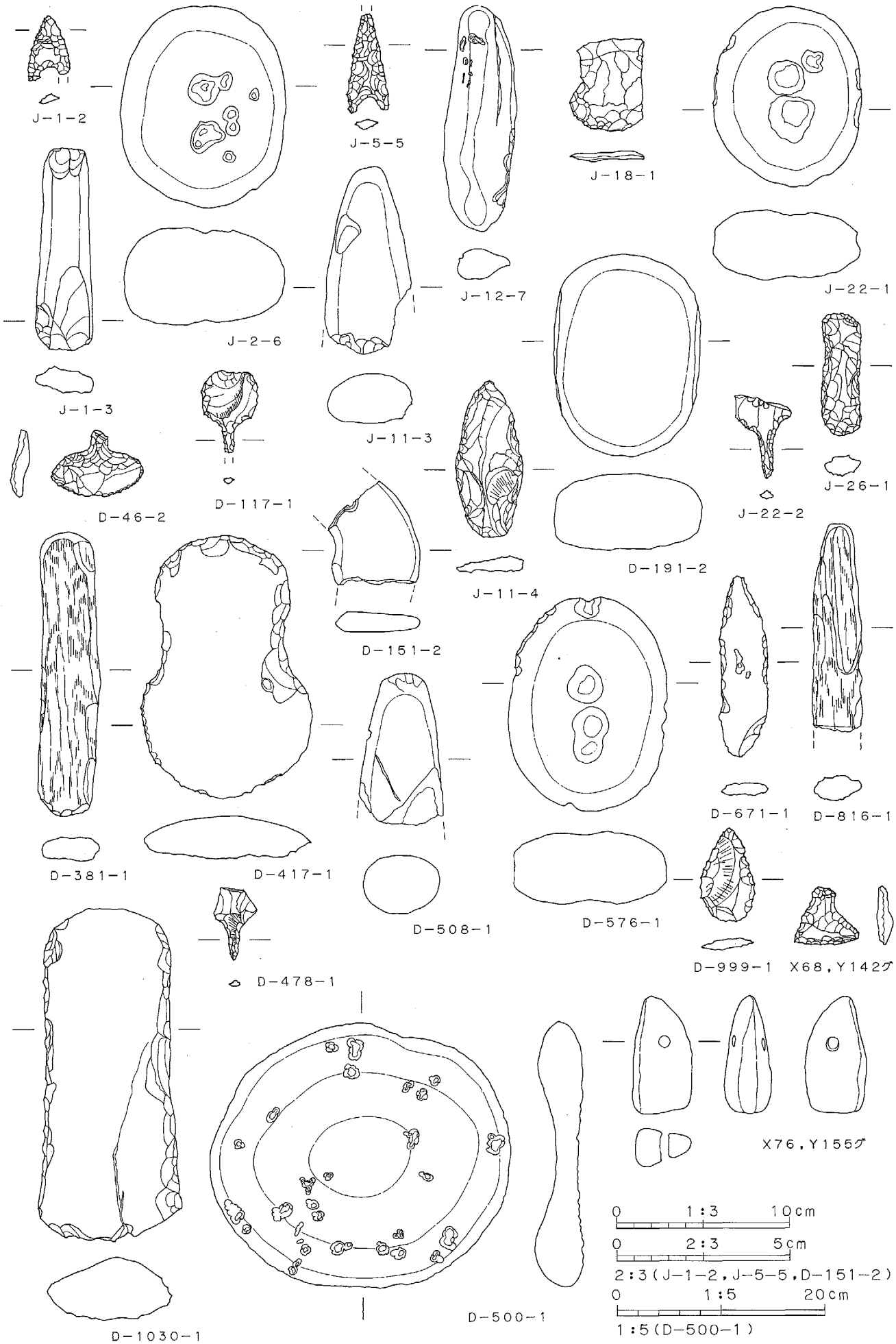
第15図　J-2・5・6・9～12・17・19・20・25遺物実測図

第16図　縄文土坑遺物実測図（その1）

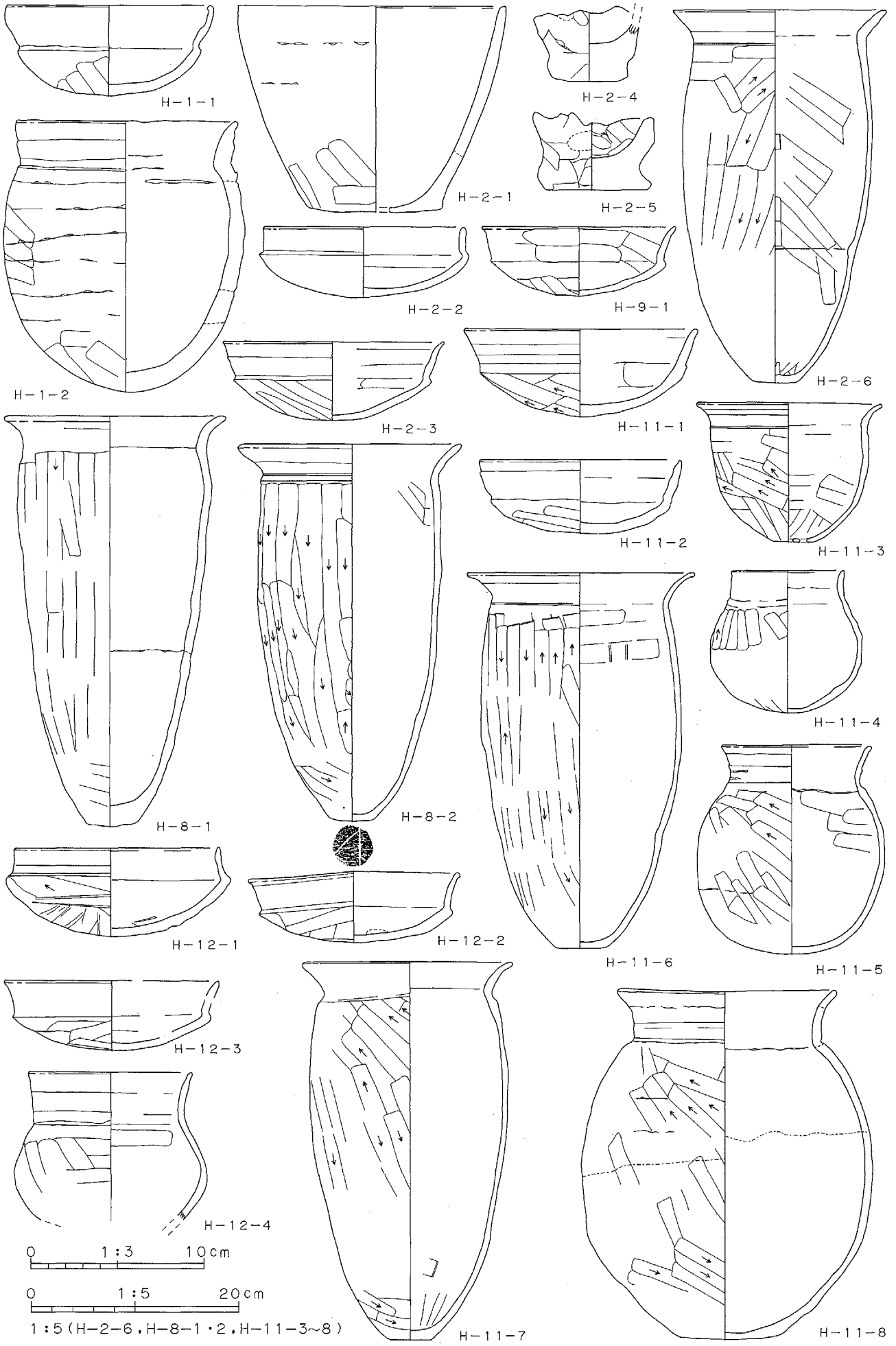
第17図　縄文土坑遺物実測図（その2）



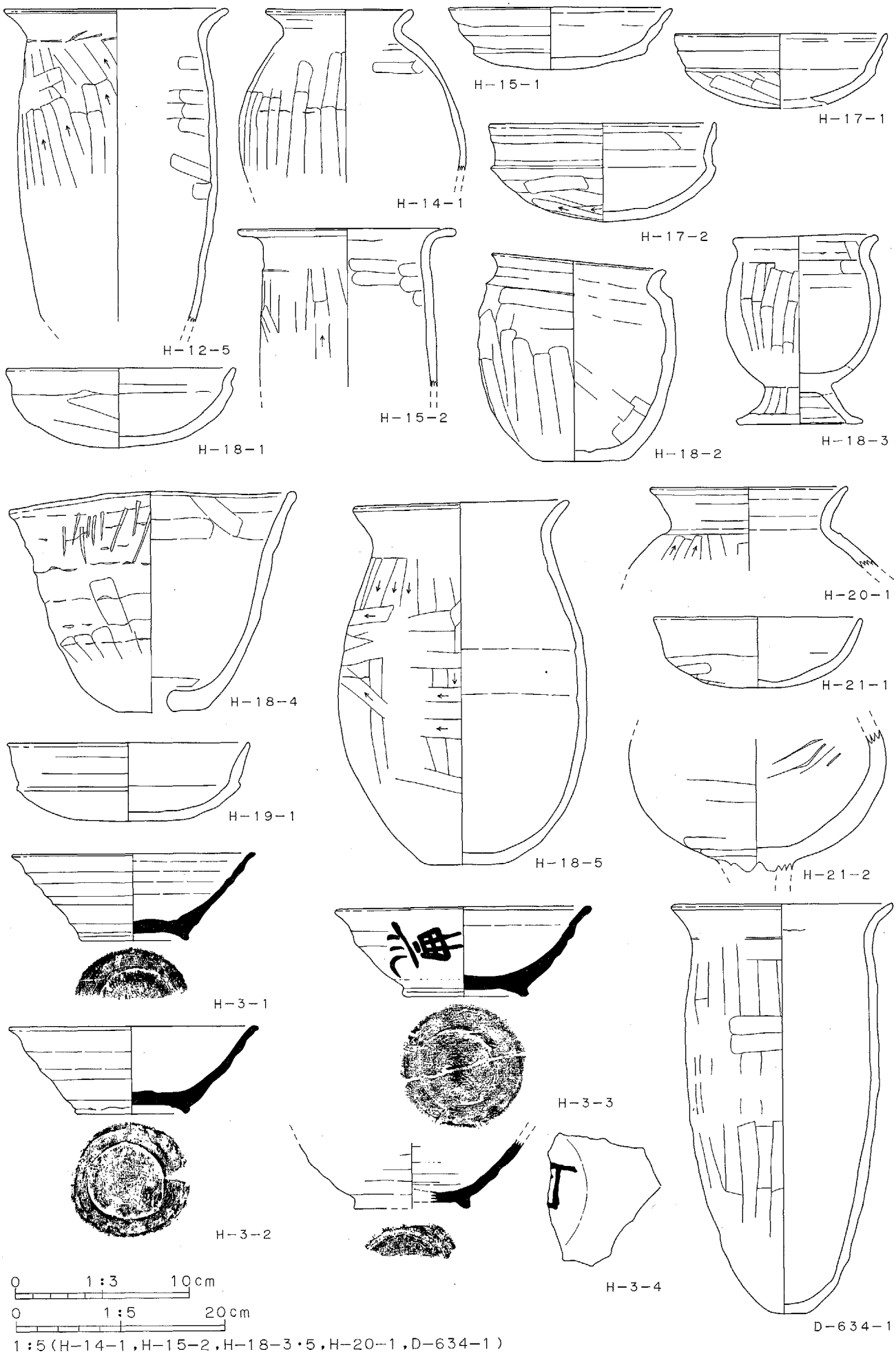
第18図　縄文土坑・グリッド遺物実測図


J−1−2
J−5−5
J−18−1
J−22−1
J−12−7
J−2−6
J−1−3
J−11−3
J−26−1
D−117−1
D−46−2
J−22−2
D−191−2
J−11−4
D−151−2
D−671−1
D−816−1
D−381−1
D−417−1
D−508−1
D−576−1
D−999−1
X68，Y142グ
D−478−1
X76，Y155グ
0 1:3 10cm
0 2:3 5cm
2:3（J−1−2，J−5−5，D−151−2）
0 1:5 20cm
1:5（D−500−1）
D−1030−1
D−500−1

第19図　石器実測図

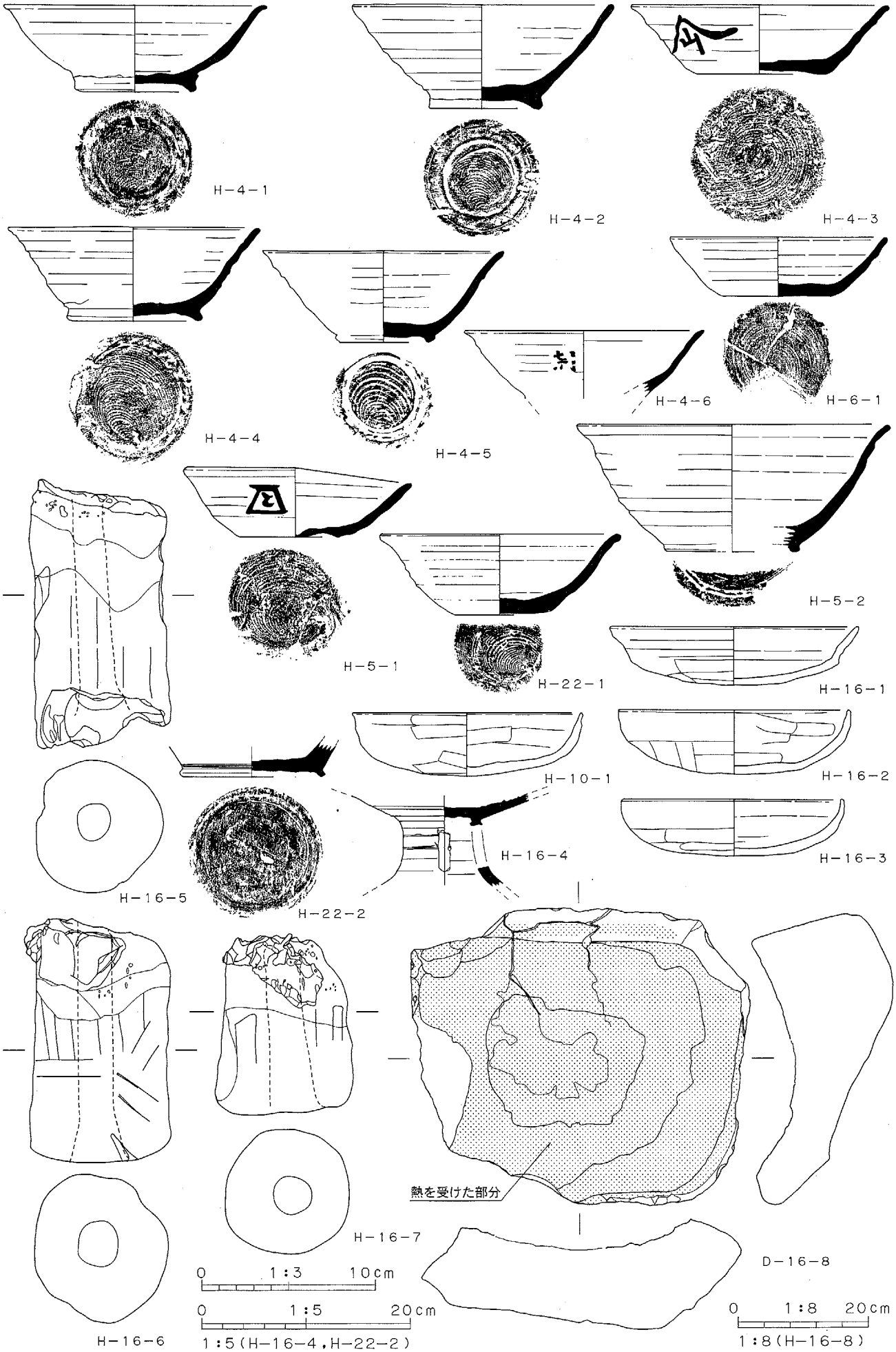


第20図　H－1・2・8・9・11・12号住居跡出土遺物



1:5(H−14−1,H−15−2,H−18−3・5,H−20−1,D−634−1)

第21図　H-3・12・14・15・17～21号住居跡、D-634号土坑出土遺物



第22図　H-4～6・10・22号住居跡、鍛冶工房跡（H-16号）出土遺物

Ⅵ　五代中原Ⅱ遺跡

1．遺構と遺物

(1) 竪穴住居跡

①縄文時代

J－1号住居跡〔第23・24図、図版11〕

位置 X82～84、Y69・70グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸5.75m、短軸4.84m、確認面から床面までの壁高47～75cm。**面積** 24.58m² **長軸方向** N-89°-W **床面** 北・南壁側の一部を除き中段を持つ。幅40～110cm、高さ11～22cm **柱穴** 北東・北西・南東・南西隅に検出。P1長径41cm、短径37cm、深さ32cmの楕円形。P2長径38cm、短径32cm、深さ26cmの楕円形。P3長径31cm、短径27cm、深さ30cmの楕円形。P4長径36cm、短径26cm、深さ35cmの楕円形。**炉** 中央に位置する。長径146cm、短径113cm、深さ11～20cmの楕円形。炉の東壁側に30cm×37cmの焼石が1個検出された。**遺物** 総数171点。そのうち土器3点を図示した。

J－4号住居跡〔第23・24図、図版11〕

位置 X80～82、Y57～59グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸5.74m、短軸4.91m、確認面から床面までの壁高18～30cm。**面積** 24.99m² **長軸方向** N-38°-E **床面** 平坦で硬い床面。**柱穴** 北東側、北西・南西・南東隅に検出。P1長径42cm、短径32cm、深さ17cmの楕円形。P2長径51cm、短径48cm、深さ18cmの楕円形。P3長径47cm、短径42cm、深さ21cmの楕円形。P4長径52cm、短径35cm、深さ52cmの楕円形。P5長径47cm、短径42cm、深さ12cmの楕円形。**炉** 検出されなかった。**遺物** 総数102点。そのうち土器2点を図示した。

②古墳時代

H－2号住居跡〔第23・25図、図版12〕

位置 X73～75、Y59～61グリッド **重複** 西側が調査区外。**形状**（方形）を呈す。**規模** 長軸[7.62]m、短軸[6.56]m、確認面から床面までの壁高22～42cm。**面積** [36.55]m² **長軸方向** 不明 **床面** やや凹凸があるが硬く締まっている。中央から北・東壁にかけて段差3～6cm程の高低差を有する範囲（ベッド状）あり。北壁側に炭化物・焼土、東壁側にまとまった炭化物を検出。**柱穴** 北東側に検出。P1長径53cm、短径50cm、深さ50cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東側に検出。長径65cm、短径64cm、深さ49cmの方形。**炉** 中央から東壁寄りに位置する。長径80cm、短径63cm、深さ10cmの楕円形。中央に石を2点検出。**遺物** 総数77点。そのうち土器2点を図示した。

H－3号住居跡〔第23・25図、図版12〕

位置 X77～79、Y57・58グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸6.52m、短軸6.48m、確認面から床面までの壁高44～58cm。**面積** 40.23m² **長軸方向** N-74°-E **床面** 硬い床面。**柱穴** 北東・北西・南東・南西側に検出。P1長径54cm、短径44cm、深さ70cmの楕円形。P2長径58cm、短径42cm、深さ64cmの楕円形。P3長径60cm、短径50cm、深さ87cmの方形。P4長径54cm、短径48cm、深さ80cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径80cm、短径76cm、深さ51cmの楕円形。**炉** 中央からやや北壁寄りに位置する。長径40cm、短径33cm、深さ9cm。**遺物** 総数1123点。そのうち土器24点を図示した。

H－11号住居跡〔第23・26図、図版13〕

位置 X85～87、Y58～60グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸6.04m、短軸6.00m、確認面から床面までの壁高47～63cm。**面積** 35.56m² **長軸方向** N-88°-E **床面** 北壁側に硬化面あり。壁際に焼土の堆積が見られた。**柱穴** 北東・北西・南西・南東側に検出。P1長径44cm、短径40cm、深さ80cmの楕円形。P2長径68cm、短径45cm、深さ68cmの楕円形。P3長径69cm、短径60cm、深さ60cmの楕円形。P4長径52cm、短径32cm、深さ73cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径124cm、短径120cm、深さ72cmの楕円形。**炉** 北壁側中央に位置する。長径60cm、短径37cm、深さ6～7cm。**遺物** 総数66点。そのうち土器13点を図示した。

H－13号住居跡〔第23・27図、図版13〕

位置 X87・88、Y60～62グリッド **重複** H-12号と南側が重複（本住居が新しい）。**形状**（長方形）を呈す。

規模 長軸[4.90]m、短軸[3.40]m、確認面から床面までの壁高22～38cm。**面積** [15.58]㎡ **長軸方向** N-60°-W **床面** 硬い床面。焼土が多く堆積していた。**柱穴** 北東隅、北壁中央から東寄り、北西・南西・南東隅に検出。P1長径44cm、短径41cm、深さ17cmの楕円形。P2長径32cm、短径30cm、深さ20cmの楕円形。P3長径47cm、短径45cm、深さ16cmの楕円形。P4長径73cm、短径56cm、深さ21cmの楕円形。P5長径42cm、短径40cm、深さ11cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや北西寄りに位置する。長径72cm、短径66cm、深さ5～7cm。**遺物** 総数335点。そのうち土器11点を図示した。

H-15号住居跡〔第23・28図、図版14〕

位置 X83～85、Y61・62グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸5.73m、短軸4.76m、確認面から床面までの壁高18～50cm。**面積** 26.80㎡ **長軸方向** N-80°-E **床面** 中央から柱穴の内側に沿って硬化面あり。また、西壁から南壁に沿って3～5cmの高まり(ベッド状)あり。壁際・床面に炭化物が多く出土。**柱穴** 北東・北西・南西、南壁側やや東寄りに検出。P1長径46cm、短径40cm、深さ56cmの楕円形で2段掘り。P2長径42cm、短径39cm、深さ50cmの楕円形で2段掘り。P3長径25cm、短径23cm、深さ47cmの楕円形。P4長径41cm、短径30cm、深さ43cmの楕円形で2段掘り。**土坑** 南東隅と西壁やや南寄りに検出。D-1長径75cm、短径62cm、深さ50cmの楕円形。D-2長径100cm、短径91cm、深さ24cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや東壁寄りに位置する。長径60cm、短径53cm、深さ2～3cmの楕円形。焼石を炉内に3個、炉外に1個検出。**遺物** 総数364点。そのうち土器5点を図示した。

H-16号住居跡〔第23・28図、図版14〕

位置 X81・82、Y61・62グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.64m、短軸3.84m、確認面から床面までの壁高1～3cm。**面積** 16.84㎡ **長軸方向** N-18°-W **床面** 中央付近に硬化面あり。北西隅に焼土範囲あり。**柱穴** 北東・北西・南西・南東隅に検出。P1長径39cm、短径32cm、深さ25cmの楕円形。P2長径22cm、短径20cm、深さ30cmのほぼ円形。P3長径42cm、短径36cm、深さ18cmの楕円形。P4長径25cm、短径25cm、深さ12cmの円形。**土坑** 南壁中央やや東寄りに検出。D-1長径75cm、短径68cm、深さ10cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや北壁寄りに位置する。長径41cm、短径33cm、深さ10cm。炉の南側に甕片を構築材として使用している。**遺物** 総数174点。そのうち土器1点を図示した。

H-18号住居跡〔第23・29図、図版14〕

位置 X78・79、Y62・63グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.50m、短軸3.85m、確認面から床面までの壁高18～28cm。**面積** 15.96㎡ **長軸方向** N-6°-E **床面** 中央付近に硬化面あり。炭化物を出土。**柱穴** 北東・北西・南西側、南東隅に検出。P1長径25cm、短径23cm、深さ62cmのほぼ円形。P2長径18cm、短径17cm、深さ62cmのほぼ円形。P3長径35cm、短径32cm、深さ65cmの楕円形。P4長径42cm、短径40cm、深さ18cmのほぼ円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや東壁寄りに位置する。長径50cm、短径43cm、深さ2～4cm。**遺物** 総数592点。そのうち土器11点を図示した。

H-19号住居跡〔第23・29図、図版15〕

位置 X81・82、Y63・64グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.92m、短軸5.22m、確認面から床面までの壁高12～26cm。**面積** 29.89㎡ **長軸方向** N-86°-W **床面** 中央に硬化面あり。北壁から東壁にかけてと南西隅に3cm程の高まり(ベッド状)あり。**柱穴** 北東・北西・南西・南東隅に検出。P1長径30cm、短径24cm、深さ58cmの楕円形。P2長径54cm、短径36cm、深さ13cmの楕円形。P3長径66cm、短径38cm、深さ13cmの楕円形。P4長径30cm、短径30cm、深さ47cmの円形。**土坑** 南東隅に検出。D-1長径85cm、短径50cm、深さ10cmの長方形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央から東壁寄りに位置する。長径100cm、短径56cm、深さ3～4cm。焼石2個検出 **遺物** 総数280点。そのうち土器1点を図示した。

H-21号住居跡〔第23・30図、図版15〕

位置 X81・82、Y65～67グリッド **形状** 隅丸正方形を呈す。**規模** 長軸5.25m、短軸5.04m、確認面から床面までの壁高25～40cm。**面積** 24.79m² **長軸方向** N-29°-E **床面** 硬い床面。北・西壁側と東壁側に幅1m、高さ3～6cmの高まり(ベッド状)あり。**柱穴** 北東・北西・南東側に検出。P1長径92cm、短径60cm、深さ50cmの楕円形で2段掘り。P2長径55cm、短径45cm、深さ63cmの楕円形。P3長径59cm、短径50cm、深さ57cmの楕円形で2段掘り。**貯蔵穴** 北東隅に検出。長径63cm、短径56cm、深さ33cmの方形。**炉** 中央から北西寄りに位置する。長径86cm、短径73cm、深さ3～5cm。石を北側1個、南側から3個検出。**遺物** 総数734点。そのうち土器9点を図示した。

H-22号住居跡〔第23・30図、図版15〕

位置 X75～77、Y66・67グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸5.55m、短軸3.40m、確認面から床面までの壁高10～19cm。**面積** 18.06m² **長軸方向** N-72°-E **床面** 平坦な硬い床面。**柱穴** 北西隅と南東側に検出。P1長径46cm、短径38cm、深さ12cmの楕円形。P2長径43cm、短径37cm、深さ13cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径104cm、短径63cm、深さ12cmの楕円形。**炉** 北壁中央から東寄りに位置する。長径74cm、短径50cm、深さ3～5cm。**遺物** 総数262点。そのうち土器16点を図示した。

H-23号住居跡〔第23・30・31図、図版15・16〕

位置 X76～78、Y67～69グリッド **重複** 道路状遺構A-3と重複(A-3が新しい) **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸6.04m、短軸4.96m、確認面から床面までの壁高22～35cm。**面積** 28.95m² **長軸方向** N-53°-E **床面** 壁際に炭化物の分布あり。中央付近が盛上がり気味の床面。**柱穴** 北西・南西隅に検出。P1長径48cm、短径46cm、深さ15cmのほぼ円形。P2長径60cm、短径42cm、深さ15cmの楕円形。**土坑** 東壁寄りに検出。D-1長径185cm、短径142cm、深さ65cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径120cm、短径75cm、深さ60cmの長方形。**炉** 中央からやや北東寄りに位置する。長径50cm、短径35cm、深さ2～3cm。**遺物** 総数418点。そのうち土器6点を図示した。

H-24号住居跡〔第23・31図、図版16〕

位置 X74・75、Y68～70グリッド **形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸6.80m、短軸6.42m、確認面から床面までの壁高20～60cm。**面積** 42.64m² **長軸方向** N-91°-E **床面** 硬い床面。東壁側の一部を除き幅1～2m、高さ3～4cm程の高まり(ベッド状)あり。**柱穴** 北東・北西・南西・南東隅、南東側に検出。P1長径60cm、短径44cm、深さ70cmの楕円形。P2長径48cm、短径39cm、深さ50cmの楕円形。P3長径53cm、短径38cm、深さ11cmの楕円形。P4長径[70]cm、短径[48]cm、深さ[62]cmの楕円形。P5長径[63]cm、短径[45]cm、深さ[46]cmの楕円形。**土坑** 北西隅に検出。D-1長径74cm、短径42cm、深さ32cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや北東寄りに位置する。長径103cm、短径61cm、深さ2～3cm。構築材として石棒状の石を1個検出。**遺物** 総数405点。そのうち土器2点を図示した。

H-25号住居跡〔第23・31・32図、図版16〕

位置 X76～78、Y71～73グリッド **重複** 道路状遺構A-3と重複(A-3が新しい) **形状** (隅丸正方形)を呈す。**規模** 長軸5.25m、短軸5.02m、確認面から床面までの壁高2～16cm。**面積** 25.27m² **長軸方向** N-2°-W **床面** 壁沿いと南東壁側に炭化物が多く出土。**柱穴** 北東・北西・南西・南東部に検出。P1長径51cm、短径46cm、深さ60cmの楕円形。P2長径38cm、短径38cm、深さ48cmの円形。P3長径37cm、短径32cm、深さ33cmの楕円形。P4長径54cm、短径50cm、深さ20cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径91cm、短径60cm、深さ41cmの楕円形。**炉** 中央から北壁寄りに位置する。長径87cm、短径47cm、深さ4～5cm。多孔石1個検出。**遺物** 総数183点。土器1点を図示した。

H-26号住居跡〔第23・32図、図版16〕

位置 X79～81、Y68～70グリッド **形状** 長方形を呈す。**規模** 長軸7.35m、短軸6.60m、確認面から床面までの壁高16～25cm。**面積** 47.13m² **長軸方向** N-75°-E **床面** 平坦で硬い床面。北東・南西側に炭化物が分布する。

柱穴 北東側、南西隅、南東側に検出。Ｐ１長径45cm、短径40cm、深さ56cmの楕円形。Ｐ２長径52cm、短径44cm、深さ72cmの楕円形。Ｐ３長径58cm、短径42cm、深さ77cmの楕円形。Ｐ４長径39cm、短径35cm、深さ78cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央からやや北西寄りに位置する。長径87cm、短径49cm、深さ３～５cm。**遺物** 総数354点。そのうち土器４点を図示した。

Ｈ-28号住居跡〔第23・32・33図、図版16・17〕

位置 X82～84、Y70～72グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸7.18m、短軸6.76m、確認面から床面までの壁高２～16cm。**面積** 47.55m² **長軸方向** N-18°-E **床面** カクラン・耕作痕が入り荒れている。南東側に焼土範囲あり。**柱穴** 北壁側やや東寄り、南西隅、南壁側中央、南東隅に検出。Ｐ１長径57cm、短径52cm、深さ16cmの楕円形。Ｐ２長径85cm、短径75cm、深さ70cmの楕円形。Ｐ３長径52cm、短径42cm、深さ24cmの楕円形。Ｐ４長径46cm、短径44cm、深さ22cmのほぼ円形。**土坑** 北西隅、東壁寄りに検出。Ｄ-１長径156cm、短径95cm、深さ13cmの楕円形。Ｄ-２長径90cm、短径62cm、深さ19cmの隅丸長方形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央から北壁寄りの炉跡(北)と南壁寄りの炉跡(南)の２基を検出。北側長径103cm、短径52cm、深さ３～５cm。南側長径84cm、短径66cm、深さ３～４cm。**遺物** 総数515点。そのうち土器２点を図示した。

Ｈ-30号住居跡〔第23・33図、図版17〕

位置 X85・86、Y66・67グリッド **重複** 道路状遺構Ａ-４と重複(Ａ-４が新しい)。**形状** 隅丸長方形を呈す。**規模** 長軸4.66m、短軸3.60m、確認面から床面までの壁高22～35cm。**面積** 15.31m² **長軸方向** N-85°-W **床面** 硬い床面。**柱穴** 北東・北西・南西隅、南壁中央に検出。Ｐ１長径46cm、短径39cm、深さ14cmの楕円形。Ｐ２長径30cm、短径24cm、深さ11cmの楕円形。Ｐ３長径35cm、短径28cm、深さ11cmの楕円形。Ｐ４長径40cm、短径32cm、深さ26cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径82cm、短径70cm、深さ33cmの隅丸方形。**炉** 中央からやや北西寄りに位置する。長径70cm、短径45cm、深さ３～４cm。**遺物** 総数492点。そのうち土器９点を図示した。

Ｈ-33号住居跡〔第23・33・34図、図版17・18〕

位置 X86・87、Y65～67グリッド **重複** 道路状遺構Ａ-４と重複(Ａ-４が新しい)。東側が調査区外。**形状** (正方形)を呈す。**規模** 長軸5.15m、短軸[5.09]m、確認面から床面までの壁高46～68cm **面積** [26.08]m² **長軸方向** [N-19°-W] **床面** 硬い床面。２ヶ所間仕切りあり。**柱穴** 北東隅、北東側、南西隅、南東側、北壁側中央から西寄り、南西側に検出。Ｐ１長径44cm、短径42cm、深さ18cmの楕円形。Ｐ２長径29cm、短径27cm、深さ42cmのほぼ円形で２段掘り。Ｐ３長径59cm、短径45cm、深さ60cmの楕円形。Ｐ４長径46cm、短径44cm、深さ26cmの楕円形で２段掘り。Ｐ５長径32cm、短径30cm、深さ34cmのほぼ円形で２段掘り。Ｐ６長径40cm、短径40cm、深さ29cmの円形。**土坑** 西壁側中央北寄りに検出。Ｄ-１長径157cm、短径80cm、深さ16cmの楕円形。**貯蔵穴** 検出されなかった。**炉** 中央から北西寄りに位置する。長径90cm、短径50cm、深さ３～４cm。**遺物** 総数1156点。そのうち土器２点を図示した。

Ｈ-39号住居跡〔第23・34・35図、図版18〕

位置 X83・84、Y73～75グリッド **形状** 正方形を呈す。**規模** 長軸6.40m、短軸6.36m、確認面から床面までの壁高32～78cm。**面積** 38.84m² **長軸方向** N-66°-W **床面** 硬い床面。焼土・炭化物が床面全体に見られる。**柱穴** 北東・北西・南西・南東側、南東隅に検出。Ｐ１長径46cm、短径42cm、深さ54cmの楕円形で２段掘り。Ｐ２長径30cm、短径22cm、深さ51cmの楕円形。Ｐ３長径36cm、短径27cm、深さ50cmの楕円形。Ｐ４長径25cm、短径23cm、深さ62cmのほぼ円形で２段掘り。Ｐ５長径54cm、短径44cm、深さ17cmの楕円形。Ｐ６長径60cm、短径50cm、深さ13cmの楕円形。**貯蔵穴** 南東隅に検出。長径104cm、短径89cm、深さ46cmの方形。**カマド** 東壁中央やや南寄りに位置する。**主軸方向** N-61°-W。全長160cm、最大幅102cm、焚口部幅48cm。燃焼部から支脚に使用したと思われる高坏が検出された。**遺物** 総数508点。そのうち土器・砥石・鉄製品など37点を図示した。

(2) 掘立柱建物跡

B－1〔第23図、図版18〕

位置 X87・88、Y60・61グリッド **形状** 東西方向2間×南北方向1間の長方形。**長軸方向** N-74°-W **推定面積** 12.03m²(柱穴間を芯々で結んだ範囲)。**柱間寸法** 1間のP-14・20間は2.90m、P-12・18間は3.00m。2間のP-12・13・14間は2.08m＋2.12mで4.20m、P-18・19・20間は2.12m＋2.07mで4.19mを測る。**柱穴** 平面は楕円・隅丸方形を呈し、深さは2段に掘られた円筒形・U字形である。径は長径45～60cm、短径41～55cm、深さは44～64cmを測る。**遺物** P-12から縄文片2点、P-14から土師器片1点出土。

B－2〔第23図、図版19〕

位置 X79・80、Y66・67グリッド **形状** 東西方向2間×南北方向1間のほぼ長方形。**長軸方向** N-69°-W **推定面積** 10.32m²(柱穴間を芯々で結んだ範囲)。**柱間寸法** 1間のP-30・41間は2.70m、P-40・43間は2.65m。2間のP-38・39・40間は1.90m＋1.80mで3.70m、P-41・42・43間は2.05m＋1.80mで3.85mを測る。また、P-39とP-42は結んだ線上からP-39が北へ16cm、P-42が南へ30cm程ずれている。全体形状もやや間隔にずれが見られるがほぼ掘立柱建物を組める状況にある。**柱穴** 平面は隅丸方形・楕円形・円形で、掘り込みは円筒形・V字形・U字形である。径は長径46～60cm、短径43～53cm、深さは46～62cmを測る。**遺物** 出土しなかった。

B－3〔第23図、図版19〕

位置 X82・83、Y74～76グリッド **形状** 東西方向1間×南北方向3間(推定を含む)の推定長方形(H-39と重複し北東側の柱穴は不明)と思われる。**長軸方向** (N-44°-W) **推定面積** 不明。**柱間寸法** 1間のP-46・57間は5.00m。3間のP-46・45・55・56間は2.00m＋2.00m＋1.60mで5.60m。推定3間と思われ、H-39と重複し1基不明なものP-57・D-20・P-58間は2.00m＋1.80m＋不明で検出長3.80mを測る。P-55とP-56間が他と比べやや短いことで1間×2間とも考えられる。P-55とP-58間は4.90mを測る。**柱穴** 平面は方形・隅丸方形で、掘り込みは2段に掘られたU字形やV字形などがある。径は長径57～75cm、短径47～59cm、深さは61～87cmを測る。また、形状や覆土にAs-C軽石の混入があることで古墳時代後期以降と推測できる。**遺物** P-55から縄文片1点、P-57・58から土師器片3点出土。

注) 本文中の( )は推定、[ ]は検出値を表す。
紙面の制約から本文掲載以外の住居跡は住居跡一覧表にまとめて報告する。尚、H-4・6・37・38号住居跡は欠番とする。また、掘立柱建物跡は本文で、土坑・ピット・道路状遺構・風倒木痕については計測表にまとめて報告する。遺構の位置は、1/400の平面図参照。

2. まとめ

本遺跡は東側が急激に落込み、西側が緩やかな傾斜面となる台地上にあり、遺構確認面は浅い所で12cm、深い所で98cm程で現れる。この部分は土地改良で手が加わっている面で、一旦表土を剝ぎローム層部分で整地している。そのため、遺構の残存状況にも影響が見られる。調査では、竪穴住居跡39軒、掘立柱建物跡3棟、ピット58基、土坑25基、道路状遺構4条、風倒木痕3ヵ所を検出した。その中で縄文・古墳時代の住居跡についてまとめた。

縄文時代では、J－1～4号住居跡を検出した。形状は、重複しているJ－2・3号を除き隅丸長方形である。規模は、完掘の住居跡J－1号で長軸5.75m、短軸4.84m、J－4号で長軸5.74m、短軸4.91mを測る。また、J－1号では南・北壁の一部を除き幅40～110cm、床面から11～22cm程の高さで一段高い平坦な面が壁に沿って検出された。この段差は、土層断面で時間的差が認められないことから生活面の一部と推定できる。柱穴も段差部分の四隅に検出され、規模は長径31～41cm、短径26～37cm、深さ26～35cmまでのもので楕円形を呈する。炉跡は、床面より11～20cm掘り込んで焼けた面が残り、東側に焼石も1個検出した。炉跡の検出はJ－1号のみで遺物も少なく時期を特定するのは難しいが、出土した縄文土器片の特長や住居跡の形状などから推定すると、調査区の北側に位置する芳賀東部団地遺跡Ⅲの調査で検出された縄文時代前期後半の住居形態、隅丸方形・長方形などと類似する点や柱穴位置も方形主柱構造などが見られ、諸磯片が出土している状況からも前期後半に位置する住居跡と思われる。その他のJ－2～4号からは、柱穴のみ検出した。J－2号で2基、J－3号で1基、J－4号で5基検出され、長径42～65cm、短径32～49cm、深さ12～52cmの円形または楕円形である。遺物は小片のみで、J－2・

3号で諸磯片、J-4号で黒浜片などの出土があった。

古墳時代は35軒の住居跡を検出し、前期石田川式土器と東海系の土器などが目に付いた。また、弥生時代の遺構は検出されなかったがその系譜も僅かに見られ、出土した土器の中に樽系の波状文様が残る土器片も見られた。また、有力階層の存在を想定させる大型住居の検出や祭祀関係の要素がうかがえる器台・高杯・坩・手捏・ミニチュア土器なども多く出土していることから大型住居跡を中心に集落が構成され、祭祀も行っていたと考えられる。検出した完掘住居跡25軒の規模を見ると、最大はH-26号で6.60m×7.35mを測り、最小はH-20号で2.50m×3.10mである。また、1辺が4m以下(小型)、4～6m(中型)、6～8m(大型)に分類すると、小型2軒、中型15軒、大型8軒に分けられ、半数以上が中型である。平面形状は正方形6軒、隅丸正方形5軒、長方形6軒、隅丸長方形8軒で長方形がやや多い。面積は最大がH-28号の47.55m²であり(長径はH-26号の方が長い)、最小はH-20号の7.15m²で平均は26.24m²である。柱穴は無柱穴2軒、1柱穴1軒、2柱穴2軒、3柱穴3軒、4柱穴12軒、5柱穴3軒、6柱穴2軒を検出し、4柱穴を持つ住居跡が一番多かった。炉跡・カマドを検出した住居跡は、35軒中28軒で、不明が7軒であった。炉跡は、1基もつもの25軒、2基もつもの2軒、そのなかで石を使用したものは9軒で、土器片を使用したものは1軒であった。カマドは1軒のみ検出した。また、住居跡の主軸方向別で5°以内にまとまった方向を示すものは、「2軒」と「3軒」のグループに別けられる。「2軒」はH-7・12号(N-74°～79°-W)、H-17・39号(N-66°～67°-W)、H-18・20号(N-3°～6°-E)の3グループがあり、「3軒」はH-3・22・26号(N-72°～75°-E)、H-5・8・28号(N-18°～21°-E)、H-9・11・24号(N-88°～91°-E)、H-14・19・30号(N-94°～98°-E)の4グループがある。また、大型住居を含むグループで見ると、2軒では2グループがあり、3軒では4グループがあてはまり、2軒グループのH-7・12号が4世紀代、3軒グループのH-3・22・26号が5世紀代で主軸方向と時期にまとまりがある。他のグループは4～5世紀代を含むものである。また、大型住居の位置は4世紀代、5世紀代でも北・南・北東側に位置し、そのまわりには中・小の住居跡が点在し、4世紀代では東側を中心に多く、5世紀代ではまばらで環状に集落を形成している。

その他、床面に高さ3～7cmの高まりを持つ住居跡H-2・12・15・19・21・24号を検出した。いわゆるベッド状遺構と推定されるもので壁側に1.0～1.7m程の幅をもって部分的に廻っているものや住居の一角を4.0～4.5m程の範囲を持つものなどあった。また、H-33号にはP1とP4に向って、長さ70～100cm、幅14～23cm、深さ12～20cmの溝状の掘り込みがあり、間仕切り跡と推定されるもので、住居内の柱を利用し壁状の仕切りを作ったと思われる。さらに、住居跡の中には火災に遭遇したと推定できる住居跡H-2・9・11・13・15・16・21・23・26・34・39号など11軒があり、床面や覆土中に焼土・炭化物の分布や混入があった。特に、H-39号は床面や壁際に多くの焼土・炭化物が検出され、加工痕が残る松の炭化材の出土があった。主に、梁・垂木などの架構材と考えられる。また、断面観察でも壁際に焼土・炭化物の堆積形成が見られ、住居埋没前の被害状況も推測でき、煤付着の完形遺物の出土量が多いことなどを合わせると焼失住居と考えられる。また、北側に位置する芳賀東部団地遺跡Iで検出したH-431・435号住居跡(古墳前期)も同じように焼失した状況で検出されている。さらに、古墳時代住居跡や古墳(円墳)の検出状況も本遺跡に近い南東側に集中している点などから、この一帯が古墳時代から重要な生活区域であったことをうかがわせてくれる。また、調査区からは4世紀代に降下したとされるAs-C軽石の堆積層は確認されず、As-C軽石との直接的関係においては時期を判断することは難しいが、古墳時代の遺構の覆土にはAs-C軽石が含まれていることで4世紀代からの集落展開が考えられ、出土遺物からも4世紀中頃から5世紀末までの集落展開が考えられることで隣接する遺跡との関連性も垣間見られる。

参考文献

『芳賀団地遺跡群 第1巻』(芳賀東部団地遺跡Ⅰ)～古墳～平安時代編その1～ 1984.3 前橋市教育委員会
『芳賀団地遺跡群 第3巻』(芳賀東部団地遺跡Ⅲ)～縄文・中近世編～ 1990.3 前橋市教育委員会
『芳賀団地遺跡群 第5巻』(芳賀北部団地遺跡Ⅰ)～古墳・奈良・平安時代編～ 1994.3 前橋市教育委員会
『内堀遺跡群Ⅳ』1991、『内堀遺跡群Ⅹ』1998、前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『内堀遺跡群ⅩⅠ』1999、『内堀遺跡群ⅩⅡ』2000、前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代江戸屋敷遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『五代伊勢宮Ⅱ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
『荒砥島原遺跡』1983 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
『群馬町誌 資料編Ⅰ 原始古代～中世』1998 群馬町誌刊行委員会
『日本考古学協会シンポジウム 1993年度新潟大会～東日本における古墳出現過程の再検討～』1993 日本考古学協会新潟大会実行委員会

第17表　住居跡一覧表

（　）は推定値、［　］は検出値を表す。　　△縄文土器　□石器・石類　○鉄製品

住居番号	住居検出位置	平面形	長軸方向	規模(cm)	面積(m²)	柱穴数・最大最小				貯蔵穴数・最大最小				土坑数・最大最小				カマド・炉跡有無	備考	出土遺物の種類		遺物総数	時期
						寸法(cm)				寸法(cm)				寸法(cm)						土師器	その他		
						数	長径	短径	深さ	数	長径	短径	深さ	数	長径	短径	深さ						
H-1	X76・77 Y54・55	不明	不明	[286] [132]	[3.87]	2	43 27	39 23	20 17									不明		甕	□	25	不明
H-2	X73～75 Y59～61	(方形)	不明	[762] [656]	[36.55]	1	53	50	50	1	65	64	49					炉跡あり	周溝一部回る ベッド状あり	甕、高坏、坩、壺	△ □ (石鏃)	77	4世紀後半
H-3	X77～79 Y57・58	正方形	N-74°-E	652 648	40.23	4	60 54	50 42	87 64	1	80	76	51					炉跡あり	周溝一周する	甕、高坏、坏、埦、坩、壺、甑、ミニチュア	△ □	1123	5世紀中頃～後半
H-4	欠番																						
H-5	X79・80 Y56・57	正方形	N-18°-E	427 422	16.83									2	202 73	145 70	64 36	炉跡あり	周溝一部回る	甕、高坏、埦、甑、手捏土器	△ □ ○	176	4世紀後半
H-6	欠番																						
H-7	X82・83 Y58・59	隅丸正方形	N-79°-W	410 400	14.59	4	54 35	48 30	34 14									検出なし		甕、高坏、器台、壺	△ □ (石錘)	395	4世紀中頃
H-8	X78・79 Y59・60	長方形	N-21°-E	580 450	23.96	1	42	41	22									炉跡あり		甕	△ □	18	不明
H-9	X81・82 Y60・61	長方形	N-91°-E	570 472	26.11	5	72 44	47 35	29 14									炉跡2基あり	周溝ほぼ一周する	甕、坩、壺	△ □	215	4世紀中頃
H-10	X83～85 Y59・60	長方形	N-40°-E	440 395	16.44	4	59 45	48 38	18 14					1	142	80	20	炉跡あり	周溝一部回る	甕、壺	△ □	125	4世紀中頃
H-11	X85～87 Y58～60	正方形	N-88°-E	604 600	35.56	4	69 44	60 32	80 60	1	124	120	72					炉跡あり	周溝一部除き回る	甕、高坏、器台、坏、埦、坩、壺、ミニチュア	△ □ (大きい砥石)	66	5世紀後半
H-12	X86～88 Y61～63	隅丸正方形	N-74°-W	640 614	36.42	6	54 32	48 25	36 16									炉跡あり	周溝ほぼ一周 ベッド状あり	甕、高坏、壺	△ □ (砥石)	234	4世紀後半～末
H-13	X87・88 Y60～62	(長方形)	N-60°-W	[490] [340]	[15.58]	5	73 32	56 30	21 11									炉跡あり	周溝一部除き回る	甕、坏、埦、坩、壺、甑	△ □ (石鏃)	335	5世紀後半
H-14	X84～86 Y63～65	隅丸長方形	N-98°-E	732 620	42.98	5	50 22	43 22	79 15					1	63	42	57	炉跡あり	周溝一部除き回る	甕、高坏、器台、埦、壺	△ □	930	5世紀前半～中頃
H-15	X83～85 Y61・62	隅丸長方形	N-80°-E	573 476	26.80	4	46 25	40 23	56 43					2	100 75	91 62	50 -24	炉跡あり	周溝一部除き回る ベッド状あり	甕、高坏、器台、坏、埦、壺	△ □	364	4世紀中頃
H-16	X81・82 Y61・62	隅丸長方形	N-18°-W	464 384	16.84	4	42 22	36 20	30 12					1	75	68	10	炉跡あり	周溝一部回る	甕、高坏、器台		174	4世紀後半
H-17	X79・80 Y61・62	隅丸正方形	N-67°-W	292 266	7.44	3	45 33	32 25	10 8									炉跡あり		甕	□	11	不明
H-18	X78・79 Y62・63	隅丸長方形	N-6°-E	450 385	15.96	4	42 18	40 17	65 18									炉跡あり	周溝一部除き回る	甕、高坏、器台、埦、坩、壺、甑	△ □	592	4世紀中頃
H-19	X81・82 Y63・64	長方形	N-86°-W	592 522	29.89	4	66 30	38 24	58 13					1	85	50	10	炉跡あり	周溝ほぼ一周する ベッド状あり	甕、高坏、壺		280	4世紀中頃
H-20	X83・84 Y61・62	隅丸長方形	N-3°-E	310 250	7.15													検出なし		甕		20	不明
H-21	X81・82 Y65～67	隅丸正方形	N-29°-E	525 504	24.79	3	92 55	60 45	63 50	1	63	56	33					炉跡あり	周溝ほぼ一周する ベッド状あり	甕、高坏、埦、壺、甑、手捏土器	△ □	734	4世紀中頃～後半
H-22	X75～77 Y66・67	長方形	N-72°-E	555 340	18.06	2	46 43	38 37	13 12	1	104	63	12					炉跡あり	周溝ほぼ一周する	甕、高坏、坏、埦、坩、壺、甑、台付片口甕	(粘土塊)	262	5世紀後半
H-23	X76～78 Y67～69	隅丸長方形	N-53°-E	604 496	28.95	2	60 48	46 42	15	1	120	75	60	1	185	142	65	炉跡あり	周溝一部なし A-3と重複	甕、高坏、器台、壺、ミニチュア	△ □ ○	418	4世紀中頃～後半
H-24	X74・75 Y68～70	隅丸長方形	N-91°-E	680 642	42.64	5	[70] 48	[48] 38	70 11					1	74	42	32	炉跡あり	周溝一周する ベッド状あり	甕、高坏、坏、坩、壺、ミニチュア	△ □ (石棒状の石)	405	4世紀後半～5世紀前半
H-25	X76～78 Y71～73	隅丸正方形	N-2°-W	525 502	25.27	4	54 37	50 32	60 20	1	91	60	41					炉跡あり	周溝一部回る A-3と重複	甕、高坏、壺	△ □	183	5世紀前半～中頃

住居番号	住居検出位置	平面形	長軸方向	規模(cm)	面積(m²)	柱穴数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	貯蔵穴数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	土坑数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	カマド・炉跡有無	備考	出土遺物の種類 土師器	その他	遺物総数	時期
H-26	X79～81 Y68～70	長方形	N-75°-E	735 660	47.13	4	58 39	44 35	78 56									炉跡あり	周溝一周する	甕、高坏、器台、坏、坩、手捏土器	△ □	354	5世紀
H-27	X86・87 Y70	不明	不明	[306] [193]	[5.30]									1	186	99	42	不明	H-36、J-3と重複	樽系の土器片あり 他土師片少量出土	△ □ (黒曜石片)	44	不明
H-28	X82～84 Y70～72	正方形	N-18°-E	718 676	47.55	4	85 46	75 42	70 22					2	156 90	95 62	19 13	炉跡2基あり	周溝西壁のみあり	甕、坏、坩、壺	△ □ (石鏃3点) (桃の種子)	515	4世紀中頃～後半
H-29	X84・85 Y68・69	正方形	N-80°-W	420 400	15.63	3	62 55	60 33	79 10									炉跡あり	A-4と重複	甕、坩、壺、樽系の土器片あり	△ □	138	4世紀後半
H-30	X85・86 Y66・67	隅丸長方形	N-85°-W	466 360	15.31	4	46 30	39 24	26 11	1	82	70	33					炉跡あり	周溝一部なし A-4と重複	甕、高坏、埦、壺、甑	△ □	492	5世紀後半
H-31	X87・88 Y63・64	不明	不明	[419] [231]	[7.37]	2	50 48	40 38	21 11									不明	周溝北・西壁に回る H-32と重複	甕	△ □	237	4世紀か
H-32	X87・88 Y64・65	不明	不明	[608] [372]	[11.17]	1	47	41	9									炉跡あり	H-31と重複	甕、蓋		26	4世紀か
H-33	X86・87 Y65～67	(正方形)	[N-19°-W]	515 [509]	[26.08]	6	59 29	45 27	60 18					1	157	80	16	炉跡あり	周溝一部なし 2ヶ所間仕切りあり A-4と重複	甕、高坏、坏、坩、壺、手捏土器	△ □	1156	4世紀後半
H-34	X86・87 Y67・68	不明	不明	490 [422]	[18.71]	3	42 28	32 27	16 14									炉跡あり	周溝一部除き回る	甕、高坏、坏、手捏土器	△ □	546	4世紀後半
H-35	X87 Y69	不明	不明	[306] [70]	[3.26]													不明	J-2と重複	甕	△ □	138	不明
H-36	X86・87 Y69・70	不明	不明	[320] [284]	[4.32]													不明	J-2・3、H-27と重複	甕、壺、他土師片		36	不明
H-37	欠番																						
H-38	欠番																						
H-39	X83・84 Y73～75	正方形	N-66°-W	640 636	38.84	6	60 25	50 22	62 13	1	104	89	46					カマドあり	周溝一周する	甕、高坏、坏、埦、坩、壺、甑、手捏土器、ミニチュア	△ □ ○ (砥石)	508	5世紀末

( ) は推定値、[ ] は検出値を表す。

住居番号	住居検出位置	平面形	長軸方向	規模(cm)	面積(m²)	柱穴数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	貯蔵穴数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	土坑数・最大最小 寸法(cm) 数	長径	短径	深さ	カマド・炉跡有無	備考	出土遺物の種類	遺物総数	時期
J-1	X82～84 Y69・70	隅丸長方形	N-89°-W	575 484	24.58	4	41 31	37 26	35 26									炉跡あり	段状の掘り込み	石器、諸磯b・c片	171	前期後半
J-2	X85～87 Y69・70	不明	不明	[704] [271]	[12.60]	3	65 51	49 47	30 18									不明	J-3、H-35・36と重複	諸磯b片	8	前期後半
J-3	X85・86 Y70・71	不明	不明	[460] [372]	[12.73]	1	51	48	26									検出なし	J-2、H-27・36と重複	諸磯c片	36	前期後半
J-4	X80～82 Y57～59	隅丸長方形	N-38°-E	574 491	24.99	5	52 42	48 32	52 12									検出なし		黒浜片、諸磯片(黒浜片の方が床面近くで出土)	102	前期

第18表　土坑計測表

（　）は推定、［　］は検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
D-1	X76, Y58	229	104	31	楕円	縄文片1点
D-2	X74・75, Y58	163	158	30	隅丸方形	縄文片3点、土師片1点
D-3	X76, Y59	132	110	29	楕円	
D-4	X77, Y60	112	64	44	楕円	
D-5	X76・77, Y65	241	172	55	楕円	石器3点、土師片5点
D-6	X80・81, Y57	135	128	44	楕円	すり石1点
D-7	X81・82, Y59	115	70	35	楕円	
D-8	X82, Y57	149	96	20	楕円	縄文片2点、土師片1点
D-9	X83, Y57	204	187	79	楕円	縄文片4点、甕片56点
D-10	X83・84, Y59	256	(192)	70	楕円	石器1点、甕片11点
D-11	X86, Y61	113	90	24	楕円	
D-12	X86, Y62	264	179	81	楕円	土師片75点
D-13	X81, Y61	210	91	77	楕円	甕片10点
D-14	X81・82, Y64・65	230	181	71	楕円	甕片など65点
D-15	X84, Y66	180	178	20	隅丸方形	甕片など24点
D-16	X83, Y67	95	75	37	楕円	
D-17	X82・83, Y68	165	123	86	楕円	石田川の甕片など49点
D-18	X81, Y72	138	101	71	楕円	土師片9点
D-19	X75, Y68	140	95	56	隅丸方形	縄文片3点、土師片18点
D-20	X83, Y76	60	57	61	長方形	B-3の柱穴
D-21	X77, Y60	128	95	16	楕円	
D-22	X79・80, Y55	281	[204]	25	(隅丸方形)	縄文片1点、土師片16点
D-23	X77, Y60	152	84	27	楕円	
D-24	X77, Y61	100	90	26	楕円	石器1点、土師片1点
D-25	X78, Y70	82	81	38	ほぼ円	

※検出した土坑のほとんどがロームブロックを多く含むもので、新しいと思われる。

第19表　ピット計測表

（　）は推定、［　］は検出値を表す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
P-1	X77, Y60・61	81	65	35	楕円	
P-2	X78, Y61	68	52	15	楕円	
P-3	X78, Y61	45	43	24	ほぼ円	
P-4	X77, Y62	68	64	22	楕円	
P-5	X80・81, Y57	73	60	26	楕円	
P-6	X80, Y58	85	75	24	楕円	
P-7	X80, Y58	80	67	30	楕円	
P-8	X79・80, Y59	81	74	42	楕円	
P-9	X80, Y58	102	70	21	楕円	
P-10	X81, Y59	61	52	18	楕円	
P-11	X81, Y59	54	52	19	ほぼ円	
P-12	X86, Y60・61	60	55	57	楕円	B-1、縄文片2点
P-13	X86, Y60	58	41	55	楕円	B-1
P-14	X85, Y60	56	46	64	楕円	B-1、土師片1点
P-15	X86, Y61	63	55	31	楕円	
P-16	X85, Y61	45	42	44	楕円	
P-17	X85, Y61	57	45	17	楕円	縄文片5点、土師片4点
P-18	X86, Y61	45	44	44	隅丸方形	B-1
P-19	X85・86, Y61	58	42	57	楕円	B-1
P-20	X85, Y61	46	45	53	ほぼ円	B-1
P-21	X84, Y61	60	40	25	楕円	
P-22	X84, Y66	50	45	60	楕円	
P-23	X84, Y66・67	68	52	17	楕円	縄文片2点
P-24	X83, Y66・67	70	60	31	楕円	
P-25	X83, Y67	52	51	29	ほぼ円	
P-26	X81, Y67	47	42	16	楕円	
P-27	X84, Y67	68	67	17	ほぼ円	
P-28	X84, Y67	70	56	25	楕円	
P-29	X83, Y67	58	40	19	楕円	
P-30	X82, Y67	59	49	27	楕円	P-31と重複
P-31	X82, Y67	[46]	40	15	楕円	P-30と重複
P-32	X82, Y67	97	77	39	楕円	
P-33	X83, Y68	70	50	18	楕円	
P-34	X82, Y68	43	43	22	円	
P-35	X82, Y67・68	55	54	17	ほぼ円	
P-36	X81, Y68	43	32	20	楕円	
P-37	X81, Y67・68	64	45	30	楕円	
P-38	X80, Y67	60	53	60	楕円	B-2
P-39	X80, Y66・67	50	46	62	楕円	B-2
P-40	X79, Y66	48	43	55	隅丸方形	B-2
P-41	X80, Y67	46	46	46	円	B-2
P-42	X79, Y67	50	47	44	隅丸方形	B-2
P-43	X79, Y67	48	47	46	隅丸方形	B-2
P-44	X75, Y67	55	45	24	楕円	
P-45	X82, Y75	59	56	87	長方形	B-3
P-46	X82, Y75	57	59	73	方形	B-3
P-47	X77, Y55	56	54	31	ほぼ円	
P-48	X76, Y56	54	50	21	楕円	
P-49	X76, Y57	39	34	18	楕円	
P-50	X76, Y57	59	53	22	楕円	
P-51	X77, Y59	50	42	22	楕円	
P-52	X77, Y62	60	56	15	楕円	
P-53	X80・81, Y62	70	63	31	楕円	
P-54	X81, Y62	81	68	20	楕円	
P-55	X82・83, Y74・75	65	53	87	長方形	B-3、縄文片1点
P-56	X83, Y74	[64]	[15]	[15]	(方形)	B-3、H-39と重複
P-57	X83, Y76	60	47	82	長方形	B-3、土師片1点
P-58	X83, Y75	75	58	79	長方形	B-3、土師片2点

※掘立柱建物跡を組めた以外は、現耕作土を含むものが多く新しいと思われる。

第20表　道路状遺構計測表

［　］は検出値を表す。

遺構番号	遺構位置	長さ(m)	幅(cm)	備考
A-1	X67～69, Y68～71	[16.40]	[45～55]	北側は調査区外に続く
A-2	X70～73, Y60～72	[50.25]	[20～160]	H-2と重複、住居より新しい
A-3	X76～78, Y60～75	[60.61]	[25～88]	H-23・25と重複、住居より新しい（昭和43年の都市計画図面41に記載あり）
A-4	X84～87, Y64～69	[23.50]	[30～55]	北と南側は後世の掘削などで不明になる。H-29・30・33と重複、住居より新しい(昭和43年の都市計画図面41に記載あり)

※道路状遺構は、都市計画図面に記載されているものなどあり新しいと思われる。

第21表　風倒木痕計測表

［　］は検出値を表す。

遺構番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
O-1	X79・80, Y65	168	144	59	楕円	西側オーバーハング
O-2	X83・84, Y72	[250]	225	83	楕円	北側推定、土師片
O-3	X79, Y74	217	183	52	楕円	西側僅かにオーバーハング、土師片

第22表　出土土器観察表

法量は①口径 ②底径 ③胴部最大径 ④器高 ⑤長さ ⑥幅 ⑦穿孔径を表す。

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-2-1	H-2 貯-1 No.1	坩	②4.0 ④(10.5)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/4鈍い褐色 ④口～頸部欠損	体部球形状で中位に張りを持つ。底部は小さくやや凹む。外面頸部接合部に篦押え痕。体部篦磨き丁寧。内面頸部指押え痕、底部篦磨き。	貯蔵穴内出土 外面煤付着 接合痕あり	36	20
H-2-2	H-2 貯-1 No.4	高坏	①15.7②17.4 ④14.5 ⑦1.3～1.4	①細粒②良好(酸化) ③10YR7/4鈍い黄橙 ④完形	坏部稜を持ち外傾して立上る。脚部に4個の穿孔。裾部緩やかにハの字。外面口縁横撫で、体部ハケ目状の撫で。脚部篦磨き・ハケ目状の撫で。内面坏部横撫で、脚部ハケ目状の撫で。	貯蔵穴内出土	36	20
H-3-1	H-3 No.145	小型坩	①8.2②2.8 ④8.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/3欠損	頸部は外傾して口縁に至る。体部は中位に張りを持つ球形状、楕円状の平底。内外面口縁横撫で、頸部・体部ハケ目。底部篦削り。	接合痕あり	36	20
H-3-2	H-3 No.28・141・142・一括	坩	①(8.4) ④11.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁2/3・胴部一部欠損	頸部からやや外傾して口縁部に至る。体部は上位に張りを持つ扁球形状を呈す。外面頸部ハケ目。底部剝れ痕。内面指撫で。	接合痕あり	36	20
H-3-3	H-3 No.19・80	坩	①10.7 ④(10.8)	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR4/3鈍い赤褐色 ④口縁一部・底部欠損	頸部からくの字に外傾し口縁部でやや内湾して開く。体部は中位に張りを持つ球形状。内外面口縁横撫で、体部篦磨き。	内外面赤色塗彩あり 接合痕あり	36	20
H-3-4	H-3 No.108・114・119・123	坩	①13.3④16.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④体部1/4欠損	頸部から口縁部に向って外傾して開く。体部中位に張りを持つ球形状。内外面口縁横撫で。底部篦撫で。		36	20
H-3-5	H-3 No.117・120・132	坩	①10.4 ④(10.9)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部・底部欠損	頸部からくの字に外反し口縁部でやや内湾する。体部中位に張りを持つ算盤玉形状。内外面口縁横撫で。体部篦削り後撫で調整。		36	20
H-3-6	H-3 No.43	坩	①13.7 ④(13.5)	①細粒②良好(酸化) ③10R4/8赤色 ④口縁1/3・体部2/3欠損	頸部からくの字に外傾し口縁部で内湾し開く。体部は中位に張りを持つ球形状。内外面口縁横撫で。外面頸部から体部篦磨き。内面指押え。	内外面赤色塗彩あり 接合痕あり	36	20
H-3-7	H-3 No.20・24・31	坩	①13.6②5.6 ④15.8	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR4/4鈍い赤褐色 ④口縁・体部一部欠損	頸部から外傾してハの字に開き口縁部でやや内湾する。体部中位に張りを持ち球形状。平底。内外面口縁横撫で。外面篦磨き・撫で。内面接合部縦の指撫で。底部ハケ目。	内外面赤色塗彩あり	36	20
H-3-8	H-3 No.126	小型坩	①(5.0)②2.8 ④(5.6)	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐色 ④口縁欠損	体部中位に張りを持つ。小さい平底。外面体部撫で、下位ハケ目後撫で。内面撫で。		36	20
H-3-9	H-3 No.18	小型坩	①(5.1) ②(4.7) ④(5.5)	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/4鈍い黄橙 ④口縁欠損	体部中位に張りを持つ球形状。底部中央に凹みあり。内外面体部撫で調整。		36	20
H-3-10	H-3 No.86・89・98	ミニチュア(甑)	④(6.6) ⑦1.7	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐色 ④口～頸部欠損	胴部中位に張りを持つ球形状。平底で中央に穿孔あり。頸部横撫で。胴部篦削り後撫で。内面底部剝れ痕。	接合痕あり	36	20
H-3-11	H-3 No.115	ミニチュア(甕)	①(7.4)③7.5 ④(6.5)	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/3鈍い赤褐色 ④口縁1/2欠損	口縁部やや外傾して直立。胴部は上位に張りを持ち下位に向って内湾する。内外面口縁横撫で、胴部撫で。内面胴部指押え痕。	接合痕あり	36	20
H-3-12	H-3 No.78・96・116・125	椀	①11.1②6.4 ④8.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④体部一部欠損	口縁部短く外反。体部内湾気味に底部に至る。やや突出する平底。内外面口縁横撫で。体部ハケ目後撫で。底部篦調整。	接合痕あり	36	20
H-3-13	H-3 No.91・95・101・129・136・144	小型壺か	②6.2③15.3 ④(11.1)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口～頸部欠損	口縁部外傾し肩に張りを持つ。胴部中位に最大径を持ち下位ですぼむ算盤玉形状。突出しやや上げ底。外面頸部指押え。胴部篦撫で、下位篦削り後撫で。底部篦調整。内面撫で。	内面接合痕あり 外面赤色塗彩あり	36	20
H-3-14	H-3 No.97	坩	②3.5 ④(10.6)	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR4/4鈍い赤褐色 ④口縁・体部1/3欠損	体部中位に張りを持つ球形状。底部小さく凹みあり。内外面ハケ目。	外面体部赤色塗彩あり 底部接合痕あり	36	20
H-3-15	H-3 No.135	坩	④(10.1)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・体部1/4欠損	体部上位に張りを持ち底部ですぼむ球形状。内外面撫で調整。底部は雑な撫で。	接合痕あり	36	20
H-3-16	H-3 No.5・25・32・34・35・109・138	甑	①24.1④15.9 ⑦5.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/3鈍い褐色 ④口縁・胴部一部欠損	単孔。底部から内湾し口縁部で大きく外傾するラッパ状。外面口縁横撫で、胴部から底部ハケ目・指押え痕。内面胴部篦削り後撫で調整。	接合痕あり	37	20
H-3-17	H-3 No.63・66・68・71・73・74	高坏	①18.4②15.2 ④16.1	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④口縁1/3欠損	坏部は下位で屈折し外傾し口縁部で開く。脚部は柱状に長く内部は空洞。裾部は緩やかに開く。外面口縁横撫で、坏部・脚部ハケ目後撫で、裾部ハケ目。脚部内面篦による掻き取り痕。	接合痕あり	37	20
H-3-18	H-3 No.16・47～49	高坏(脚部)	①19.2 ④(8.5)	①細粒②良好(酸化) ③10R5/6赤色④脚部欠損	坏底部平坦で下位に稜を持ち口縁部に向って直線的に外傾して開く。外面坏部口縁横撫で、体部ハケ目後篦撫で。底部篦調整。内面撫で。	ほぼ全面赤色塗彩 外面煤付着 接合痕あり	37	20
H-3-19	H-3 No.41・128・139	高坏	①19.0 ④(13.5)	①細粒②良好(酸化) ③10R4/6赤色 ④口縁1/3・裾部欠損	坏底部平坦気味で口縁部外傾して大きく開き、口唇部で細る。脚部下位でやや膨らむ。外面口縁横撫で、体部～脚部ハケ目。脚部内面篦による掻き取り痕。	ほぼ全面赤色塗彩	37	20
H-3-20	H-3 No.52・53	坏	①11.8④5.9	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/4鈍い赤褐色 ④3/4残	口縁部短く外傾し、体部は内湾。内外面口縁横撫で。外面底部篦削り後撫で調整。内面撫で。	体部煤付着	37	20
H-3-21	H-3 No.110・131・146	高坏(脚部)	②18.9 ④(11.4)	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR4/4鈍い赤褐色 ④坏部・脚部一部欠損	脚部やや膨らみを持つ。裾部段があり下位は緩やかに開く。外面篦磨き、内面脚部指押え痕、裾部篦撫で痕。	外面煤付着 外面赤色塗彩あり 接合痕あり	37	20
H-3-22	H-3 No.23・42・103・104	小型甕	①13.0③15.2 ④14.9	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/3鈍い赤褐色 ④口縁1/2・胴部一部欠損	口縁部くの字に外傾。胴部上位に張りを持ち、下位ですぼむ球形状。丸底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目、下位～底部篦削り。内面撫で。	接合痕あり	37	20
H-3-23	H-3 No.8・64・69・70・76	小型壺	③15.4 ④(12.6)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・体部一部欠損	胴部中位に張りを持つ算盤玉形状。内外面胴部ハケ目後撫で調整。外面指押え痕。	接合痕あり	37	20
H-3-24	H-3 No.58・62	小型甕	①(15.0) ②6.5④17.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/3鈍い橙 ④口縁1/2・胴部1/4欠損	口縁部くの字状、胴部中位に張りを持つ球形状。底部僅かに突出し中央が凹む。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り後撫で、底部篦調整。内面撫で。	接合痕あり	37	20

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-5-1	H-5 No.17・20	ミニチュア(壺)	①(4.9) ④(8.6)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/3鈍い褐色 ④口縁1/2・胴部2/3残	胴部球形状。頸部から外傾し口縁部に至る。外面口縁横撫で、胴部ハケ目後撫で調整。内面撫で。	接合痕あり	37	21
H-5-2	H-5 No.9・11 D-2	小型甕	①11.8 ④(10.0)	①細粒②良好(酸化)③7.5YR7/3鈍い橙④口縁1/3・胴部中位～底部欠損	胴部緩やかに内湾し、口縁部短くくの字に外傾。外面口縁横撫で、胴部ハケ目。内面口縁～胴部ハケ目。	接合痕あり	37	21
H-11-1	H-11 No.2	塊	①12.4④7.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部短く外反し体部が内湾する球形状。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で。	内外面一部赤色塗彩・煤付着	37	21
H-11-2	H-11 No.5	塊	①12.4④8.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反し体部内湾する。底部はいびつ。内外面口縁横撫で。内面指押え痕。	内外面煤付着	37	21
H-11-3	H-11 No.12	塊	①10.4④7.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部短く外反し体部球形状。不安定な丸底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り痕。底部篦削り後撫で調整。内面撫で。	内外面一部赤色塗彩	37	21
H-11-4	H-11 No.7	坏	①15.7②4.0 ④6.4	①細粒②良好(酸化) ③10R5/4赤褐色④完形	体部内湾し稜を持ち口縁部やや内傾して立つ。やや傾く小さい平底。内外面口縁横撫で。外面体部・ハケ目後撫で。内面篦磨き・指押え。	内外面一部赤色塗彩 外面煤付着 接合痕あり	37	21
H-11-5	H-11 No.11	塊	①13.4④6.8	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部短く外反し、体部内湾して立上る。丸底。内外面口縁横撫で。底部篦削り痕。内面撫で。	内外面煤付着	38	21
H-11-6	H-11 No.9	塊	①11.8②3.0 ④6.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部内湾する。小さく上げ底気味。内外面口縁横撫で。外面底部篦削り。	内外面煤付着	38	21
H-11-7	H-11 No.3	坏	①14.0④6.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁2/3・体部一部欠損	体部内湾し口縁部でやや内傾して立つ。丸底。口縁部に接合痕の稜あり。外面口縁横撫で、体部篦当て痕。内面撫で。	外面一部赤色塗彩 内外面煤付着 接合痕あり	38	21
H-11-8	H-11 No.6	坏	①15.2④6.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部に粘土を貼付けた修正痕あり。体部内湾する。丸底。内外面口縁横撫で。体部撫で。	内外面煤付着	38	21
H-11-9	H-11 No.4	坏	①13.6②4.9 ④6.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④口縁1/4欠損	体部内湾して立上り口縁部で内傾する。底部小さく凹む。内外面口縁横撫で。外面体部ハケ目。	内外面一部赤色塗彩	38	21
H-11-10	H-11 No.57	高坏	①17.3②14.8 ④16.2	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR6/6橙 ④ほぼ完形	坏底径小さく体部屈曲して直線的に大きく開く。脚部は接合部から下位に向って太くなり、裾部はハの字に開く。外面体部・裾部篦撫で、脚部篦磨き痕、接合部篦当て痕。内面体部篦磨き。	坏部内外面赤色塗彩・煤付着	38	21
H-11-11	H-11 No.10	小型甕	①15.6③19.8 ④(17.5)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口～胴部1/3残	口縁部くの字状。口唇部丸みを持つ。胴部肩から内湾、中位で緩やかになり下位で内湾。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り・撫で。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	38	21
H-11-12	H-11 No.1	小型甕	①14.3②7.0 ③16.0④13.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁部くの字状に外傾し、胴部上位に最大径を持つ扁球形状。平底。内外面口縁横撫で。外面体部上位に篦撫で痕、下位に篦削り。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 内外面煤付着 接合痕あり	38	21
H-11-13	H-11 No.30・32・33・39・40・45・47・48・53～55・69～72	壺	①17.2②8.5 ③27.9④32.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部くの字に外傾して開く。胴部中位に最大径を持つ扁球形状で下位ですぼむ。突出する上げ底。内外面口縁横撫で、外面胴部ハケ目後撫で。内面ハケ目・撫で。	接合痕あり	38	21
H-13-1	H-13 No.57	坏	①12.6④5.4	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/4鈍い黄橙 ④ほぼ完形	口縁部短く内傾。体部内湾。丸底。内外面口縁横撫で。外面体～底部篦削り後撫で。内面撫で。	外面底部赤色塗彩	38	21
H-13-2	H-13 No.19	坏	①13.6④5.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/3鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部内湾して口縁部で内傾して立つ。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部～底部篦削り後撫で。内面撫で。	内面煤付着	38	21
H-13-3	H-13 No.58	坏	①14.5④6.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部内湾して口縁部短く内傾し、口唇部細る。内外面口縁部横篦撫で、体部篦削り後撫で調整。内面底部篦当て痕。	内外面口縁赤色塗彩あり 内外面煤付着	38	21
H-13-4	H-13 No.3	坏	①14.3②3.7 ④6.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	体部内湾して口縁部内傾し、口唇部細る。小さい上げ底。内外面口縁横撫で。外面体部ハケ目後撫で。内面篦撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	38	21
H-13-5	H-13 No.4	甑	①13.4④7.0 ⑦1.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/3鈍い褐色 ④口縁一部欠損	体部内湾気味に開き口縁部で内傾し、口唇部細る。底部小さい単孔あり。内外面口縁横撫で。外面体部篦撫で。底部篦調整。内面篦撫で。	内外面赤色塗彩あり 坏の転用か	38	21
H-13-6	H-13 No.6	塊	①11.0④6.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR7/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部内湾して口縁部短く外反し、口唇部細る。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り・篦撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	38	21
H-13-7	H-13 No.27	塊	①12.0④7.8	①細・中粒②良好(酸化) ③5YR7/4鈍い橙 ④口縁・体部一部欠損	口縁部短く外傾する。折返し口縁。体部内湾する球形状。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り・篦撫で。内面撫で、底部剝れ痕あり。	内外面赤色塗彩あり	38	21
H-13-8	H-13 No.5	小型甕	①13.5②7.5 ③14.2④11.3	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR6/6橙 ④口縁・体部一部欠損	口縁部くの字状に開き、胴部は内湾して立上る球形状。広い平底。内外面口縁横撫で。外面篦削り・撫で、底部篦調整。内面篦磨き。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	38	21
H-13-9	H-13 No.1	甕	①(20.5) ②7.5③28.0 ④33.8	①細・中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/3・胴部一部欠損	口縁部くの字に外傾。胴部上位から緩く内湾し、下位ですぼむ。縦にやや細長い球形状。突出する平底。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り後篦調整。底部篦調整。内面胴部上位指撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着 接合痕あり	38	21
H-13-10	H-13 No.30～32・34・42・43	甕	①21.2②8.0 ③28.7④32.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④胴部1/3欠損	口縁部くの字に外傾して開く。胴部上位内湾して最大径を中位やや上に持ち下位に向って緩やかにすぼむ。平底。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り後篦撫で。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着 接合痕あり	39	22
H-13-11	H-13 No.33・53	甕	①19.3③28.5 ④(31.4)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④胴部1/4・底部欠損	口縁部くの字に外傾して開く。胴部内湾して最大径を中位やや上に持ち下位ですぼむ球形状。内外面口縁横撫で。胴部ハケ目状篦撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着 頸部接合痕あり	39	22
H-15-1	H-15 No.6	塊	①10.9②4.5 ④5.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④口～体部一部欠損	口縁部短く外傾。体部内湾して立上る。やや上げ底気味。内外面口縁横撫で。外面撫で。内面体部ハケ目後撫で調整。	接合痕あり	39	22
H-15-2	H-15 No.8	鉢	①11.2②4.0 ④4.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐色 ④完形	体部緩やかに内湾し立上り口縁部に至る。平底。外面口縁横撫で、底部篦削り。内面ハケ目。	内外面赤色塗彩あり 接合痕あり	39	22

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-15-3	H-15 No.5	器台	①9.2②11.2 ④8.7⑦1.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	器受部は緩やかに開く。脚部ハの字状、3ヶ所穿孔あり。器受部内外面篦磨き。外面脚部篦磨き後撫で調整。脚部内面篦磨き・指押え痕。		39	22
H-15-4	H-15 No.7	壺	①16.5 ④(20.0) ⑦0.5～0.6	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐色 ④口縁・胴部1/2残	胴部緩やかに内湾して頸部で締まり外反して口縁部で開く。口縁に2個づつ2ヶ所穿孔あり。内外面横ハケ目後撫で。	外面煤付着 接合痕あり	39	22
H-15-5	H-15 No.3	甕	①14.0③18.1 ④(15.5)	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④底部欠損	口縁部くの字に外反。胴部中位に最大径を持つ球形状。内外面口縁横撫で。外面頸部～体部ハケ目。内面撫で。	接合痕あり 外面煤付着	39	22
H-16-1	H-16 No.21	甕	①(17.6) ②5.1 ③(18.7) ④17.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④胴部1/2欠損	口縁部くの字状に外傾。胴部丸みを持ち、中位に最大径を持って下位ですぼむ球形状。突出する小さい平底。外面頸部篦当て痕、胴部篦削り後撫で、底部篦削り・撫で調整。内面篦撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着	39	22
H-18-1	H-18 No.11	鉢	①12.6②5.0 ④6.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	体部内湾気味に開き口縁部に至る。突出する平底。外面篦撫で、底部篦調整。内面ハケ目、底部指撫で。	内外面煤付着	39	22
H-18-2	H-18 No.14	甑	①11.7②3.4 ④8.0⑦1.3	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・底部一部欠損	胴部外傾して開き口縁部でやや内傾する。平底、小さい単孔あり。外面体部ハケ目、底部篦調整。内面体部篦撫で・指押え。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	39	22
H-18-3	H-18 No.17	鉢	①11.7②4.7 ④5.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	体部内湾気味に開き口縁部に至る。突出する平底。外面体部ハケ目・篦撫で・指押え。底部篦調整内面口縁ハケ目後横撫で。体部斜位のハケ目・指撫で。底部指撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	39	22
H-18-4	H-18 No.15	器台	①6.5②9.8 ④6.7⑦1.0	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/4鈍い赤褐色 ④ほぼ完形	器受部は直線的に外傾し口縁部は短く立上る。脚部はやや内湾気味にハの字に開き、3孔を穿つ。脚部内面以外篦磨き。脚部内面ハケ目・撫で。	一部赤色塗彩あり 外面煤付着	39	22
H-18-5	H-18 P4 No.1	坩	①9.2②3.0 ④14.8	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6橙④完形	口縁部内湾気味に開き立上る。胴部内湾する球形状。小さくすぼみやや上げ底。内外面ハケ目後撫で調整。外面底部篦削り・撫で。	内外面赤色塗彩あり	39	22
H-18-6	H-18 No.50	坩	①9.0②3.3 ④13.3	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④口縁1/2欠損	口縁部くの字状に外傾して開く。胴部内湾する球形状。やや突出する平底。内外面口縁横撫で。外面胴部篦撫で・篦磨き調整。底部篦撫で。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着	39	22
H-18-7	H-18 No.23・24・31・33・34・36・51・52	甕	①20.8②7.3 ③32.4④31.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④口～胴部1/2欠損	口縁部くの字状に緩く外反し、口唇部で丸みを持つ。胴部中位に最大径を持ち底部ですぼむ球形状。突出する平底。外面口唇部刻み痕。内外面ハケ目後撫で調整。内面剝れ痕。	赤色塗彩あり 内面接合痕あり	39	22
H-18-8	H-18 No.1	高坏	①15.0 ②(5.8) ④(8.5)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部と胴部中～下位欠損	坏部下位に弱い稜を持ち体部は内湾して口縁部緩く外傾する。脚部上位は細く下位に向って開くと思われる。内外面口縁横撫で。外面体部ハケ目・篦磨き痕。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	39	22
H-18-9	H-18 No.13 H-28 No.22	高坏	①20.4②10.7 ④12.7⑦0.9	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④ほぼ完形	坏部大きく、下部に稜を持ち外傾して大きく開く。脚部短く上位は細い。下位はやや内湾気味にハの字に広がる。3ヶ所穿孔あり。外面坏部ハケ目後撫で調整、指押し痕。脚部上位横撫で、下位ハケ目。内面ハケ目後撫で。	内外面煤付着 遺構間接合土器	40	22
H-18-10	H-18 No.16	高坏	①22.1②11.8 ④13.7⑦1.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④完形	坏部下部に弱い稜を持ち大きく開く。脚部は上位細く、下位はハの字状に広がり、3ヶ所穿孔あり。外面坏部ハケ目後篦撫で調整。脚部上位横撫で、下位ハケ目。内面体部ハケ目後磨き、脚部ハケ目状の磨き痕。接合部に指押え痕。	外面煤付着 内外面赤色塗彩あり	40	22
H-18-11	H-18 No.12	壺	①(13.2) ②6.4③21.8 ④25.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6橙 ④口縁～頸部1/2欠損	頸部ですぼみ丸みを持って立上り口縁部で緩く外反して開く。胴部中位に最大径を持ち下位ですぼむ球形状。突出する平底。内外面口縁横撫で。外面頸部縦のハケ目、底部篦調整。内面ハケ目・撫で。	外面赤色塗彩あり 弥生期に共通する器形	40	22
H-19-1	H-19 No.20	甕	①17.4②5.5 ③22.8④24.2	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部内湾気味に立上る。胴部丸みを持ち中位に最大径を持つ。小さく突出した平底。内外面ハケ目・撫で調整。	外面煤付着 接合痕あり	40	22
H-21-1	H-21 No.78	甑 (鉢形)	①16.4②3.3 ④8.5⑦1.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④完形	体部直線的に外傾して開き、口縁折返し。底部小さい単孔あり。口縁端部磨き痕あり。内外面体部縦の篦磨き。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	40	22
H-21-2	H-21 No.79	甑 (鉢形)	①12.6②2.6 ④6.5⑦1.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	体部下位でややすぼみ上位に向って内湾して立上り開く。底部小さい単孔。内外面篦磨き。	内面煤付着	40	22
H-21-3	H-21 No.80	短頸壺か	①9.4②5.0 ④9.2	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐色 ④完形	口縁部短く内傾。体部内湾する球形状。すぼんでやや突出する平底。外面体部斜位の櫛状工具による細かいハケ目。底部篦調整後撫で。内面ハケ目後撫で。	内外面一部赤色塗彩	40	23
H-21-4	H-21 No.14・43・75・84	甕	①(15.3) ②5.0 ③(19.8) ④15.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④2/3残	口縁部短くくの字状に外傾する。胴部は肩に張りを持ち下位ですぼむ球形状。やや突出する小さい平底で篦調整。外面口縁ハケ目・横撫で、胴部篦撫で。内面ハケ目・指押え。	内外面一部赤色塗彩 接合痕あり	40	23
H-21-5	H-21 No.82	甕	①19.1②6.1 ③24.8④23.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁くの字に外反し、口唇部に刻みあり。胴部上位に張りを持ち下位ですぼむ球形状。突出する小さい平底。内外面ハケ目調整。	内外面赤色塗彩あり	40	23
H-21-6	H-21 No.54・57～59・62・64・93・96・98	壺	②9.0 ③35.8④34.5 頸部径14.8	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁欠損	頸部～口縁部コの字に屈曲し、口唇部直立。胴部は肩から内湾し底部ですぼむ球形状。突出する平底。外面口縁部横撫で、頸部縦・斜の篦磨き。胴部縦篦磨き。底部篦調整。内面口縁ハケ目、胴部篦撫で。		41	23
H-21-7	H-21 No.5・6・7・9・81・86・87	甕	①16.3②7.8 ③22.8④19.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部短くくの字状に外反。胴部上位に張りを持ち下位ですぼむ球形状。少し突出する平底。内外面ハケ目・撫で調整。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着 接合痕あり	41	23
H-21-8	H-21 No.15・49・50・60・63・65・85	甕	①(19.3) ②7.2③25.8 ④25.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/2・胴部1/3欠損	口縁部緩く外反。胴部中位に最大径を持ち下位ですぼむ。突出した平底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目・撫で。内面撫で。	外面煤付着	41	23

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-21-9	H-21 No.1	甕	①18.2②7.6 ③29.6④25.1	①細粒②良好(酸化) ③5YR7/6橙④完形	口縁部やや内湾気味に立上り口唇部に段を持つ。胴部は上位に張りを持ち下位ですぼみ最大径を上位に持つ球形状。小さい平底。口縁横撫で、下位ハケ目後篦磨き。内外面ハケ目後撫で。底部篦調整。	接合痕あり	41	23
H-22-1	H-22 No.13	坏	①11.6④3.9	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く内傾気味に立つ。体部内湾して上位で稜を持つ。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り・撫で。	口縁部赤色塗彩あり 内面煤付着	41	23
H-22-2	H-22 No.14	坏	①12.2④5.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	体部直線的に立上り上位で稜を持ち、内湾して口縁部に至る。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で。底部篦削り。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	41	23
H-22-3	H-22 No.40	坏	①13.0④4.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部内湾して口縁部内傾する。底部やや凹む。内外面口縁横撫で、外面体部ハケ目状の磨き。底部篦削り・撫で。内面ハケ目状の磨き。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	41	23
H-22-4	H-22 No.39	坏	①11.8④4.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④完形	体部内湾して口縁部内傾する。丸底。内外面口縁横撫で。外面体部上位磨き痕、中・下位篦削り・撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	41	23
H-22-5	H-22 No.4	埦	①13.7②6.2 ④6.2	①細粒②良好(酸化) ③10R5/8赤色④完形	体部内湾し口縁部で内傾する。やや突出する上げ底。外面体部篦削り後撫で。底部篦削り。内面体部ハケ目、底部指押え痕。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着 内面接合痕あり	41	23
H-22-6	H-22 No.2	坏	①14.1②3.2 ④6.7	①細粒②良好(酸化) ③10R4/6赤色④完形	体部直線的に外傾し口縁部で屈曲して立上る。小さい上げ底。内外面口縁横撫で。外面体部篦撫で。底部篦削り・撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	41	23
H-22-7	H-22 No.8	小型甕	①11.8②3.4 ③11.6④8.8	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④ほぼ完形	胴部内湾し口縁部でくの字状に外傾。小さい平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で、底部篦削り。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着 外面接合痕あり	41	23
H-22-8	H-22 No.29	埦	①11.1②5.3 ④7.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁部短く外傾。体部内湾。平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で。底部篦削り・撫で。内面ハケ目・撫で。	内外面煤付着	41	23
H-22-9	H-22 No.35	埦	①11.3④8.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/3欠損	口縁部くの字状に外傾。体部内湾。丸底。内外面横撫で。外面体部ハケ目後篦撫で。内面篦撫で痕あり。	外面煤付着 内面接合痕あり	41	23
H-22-10	H-22 No.19	甑	①17.0②5.6 ④9.7⑦1.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部折返し。胴部外傾して開く。平底単孔あり。外面口縁の折返し部横撫で・指押え、胴部撫で。内面撫で。底部篦撫で痕。	内外面赤色塗彩あり	41	23
H-22-11	H-22 No.17	台付片口甕	①12.2 ④(14.5)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④台部欠損	口縁部外傾して立ち片口あり。胴部球形状、下位で台部と接合。外面口縁巻付けによる接合痕を指押え。体部ハケ目後撫で。内面口縁ハケ目、胴部篦撫で。	全体に雑な作り	41	23
H-22-12	H-22 No.1	高坏	①17.4②13.8 ④15.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④坏部1/4欠損	坏部下位で屈曲し外傾して口縁で開く。脚部接合部から下位に向って太くなり裾部はハの字状に開く。外面坏部撫で、体部接合部ハケ目、脚部撫で。内面坏部ハケ目状撫で、脚部指撫で。	接合痕あり	41	23
H-22-13	H-22 No.33	甕	①17.4②6.3 ③21.5④24.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部くの字状に外反。胴部は肩から丸みを持ち底部に向かいすぼむ。やや突出する平底。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り後撫で。底部篦調整。内面篦撫で。	外面煤付着	42	23
H-22-14	H-22 一括	壺	②9.4 ④(22.3)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④胴部中位～底部残	胴部ハの字状に外反し開く。やや上げ底で突出。外面胴部横・斜位のハケ目、指押え痕あり。内面胴部横・斜位のハケ目、篦撫で。	外面煤付着 大型の土器	42	23
H-22-15	H-22 No.30	坩	②5.3 ④12.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/2欠損	口縁部くの字状に開くと思われる。体部球形状で中位が膨らみ下位で丸みを持つ。平底。内外面体部ハケ目・撫で調整。底部内面篦撫で。		42	23
H-22-16	H-22 No.31	甑	①17.0②7.2 ④18.5⑦6.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	胴部内湾して立上り中位から緩く内傾する。底部やや突出、大きい単孔あり。外面体部上位斜位のハケ目。底部篦調整。内面体部斜位の篦撫で、底部指撫で。	内外面接合痕あり 外面煤付着	42	23
H-23-1	H-23 D-1 No.1	ミニチュア(甕)	①(3.2)②3.3 ④6.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁2/3欠損	口縁部外傾して開く。頸部から胴部にかけて緩やかに内湾し下位でやや膨らむ。平底。外面口縁工具痕。胴部篦磨き後撫で・指押え。底部撫で調整。内面撫で。	接合痕あり	42	23
H-23-2	H-23 No.49・51～53・55・56・58 D-1 No.5	甕	①15.8③20.7 ④(18.0)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部・胴部1/3欠損	口縁部S字状。肩に張りを持ち胴部上位に最大径を持つ。中～下位にかけてすぼむ球形状。外面口縁ハケ目後横撫で、胴部縦斜位のハケ目調整。内面口縁横撫で、胴部ハケ目・撫で・指押え。	外面煤付着 内外面接合痕あり	42	24
H-23-3	H-23 No.3・21・40・41・71・74・77	甕	①18.8②8.3 ③29.2④30.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/2・胴部1/4欠損	口縁部くの字状に外傾。肩が張り胴部中位に最大径を持ち下位ですぼむ。突出する平底。外面胴部ハケ目後篦撫で。底部篦調整。内面胴部上位ハケ目・撫で	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	42	24
H-23-4	H-23 No.76	壺	①21.3②7.2 ③(25.3) ④28.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④口縁1/3・胴部1/2欠損	二重口縁。上段は外傾し、下段は緩くくの字状に外反。胴部は中位に最大径を持つ球形状。やや上げ底ですぼむ。口縁～頸部にかけて連続する刻み目をもつ突帯を貼付ける。口縁縦の棒状浮文を2本づつ6単位とその中間にボタンを2個づつ貼付けたと思われる。外面胴部上位横のハケ目、ボタンを貼付ける。中位～下位篦磨き・篦撫で・ハケ目。底部篦調整。内面篦磨き・篦撫で。	内外面煤付着	42	24
H-23-5	H-23 No.13・16・22・25・32～34・39・50・62・69・75	壺	①(17.6) ②8.0③34.6 ④37.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④口縁欠損	口縁部は外傾し、口唇部に稜を持ち外反する。胴部は球形状。平底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目後篦磨き。底部篦調整。内面胴部篦撫で、底部ハケ目・撫で。	内外面赤色塗彩あり 接合痕あり	43	24
H-23-6	H-23 No.54 H-28 No.10・16・32・34・52	壺	②6.0③25.4 ④(21.0)	①細粒②良好(酸化) ③10R4/6赤色 ④口縁欠損	胴部上位から丸みを持ち中位に最大径を持つ。下位ですぼむ球形状。突出する平底。外面胴部上位ハケ目後撫で、下位篦削り・篦撫で。底部篦調整。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり	43	24
H-24-1	H-24 No.4	ミニチュア(鉢)	①4.3②1.8 ④2.1	①細粒②良好(酸化) ③10YR7/4鈍い黄橙 ④ほぼ完形	体部外傾して口縁部に至る。突出する平底。外面ハケ目・指押え痕。内面ハケ目調整。		43	24

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-24-2	H-24 No.1	小型甕	①11.0②4.3 ④9.8	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6橙④完形	頸部から外傾し口縁部で短く内湾する。胴部上位に張りを持つ球形状。小さい平底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目、下位撫で調整。内面撫で・指押え痕。	口縁部赤色塗彩あり 焼成時の割れ目あり 外面煤付着	43	24
H-25-1	H-25 No.9	坩	①10.6②4.4 ④8.7	①細粒②良好(酸化) ③10YR4/1灰褐色 ④口縁・体部一部欠損	口縁部外傾して開く。体部丸みを持つ。底部は小さい円形で凹む。外面口縁横撫で、胴部ハケ目後撫で。内面口縁ハケ目後撫で、体部撫で。		43	24
H-26-1	H-26 No.25	器台	①(7.4)②9.5 ④6.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④器受部2/3・脚部一部欠損	器受部くの字状に開き中央に穿孔あり。脚部裾が大きく開き穿孔が4ヶ所ある。外面接合部横撫で。脚部篦磨き、体部撫で。脚部内部ハケ目。		43	24
H-26-2	H-26 No.4	坩	①10.7④10.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR7/6橙 ④口～頸部1/2・体部一部欠損	頸部からやや外傾して立上り口縁部に至る。体部緩やかな球形状を呈し底部に至る。内外面口縁横撫で、口～頸部篦磨き。底部内面指押え。		43	24
H-26-3	H-26 No.43・44	手捏土器	②6.0④4.8	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/4鈍い黄橙 ④口縁一部欠損	体部緩やかに湾曲して口縁部に至る。表面凸凹している。平底。外面指押え。内面指撫で。		43	24
H-26-4	H-26 No.15・16・18～20	坏	①13.0④4.7	①細粒②良好(酸化) ③10YR3/1黒色(外) 10YR7/3鈍い黄橙(内) ④口縁1/3欠損	丸底の底部から内湾し口縁部で内傾する。内外面口縁横撫で。体部篦削り後撫で。内面撫で。		43	24
H-27-1	H-27 No.6	壺	④(3.0) 厚さ0.8	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④小破片	外面櫛型工具による波状文を施文。内面撫で。	樽系	43	24
H-28-1	H-28 No.60	坩	①14.3④4.0	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④口縁1/3欠損	底部中央がやや凹み、緩やかに内湾、頸部で外反し立上り口縁部に至る。外面口縁横撫で・篦磨き、体部篦削り後撫で。内面撫で・剝れ痕。	内外面赤色塗彩あり	43	24
H-28-2	H-28 No.1・4・5・10	台付甕	①16.4 ③(28.0) ④(13.4)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁～胴部上位1/2欠損	口縁部S字状。胴部上位は丸みを持ち、最大径は中位よりやや上にある。外面頸～胴部斜位のハケ目、胴部に粘土の貼付痕・指押え痕。内面胴部篦撫で・指押え。		43	24
H-29-1	H-29 No.16	坩	①(11.7) ④5.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/4鈍い褐色 ④2/3残	底部中央が凹み、丸みを持ち頸部から外傾し立上り口縁部に至る。口径が大きく体部に比べ口縁部が長い。外面口縁～頸部篦磨き、体部篦削り・撫で。底部指押えによる窪み。内面撫で。		43	24
H-29-2	H-29 P3 No.1	小型甕	②4.3③9.3 ④(7.1)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	胴部中位に張りを持つ球形状。小さく突出する平底。外面胴部篦磨き後撫で。内面撫で、底部指押え。	内外面接合痕あり	43	24
H-29-3	H-29 No.1	壺	④(5.0) 厚さ0.6	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④小破片	外面櫛状工具による波状文と平行沈線を施文。内面篦撫で。	樽系	43	24
H-30-1	H-30 No.4	埦	①12.6②3.2 ④6.7	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/4明赤褐色 ④完形	体部内湾し口縁部で短く内傾する。平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着 内面接合痕あり	44	24
H-30-2	H-30 No.3	埦	①9.3②5.0 ④5.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部中位に張りを持ち内湾する。上げ底気味。内外面口縁横撫で。体部篦削り・撫で。内面指押え痕。	外面煤付着 接合痕あり	44	24
H-30-3	H-30 No.13	埦	①14.0②6.4 ④6.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	体部緩やかに内湾し口縁やや内傾する。底部やや突出し上げ底。口縁部巻付け痕。外面篦撫で。内面撫で・剝れ痕。	外面煤付着	44	24
H-30-4	H-30 No.7	埦	①9.8②4.0 ④6.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部中位に張りを持ち内湾する。やや凹む平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦磨き後撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	44	24
H-30-5	H-30 No.5	埦	①10.7②5.4 ④8.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁部短く外反。体部内湾する。やや上げ底気味。内外面口縁横撫で・体部撫で。外面底部篦削り後撫で。	外面煤付着 接合痕あり	44	24
H-30-6	H-30 No.20・23・26	高坏	①19.6②12.8 ④16.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・裾部一部欠損	坏部下部に弱い稜を持ち外傾して開く。脚部裾がハの字状に緩やかに開く。外面体部篦撫で・剝れ痕。脚部篦磨き。脚部内面篦による掻き取り痕あり。		44	24
H-30-7	H-30 No.27・29	甕	②7.2 ③17.0 ④(16.2)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・胴部一部欠損	胴部中位に最大径を持つ球形状。短く突出する上げ底。内外面ハケ目・撫で。	外面煤付着 接合痕あり	44	24
H-30-8	H-30 No.16・17・25 貯 No.4～6	甕	①16.8②7.7 ③21.8④20.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/3鈍い褐色 ④ほぼ完形	頸部から直線的に外傾し口縁部で短く外反する。胴部中位やや上に最大径を持ち下位ですぼむ縦長の球形状。やや上げ底気味。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目後撫で。内面篦撫で。	外面煤付着 接合痕あり	44	25
H-30-9	H-30 No.12・19・21・22	甑	①25.5 ②(8.8) ④18.6 ⑦(8.0)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁・底部一部欠損	胴部緩やかに内湾して口縁部で短く外反する。底部すぼみ、大きな単孔あり。内外面口縁横撫で。外面胴部篦撫で。内面胴部撫で、穿孔部篦撫で調整。	外面煤付着	44	25
H-33-1	H-33 No.31(1)	坩	①14.1②4.0 ④16.7	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/4鈍い赤褐色 ④体部1/3欠損	頸部外傾して立上り口縁部で短く立つ。体部は球形状。底部はややくぼむ。内外面口縁横撫で・篦磨き。外面体部篦磨き・撫で。内面篦磨き・撫で・ハケ目。	外面赤色塗彩あり 接合痕あり	44	25
H-33-2	H-33 No.77	台付甕	①14.6③20.4 ④(22.2)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④胴部1/2弱欠損	口縁部S字状で短く外傾する。胴部肩から内湾し中位に最大径を持ち下位ですぼむ。台部の接合痕あり。内外面口縁横撫で。外面胴部上位縦斜位のハケ目、中～下位斜位のハケ目。内面胴部篦撫ですり消し、底部篦当痕あり。	外面煤付着	44	25
H-34-1	H-34 No.2	手捏土器	①7.5②6.3 ④3.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④底部一部欠損	体部短く直立する。平底。内外面指撫で。		44	25
H-34-2	H-34 No.4	手捏土器	①5.2②4.5 ④3.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/4鈍い橙 ④完形	体部は直立して口縁部に至る。平底。内外面指撫で。	接合痕あり	44	25
H-34-3	H-34 No.3	手捏土器	①6.0②5.1 ④3.9	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/3鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部直立し口縁部に至る。平底。内外面指撫で。	接合痕あり	44	25
H-34-4	H-34 No.19	手捏土器	①9.3②5.0 ④6.2 ⑦0.3	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁部折り返し、爪形の連続刻み痕あり。平底で中央に小さい穿孔あり。胴部内湾し口縁に至る。胴部指押え。底部内面篦磨き。	接合痕あり	44	25

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-39-1	H-39 No.18	坏	①14.0 ④6.2	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁部直立。体部丸みを持つ。丸底。外面口縁横撫で。体部篦削り・撫で。内面撫で。		45	25
H-39-2	H-39 No.33(1)	坏	①14.3②6.0 ④4.7	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	体部外傾して口縁部に至る。平底。内外面口縁横撫で。外面体部撫で、底部篦削り。		45	25
H-39-3	H-39 No.34	坏	①11.4②4.9 ④4.4	①細粒②良好(酸化) ③10YR7/4鈍い黄橙 ④2/3残	体部内湾して口縁部に至る。平底。口縁横撫で。体部撫で。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 外面煤付着	45	25
H-39-4	H-39 No.35	坏	①13.4 ④5.8	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	丸底から内湾し口縁部に至る。外面口縁横撫で、体部篦削り後撫で。内面ハケ目・指押え痕。		45	25
H-39-5	H-39 No.3	坏	④6.0 頸部径(11.7)	①細粒②良好(酸化) ③2.5YR5/6明赤褐色 ④口縁一部欠損	体部内湾し口縁部で外反する。丸底。外面口縁部横撫で、体部篦磨き・撫で。内面篦磨き痕。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	45	25
H-39-6	H-39 No.42	塊	①11.4②4.0 ④7.7	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/4鈍い黄橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部内湾して底部でややすぼむ。小さい平底。内外面口縁横撫で。外面体部ハケ目後撫で。内面撫で。	接合痕あり	45	25
H-39-7	H-39 No.41	塊	①10.5④8.0	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/4鈍い黄橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部内湾。僅かに平底を呈す。内外面口縁横撫で。外面体部上位ハケ目後撫で、中位～下位ハケ目・指押え痕。体部内面指撫で・指押え。	接合痕あり	45	25
H-39-8	H-39 No.1・9	塊	①11.4②4.2 ④7.9	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR2/1黒色(3/4) 7.5YR7/4鈍い橙(1/4) ④完形	体部内湾し口縁部で外傾する。小さい平底。外面口縁横撫で、体部～底部篦削り後撫で。内面口縁～体部横撫で。		45	25
H-39-9	H-39 No.15	塊	①10.5②4.3 ④8.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 一部7.5YR2/1黒色 ④ほぼ完形	体部球形状。口縁部短く外傾する。小さい平底。内外面口縁横撫で。外面体部撫で、底部篦削り。内面体部撫で、底部篦磨き。	体部赤色塗彩あり 外面煤付着	45	25
H-39-10	H-39 No.40	塊	②4.5 ④(8.0)	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部上位に稜を持って内傾し底部に至る。平底。外面体部斜位のハケ目・指押え。内面撫で。	接合痕あり	45	25
H-39-11	H-39 No.8	塊	①12.0②4.6 ④9.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁一部欠損	口縁部短く外反。体部緩やかに内湾して底部ですぼむ。平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り・撫で。内面撫で	外面煤付着 接合痕あり	45	25
H-39-12	H-39貯 No.3	塊	①11.5 ④8.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④完形	口縁短く外傾する。体部上位に張りを持ち、緩やかに内湾する。平底気味。内外面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着	45	25
H-39-13	H-39 No.32	塊	①11.5②5.2 ④7.3	①中粒②良好(酸化) ③5YR5/6明赤褐色 一部7.5YR2/1黒色 ④3/4残	体部内湾気味に立上り口縁部で小さく内傾する。小さく突出した平底。内外面口縁横撫で。外面体部縦の撫で。底部指押え。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり	45	25
H-39-14	H-39貯 No.1	塊	①10.2④6.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR7/6橙④完形	体部緩やかに内湾して口縁部で内傾する。丸底。外面口縁横撫で、体部篦削り。内面撫で。		45	25
H-39-15	H-39 No.6	塊	①11.2②5.4 ④6.4	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙(1/2) 7.5YR2/1黒色(1/2) ④完形	体部丸みを持って立上り口縁部に至る。突出する小さい平底。外面口縁横撫で・指押え痕、体部篦調整。底部指押え痕。内面横へのハケ目。		45	25
H-39-16	H-39 No.20	塊	①10.8②6.0 ④8.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙④ほぼ完形	体部緩やかに内湾して口縁部に至る。ややすぼむ平底。内外面口縁横撫で。外面体部篦削り後撫で。内面撫で。	外面赤色塗彩あり 接合痕あり 内外面煤付着	45	25
H-39-17	H-39 No.39	坩	①8.3④8.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/1灰褐色(3/4) 5YR6/6橙(1/4) ④ほぼ完形	頸部から内湾気味に開く。体部下位に張りを持つ球形状。内外面口縁横撫で・指押え痕。外面体部ハケ目・篦削り後撫で。内面撫で、底部指撫で。		45	25
H-39-18	H-39 No.5	小型壺	①8.9③11.7 ④16.0 頸部径6.1	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/6橙(1/2) 7.5YR2/1黒色(1/2) ④完形	丸底から扁球状に立ち上り、頸部ですぼみ直立気味に外傾して口縁部でやや外反する。内外面口縁横撫で。外面頸部・胴部篦磨き。内面頸部ハケ目、胴部撫で。	接合痕あり	45	26
H-39-19	H-39 No.11	小型壺	①8.5②5.5 ④14.0	①細粒②良好(酸化) ③10R4/8赤色④ほぼ完形	頸部からやや内湾気味に立上り口縁部に至る。胴部球形状。傾斜する平底。外面口～胴部横撫で。胴部篦撫で。内面撫で・指押え痕あり。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着 接合痕あり	45	25
H-39-20	H-39 No.2	手捏土器	①5.3②3.8 ④5.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙④完形	体部内湾気味に口縁部に至る。平底。内外面撫で調整。		45	26
H-39-21	H-39 No.4	手捏土器	①7.5②4.6 ④4.5	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙(1/2) 7.5YR2/1黒色(1/2) ④完形	体部外傾して口縁部で内湾する。平底。内外面口縁横撫で、外面体部撫で調整。内面撫で・指押え。		45	26
H-39-22	H-39 No.7	手捏土器	①8.6②4.0 ④4.3	①細粒②良好(酸化) ③10YR3/1黒褐色 一部10YR7/2鈍い黄橙 ④完形	体部湾曲しながら口縁部に至る。突出した平底。外面指押え後撫で調整。内面撫で。		45	26
H-39-23	H-39 No.10	小型壺	①6.8②2.4 ③8.4④10.3	①細粒②良好(酸化) ③10YR2/1黒色④完形	胴部上位で膨らみ、頸部で緩く外反し口縁部で内湾する。底部は小さく中央が凹む。内外面口縁横撫で。外面頸部指押え・篦磨き、胴部篦磨き。内面撫で。		45	26
H-39-24	H-39 一括	小型壺	①9.4③14.3 ④13.5	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙④完形	口縁部短く外傾。肩に張りを持ち胴部は緩やかに底部に向かって内湾する。内外面口縁横撫で。外面胴部篦削り後撫で。内面撫で。	内外面赤色塗彩あり 外面煤付着 内面接合痕あり	45	26
H-39-25	H-39 No.23	小型壺	①(12.2) ②5.9③16.4 ④16.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR5/3鈍い褐色 ④口縁2/3欠損	口縁部緩やかに外傾。胴部下位に張りを持つ扁球形状を呈す。すぼんで突出した平底。外面口～胴部上位ハケ目後撫で・指押え痕。胴部下位篦削り後撫で。胴部内面ハケ目・撫で。	外面煤付着 内面接合痕あり	45	26
H-39-26	H-39 No.33(2)	甕	①16.8②7.1 ③20.4④26.4	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6鈍い橙 ④口縁・胴部一部欠損	口縁部緩やかに外傾して開く。胴部は肩から緩やかに湾曲し底部ですぼむ。胴中位に最大径を持つ。平底。内外面口縁横撫で。外面口～胴部ハケ目。底部篦削り後撫で。内面撫で。	接合痕あり 外面煤付着	46	26
H-39-27	H-39 No.28・29・31	高坏	①19.0②14.5 ④17.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/3鈍い褐色 ④坏部・裾部一部欠損	坏部弱い稜を持ち脚部は裾広がりに開く。外面坏部口縁横撫で。体部～脚部ハケ目・撫で。内面撫で・指押え痕。	内外面赤色塗彩あり 内外面煤付着	46	26

出土位置-No.	台帳番号	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	器形の特徴、成・整形方法	備考	実測図	図版
H-39-28	H-39カ No.9	高坏	①18.5 ②(14.4) ④15.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6橙 ④口縁・裾部一部欠損	坏部下位で屈曲し緩やかに内湾して口縁部で緩く外反する。脚部膨らみがあり、内面空洞。裾部緩やかに開く。内外面口縁横撫で。外面坏部～脚部ハケ目後撫で調整。内面坏部ハケ目後撫で、脚部撫で。	接合痕あり	46	26
H-39-29	H-39カ No.7	高坏	①17.9②13.8 ④16.1	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/6橙 ④坏部1/3欠損	坏部下位に弱い稜を持ち外傾して開く。脚部は裾部がハの字に開く。内外面坏部横撫で。外面体部・脚部ハケ目・指押え。内面撫で。	接合痕あり	46	26
H-39-30	H-39 No.24	高坏	①10.2②7.3 ④8.6	①細粒②良好(酸化) ③10YR6/3鈍い黄橙 ④坏部1/3欠損	坏部は内湾して立上り口縁部でさらに内傾する。脚部は短くハの字に開く。外面体部篦削り後撫で、脚部指押え。内面体部指押え、脚部篦削り・指押え。		46	26
H-39-31	H-39 一括	小型甕	①12.2②5.6 ③16.0④17.4	①細粒②良好(酸化) ③5YR5/4鈍い赤褐色 ④ほぼ完形	口縁部くの字状に外反。胴部は緩やかな球形を呈し底部ですぼむ。胴中位に最大径を持つ。平底。内外面口縁横撫で、胴部ハケ目後撫で。	内外面赤色塗彩あり 接合痕あり 外面煤付着	46	26
H-39-32	H-39 No.45	甕	①15.5②7.4 ③22.7④25.6	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/2欠損	口縁部折り返し、外傾してくの字状に開く。胴部中位に張りを持つ緩やかな球形状、底部ですぼむ。突出する平底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目後撫で。内面撫で。	外面下位赤色塗彩あり 外面煤付着	46	26
H-39-33	H-39カ No.1	甕	①(17.0) ②7.8③24.2 ④27.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/2欠損	口縁部くの字状に外傾。胴部は肩から丸みを持ち底部ですぼむ。胴中位に最大径を持つ。上げ底気味。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目後撫で。胴部内面ハケ目・撫で。	外面胴部赤色塗彩あり	46	26
H-39-34	H-39 No.44 貯 No.2	甕	①16.5②6.4 ③21.0④24.0	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙 ④口縁1/3・胴部一部欠損	口縁部くの字状に外傾。胴部は肩から丸みを持ち下半部から底部に向かい尻すぼみ。胴上位に最大径を持つ。小さい上げ底。内外面口縁横撫で。外面胴部上位ハケ目、下位撫で。内面ハケ目・撫で。	外面煤付着 内面接合痕あり	47	26
H-39-35	H-39 No.36	甕	①16.4②7.0 ③23.4④26.2	①細粒②良好(酸化) ③5YR6/4鈍い橙 ④ほぼ完形	口縁部くの字状に外傾。胴部中位に張りを持つ緩やかな球形状で底部ですぼむ。突出する平底。内外面口縁横撫で。外面胴部ハケ目後撫で。内面撫で、底部ハケ目。		47	26
H-39-36	H-39 No.17	鎌	⑤(7.6)⑥2.8 厚さ0.4	④鎌の元の部分残	鎌の柄の接合部と刃の部分の上下から持ち手が左と思われる。重さ36.25g。		47	26
H-39-37	H-39 No.58	砥石	⑤7.8⑥4.4 厚さ3.1	③10YR4/1褐灰色 ④ほぼ完形	8面に使用痕あり。粘板岩。重さ120g。		47	26
X88, Y60 グリッド	X88, Y60 グリッド	ミニチュア	①(2.7)②2.5 ④4.2⑦(0.2)	①細粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い赤褐色 ④1/2残	口縁部から緩く内湾して胴中位やや下に張りを持ち、下位ですぼむ。口～胴部篦撫で調整。内面撫で調整。	胴部上位に1ヵ所穿孔あり	47	26

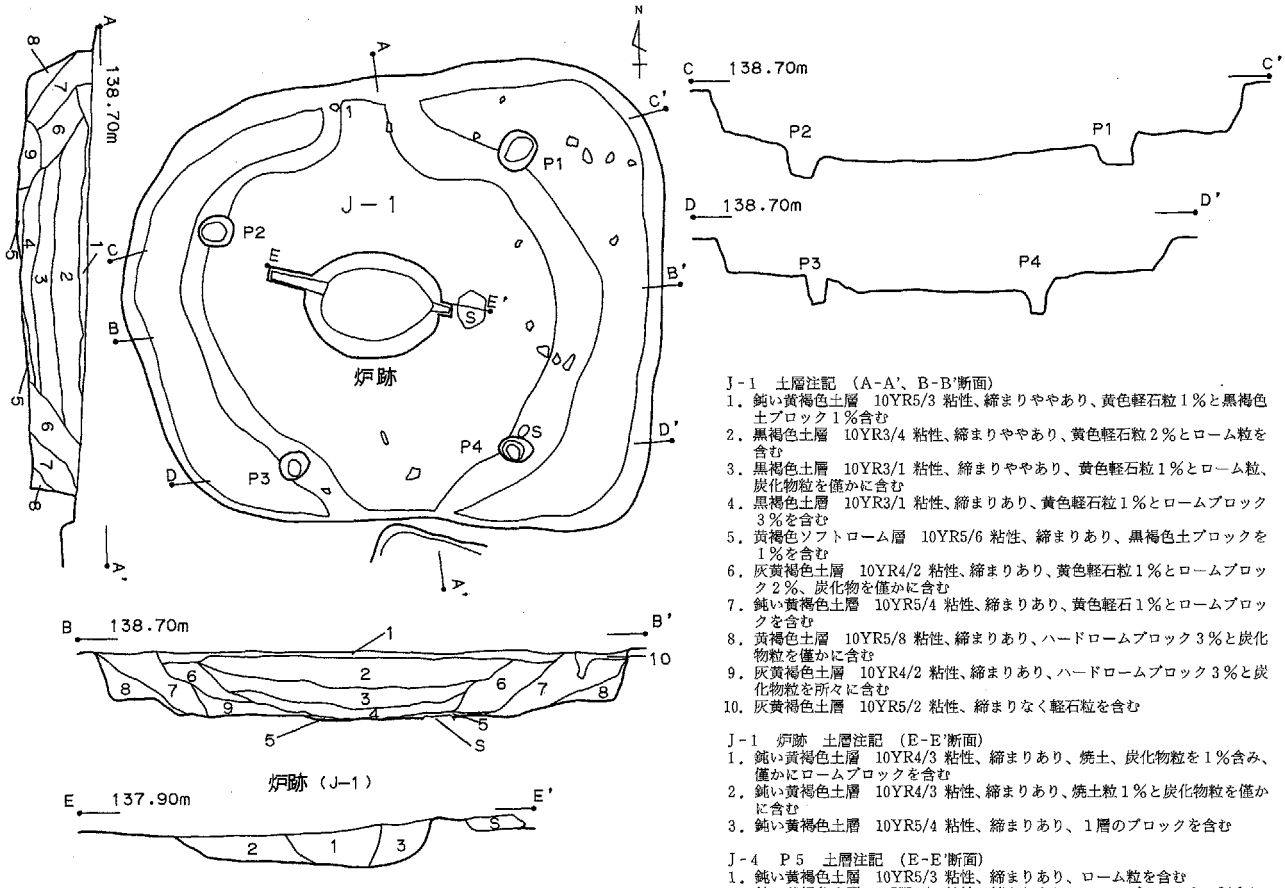
注) 出土土器観察表の記載は以下の基準で行った。
①胎土は、細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0～1.9mm)、粗粒(2.0mm以上)とした。
②焼成は、極良、良好、不良の3段階。
③法量の単位はcm、( )は現存値を記載した。
④カはカマド、貯は貯蔵穴を表す。
観察表の出土位置-No.は各遺構ごとの番号で報告書の付番、台帳番号は調査時の付番を表す。

第23表 縄文土器観察表

出土位置-No.	台帳番号	器形	①胎土②焼成③色④残存⑤厚さ	成・整形方法	備考	実測図	図版
J-1-1	J-1 No.1	鉢	①中粒②良好(酸化)③5YR5/3鈍い赤褐色 ④小破片⑤0.9cm	平行沈線を数本単位で間隔をあけて横位に施文	諸磯b	47	26
J-1-2	J-1 一括	鉢	①中粒②良好(酸化)③7.5YR5/3鈍い褐色 ④小破片⑤0.7cm	巾5mmの半裁竹管による平行沈線を縦へ施文。耳たぶ状の粘土瘤を貼り付けている	諸磯c	47	26
J-1-3	J-1 一括	鉢	①細粒②良好③7.5YR6/4鈍い橙色 ④小破片⑤0.8cm	口縁三角の鋸歯状刻を施文。その下に巾2mmの平行沈線数本単位で施文し三角鋸歯状横位弧状の沈線を施文する。沈線間には三角の陰刻が施される	諸磯c	47	26
J-2-1	J-2 No.1	鉢	①細粒②良好(酸化)③7.5YR7/3鈍い橙色 ④小破片⑤0.6cm	巾7mmの横・斜位の半裁竹管による平行沈線を施文	諸磯b	47	26
J-3-1	J-3 No.7	鉢	①中粒②良好(酸化) ③7.5YR6/4鈍い橙色 ④口～胴部片⑤0.8cm	口縁部は巾5mmの半裁竹管による平行沈線を横へ施文し、胴部は斜と縦の沈線。口～胴部の沈線の上に耳たぶ状の粘土瘤を貼り付けている	諸磯c	47	26
J-4-1	J-4 No.21	鉢	①中粒②良好(酸化)③5YR6/4鈍い橙色 ④胴部片⑤1.1cm	胴部に羽状縄文で菱形を構成する。繊維土器	黒浜	47	26
J-4-2	J-4 一括	鉢	①中粒②良好(酸化)③5YR5/4鈍い赤褐色 ④小破片⑤0.6cm	巾4mmの縦・斜位の半裁竹管による平行沈線を施文	諸磯c	47	26

注) 出土土器観察表の記載は以下の基準で行った。
①胎土は、細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0～1.9mm)、粗粒(2.0mm以上)とした。
②焼成は、極良、良好、不良の3段階。
縄文土器観察表の出土位置-No.は各遺構ごとの番号で報告書の付番、台帳番号は調査時の付番を表す。

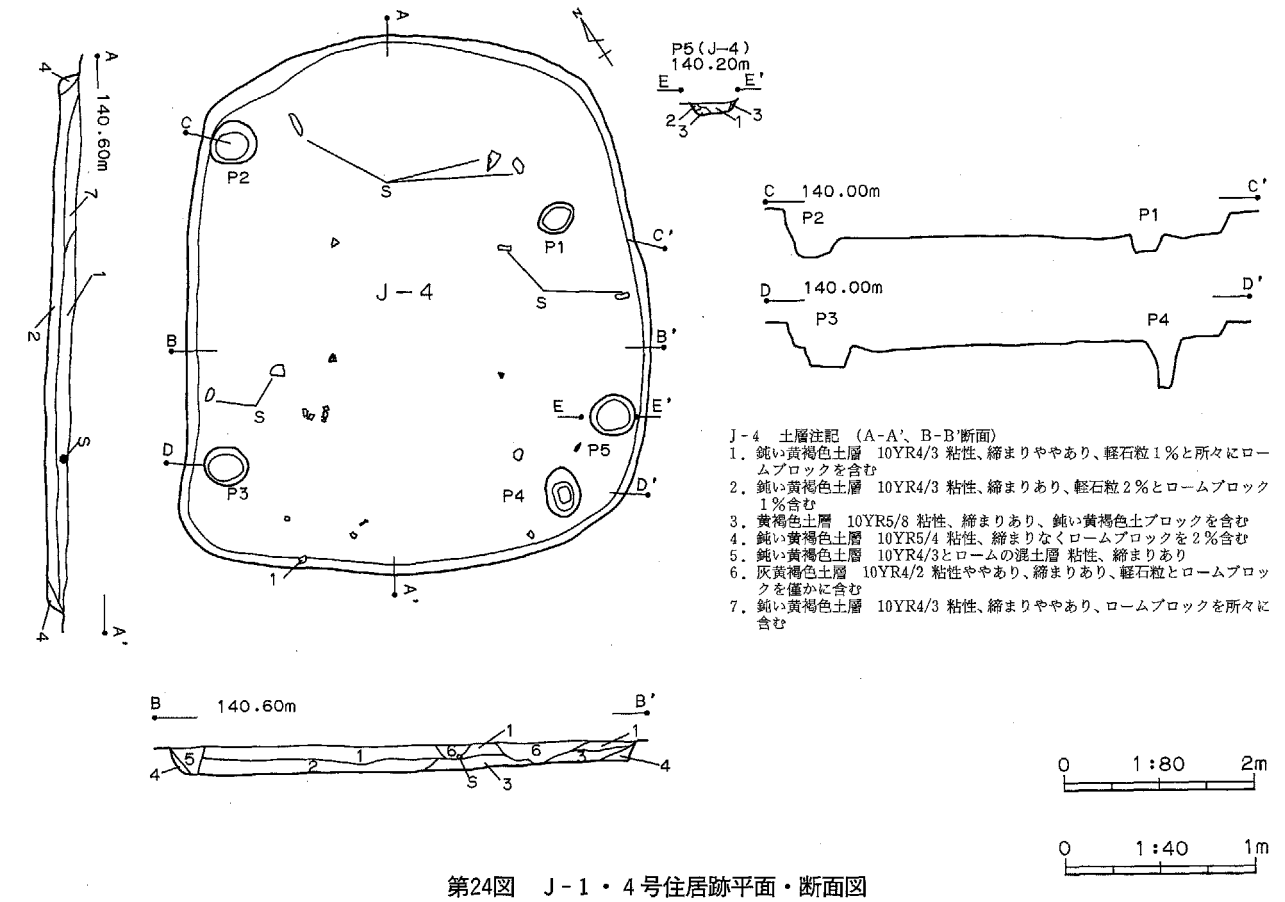
第23図　五代中原Ⅱ遺跡平面図



J－1　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりややあり、黄色軽石粒１％と黒褐色土ブロック１％含む
2. 黒褐色土層　10YR3/4 粘性、締まりややあり、黄色軽石粒２％とローム粒を含む
3. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりややあり、黄色軽石粒１％とローム粒、炭化物粒を僅かに含む
4. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりあり、黄色軽石粒１％とロームブロック３％を含む
5. 黄褐色ソフトローム層　10YR5/6 粘性、締まりあり、黒褐色土ブロックを１％を含む
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、黄色軽石粒１％とロームブロック２％、炭化物を僅かに含む
7. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、黄色軽石１％とロームブロックを含む
8. 黄褐色土層　10YR5/8 粘性、締まりあり、ハードロームブロック３％と炭化物粒を僅かに含む
9. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、ハードロームブロック３％と炭化物粒を所々に含む
10. 灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりなく軽石粒を含む

J－1　炉跡　土層注記　(E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、焼土、炭化物粒を１％含み、僅かにロームブロックを含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、焼土粒１％と炭化物粒を僅かに含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、１層のブロックを含む

J－4　Ｐ５　土層注記　(E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりあり、ローム粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりあり、ロームブロックを１％含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームのブロックと粒を含む



J－4　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりややあり、軽石粒１％と所々にロームブロックを含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、軽石粒２％とロームブロック１％含む
3. 黄褐色土層　10YR5/8 粘性、締まりあり、鈍い黄褐色土ブロックを含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなくロームブロックを２％含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3とロームの混土層 粘性、締まりあり
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性ややあり、締まりあり、軽石粒とロームブロックを僅かに含む
7. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりややあり、ロームブロックを所々に含む

0　1:80　2m

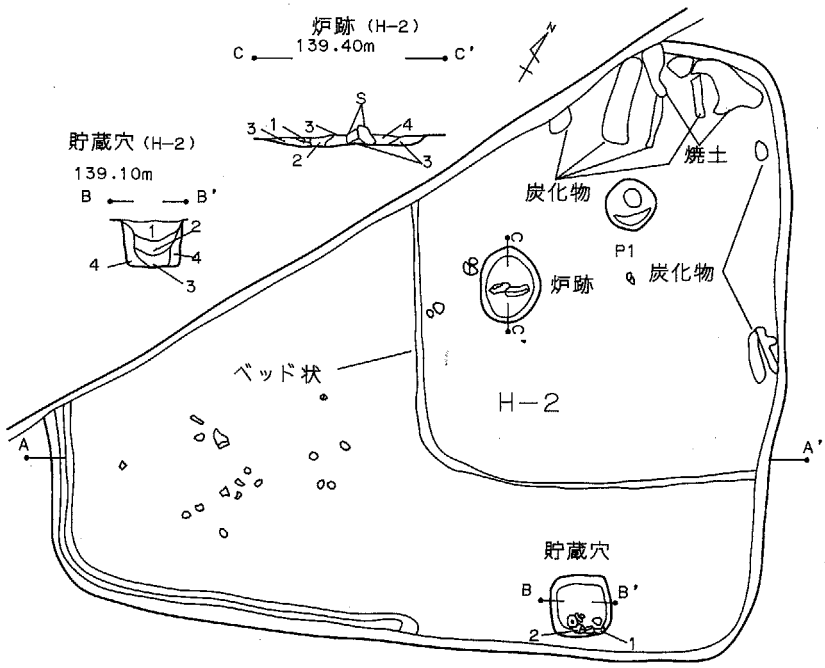
0　1:40　1m

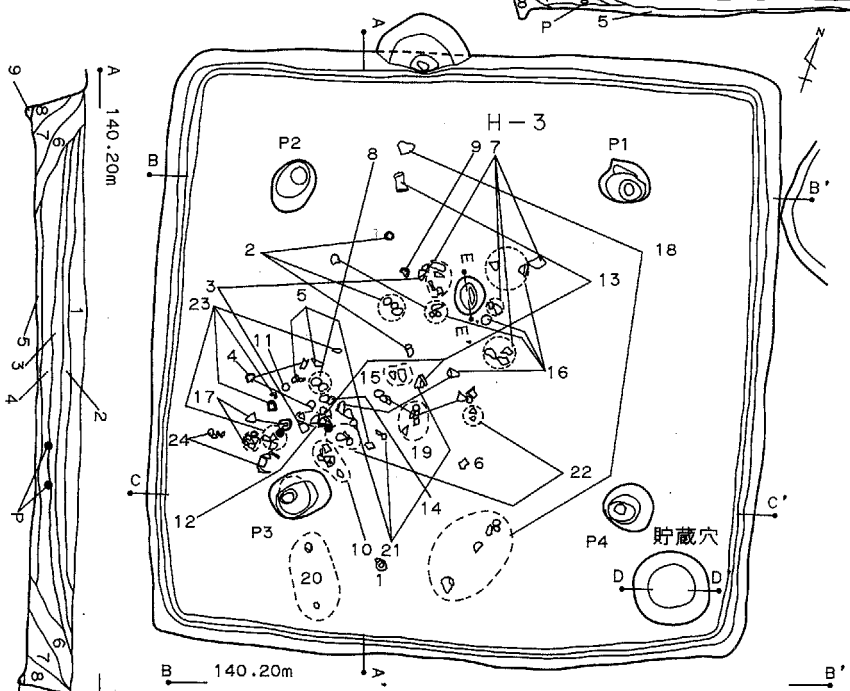
第24図　J－1・4号住居跡平面・断面図

H-2　炉跡　土層注記　(C-C'断面)
1. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性なく、締まりあり、白色軽石 φ 2～3㎜を含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、軽石粒を含む(カクラン)
3. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、焼土・炭化物粒を含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土・炭化物粒を3層よりも多く含む

H-2　土層注記　(A-A'断面)
1. 試掘トレンチ(埋土)
2. 褐灰色土層　10YR4/1 粘性なく、締まりややあり、Hr-FP 軽石 φ 2～3㎜を1％と黒褐色土ブロック、ローム粒を1％含む
3. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性なく、締まりややあり、As-C 軽石 φ 1～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％と黒褐色土層ブロックを3％と焼土、炭化物を1％含む
5. 黄褐色土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、灰黄褐色土ブロックを3％含む
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、軽石 φ 1～2㎜を1％とローム粒を1％含む
7. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性なく、締まりややあり、軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロック1％以上含む
8. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロック1％と炭化物を所々含む

H-2　貯蔵穴　土層注記　(B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 2～3㎜を所々含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、1層より As-C 軽石を多く含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを所々含む
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む

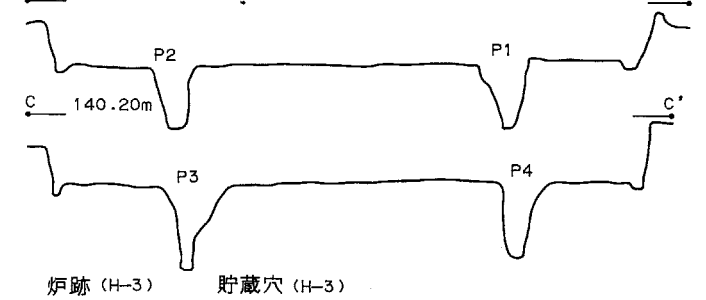


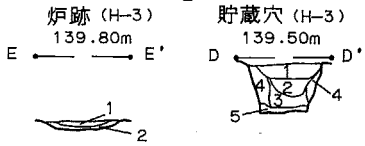


H-3　炉跡　土層注記　(E-E'断面)
1. 明黄褐色土層　5YR5/6 焼土ブロックと黒褐色土10YR3/1を含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土粒と灰・炭化物粒を所々に含む

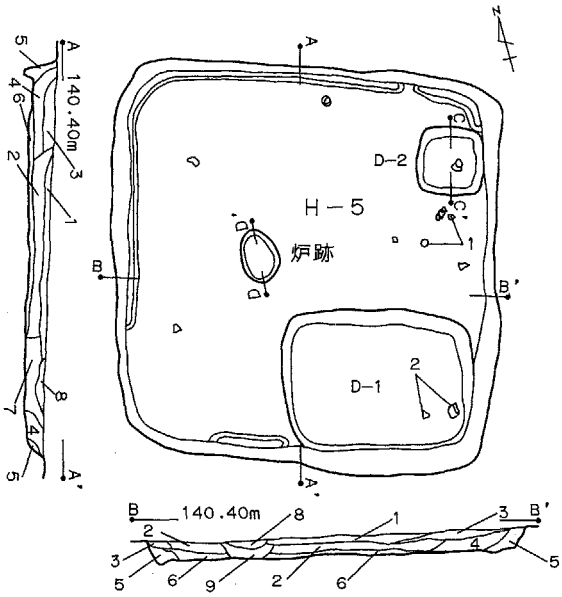
H-3　貯蔵穴　土層注記　(D-D'断面)
1. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ローム粒を1％と僅かに焼土粒を含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ローム粒・ロームブロックを1％含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを2％含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％含む

H-3　土層注記　(A-A'断面)
1. 黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、Hr-FP 軽石 φ 5～10㎜を所々に含み、As-C 軽石粒を含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％と明黄褐色土ブロックを所々に含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％と明黄褐色土ブロックを1％含む
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、黒褐色土ブロックとローム土を含み、As-C 軽石 φ 2～3㎜を1％含む
5. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％含み軽石粒を所々に含む
6. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを1％と As-C 軽石 φ 1～2㎜を所々に含む
7. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを3％含み僅かに炭化物粒を含む
8. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％と軽石粒を含む
9. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを1％含む



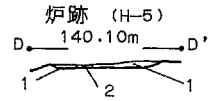


第25図　H-2・3号住居跡平面・断面図

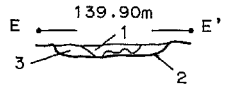


H-5　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを1％含む
2．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を2％とロームブロックを1％含む
3．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を2％と僅かにロームブロックを含む
4．黒褐色土層　10YR3/4 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を3％とロームブロックを含む
5．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、ロームブロックを2％含む
6．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを3％含む
7．鈍い黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
8．鈍い黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％と僅かにローム粒を含む
9．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを3％含む

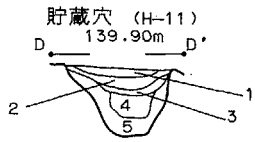
H-5　D-2　土層注記　(C-C'断面)
1．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～3㎜を2％含みロームブロックを1％含む
2．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、1層よりロームブロックを多く含む
3．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームブロック1％と所々に炭化物を含む



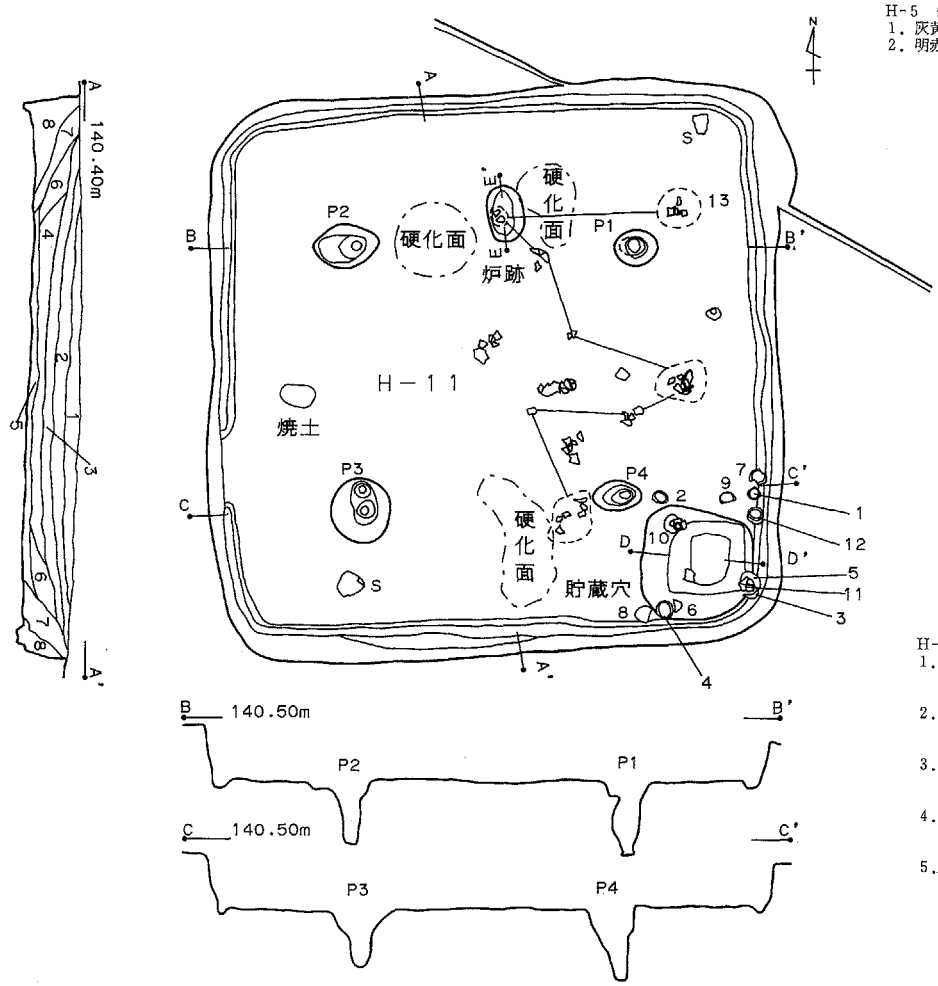
H-5　炉跡　土層注記　(D-D'断面)
1．灰黄褐色土層　10YR4/2 焼土・炭化物粒を含む
2．明赤褐色焼土ブロック



H-11　炉跡　土層注記　(E-E'断面)
1．灰褐色土層　7.5YR6/2 粘性、締まりややあり、焼土・炭化物・灰を含む
2．明赤褐色焼土ブロック　炭化物・灰を含む
3．橙色焼土ブロック　炭化物を含む



H-11　貯蔵穴　土層注記　(D-D'断面)
1．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を3％とローム粒を僅かに含む
2．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜と僅かに炭化物を含む
3．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜とローム粒を2％含む
4．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％とローム粒を含む
5．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを1％含む

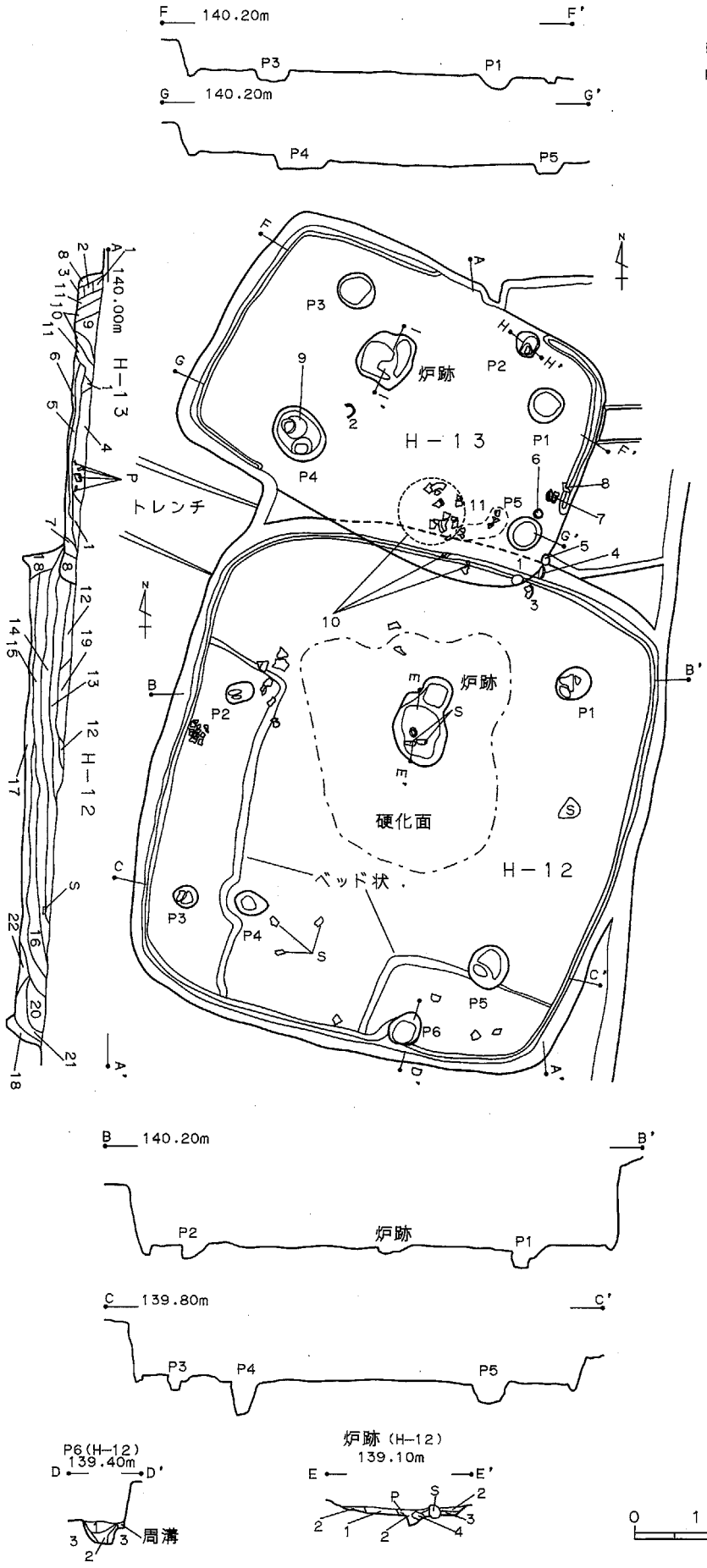


H-11　土層注記　(A-A'断面)
1．黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％含む
2．黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～3㎜を2％と僅かに明黄褐色土を含む
3．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％と Hr-FP 軽石 φ 2～3㎜を所々に含み、明黄褐色土ブロックを1％含む
4．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を3％とローム粒を所々に含む
5．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、軽石粒を含み、ロームブロックを3％含む
6．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とローム粒を2％と僅かに炭化物を含む
7．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを1％含む
8．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石粒を僅かに含みロームブロックを2％含む

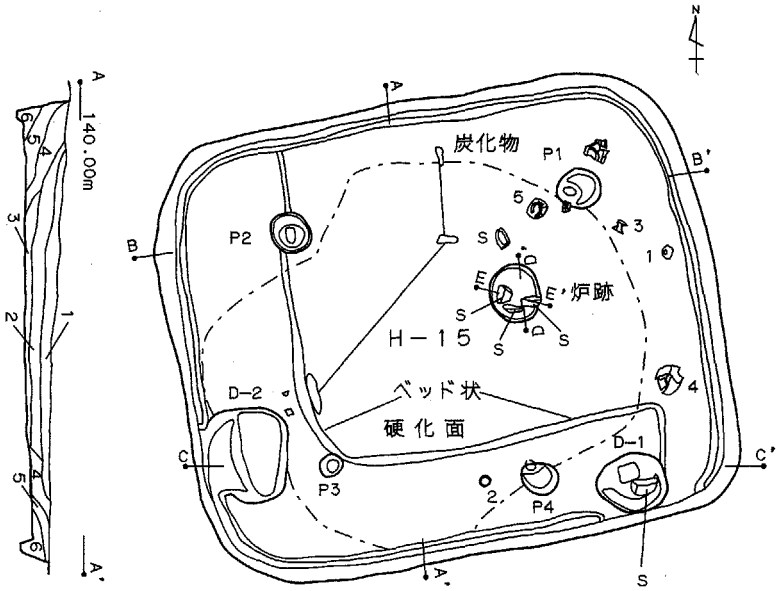
0　1:80　2m

0　1:40　1m

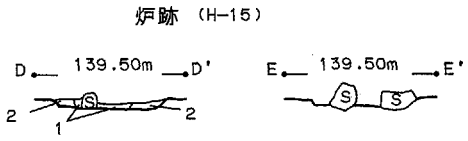
第26図　H－5・11号住居跡平面・断面図



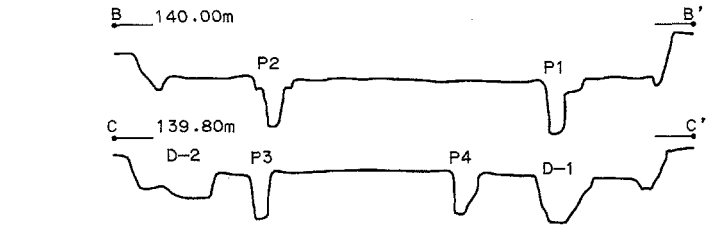
第27図 H-12・13号住居跡平面・断面図

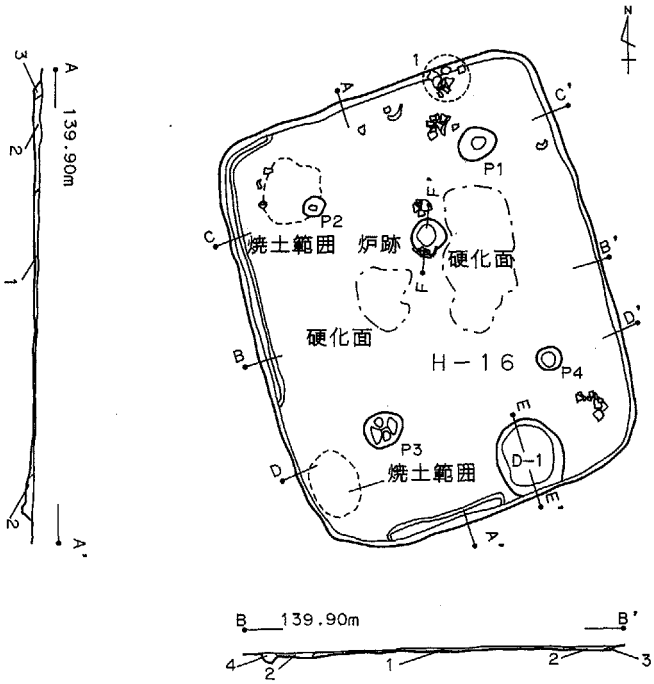


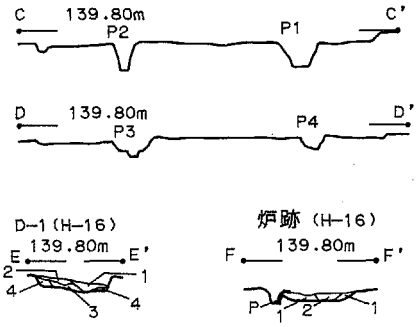
H-15 土層注記 (A-A'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/6 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1%とロームブロックを2%と黒褐色土を1%含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/6 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を2%とロームブロックを1%含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1%とロームブロックと炭化物を僅かに含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/6 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を1%とロームブロックを1%含む
5. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜を3%と黒褐色土ブロック・ロームブロックを1%含む
6. 黒褐色土層 10YR3/2 粘性、締まりなく、As-C軽石粒と僅かにローム粒を含む



H-15 炉跡 土層注記 (D-D'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、焼土ブロックと灰を含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、僅かに焼土粒とロームブロックを含む







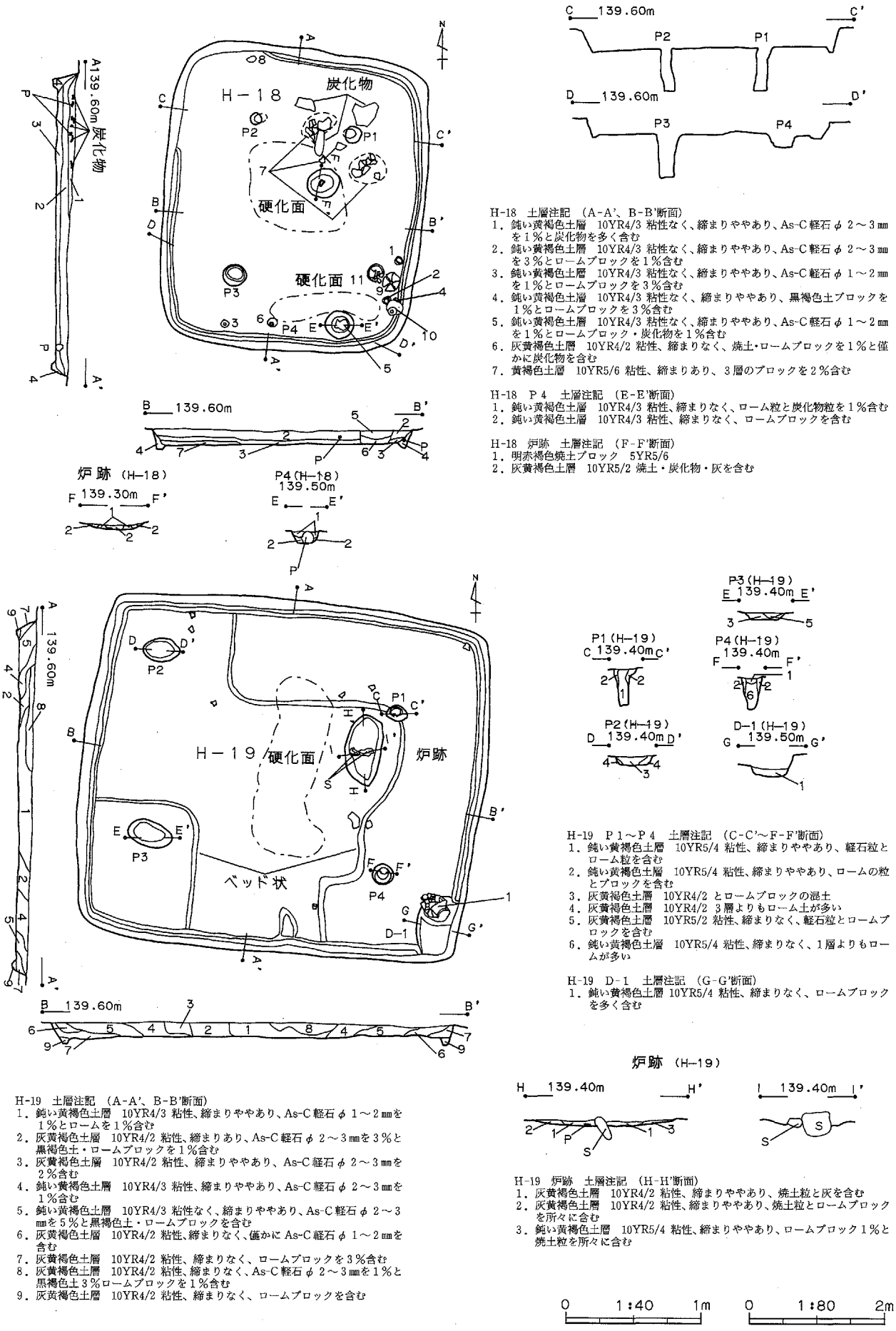
H-16 D-1 土層注記 (E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロック1%と軽石粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ローム粒を所々に含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを1%含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりあり、ロームブロックを2%含む

H-16 炉跡 土層注記 (F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロックを含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土・炭化物・ロームブロックを含む

H-16 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1%含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を所々に含みローム粒を1%含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、ロームブロックを1%含む
4. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、僅かに軽石粒を含む

0 1:80 2m　0 1:40 1m

第28図 H-15・16号住居跡平面・断面図



H-18　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％と炭化物を多く含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを3％含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、黒褐色土ブロックを1％とロームブロックを3％含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロック・炭化物を1％含む
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、焼土・ロームブロックを1％と僅かに炭化物を含む
7. 黄褐色土層　10YR5/6 粘性、締まりあり、3層のブロックを2％含む

H-18　P4　土層注記　(E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、ローム粒と炭化物粒を1％含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを含む

H-18　炉跡　土層注記　(F-F'断面)
1. 明赤褐色焼土ブロック　5YR5/6
2. 灰黄褐色土層　10YR5/2 焼土・炭化物・灰を含む

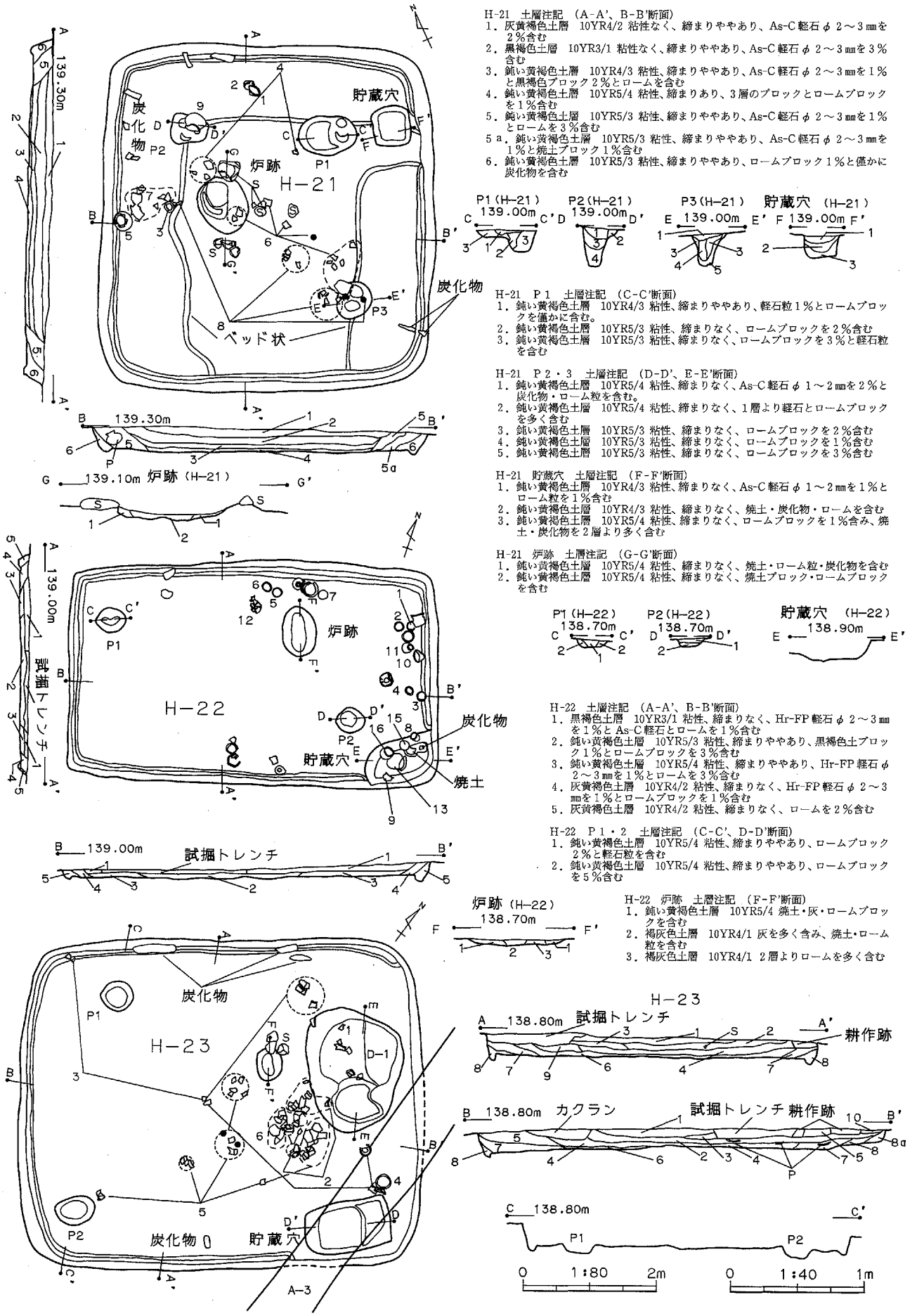
H-19　P1～P4　土層注記　(C-C'～F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、軽石粒とローム粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームの粒とブロックを含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 とロームブロックの混土
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 3層よりもローム土が多い
5. 灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりなく、軽石粒とロームブロックを含む
6. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、1層よりもロームが多い

H-19　D-1　土層注記　(G-G'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームブロックを多く含む

H-19　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームを1％含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％と黒褐色土・ロームブロックを1％含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を2％含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を5％と黒褐色土・ロームブロックを含む
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、僅かにAs-C軽石 φ 1～2㎜を含む
7. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％含む
8. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％と黒褐色土3％ロームブロックを1％含む
9. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを含む

H-19　炉跡　土層注記　(H-H'断面)
1. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土粒と灰を含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土粒とロームブロックを所々に含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロック1％と焼土粒を所々に含む

第29図　H-18・19号住居跡平面・断面図



H-21 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を2％含む
2. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％と黒褐色ブロック2％とロームを含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりあり、3層のブロックとロームブロックを1％含む
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％とロームを3％含む
5a. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％と焼土ブロック1％含む
6. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、ロームブロック1％と僅かに炭化物を含む

H-21 P1 土層注記 (C-C'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりややあり、軽石粒1％とロームブロックを僅かに含む。
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを2％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％と軽石粒を含む

H-21 P2・3 土層注記 (D-D'、E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を2％と炭化物・ローム粒を含む。
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、1層より軽石とロームブロックを多く含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを2％含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％含む

H-21 貯蔵穴 土層注記 (F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とローム粒を1％含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、焼土・炭化物・ロームを含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含み、焼土・炭化物を2層より多く含む

H-21 炉跡 土層注記 (G-G'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、焼土・ローム粒・炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、焼土ブロック・ロームブロックを含む

H-22 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性、締まりなく、Hr-FP軽石 φ 2～3㎜を1％とAs-C軽石とロームを1％含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、黒褐色土ブロック1％とロームブロックを3％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、Hr-FP軽石 φ 2～3㎜を1％とロームを3％含む
4. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、Hr-FP軽石 φ 2～3㎜を1％とロームブロックを1％含む
5. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームを2％含む

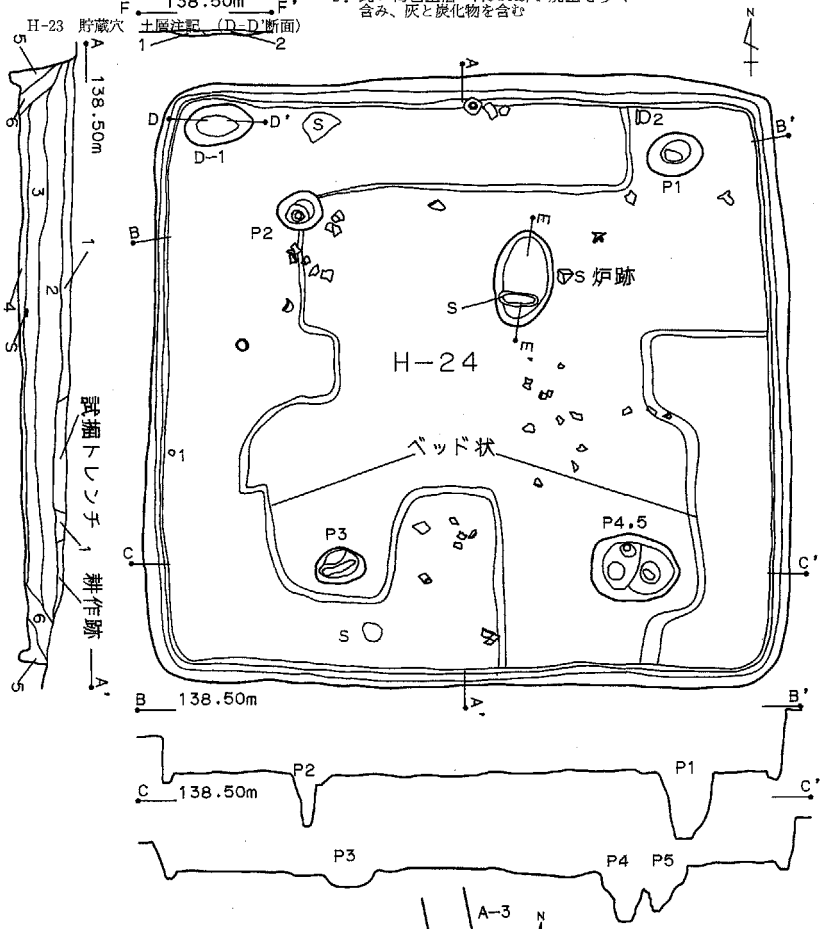
H-22 P1・2 土層注記 (C-C'、D-D'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロック2％と軽石粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロックを5％含む

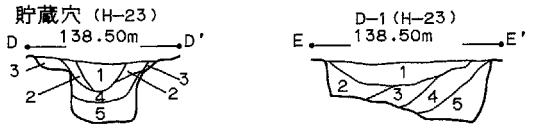
H-22 炉跡 土層注記 (F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 焼土・灰・ロームブロックを含む
2. 褐灰色土層 10YR4/1 灰を多く含み、焼土・ローム粒を含む
3. 褐灰色土層 10YR4/1 2層よりロームを多く含む

第30図 H-21～23号住居跡平面・断面図

H-23　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性なく、締まりあり、Hr-FP 軽石 φ 2～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％とロームを多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりあり、ロームブロックを1％含む
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを1％含む
5. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を3％と焼土・炭化物を所々に含む
6. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、ロームブロックを5％と黒褐色土ブロックを2％含む
7. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性なく、締まりややあり、ロームブロックを1％と僅かに炭化物粒を含む
8. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む
8a. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、炭化物を含みロームブロックを含む
9. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりややあり、ロームブロックを1％含む
10. 褐灰色土層　10YR4/1 粘性、締まりあり、Hr-FP 軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを所々に含む(道路状遺構A-3)

H-23　炉跡　土層注記　(F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 焼土・灰・炭化物を含み、ローム粒を含む
2. 鈍い褐色土層　7.5YR5/4 焼土を多く含み、灰と炭化物を含む

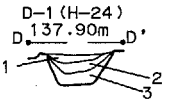




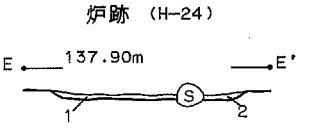
1. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 2～3㎜を3％とローム粒を含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、軽石粒1％と焼土・炭化物粒を含む
3. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックと僅かに炭化物を含む
4. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、1層より多く炭化物を多く含み、焼土粒を含む
5. 灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 2～3㎜を1％と焼土・炭化物を僅かに含む

H-23　D-1　土層注記　(E-E'断面)
1. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％と Hr-FP 軽石 φ 2～5㎜を2％含み、僅かに焼土粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、1層を2％とロームブロックを1％含む
3. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームブロックを3％と僅かに炭化物を含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、1層のブロックとロームブロックを1％、軽石 φ 3～5㎜を所々に含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、1層を5％とロームブロックを3％含む

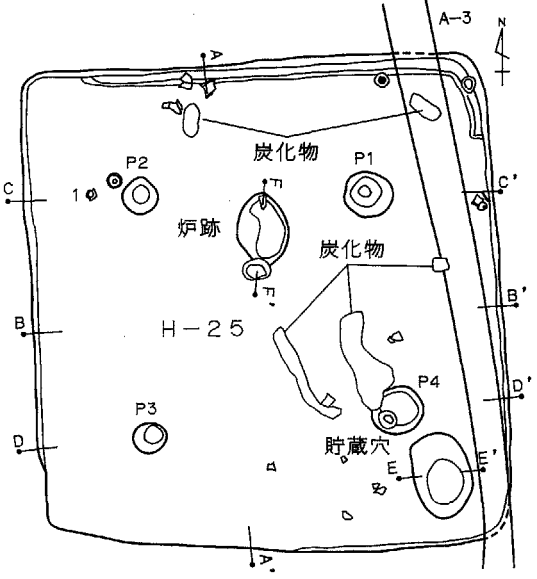
H-24 土層注記　(A-A'断面)
1. 褐灰色土層　10YR4/1 粘性なく、締まりあり、黒褐色土ブロックを5％含み、Hr-FP 軽石 φ 2～3㎜を1％と As-C 軽石 φ 2～3㎜を3％含む
2. 褐灰色土層　10YR4/1 粘性なく、締まりあり、黒褐色土ブロックを3％含み、Hr-FP 軽石 φ 2～3㎜を2％と As-C 軽石 φ 1～2㎜を5％、明黄褐色土ブロック2％含む
3. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性なく、締まりあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を5％とロームブロックを所々に含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、ロームブロックを2％含む
5. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、ロームブロックを1％含む
6. 鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりあり、黒褐色土・ロームブロックを1％含み、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％含む

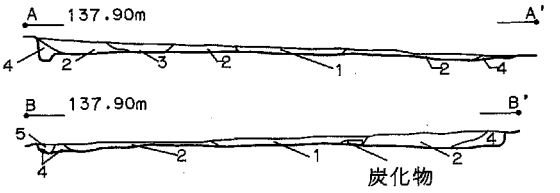


H-24　D-1　土層注記　(D-D'断面)
1. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％と Hr-FP 軽石 φ 3～5㎜を所々に含む
2. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりなく、1層より軽石が少ない
3. 黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりなく、軽石粒を含み、ロームブロックを1％含む



H-24　炉跡　土層注記　(E-E'断面)
1. 灰黄褐色土層　10YR4/2 締まりややあり、焼土ブロック・灰を含み、ロームブロックを1％含む
2. 灰黄褐色土層　10YR4/2 締まりややあり、焼土粒を含む

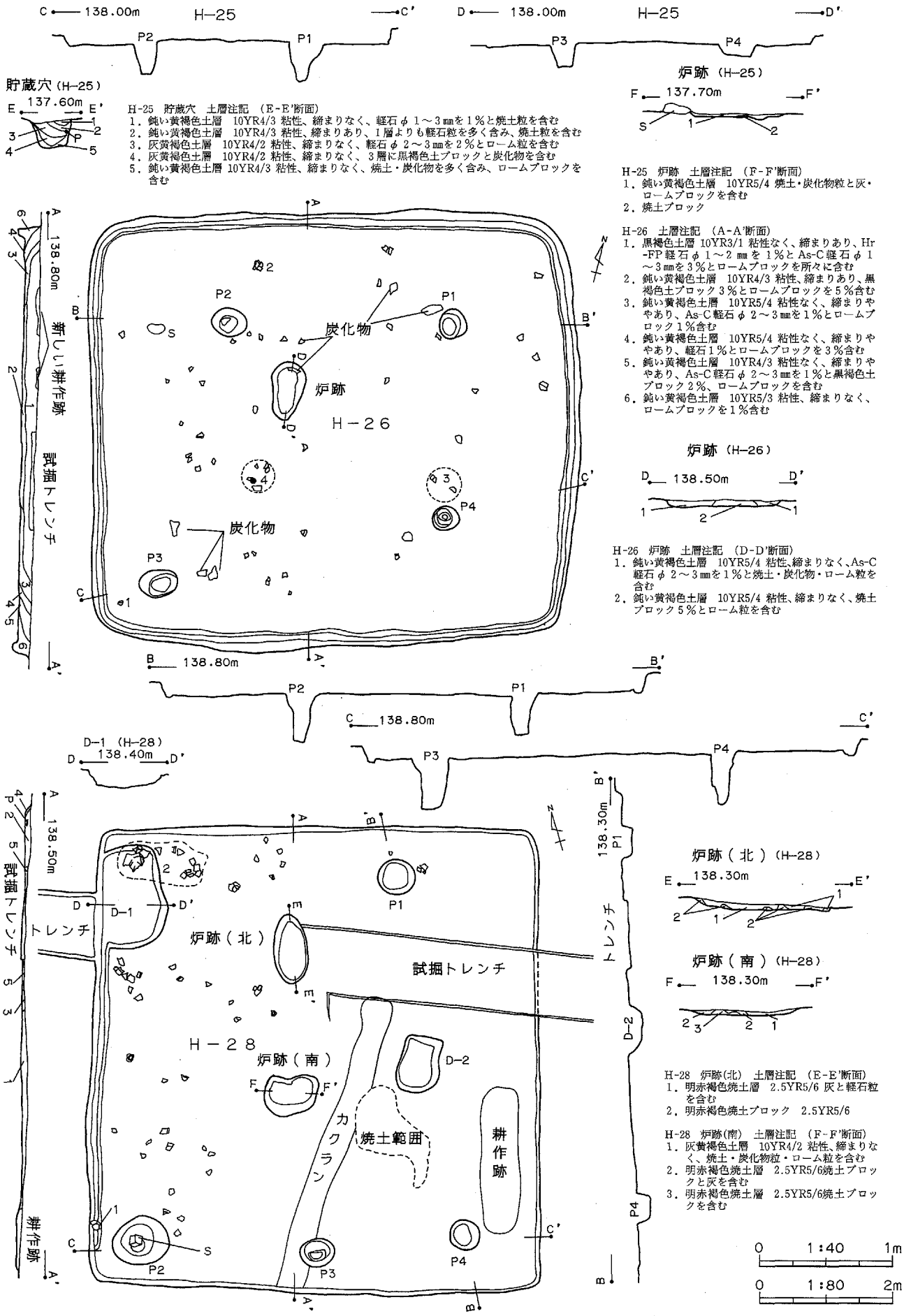




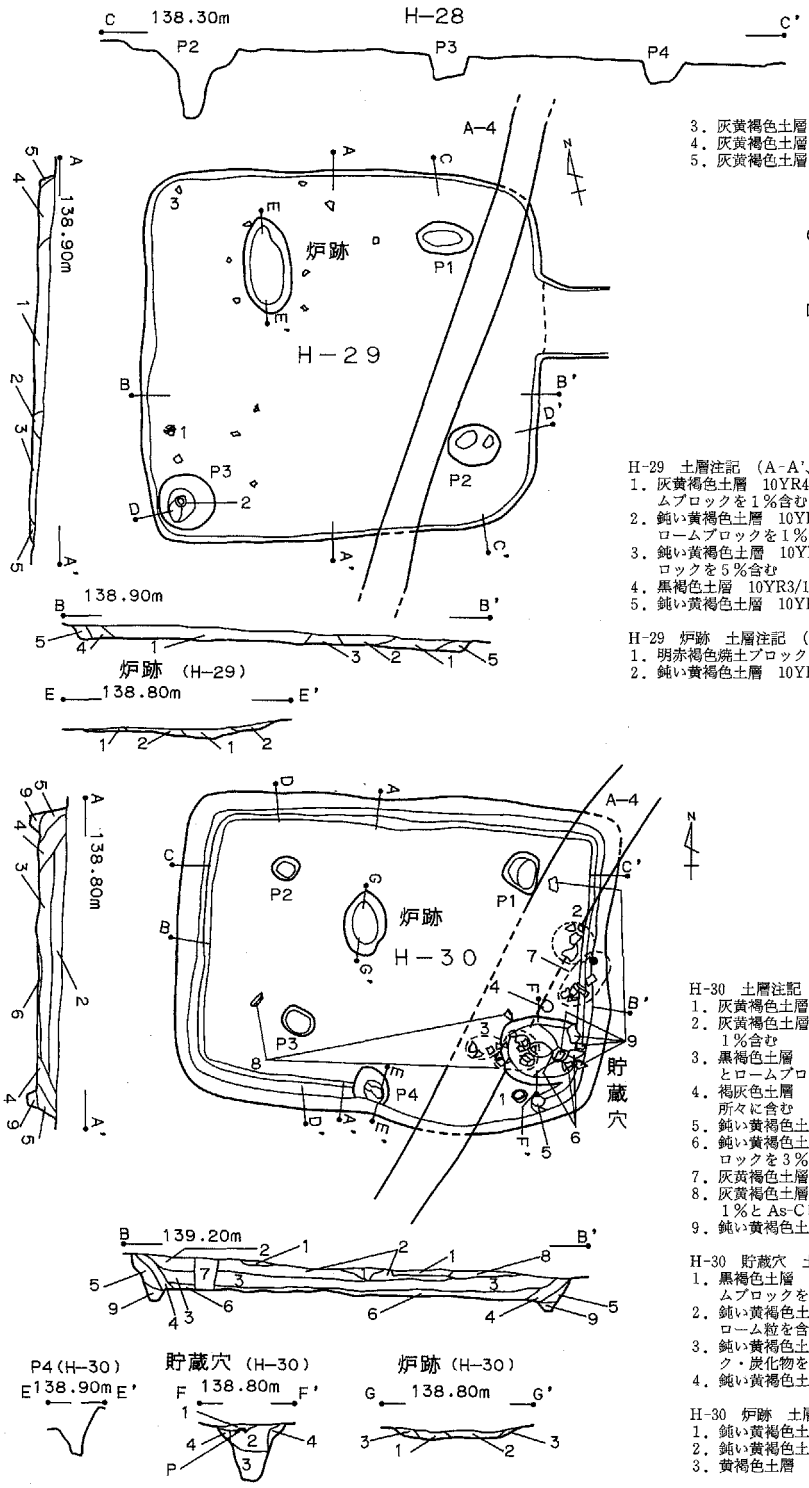
H-25　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりややあり、ロームブロックを1％と炭化物を所々に含む
2. 灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりややあり、ロームブロックを5％と炭化物粒を僅かに含む
3. 灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性なく、締まりややあり、As-C 軽石を1％とロームブロック・炭化物を1％含む
4. 鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％と軽石粒を僅かに含む
5. 褐灰色土層　10YR4/1 粘性、締まりなく、軽石粒を含む(新しい耕作跡)

0　1:80　2m　　0　1:40　1m

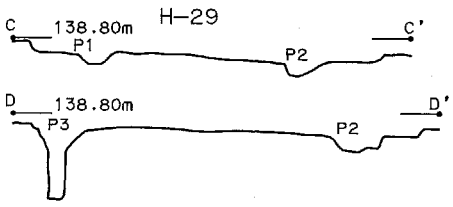
第31図　H-23～25号住居跡平面・断面図



第32図 H-25・26・28号住居跡平面・断面図

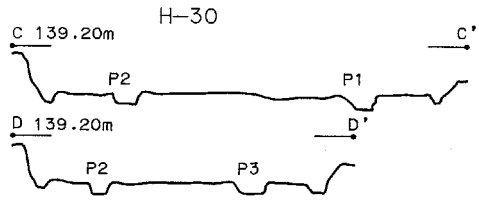


H-28 土層注記 (A-A'断面)
1. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性なく、締まりあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/1 粘性、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％と炭化物を1％含む
3. 灰黄褐色土層 10YR4/1 粘性、締まりややあり、ロームブロックを5％含む
4. 灰黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、黒褐色土ブロックを3％含む
5. 灰黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、焼土ブロックを3％含む



H-29 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～3㎜を5％とロームブロックを1％含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～3㎜を3％とロームブロックを1％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりあり、As-C軽石 φ 2～3㎜を1％とロームブロックを5％含む
4. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 2～3㎜を3％とロームを含む
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、ロームを3％含む

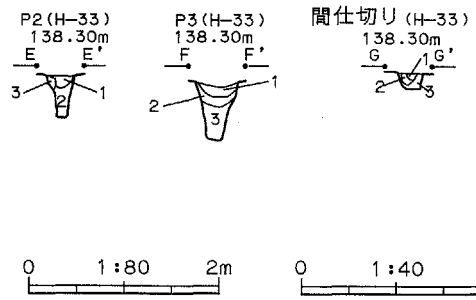
H-29 炉跡 土層注記 (E-E'断面)
1. 明赤褐色焼土ブロック 5YR5/6
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土ブロックを多く含み、僅かに炭化物・灰を含む



H-30 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR5/2 粘性、締まりなく、軽石粒を含む(耕作跡)
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％含む
3. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを僅かに含む
4. 褐灰色土層 10YR4/1 粘性、締まりなく、As-C軽石 φ 1㎜を1％と炭化物を所々に含む
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりなく、軽石粒とローム粒を僅かに含む
6. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、黒褐色土とソフトロームブロックを3％含む
7. 灰黄褐色土層 10YR5/2 粘性、締まりない(耕作跡)
8. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性ややあり、締まりあり、Hr-FP軽石 φ 3～5㎜を1％とAs-C軽石粒・ローム粒を僅かに含む(道路状遺構A-4)
9. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 ロームブロックを含む

H-30 貯蔵穴 土層注記 (F-F'断面)
1. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性、締まりなく、Hr-FP軽石 φ 2～3㎜を1％とロームブロックを含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなくAs-C軽石1％と僅かに焼土粒・ローム粒を含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、As-C軽石を含み、ロームブロック・炭化物を僅かに含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/6 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む

H-30 炉跡 土層注記 (G-G'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土・ローム粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土ブロック・ロームブロック・黒褐色土を含む
3. 黄褐色土層 10YR5/6 焼土ブロックを含む



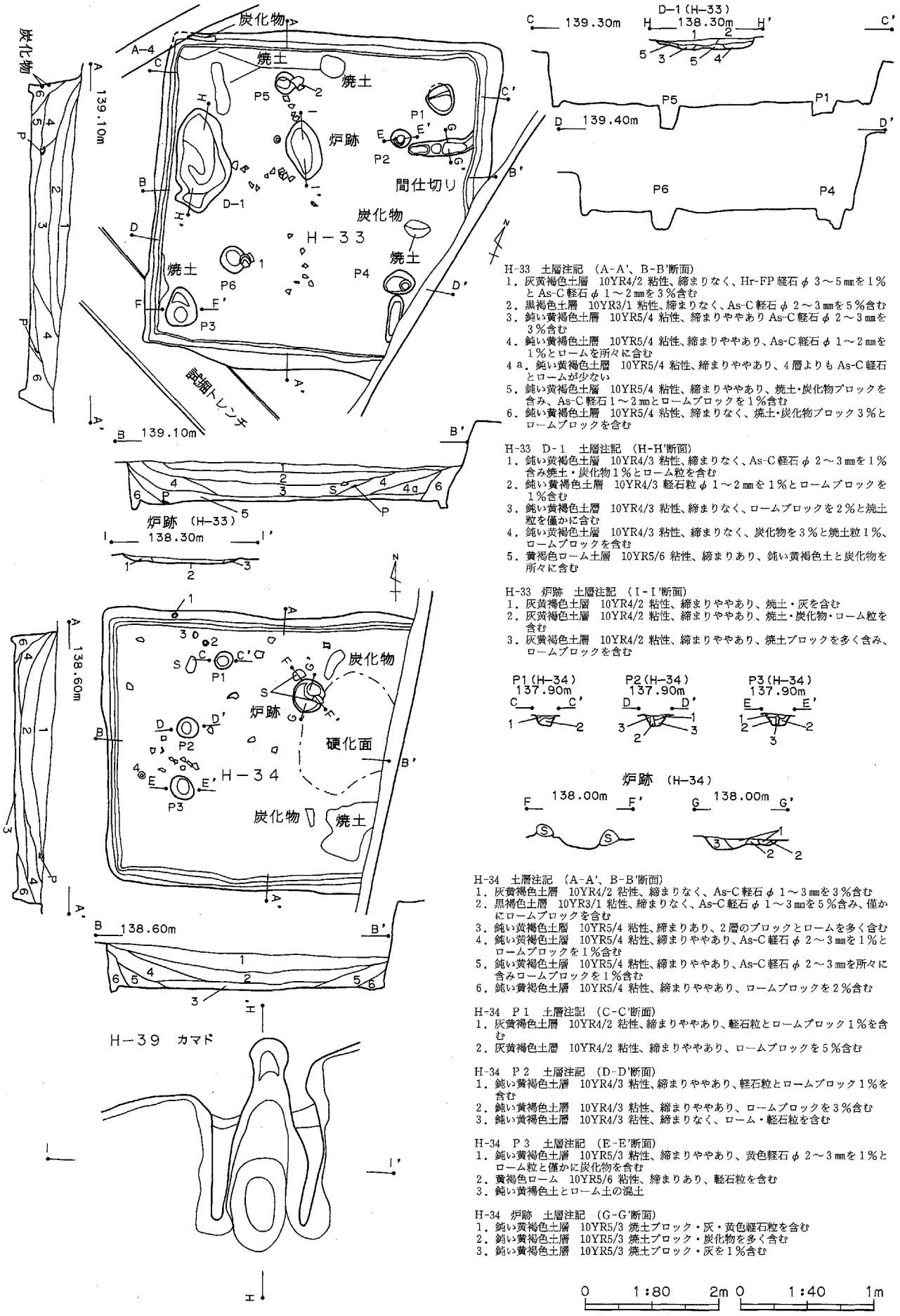
H-33 P2 土層注記 (E-E'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、黄色軽石粒を1％とローム粒を含む
2. 1層よりもローム粒を多く含む
3. 灰黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを2％含む

H-33 P3 土層注記 (F-F'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、黄色軽石 φ 1～2㎜を1％とローム粒・焼土・炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％と僅かに炭化物を含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、ロームブロックを2％と僅かに炭化物を含む

H-33 間仕切り 土層注記 (G-G'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、ローム粒を2％含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％と僅かに炭化物粒を含む
3. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、軽石粒を含み、ロームブロックを1％含む

0 1:80 2m　　0 1:40 1m

第33図 H-28～30・33号住居跡平面・断面図



H-33 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、Hr-FP 軽石 φ 3～5㎜を1％とAs-C 軽石 φ 1～2㎜を3％含む
2. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 2～3㎜を5％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり As-C 軽石 φ 2～3㎜を3％含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 1～2㎜を1％とロームを所々に含む
4a. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、4層よりも As-C 軽石とロームが少ない
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土・炭化物ブロックを含み、As-C 軽石1～2㎜とロームブロックを1％含む
6. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりなく、焼土・炭化物ブロック3％とロームブロックを含む

H-33 D-1 土層注記 (H-H'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 2～3㎜を1％含み焼土・炭化物1％とローム粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 軽石粒 φ 1～2㎜を1％とロームブロックを1％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを2％と焼土粒を僅かに含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、炭化物を3％と焼土粒1％、ロームブロックを含む
5. 黄褐色ローム土層 10YR5/6 粘性、締まりあり、鈍い黄褐色土と炭化物を所々に含む

H-33 炉跡 土層注記 (I-I'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土・灰を含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土・炭化物・ローム粒を含む
3. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土ブロックを多く含み、ロームブロックを含む

H-34 土層注記 (A-A'、B-B'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～3㎜を3％含む
2. 黒褐色土層 10YR3/1 粘性、締まりなく、As-C 軽石 φ 1～3㎜を5％含み、僅かにロームブロックを含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりあり、2層のブロックとロームを多く含む
4. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 2～3㎜を1％とロームブロックを1％含む
5. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、As-C 軽石 φ 2～3㎜を所々に含みロームブロックを1％含む
6. 鈍い黄褐色土層 10YR5/4 粘性、締まりややあり、ロームブロックを2％含む

H-34 P1 土層注記 (C-C'断面)
1. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、軽石粒とロームブロック1％を含む
2. 灰黄褐色土層 10YR4/2 粘性、締まりややあり、ロームブロックを5％含む

H-34 P2 土層注記 (D-D'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりややあり、軽石粒とロームブロック1％を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりややあり、ロームブロックを3％含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR4/3 粘性、締まりなく、ローム・軽石粒を含む

H-34 P3 土層注記 (E-E'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 粘性、締まりややあり、黄色軽石 φ 2～3㎜を1％とローム粒と僅かに炭化物を含む
2. 黄褐色ローム 10YR5/6 粘性、締まりあり、軽石粒を含む
3. 鈍い黄褐色土とローム土の混土

H-34 炉跡 土層注記 (G-G'断面)
1. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土ブロック・灰・黄色軽石粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土ブロック・炭化物を多く含む
3. 鈍い黄褐色土層 10YR5/3 焼土ブロック・灰を1％含む

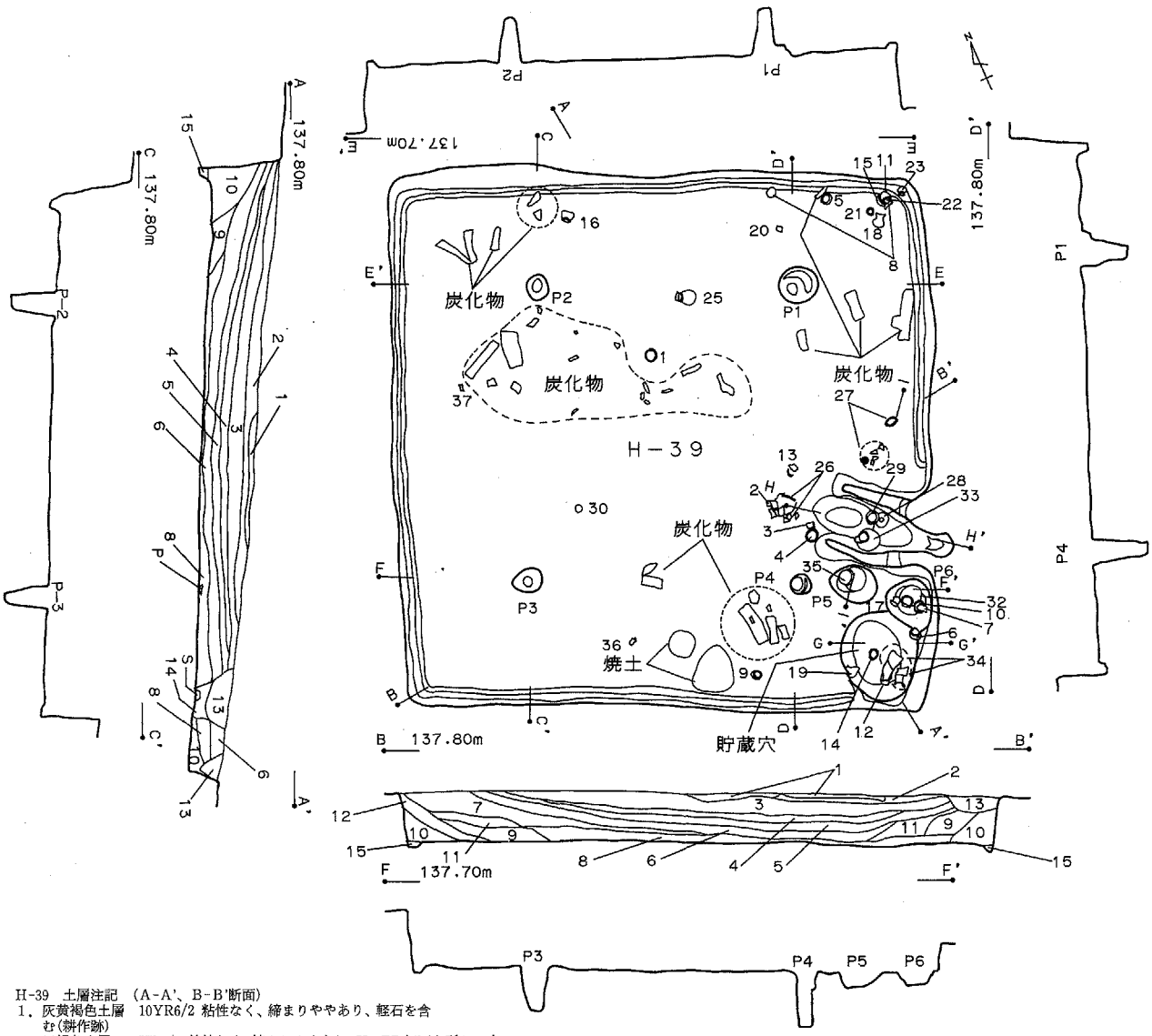
0 1:80 2m　0 1:40 1m

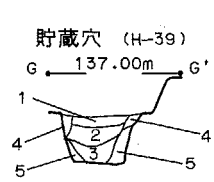
第34図 H-33・34・39号住居跡平面・断面図

H-39　カマド　土層注記　(H-H'、I-I'断面)
1．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、軽石粒と焼土粒を1％含む
2．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりややあり、焼土粒を2％と炭化物を所々に含む
3．鈍い赤褐色土層　5YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土ブロックを多く含む
4．鈍い赤褐色土層　5YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土ブロックと灰を含む
5．鈍い褐色土層　7.5YR5/4 粘性、締まりなく、焼土ブロックを1％含む
6．鈍い褐色土層　7.5YR5/4 粘性、締まりなく、焼土ブロックを3％と軽石粒を含む
7．鈍い褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりなく、焼土ブロックを1％とAs-C軽石φ1～2㎜を1％含む
8．鈍い褐色土層　10YR5/3 粘性なく、締まりあり、As-C軽石φ1～2㎜を1％含む
9．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、焼土ブロックを1％と僅かに炭化物粒を含む
10．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりなく、焼土・炭化物粒を僅かに含む
11．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C軽石φ1～2㎜を1％と僅かに焼土ローム粒を含む
12．明赤褐色焼土層　10YR5/6 灰を含み、よく焼いている
13．灰黄褐色土層　10YR5/2 焼土・灰・炭化物を含む
14．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 灰・炭化物を含み、焼土ブロックを多く含む

H-39　貯蔵穴　土層注記　(G-G'断面)
1．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、焼土・炭化物粒を含み、ロームブロックを含む
2．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、1層よりも焼土粒・炭化物・ロームブロックを多く含む
3．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、焼土・炭化物を含み、ロームブロックを1％含む
4．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、ロームブロックを1％含む
5．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりあり、焼土・炭化物・灰・ローム粒を含む

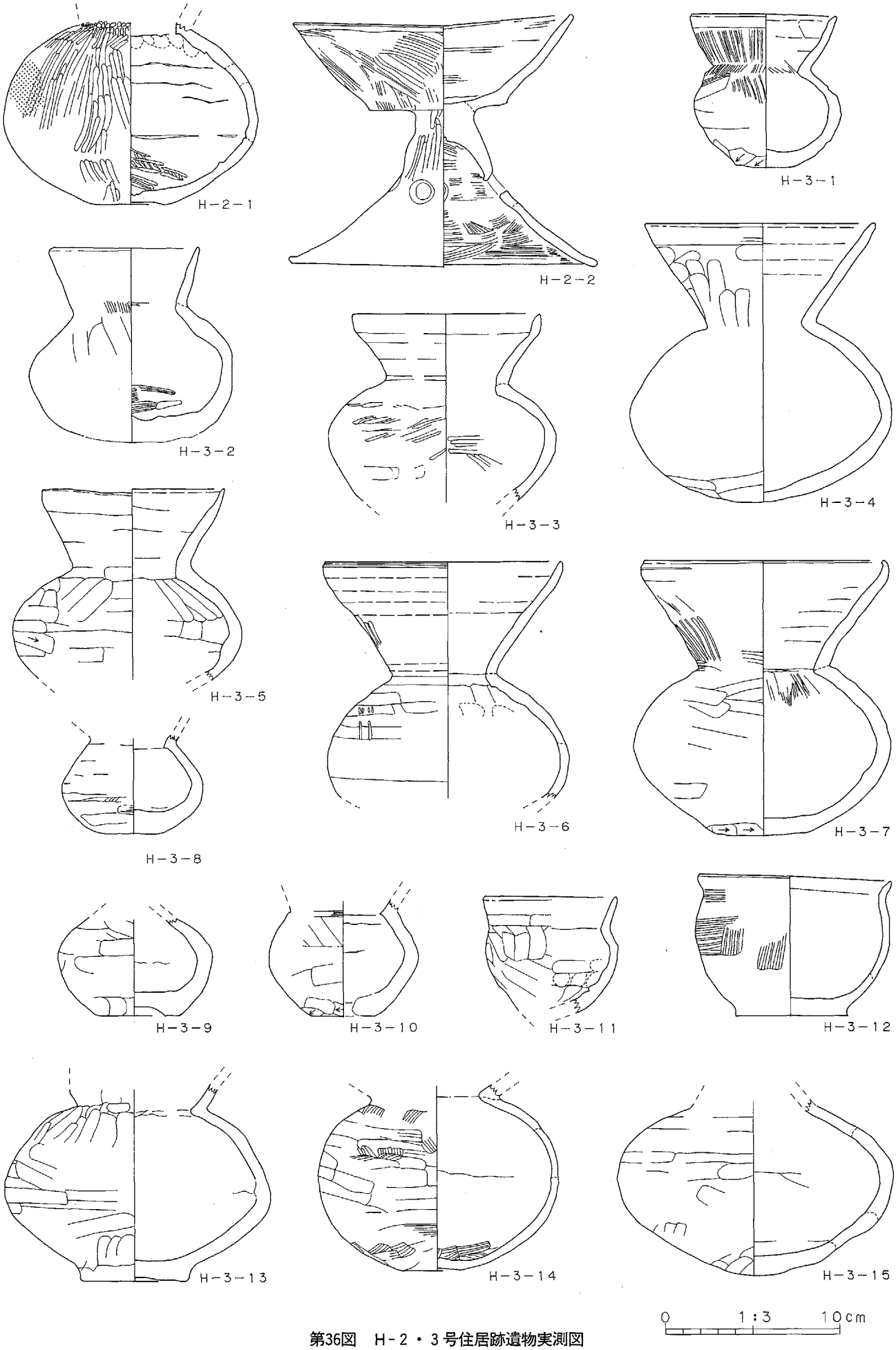
H-39　土層注記　(A-A'、B-B'断面)
1．灰黄褐色土層　10YR6/2 粘性なく、締まりややあり、軽石を含む(耕作跡)
2．黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、Hr-FP軽石を所々に含み、As-C軽石φ2～3㎜を2％含む
3．黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、Hr-FP軽石φ5～10㎜を所々に含み、As-C軽石を3％含む
4．黒褐色土層　10YR3/2 粘性なく、締まりややあり、As-C軽石・Hr-FP軽石を1％含む
5．灰黄褐色土層　10YR4/2 粘性、締まりなく、As-C軽石φ1～2㎜を所々に含み、明黄褐色土ブロックを2％含む
6．黒褐色土層　10YR3/1 粘性、締まりややあり、As-C軽石φ1～2㎜を1％含む
7．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石φ1～2㎜を3％と炭化物・ローム粒を所々に含む
8．鈍い黄褐色土層　10YR5/4 粘性、締まりややあり、As-C軽石φ1～2㎜を1％とロームブロック2％、炭化物を所々に含む
9．鈍い黄褐色土層　10YR5/3 粘性、締まりややあり、As-C軽石を含みロームブロックを1％含む
10．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石φ1～2㎜を1％含みロームブロック1％と僅かに炭化物を含む
11．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石φ1～2㎜を1％とローム粒・炭化物粒を僅かに含む
12．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性なく、締まりややあり、軽石粒を僅かに含みロームブロックを1％と炭化物粒を所々に含む
13．灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりなく、1～5層を含む
14．灰黄褐色土層　10YR5/2 粘性、締まりなく、13層より軽石が少ない
15．鈍い黄褐色土層　10YR4/3 粘性、締まりなく、As-C軽石とロームブロックを含む



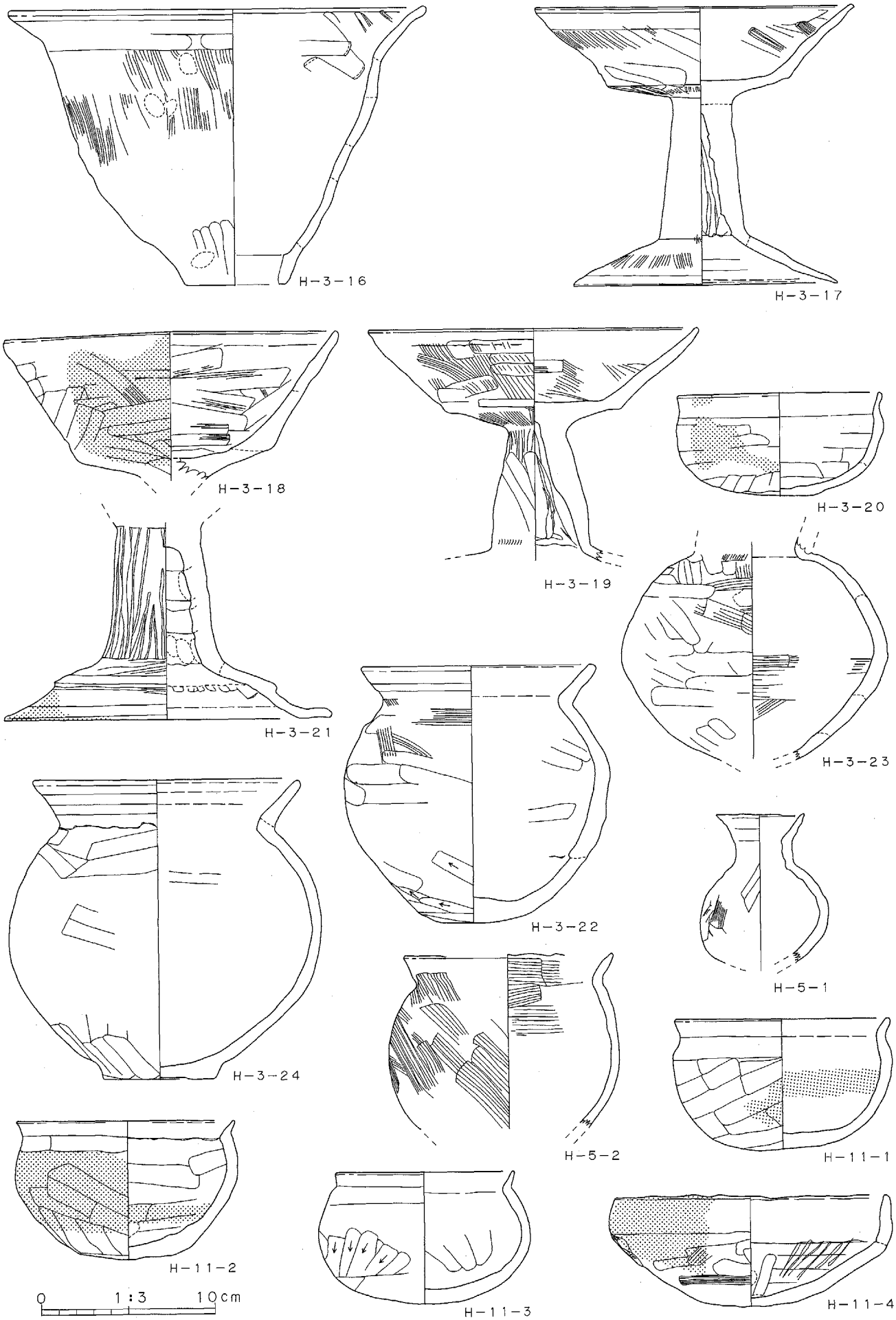


0　1:40　1m　0　1:80　2m

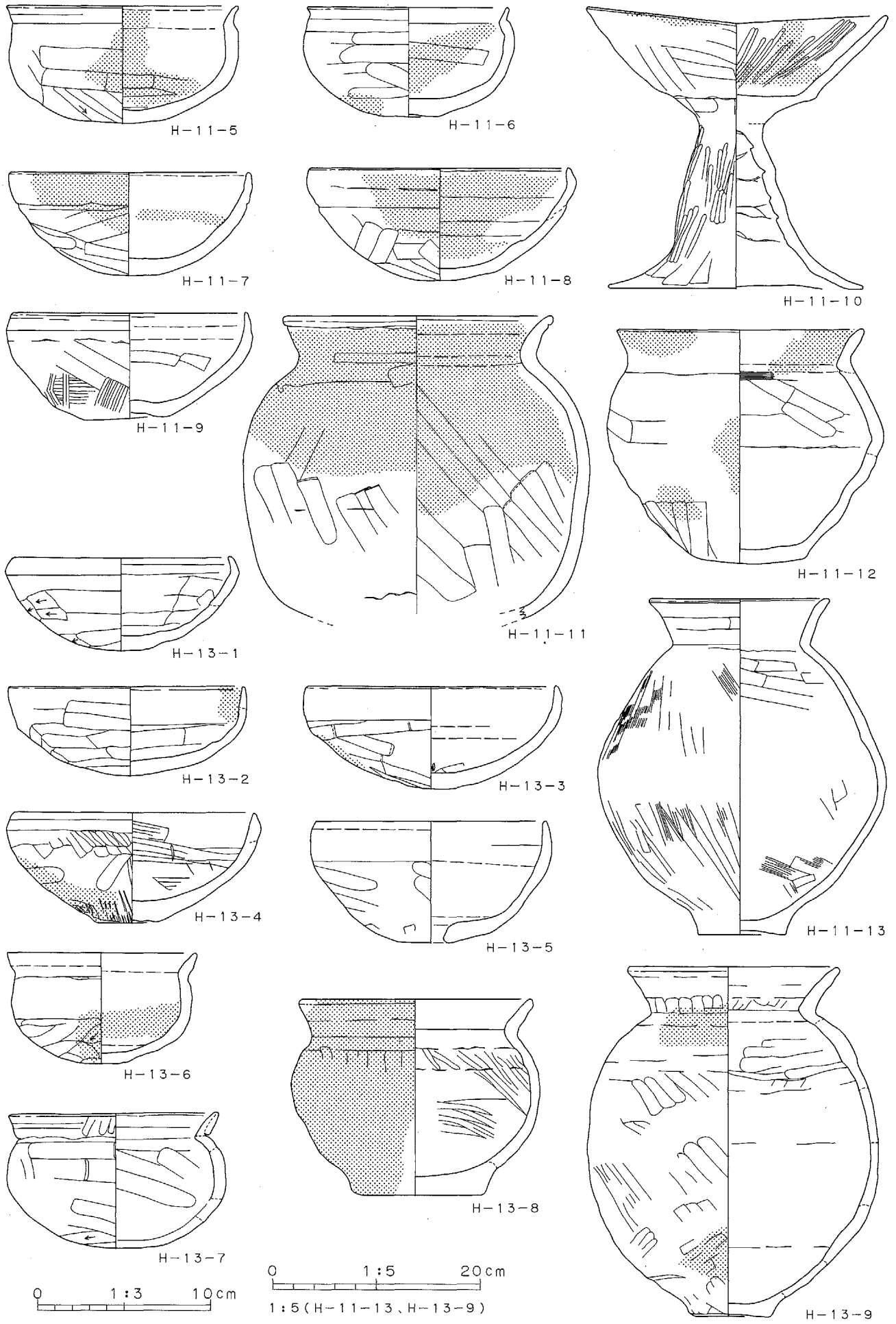
第35図　H-39号住居跡平面・断面図



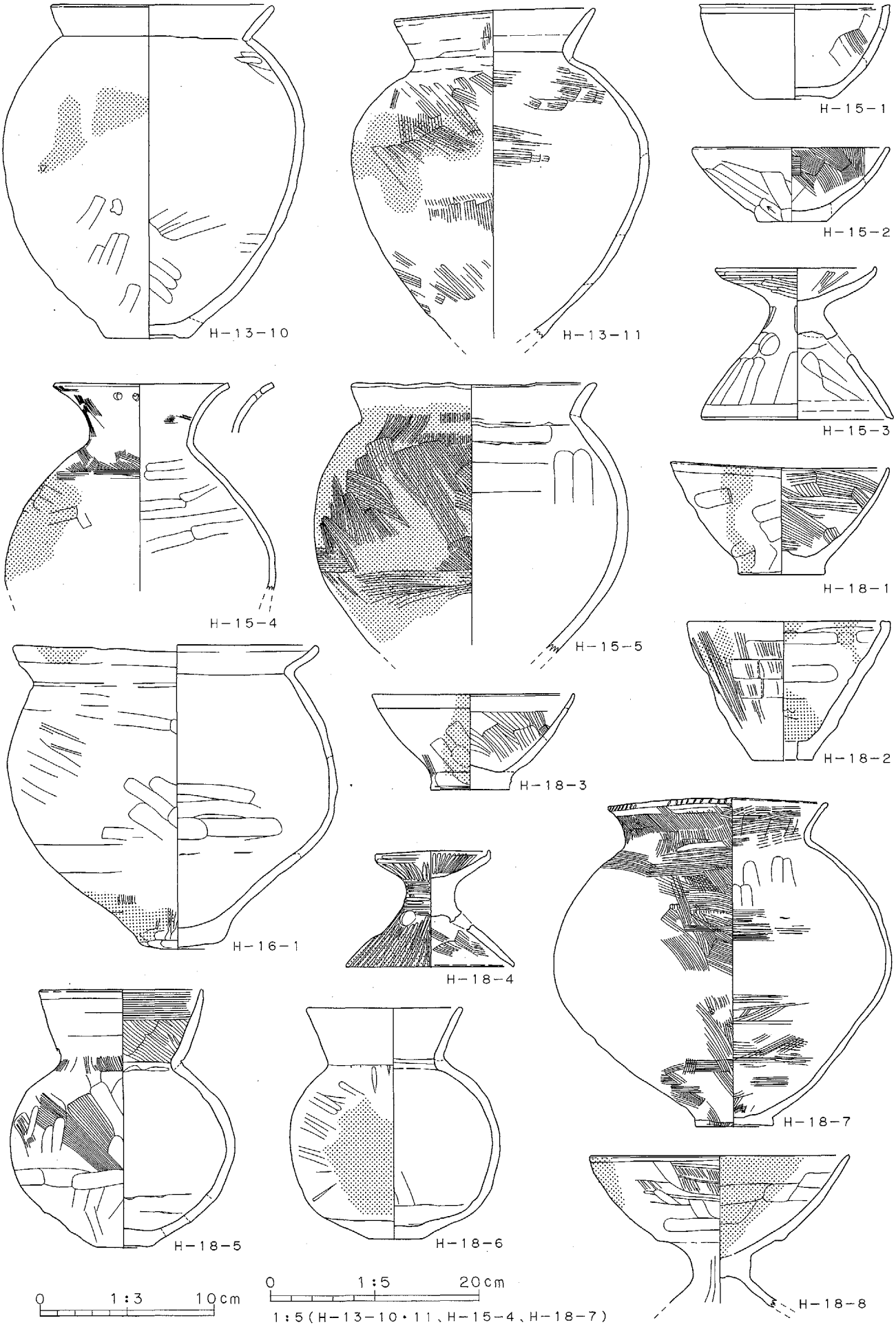
第36図　H－2・3号住居跡遺物実測図



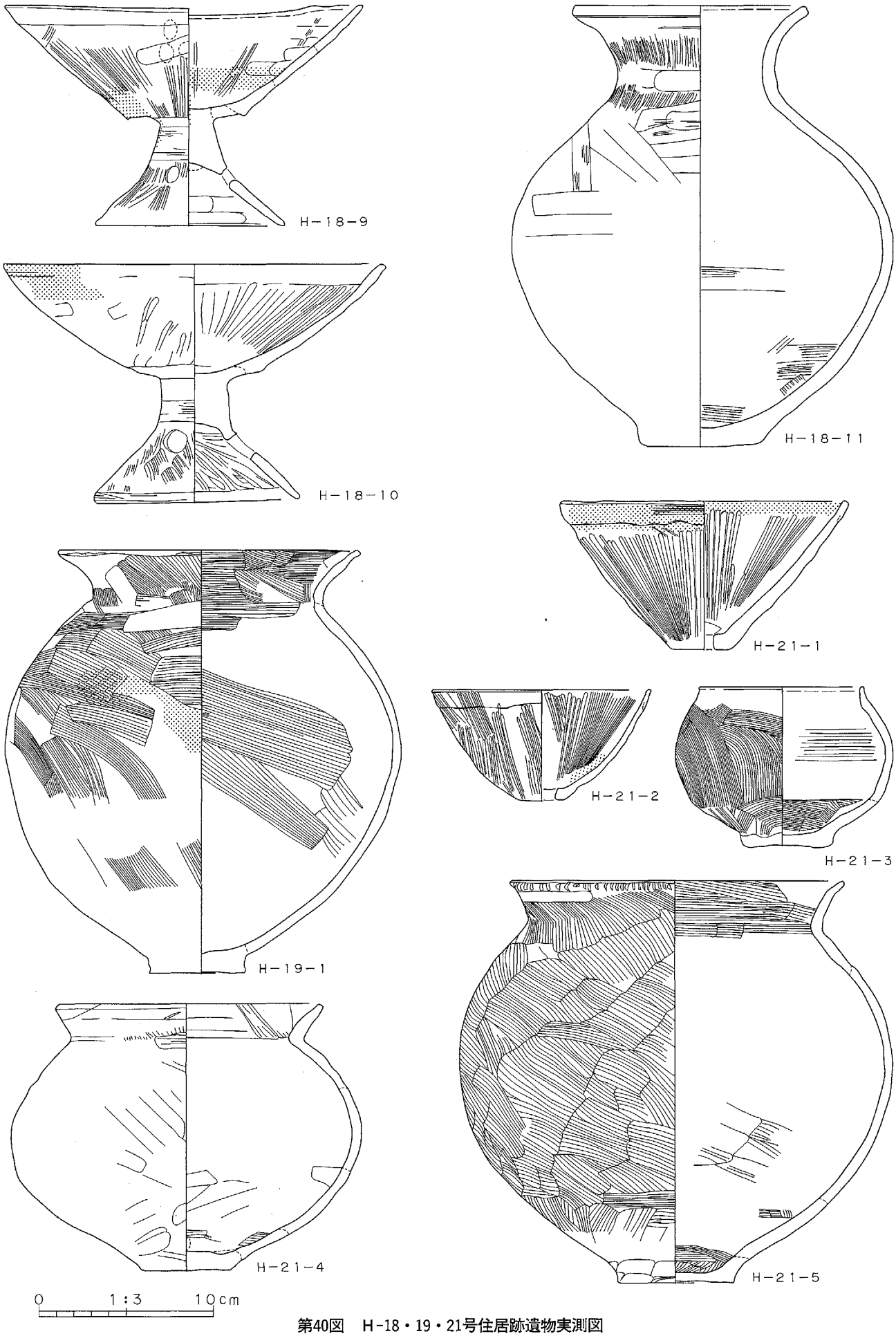
第37図　H-3・5・11号住居跡遺物実測図



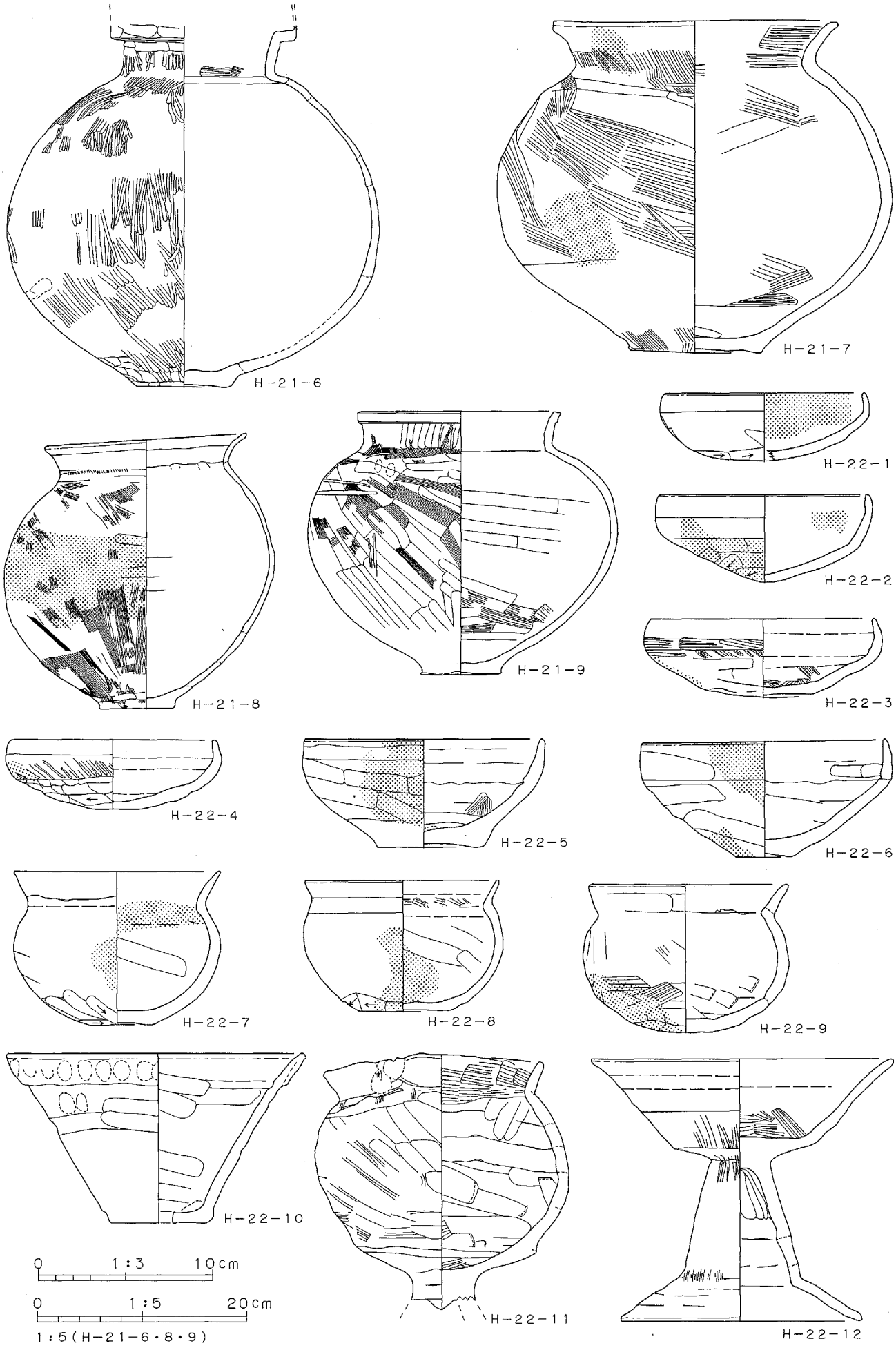
第38図　H-11・13号住居跡遺物実測図



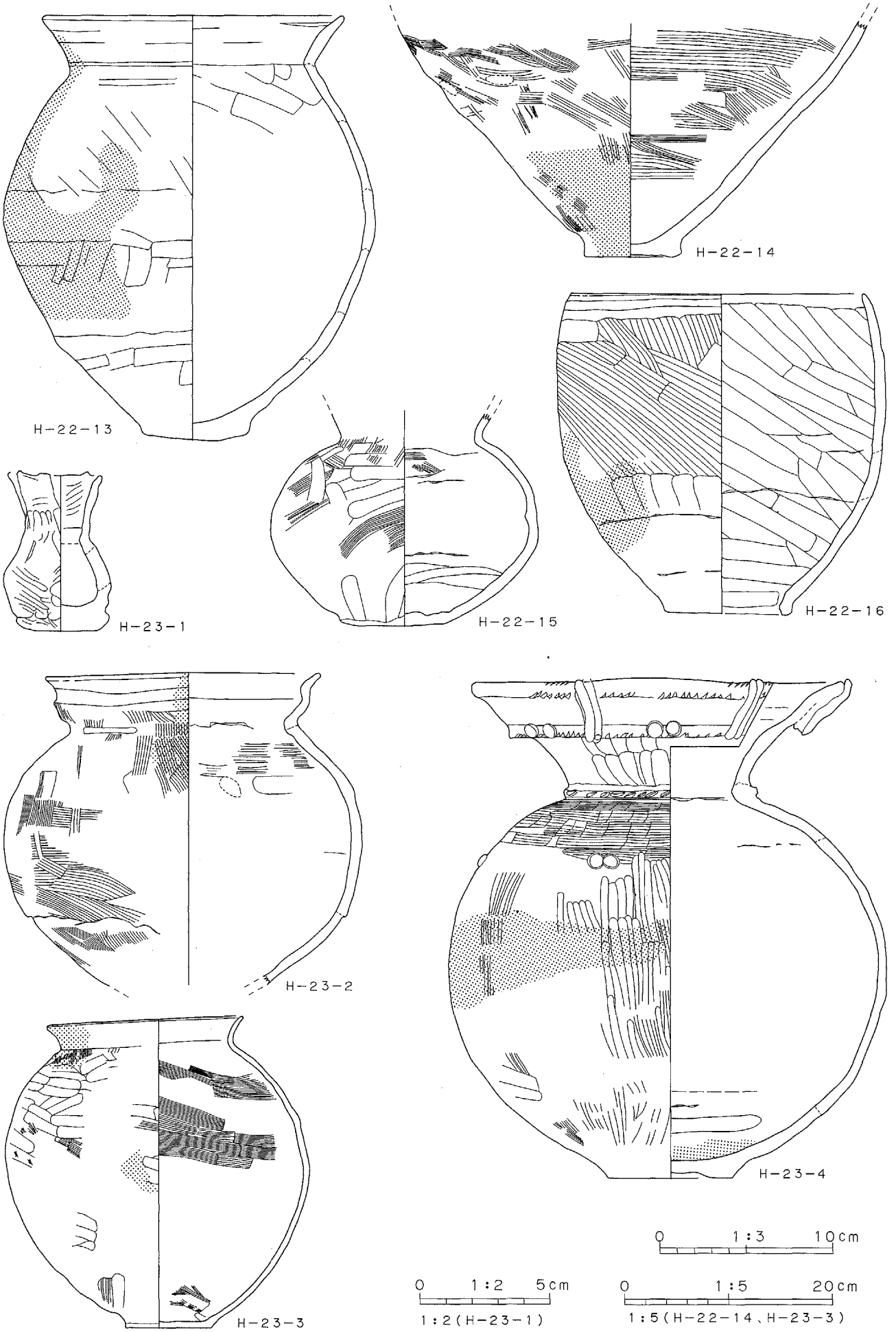
第39図　H-13・15・16・18号住居跡遺物実測図



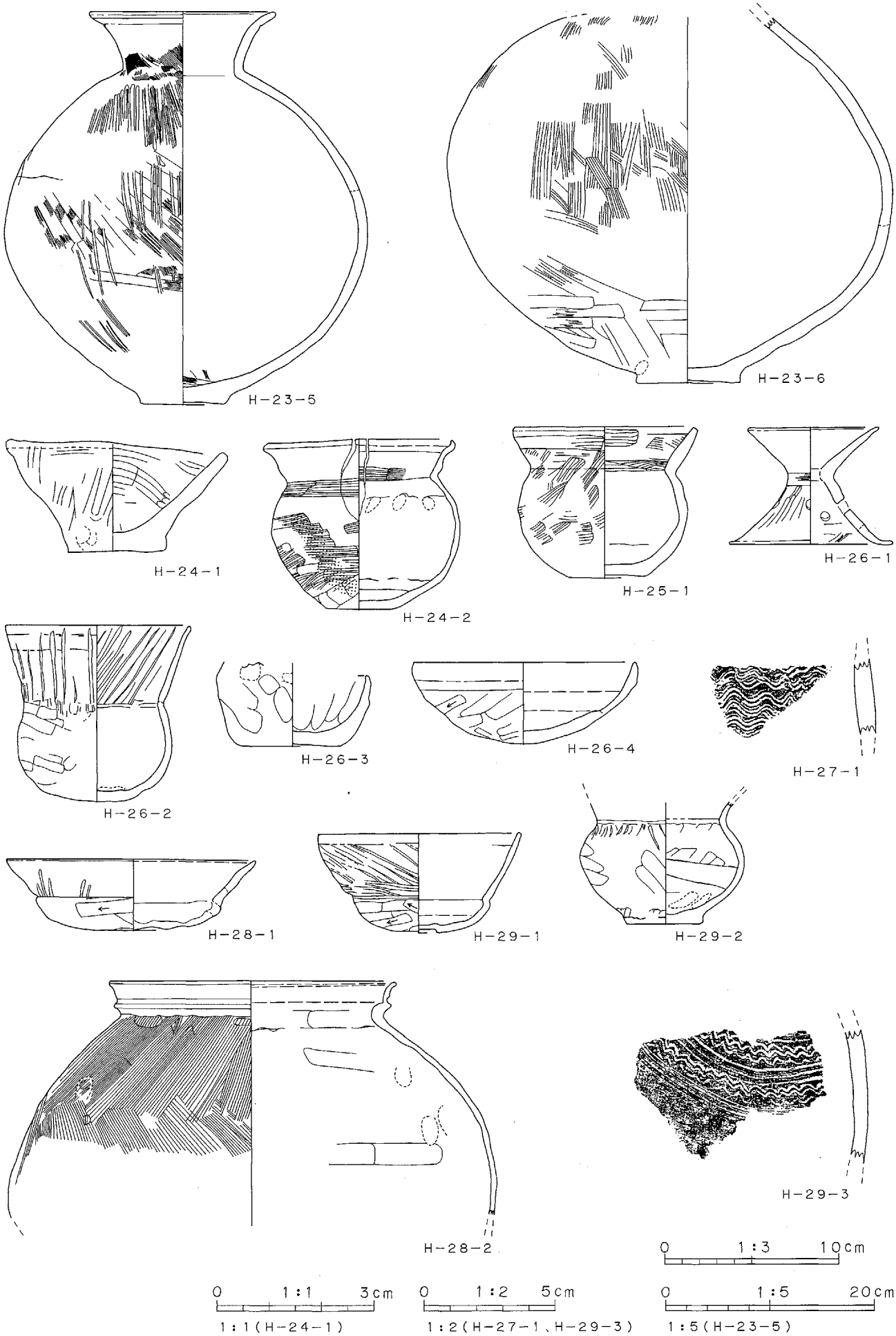
第40図　H-18・19・21号住居跡遺物実測図



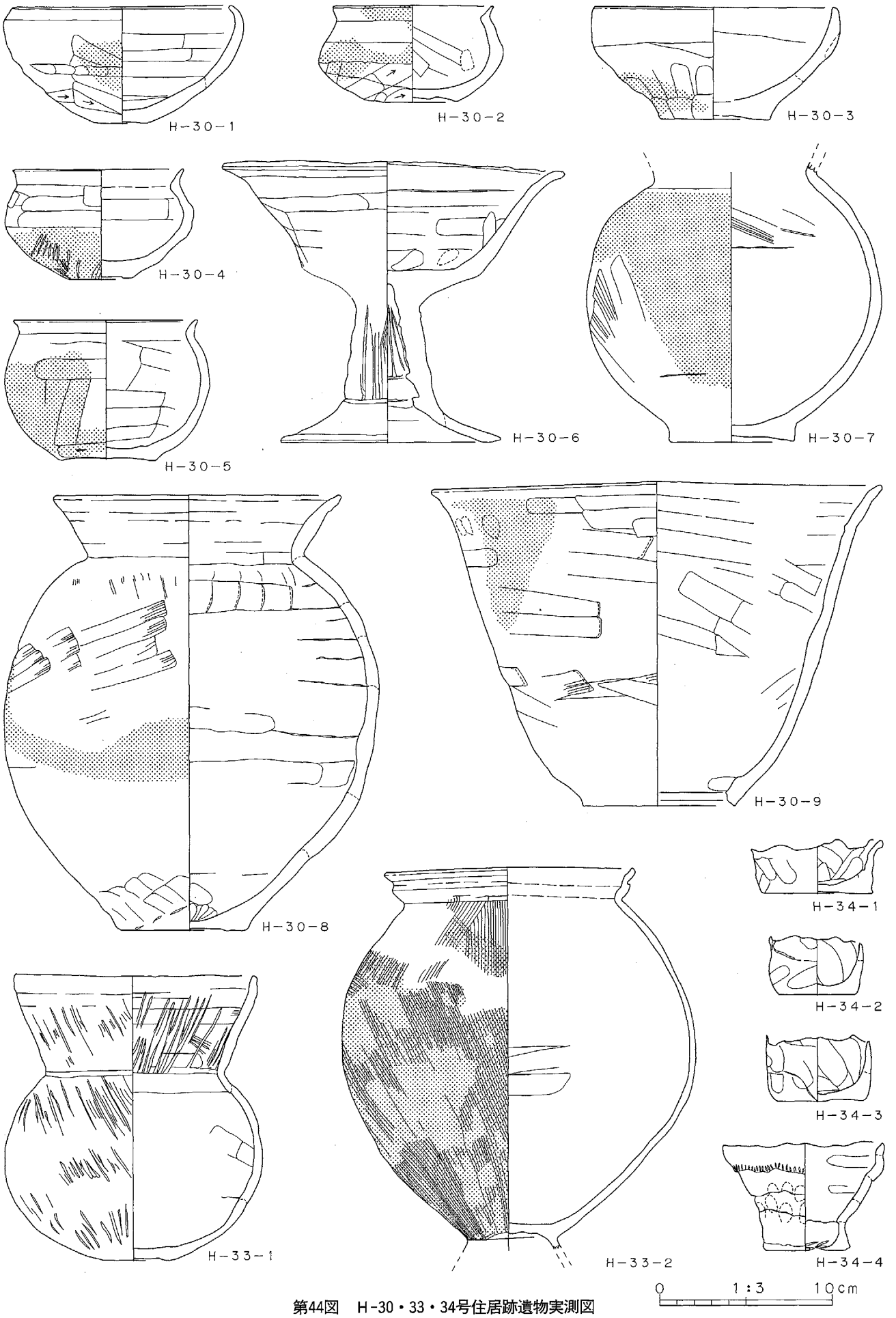
第41図　H-21・22号住居跡遺物実測図



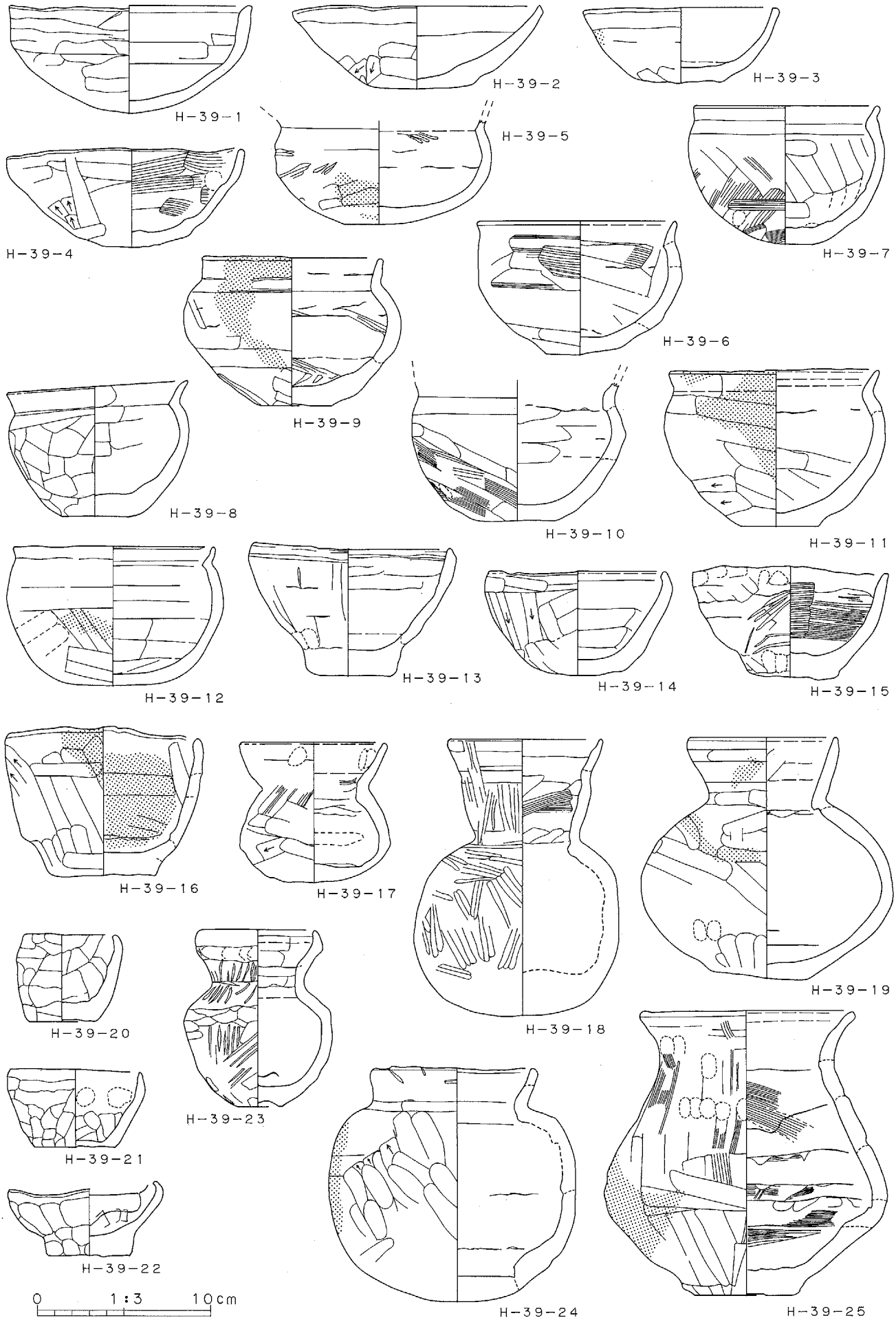
第42図　H-22・23号住居跡遺物実測図



第43図　H-23～29号住居跡遺物実測図

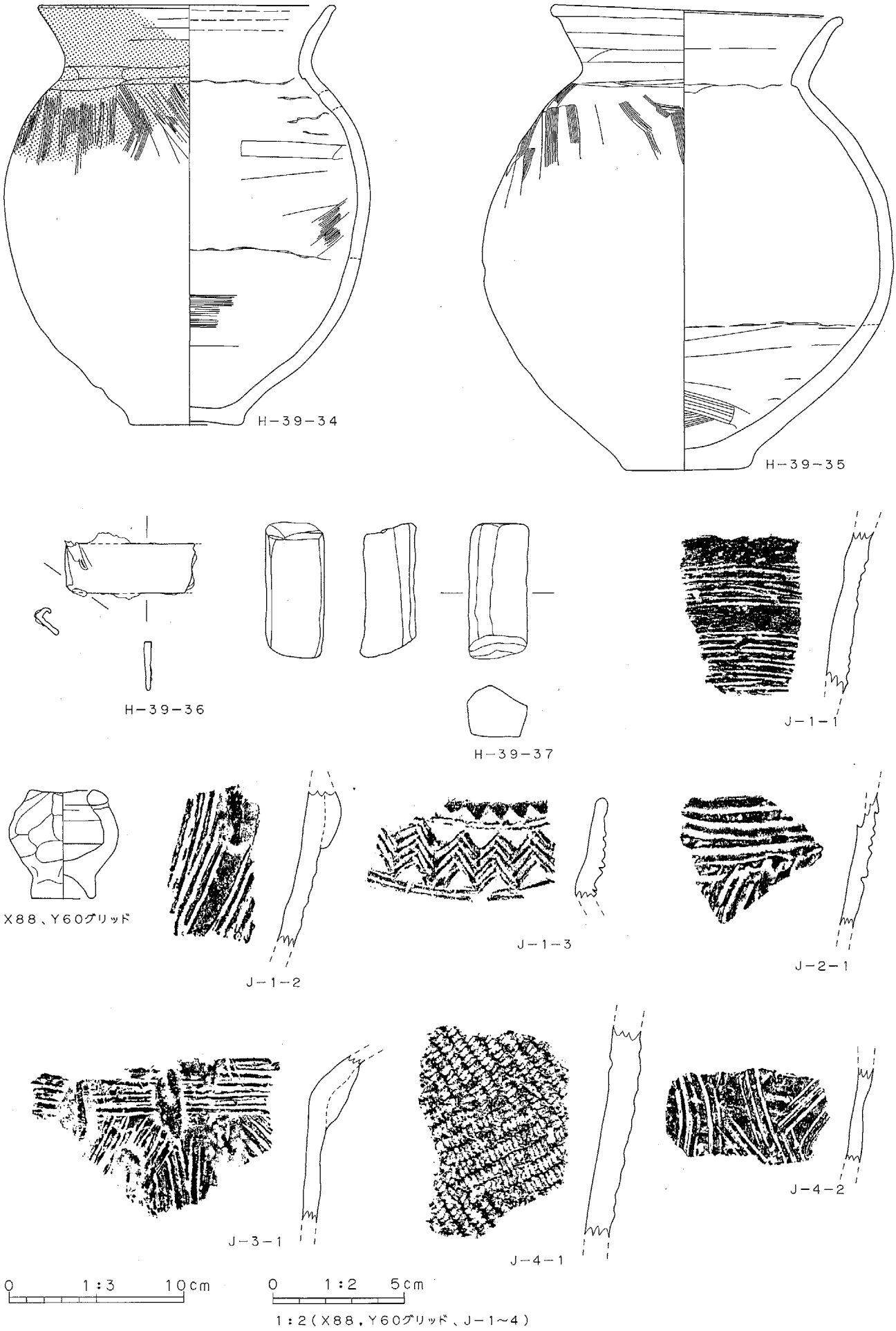


第44図　H-30・33・34号住居跡遺物実測図



第45図　H-39号住居跡遺物実測図

第46図　H-39号住居跡遺物実測図



第47図　H-39・J-1〜4号住居跡、グリッド遺物実測図

調査前全景

北側調査区全景

南側調査区全景（第１面）

南側調査区全景（第２面）

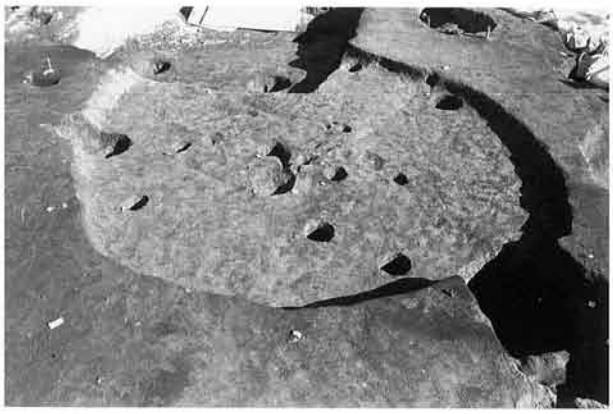
Ｊ－２号住居跡全景

Ｊ－６号住居跡全景

Ｊ－９号住居跡全景

Ｊ－10号住居跡全景

図版　2



Ｊ－11号住居跡全景

Ｊ－12号住居跡全景

Ｊ－17号住居跡全景

Ｊ－25号住居跡全景

Ｄ－819号土坑全景

Ｄ－841号土坑全景

Ｄ－984号土坑全景

Ｄ－1015号土坑全景

H－1号住居跡全景

H－11号住居跡全景

H－11号住居跡遺物出土状況（H－12と接合）

H－12号住居跡全景

H－17号住居跡全景

H－18号住居跡全景

H－19号住居跡全景

H－21号住居跡全景

図版　4

鍛冶工房跡（H－16号）全景

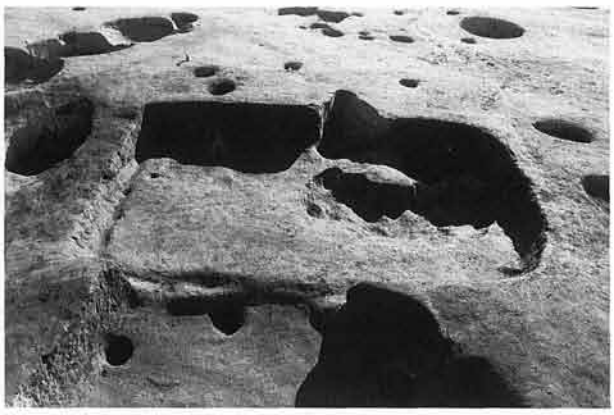
鍛冶工房　作業スペース（南から）

鍛冶工房　石床炉下断面

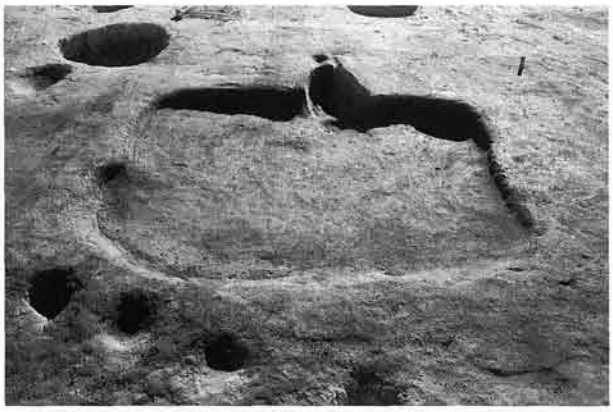
鍛冶工房　地床炉

H－16号住居跡遺物出土状況

Ｈ－３号住居跡全景



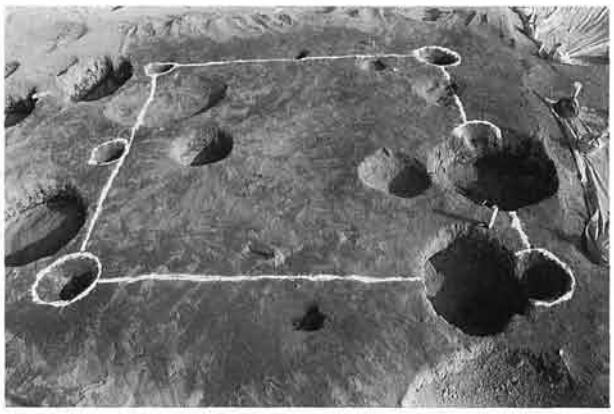
Ｈ－４号住居跡全景



Ｈ－５号住居跡全景

Ｈ－６号住居跡全景

Ｈ－22号住居跡全景



Ｂ－１号掘立柱建物跡全景（西から）

深掘りセクション全景

埋め戻し完了全景（北から）

図版　6

J－12－2

J－17－2

D－85－1

D－114－1

D－144－1

D－191－1

D－512－2

D－628－2

D－661－1

D－677－1

D－689－1

D－689－2

D－725－1

D－780－1

D－819－1

D－841－2

D－950－1

D－1072－1

D－93－1

D－635－1

D－139－1

D－688－2

J－5－2

J－17－1

D－31－1

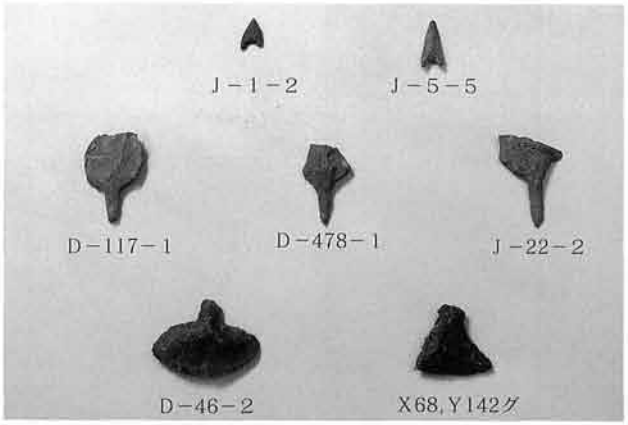
D－845－1

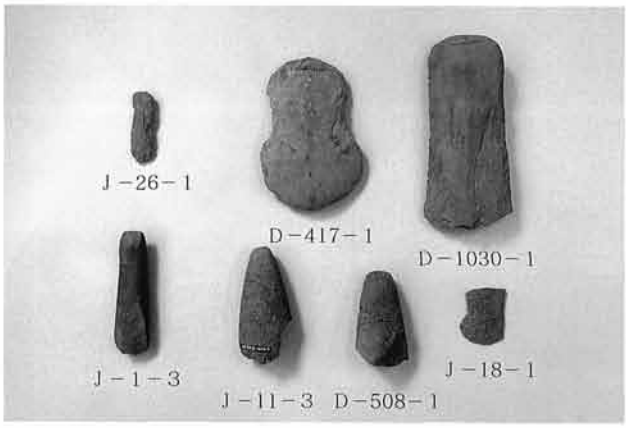
D－754－1

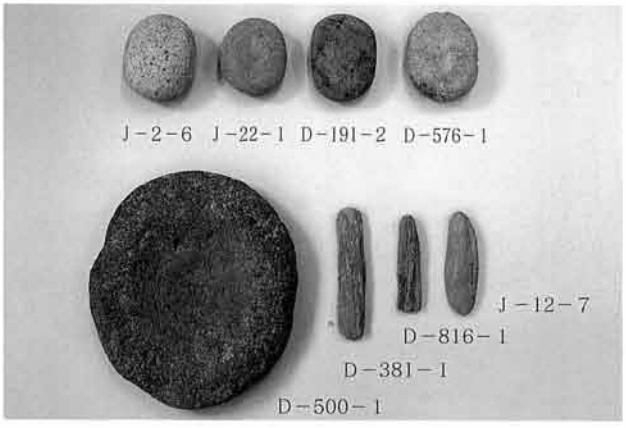
D－275－1

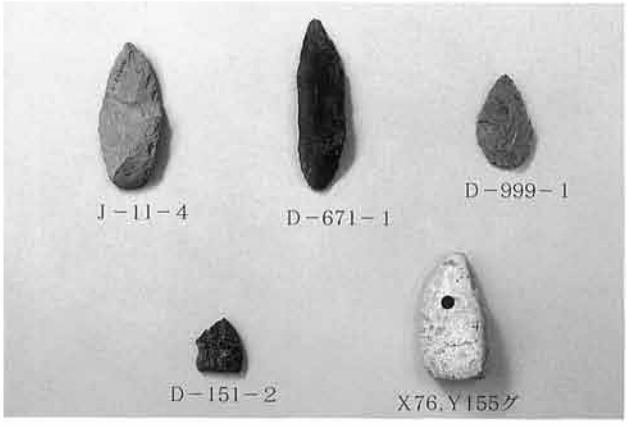
D－145－1

D－756－1







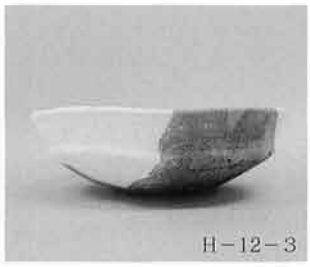


図版 8

H－1－1
H－2－2
H－2－3
H－1－2
H－2－1
H－2－4
H－2－5
H－2－6
H－8－1
H－8－2
H－9－1
H－11－1
H－11－2
H－11－4
H－11－5
H－11－3
H－11－6
H－11－7
H－11－8
H－10－1

H－12－1

H－12－2


H－12－3

H－12－4

H－12－5

H－14－1

H－15－1

H－15－2

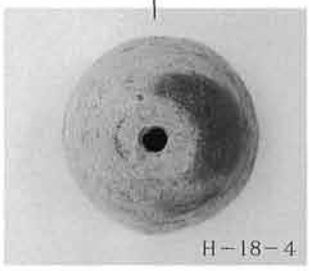
H－17－1

H－18－2

H－17－2

H－18－1

H－18－3


H－18－4

H－19－1

H－20－1

H－18－5

D－634－1

H－21－1

H－21－2

H－3－1

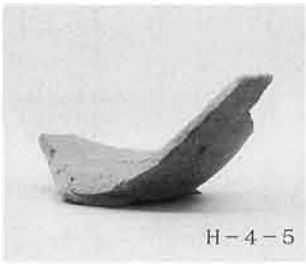
H－3－2

H－3－3

H－3－4

H－4－1

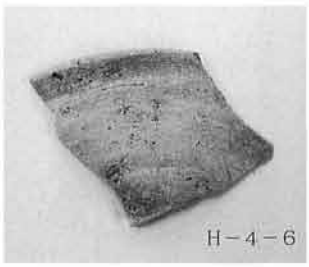
H－4－3

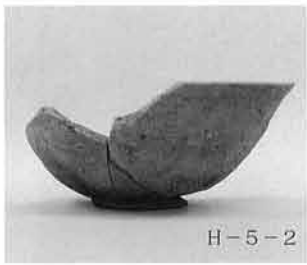

H－4－5

H－5－1

H－4－2

H－4－4


H－4－6


H－5－2

H－16－1

H－6－1

H－22－1

H－22－2

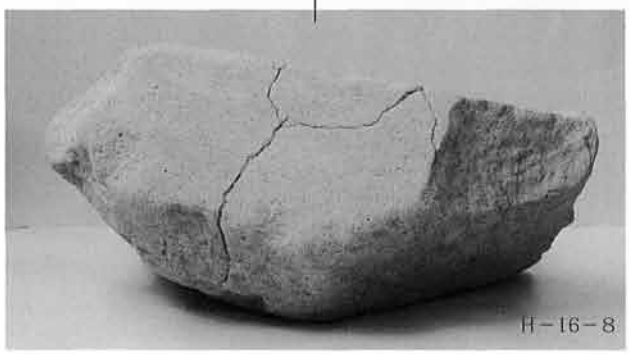
H－16－2

H－16－3

H－16－5

H－16－6

H－16－7


H－16－8

H－16－4

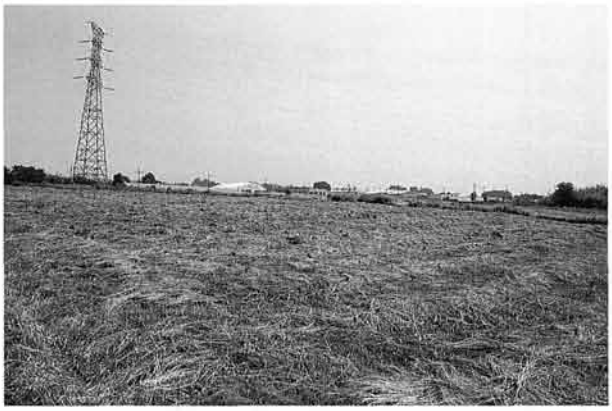
H－16－9

H－16－10

H－16－11

椀状滓

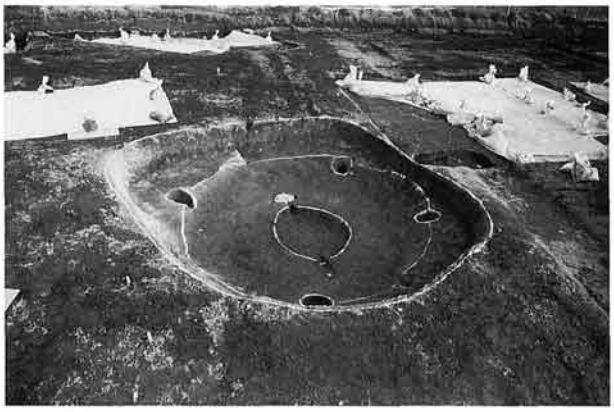
鎌　辻金具　止め金具



調査前全景

調査区全景（西から）

調査区近景（北から）



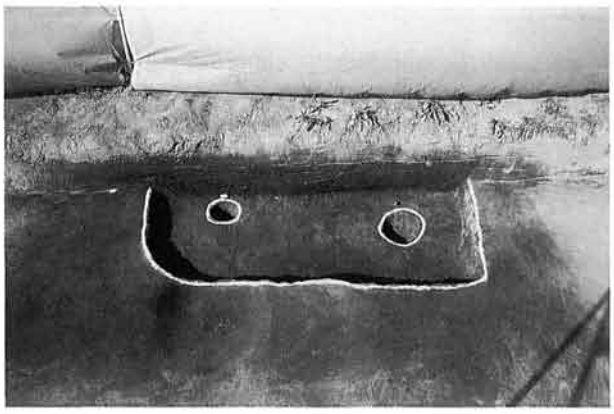
Ｊ－１号住居跡全景（西から）

Ｊ－１号住居跡炉跡全景（西から）

Ｊ－２号住居跡全景（西から）

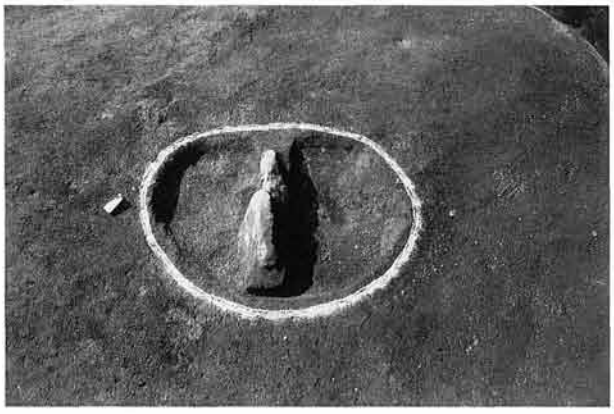
Ｊ－３号住居跡全景（西から）

Ｊ－４号住居跡全景（西から）



Ｈ－１号住居跡全景（東から）

Ｈ－２号住居跡全景（南から）



Ｈ－２号住居跡炉跡全景

Ｈ－２号住居跡炭化物出土状況

Ｈ－２号住居跡貯蔵穴遺物出土状況

Ｈ－３号住居跡全景（西から）

Ｈ－３号住居跡遺物出土状況

Ｈ－５号住居跡全景（西から）

H－７号住居跡全景（東から）

H－８号住居跡全景（東から）

H－９号住居跡全景（西から）

H－10号住居跡全景（南から）

H－11号住居跡全景（西から）

H－11号住居跡遺物出土状況

H－12・13号住居跡重複全景（西から）

H－13号住居跡遺物出土状況

H－14号住居跡全景（西から）

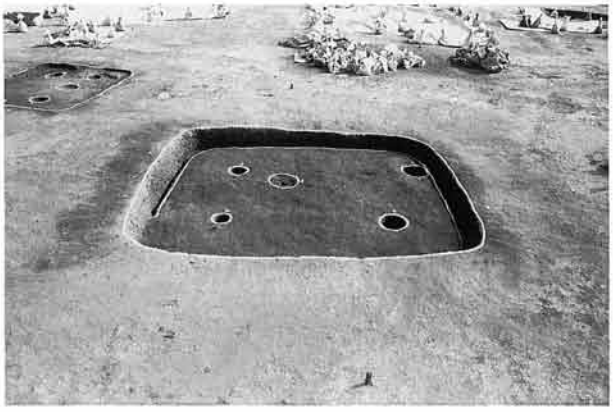
H－15号住居跡全景（西から）

H－15号住居跡遺物出土状況

H－16号住居跡全景（西から）

H－16号住居跡炉跡全景

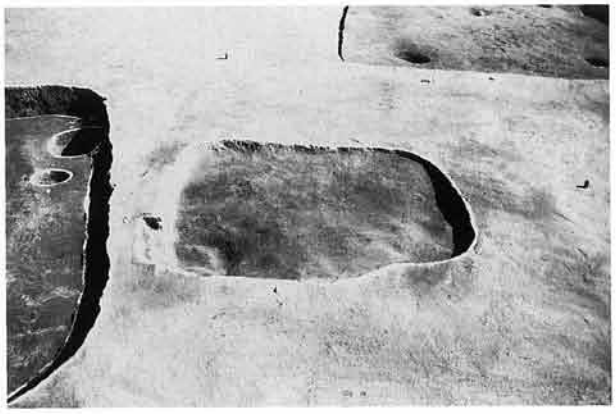
H－17号住居跡全景（東から）



H－18号住居跡全景（西から）

H－18号住居跡遺物出土状況

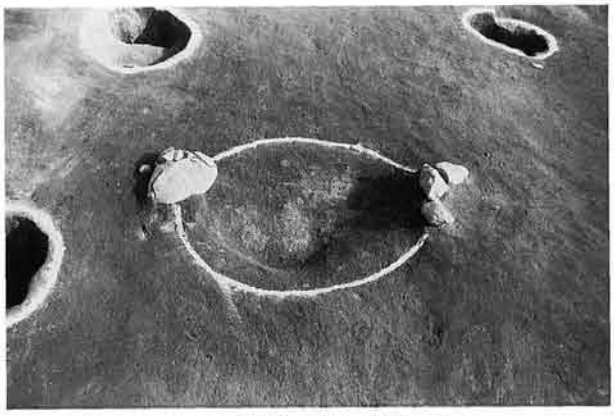
H－19号住居跡全景（西から）



H－20号住居跡全景（西から）

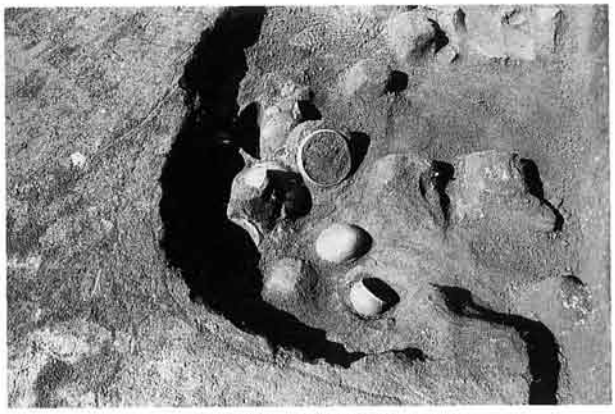
H－21号住居跡全景（西から）

H－21号住居跡遺物出土状況



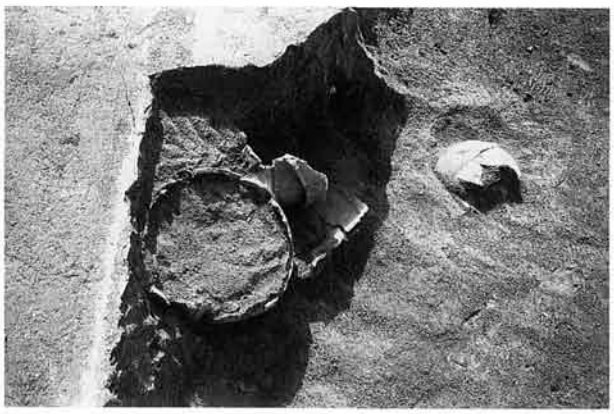
H－21号住居跡炉跡全景

H－22号住居跡全景（南から）



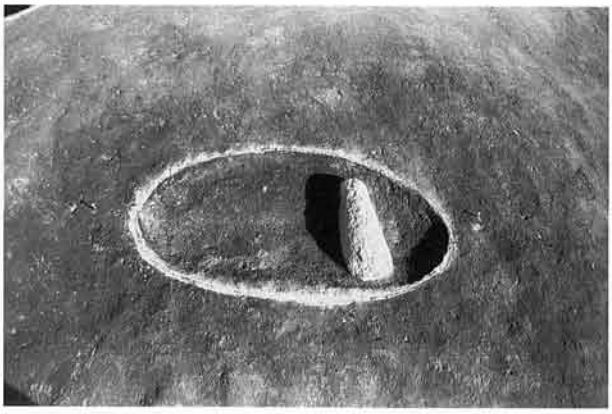
H－22号住居跡遺物出土状況

H－23号住居跡全景（南から）

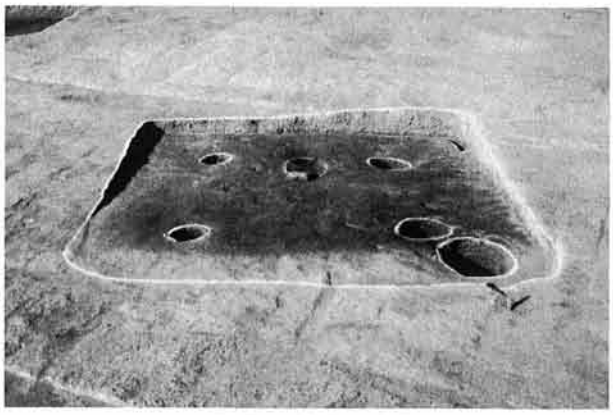


H－23号住居跡遺物出土状況

H－24号住居跡全景（西から）



H－24号住居跡炉跡全景



H－25号住居跡全景（南から）

H－25号住居跡炉跡全景

H－26号住居跡全景（南から）

J－2・3、H－27・35・36号住居跡全景（西から）

H－28号住居跡全景（南から）

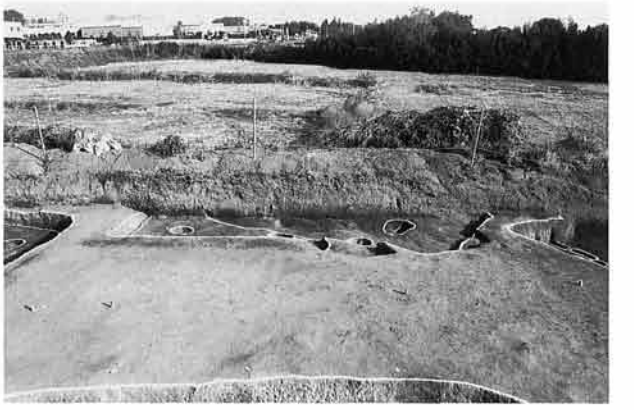
H－28号住居跡、炉跡（北）全景

H－28号住居跡、炉跡（南）全景

H－29号住居跡全景（西から）

H－30号住居跡全景（南から）

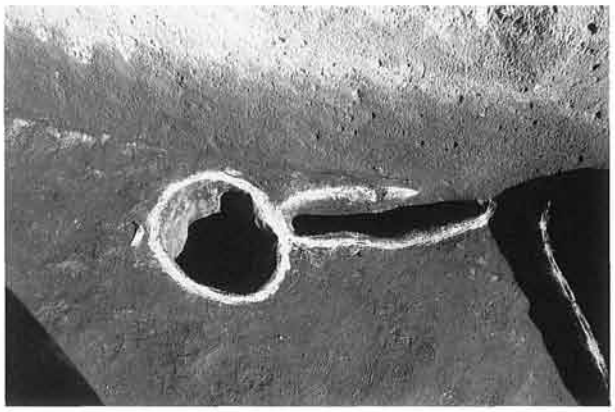
H－30号住居跡遺物出土状況



H－31・32号住居跡重複全景（西から）

H－33号住居跡全景（北から）

H－33号住居跡遺物出土状況



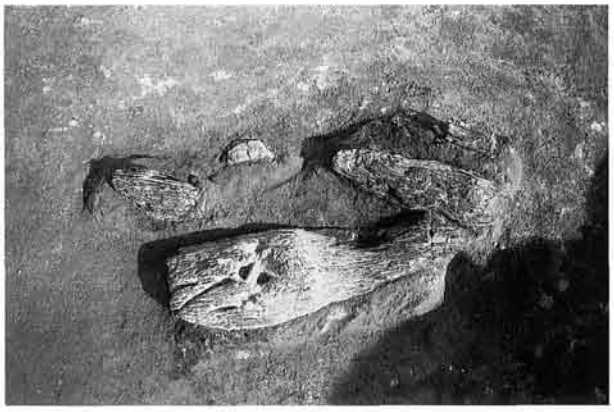
Ｈ－33号住居跡、Ｐ４と間仕切り全景

Ｈ－34号住居跡全景（西から）

Ｈ－34号住居跡遺物出土状況（西から）

Ｈ－39号住居跡全景（西から）

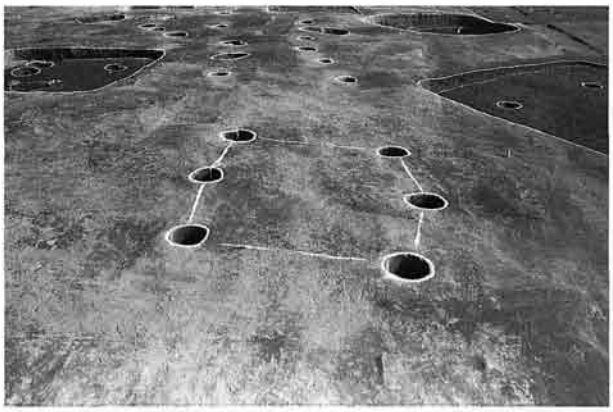
Ｈ－39号住居跡遺物出土状況



Ｈ－39号住居跡炭化物出土状況

Ｈ－39号住居跡カマド全景（西から）

Ｂ－１号掘立柱建物跡全景（西から）



Ｂ－２号掘立柱建物跡全景（西から）

Ｂ－３号掘立柱建物跡全景（南から）

ピット・土坑検出状況全景（南から）

道路状遺構Ａ－２全景（南から）

遺構確認トレンチ全景

深掘りセクション全景（東から）

作業風景

埋め戻し完了全景

H－2－1
H－2－2
H－3－1
H－3－2
H－3－3
H－3－4
H－3－5
H－3－6
H－3－7
H－3－8
H－3－9
H－3－11
H－3－12
H－3－13
H－3－10
H－3－14
H－3－15
H－3－17
H－3－18
H－3－19
H－3－16
H－3－20
H－3－21
H－3－22
H－3－23
H－3－24

H-5-1

H-5-2

H-11-1

H-11-2

H-11-3

H-11-4

H-11-5

H-11-6

H-11-7

H-11-8

H-11-9

H-11-10

H-11-11

H-11-12

H-11-13

H-13-1

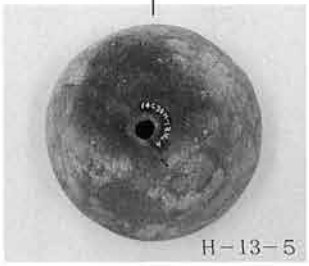
H-13-2

H-13-3

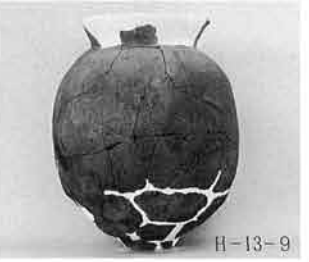
H-13-6

H-13-7

H-13-4


H-13-5

H-13-8


H-13-9

H－13－10

H－13－11

H－15－1

H－15－2

H－15－3

H－15－4

H－15－5

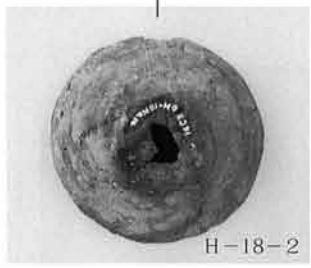
H－16－1

H－18－1

H－18－3

H－18－4

H－18－2


H－18－5

H－18－6

H－18－7

H－18－8

H－18－9

H－18－10

H－18－11

H－19－1

H－21－1

H－21－2

H−21−3

H−21−4

H−21−5

H−21−6

H−21−7

H−21−8

H−21−9

H−22−1

H−22−2

H−22−3

H−22−4

H−22−5

H−22−6

H−22−7

H−22−8

H−22−9

H−22−11

H−22−12

H−22−13

H−22−15

H−22−10

H−22−14

H−22−16

H−23−1

H－23－2

H－23－3

H－23－4

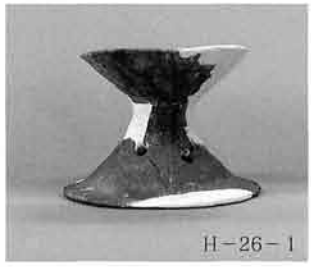
H－23－5

H－23－6

H－24－1

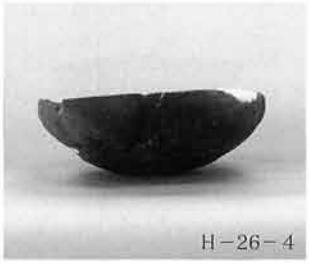
H－24－2

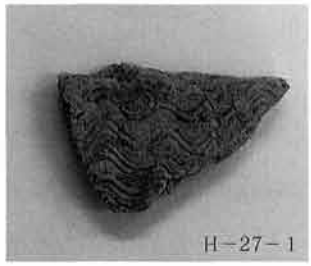
H－25－1


H－26－1

H－26－2

H－26－3


H－26－4

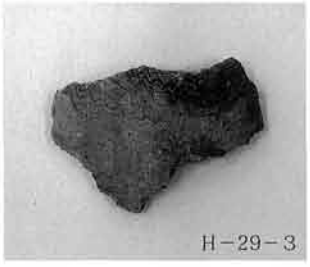

H－27－1

H－28－1

H－28－2

H－29－1

H－29－2


H－29－3

H－30－1

H－30－2

H－30－3

H－30－4

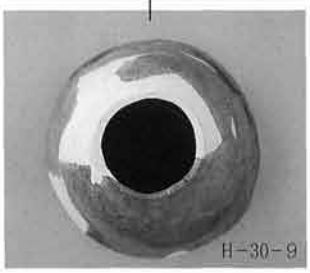
H－30－5

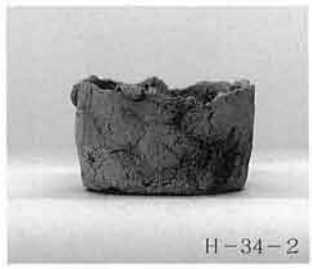
H－30－6

H－30－7

H－30－8

H－33－1

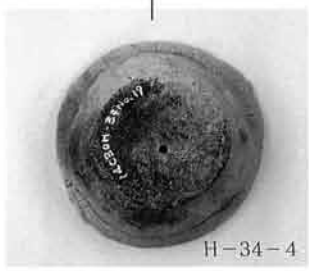
H－33－2

H－30－9

H－34－1

H－34－2

H－34－3

H－39－1

H－39－2

H－39－3

H－34－4

H－39－4

H－39－5

H－39－6

H－39－7

H－39－8

H－39－9

H－39－10

H－39－11

H－39－12

H－39－13

H－39－14

H－39－15

H－39－16

H－39－17

H－39－19

H－39－18

H－39－20

H－39－21

H－39－22

H－39－23

H－39－24

H－39－25

H－39－26

H－39－27

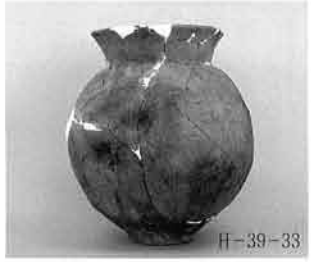
H－39－28

H－39－29

H－39－30

H－39－31

H－39－32


H－39－33

H－39－34

H－39－35

H－39－36

H－39－37

X88,Y60グリッド

J－1－1

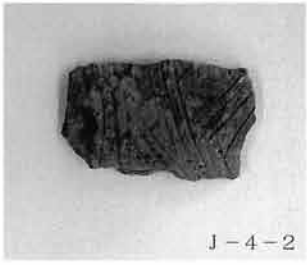
J－1－2

J－1－3

J－2－1

J－3－1

J－4－1


J－4－2

抄　　録

フリガナ	ゴダイイセミヤロクイセキ・ゴダイナカハラニイセキ
書名	五代伊勢宮VI遺跡・五代中原II遺跡
副書名	五代南部工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査
編著者名	近藤雅順（前橋市埋蔵文化財発掘調査団） 金子正人・荻野博巳・板垣宏・権田友寿・猪熊正晴（スナガ環境測設株式会社）
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2
発行年月日	西暦2003年3月7日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ゴダイイセミヤロクイセキ 五代伊勢宮VI遺跡	マエバシシゴダイマチ 前橋市五代町	10201	14C33	36°24′32″	139°06′55″	20020819	9,000m²	五代南部工業団地造成事業
ゴダイナカハラニイセキ 五代中原II遺跡	マエバシシゴダイマチ 前橋市五代町	10201	14C30	36°24′42″	139°06′55″	20030307	6,000m²	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
五代伊勢宮VI遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡22軒	土器、石器、耳栓
	集落跡	古墳後期～奈良・平安	竪穴住居跡23軒 （うち、鍛冶工房跡1軒）	土師、坏、甕、壺、手捏土器、須恵、埦、高盤、鉄器、石器
	ピット	古墳後期以降～近世	336基（掘立3棟）	土師片
	土坑	縄文時代以降	土坑1064基 （うち、縄文土坑753基）	縄文土器、石器、玦状耳飾、有孔鍔付土器、土師器
	溝状遺構	近世以降	8条	縄文片、土師・須恵器片、石器
	掘立柱建物跡	奈良・平安～近世	3棟	土師片
	道路状遺構	近世以降	1条	なし
	井戸状遺構	不明	2基	なし
	竪穴状遺構	不明	1棟	縄文片、石器
五代中原II遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡4軒	縄文片（前期）
	集落跡	古墳前期～中期	竪穴住居跡35軒	甕、壺、高坏、器台、坩、手捏土器
	ピット	古墳後期以降～近世	58基（掘立3棟）	縄文片、土師片
	土坑	近世以降	25基	縄文片、土師片
	掘立柱建物跡	古墳後期以降	3棟	縄文片、土師片
	道路状遺構	近世以降	4条	なし
	風倒木痕	不明	3ヶ所	土師片

五代伊勢宮VI遺跡
五代中原II遺跡

2003年3月1日　印刷
2003年3月7日　発行

発　行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10-2
編　集　スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町211番地の1
印　刷　朝日印刷工業株式会社

五代伊勢宮Ⅵ遺跡平面図（縄文時代）

凡例

J：縄文住居跡
土坑は数字のみで表した
--------：カクラン
ーーーー：新しい時代の遺構

0　1:400　20m

縄文時代住居跡時期別分布図

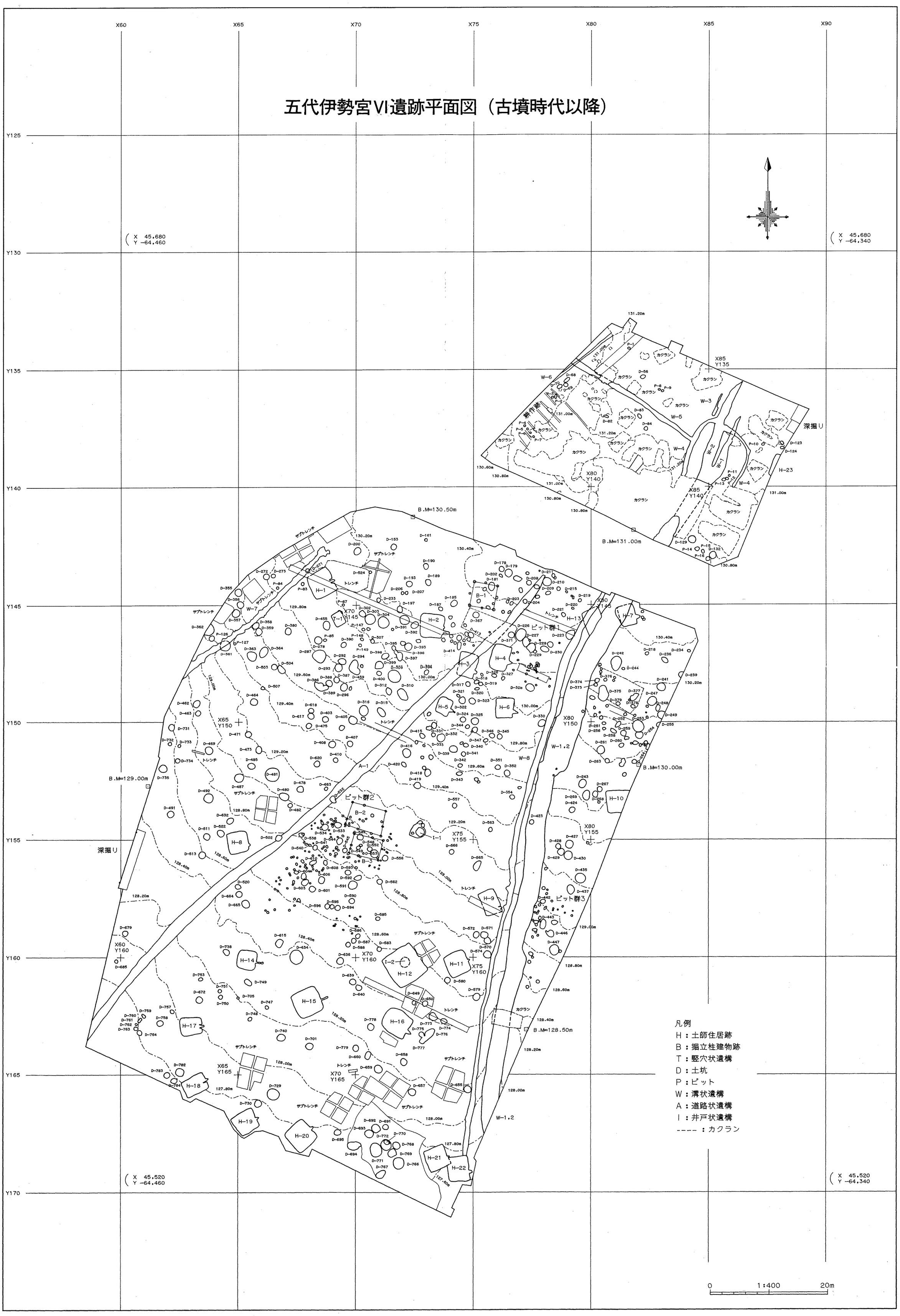
① 五代江戸屋敷遺跡
② 五代木福Ⅰ遺跡
③ 五代木福Ⅱ遺跡
④ 五代竹花遺跡
⑤ 五代深堀Ⅰ遺跡
⑥ 五代伊勢宮Ⅰ遺跡
⑦ 五代伊勢宮Ⅱ遺跡
⑧ 五代伊勢宮Ⅲ遺跡
⑨ 五代深堀Ⅱ遺跡
⑩ 五代中原Ⅰ遺跡
⑪ 五代伊勢宮Ⅳ遺跡
⑫ 五代伊勢宮Ⅴ遺跡
⑬ 五代伊勢宮Ⅵ遺跡
⑭ 五代中原Ⅱ遺跡

凡例
■ 前期住居跡
● 中期中葉住居跡
▲ 中期後葉住居跡
谷地

0　1:6000　200m

五代伊勢宮Ⅵ遺跡　平成十五年三月　スナガ環境測設株式会社作成

五代伊勢宮Ⅵ遺跡平面図（古墳時代以降）



五代伊勢宮Ⅵ遺跡

平成十五年三月

スナガ環境測設株式会社作成